はじめに

このたびは、「Vodafone 703N」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- Vodafone 703Nをご利用の前に本書をご覧になり、正しくお取り扱いください。
- 本書をご覧いただいたあとは、大切に保管してください。
- 本書を万一紛失または損傷したときは、お問い合わせ先（☞P31-48）までご連絡ください。
- ご契約の内容により、ご利用になれるサービスが限定されます。

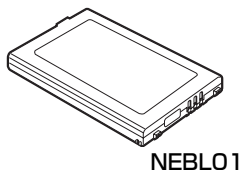
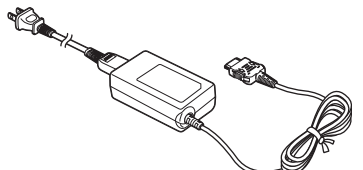
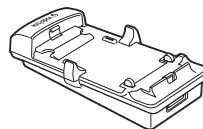
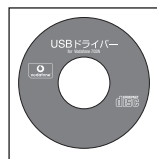
Vodafone 703Nは、W-CDMA方式に対応しております。

ご注意

- 本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されております。
- 本書の内容は将来、予告無しに変更することがございます。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたらお問い合わせ先（☞P31-48）までご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

お買い上げ品の確認

Vodafone 703N本体のほかに、次の付属品がそろっていることをお確かめください。オプション品としても取り扱いしております。

付属品、オプション品につきましては、お問い合わせ先（☞P31-48）までご連絡ください。

Vodafone 703Nは、miniSDメモリカードに対応しております。ご利用にあたっては、市販のminiSDメモリカードをご購入ください。

目　次

基本操作編

1　ご利用になる前に

2　基本的な操作のご案内

3　マナーモード

4　文字の入力方法

5　電話帳

6　TV コール

7 カメラ

8 ディスプレイとランプの設定

9 音の設定

10 メディアプレイヤー

11 メモリカード

12 データ管理（データフォルダとｖファイル）

13 赤外線通信

14 セキュリティ

15 ツールの利用

16 その他の機能

17 オプションサービス

Vodafone live ! 編

18 Vodafone live!

19 メール受信

20 メール送信

21 メールボックス

22 メールサーバー

23 メールのその他設定

24 ウェブの基本操作

25 情報の利用

26 ウェブのその他設定

27 V アプリの基本操作

28 V アプリの利用

29 V アプリのその他設定

30 Abridged English Manual

31 付録

本書の見かた

この『Vodafone 703N取扱説明書』の本文中では、「Vodafone 703N」を「703N」と表記しております。あらかじめご了承ください。

操作手順の表記について

操作手順の説明は、簡略化した表現で記載しています。手順の読みかたについては「ご利用になる前に」の章の「機能の呼び出しかた」を参照してください。

ディスプレイの表示について

- 操作説明の画面は、あくまでも例であり、記載されている画面の内容や番号などは、実際の画面と異なります。
- 操作説明の画面は、説明に必要な部分のみを拡大して記載していることがあります。

各種の警告メッセージについて

- 703N をお使いになる前に、日時設定を行ってください。あらかじめ日時設定をしていないと、起動しようとしたときにメッセージが表示され、起動できない機能があります。
- この取扱説明書は、主にお買い上げ時の状態をもとに説明しています。設定を変更された場合、703Nの表示や動作が本書の記載と異なることがあります。メッセージが表示されたときには、メッセージ画面をよくお読みください。
〈例 1〉ダイヤル発信制限や発着信規制の設定を変更している場合、「基本的な操作のご案内」の章の「電話をかける」の操作を行うと、発信できない旨のメッセージが表示され、電話がかけられません。
〈例2〉マナーモード中に「メディアプレイヤー」や「データ管理」の章で説明している手順でメロディや動画を再生しようとした場合、再生するかどうかのメッセージが表示されることがあります。

登録商標について

- 下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。
  Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations:
  4,901,307 5,490,165 5,056,109 5,504,773
  5,101,501 5,506,865 5,109,390 5,511,073
  5,228,054 5,535,239 5,267,261 5,544,196
  5,267,262 5,568,483 5,337,338 5,600,754
  5,414,796 5,657,420 5,416,797 5,659,569
  5,710,784 5,778,338
- T9 Text Input®およびT9ロゴマークはTegic Communications社の登録商標です。
  T9テキストインプットは全世界において特許を取得または申請しております。
- LCフォント/LC FONT®、エルシーフォント®、LCロゴマークはシャープ株式会社の登録商標です。
- Dialog Clarity、WOW、SRSと(●)記号はSRS Labs, Inc.の商標です。
  Dialog Clarity、WOW技術はSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。
- miniSD™はSDアソシエーションの商標です。
- 本製品のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - ・MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
  - ・個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - ・MPEG-LA よりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品は、OBEX機能および赤外線通信機能としてIrFront®を搭載しています。
  IrFront®は、株式会社ACCESSの製品です。
- IrFront®は、株式会社ACCESSの日本ならびにその他の国における登録商標または商標です。
  Copyright ©1996-2004 ACCESS CO., LTD.
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

- Browser software copyright ©2005 Openwave Systems Inc. All rights reserved.

- この製品では、株式会社アプリックスがJava™アプリケーションの実行速度が速くなるように設計したJBlend™が搭載されています。
  Powered by JBlend™, ©1997-2004Aplix Corporation. All rights reserved.
  JBlendおよびJBlendロゴマークは、株式会社アプリックスの商標または登録商標です。

- JavaおよびJavaに関連する商標は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。

- 「着うた®」は、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。
- Neue Helvetica™ is a Trademark of Heidelberger Druckmaschinen AG which may be registered in certain jurisdictions, exclusively licensed through Linotype Library GmbH, a wholly owned subsidiary of Heidelberger Druckmaschinen AG.
- 「チャンスキャプチャ／Chance capture」「ランダムメロディ／Random melody」「ピクチャボイス／Picture voice」「アクセスリーダー」「おしゃべり機能」「クールホッケー２／COOL HOCKEY 2」「マルチタスク／MULTITASK」「ワード予測」「NEC SUPER TOWN」は日本電気株式会社の登録商標または商標です。

安全上のご注意

●製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。お読みになったあとは、必要なときにご覧になれるよう大切に保管してください。

●ここに示した説明事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための内容を記載していますので、必ずお守りください。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、メモリの消失、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害について、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の意味

	この絵表示は、禁止の行為であることを告げるものです。
	この絵表示は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
	この絵表示は、電源プラグを必ずコンセントから抜いていただく内容を告げるものです。

⚠ 危険

703N、電池パック、充電用機器の取り扱いについて（共通）

703Nに使用する機器は当社の指定品（☞「お買い上げ品の確認」）以外のものは使用しないでください。指定品以外のものを使用した場合は、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

703N、電池パック、急速充電器、卓上ホルダー、シガーライター充電器を火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。漏液、発熱、破裂、発煙、発火、変形の原因となります。

電池パックの取り扱いについて

電池パックをご使用の際は、次のことを絶対にしないでください。電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

- 電池パックを703Nに取り付けるときには、電池パックの向きを確かめてから取り付けてください。うまく入らない場合は、無理に取り付けないでください。
- 分解、改造をしないでください。
- 電池パックをぬらさないでください。水などの液体が入ると発熱、感電、故障などの原因となります。使用場所、取り扱いに注意してください。
- 火の中に投下しないでください。
- 直接はんだ付けしないでください。
- 電池パックの端子を針金などの金属類で接続しないでください。また金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり保管しないでください。
- 釘を刺したり、ハンマーでたたいたり踏みつけたりしないでください。

電池パック内部の液が目に入ったときは、こすらず、直ちにきれいな水で洗ったあと、医師の診療を受けてください。失明などの原因となります。

⚠ 警告

703N、電池パック、充電用機器の取り扱いについて（共通）

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

ガソリンスタンドなど、引火、爆発の恐れのある場所では使用しないでください。プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、703Nや充電用機器を入れないでください。電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や、703N、充電用機器の発熱、発煙、発火、回路部分の破壊の原因となります。

直射日光の強い場所や炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置をしないでください。電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、機器の変形、故障の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

異音、発煙、異臭などの異常な状態に気がついたときは、以下のとおりに機器を電源から外し、お問い合わせ先(☞P31-48)までご連絡ください。

- 703N：本体の電源を切り、やけどやけがに注意して電池パックを取り外してください。
- 急速充電器：プラグをＡＣコンセントから抜いてください。
- シガーライター充電器：プラグをシガーライターソケットから抜いてください。

703Nの取り扱いについて

自動車などを運転中に使用しないでください。安全走行を損ない、事故の原因となります。車などを安全な場所に停車させてからご使用ください。法令によって定められている禁止行為をした場合は罰せられることがあります。

分解、改造しないでください。火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。指定部分以外の点検、調整、修理はお問い合わせ先(☞P31-48)までご連絡ください。

ストラップを持って703Nを振り回さないでください。本人や周囲の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。目に影響を与える可能性があります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤作動するなどの影響を与えることがあります。

ライトを人の目に近づけて点灯したり、点灯中に直視したりしないでください。目に影響を与える可能性があります。また、目がくらんだり突然の光に驚くなどして、事故の原因になることがあります。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、703Nの電源を切ってください。電子機器に誤動作を与える場合があります。

・ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他自動制御機器など。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器をご使用される方は、電波による影響について当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者にご確認ください。

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、703Nの電源を切ってください。電子機器に誤動作を与える場合があります。医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。法令によって定められている禁止行為をした場合は罰せられることがあります。

屋外で使用中に、雷が鳴りだしたら、直ちに電源を切って安全な場所に移動してください。落雷、感電の原因になります。

心臓の弱い方は、バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットに703Nを入れないでください。703Nは折り畳み式のため、閉じた状態を検出する磁石を使用しています。703Nを医用電気機器などの近くで使用すると、磁石の影響で動作に影響を与えたり、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。

ハンズフリーを「ON」に設定してスピーカーで通話する際は、703Nを耳から離してください。聴覚に影響を与えることがあります。

電池パックの取り扱いについて

所定の充電時間（☞「ご利用になる前に」の章）を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

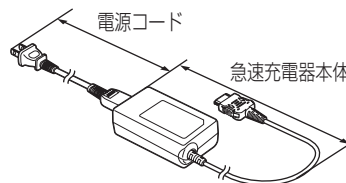
電池パックの使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、異常が発生した場合は、やけどやけがに注意して703Nから取り外し、お問い合わせ先（☞P31-48）までご連絡ください。そのまま使用すると電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちにきれいな水で洗い流してください。皮膚に傷害を起こす原因となります。

電池パックの漏液、異臭に気がついたときは、直ちに火気から遠ざけてください。漏液した溶解液に引火し、発火、破裂の原因となります。

充電用機器の取り扱いについて

703Nに使用する急速充電器本体、電源コードは、当社の指定品(☞「お買い上げ品の確認」)以外のものは使用しないでください。また、703N以外の製品に使用しないでください。火災、感電の原因となることがあります。

指定の電源、電圧で使用してください。指定された電源、電圧以外で使用すると、火災や故障の原因等となります。

・急速充電器本体　　AC100V～240V
付属品の電源コードは、国内専用です。海外では使用しないでください。
海外での充電に起因するトラブルにつきましては、当社は責任を負いかねます。

・シガーライター充電器　　DC12/24V（マイナスアース車専用）

分解、改造をしないでください。火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。指定部分以外の点検、調整、修理は、お問い合わせ先（☞P31-48）までご連絡ください。

シガーライター充電器はマイナスアース車専用です。プラスアース車には絶対に使用しないでください。火災の原因となります。

電源コードが傷んだら、使用を中止し、お問い合わせ先（☞P31-48）までご連絡ください。そのまま使用すると、感電、発煙、火災の原因となります。

万一シガーライター充電器のヒューズが切れたときは、必ず指定のヒューズに交換してください。指定以外のヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。指定のヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

充電用機器をご使用の際は、次のことを絶対にしないでください。火災、感電、故障の原因となります。

・ 充電用機器をぬらさないでください。水などの液体が入ると発熱などの原因となります。使用場所、取り扱いに注意してください。
・ ぬれた手で充電用機器、電源コードやコンセントに触れないでください。
・ ぬれた電池パックを充電しないでください。電池パックを発熱、発火、破裂させる原因となります。
・ 充電中は、充電用機器を不安定な場所に置かないでください。また、布や布団で覆ったり包んだりしないでください。703Nが外れたり、熱がこもる場合があります。
・ 急速充電器や卓上ホルダーは、ふろ場など湿気の多い場所では絶対に使用しないでください。
・ コンセントやシガーライターソケットにつながれた状態で充電端子やコネクター端子をショートさせないでください。また、充電端子やコネクター端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
・ タコ足配線はしないでください。発熱により火災の原因となります。

万一水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントや、シガーライターソケットからプラグを抜いて、お問い合わせ先（☞P31-48）までご連絡ください。そのまま使用すると、感電、発煙、火災の原因となります。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

プラグに付いたほこりはふき取ってください。火災の原因となります。

急速充電器をコンセントに差し込むときは、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。感電、ショート、火災の原因となります。

雷が鳴りだしたら安全のため早めに急速充電器のプラグをＡＣコンセントから抜いておいてください。火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。

医用電気機器の近くでの703Nの取り扱いについて

ここで記載している内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会[旧不要電波問題対策協議会][平成9年4月]）に準拠、ならびに「電波の医用機器等への影響に関する調査研究報告書」(平成13年3月「社団法人　電波産業会」)の内容を参考にしたものです。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカなどの装着部位から22cm以上離して携行および使用してください。電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、703Nの電源を切るようにしてください。電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

医療機関の屋内では次のことを守ってください。

・ 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には703Nを持ち込まないでください。

・ 病棟内では、703Nの電源を切ってください。

・ ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、703Nの電源を切ってください。

・ 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合は、電波による影響について当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者にご確認ください。

⚠ 注　意

703N、電池パック、充電用機器の取り扱いについて（共通）

湿気やほこりの多い場所、また高温となる場所には保管しないでください。故障の原因となります。

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。落下してけがや故障の原因となります。

子供が使用する場合は、保護者が取り扱い方法を教えてください。また、使用中においても指示どおりに使用しているかに注意してください。けがなどの原因となります。

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲みこんだり、けがなどの原因となります。

703Nの取り扱いについて

自動車内で使用すると、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与えることがあります。自動車内で使用する際は、お使いの車載電子機器に十分な対電磁波保護がされているか、自動車販売店にご確認ください。安全走行を損なう原因となります。

ストラップなどを挟んだまま、703Nを折り畳まないでください。故障、破損の原因となります。

磁気カードなどを703Nに近づけたり、挟んだりしないでください。キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

703Nをぬらさないでください。水などの液体が入ると発熱、感電、故障などの原因となります。使用場所、取り扱いに注意してください。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などを生じることがあります。そのような場合は、直ちに使用を中止し医師の診療を受けてください。

使用箇所		材　質	表面処理
外装ケース	メインディスプレイ面、表示操作面	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装
	サブディスプレイ面、スピーカー面、電池カバー	ABS樹脂	アクリル系UV硬化塗装
赤外線ポート		PC樹脂	－
ランプレンズ、ライトレンズ		PC樹脂	－
内側カメラレンズ、外側カメラレンズ メインディスプレイスクリーン、サブディスプレイスクリーン		アクリル樹脂	アクリル系表面硬化樹脂
外側カメラレンズカバー枠		ニッケル	クロムメッキ
ネジキャップ（メインディスプレイ部、スピーカー部）、 ゴムパッド（操作面先端部）		シリコンゴム	－
接写スイッチ		ポリアセタール樹脂	－
マルチセレクター		ABS樹脂+PC樹脂	周囲クロムメッキ（下地：ニッケル）
セレクトボタン		ABS樹脂	周囲クロムメッキ（下地：ニッケル）
メールボタン、Vodafone live!ボタン、セレクトボタン、メニュー／マルチボタン、カメラボタン、クリア／バックボタン、開始／通話履歴ボタン、ダイヤルボタン、✱ボタン、#ボタン、電源／終了／応答保留ボタン		PC樹脂	アクリルウレタン系UV硬化塗装
サイドボタン		PC樹脂	－
ヒンジキャップ		ABS樹脂	クロムメッキ（下地：ニッケル）
イヤホンマイク端子、外部接続端子、miniSDメモリカードスロットカバー		エラストマー樹脂	－
ロゴバッジ		PC樹脂 アルミニウム	－
ネジ（電池パック収納部）		鉄	三価クロムクロメート処理
充電端子		リン青銅	金メッキ

ズボンやスカートの後ろポケットに703Nを入れたまま、いすなどに座らないでください。また、かばんの底など無理に力がかかるような場所には入れないでください。故障、破損の原因となります。

カメラのレンズに太陽光などの強い光があたる状態で長時間放置しないでください。レンズの集光作用により、火災、故障の原因となります。

万一ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した場合は、割れたガラスなどにご注意ください。ディスプレイ部やカメラのレンズ表面にはプラスチックパネルを使用し、ガラスが飛び散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた切断面などに触れますとけがの原因となります。

miniSDメモリカードスロットおよびUSIMカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。火災、感電、故障の原因となります。

miniSDメモリカードを挿入するときは、miniSDメモリカードがスロットに確実に挿入されるまでしっかり押し込み、すぐに指を離さないでください。取り外すときは、指でminiSDメモリカードを押し込み、miniSDメモリカードが出てきたら、飛び出さないように指を添えてください。

miniSDメモリカードスロットを顔の方に向けて、miniSDメモリカードを挿入したり、取り外さないでください。急に指を離すとminiSDメモリカードが飛び出し、けがの原因となります。

電池パックの取り扱いについて

一般のゴミと一緒に捨てないでください。発火、環境破壊の原因となることがあります。不要となった電池パックは端子にテープなどを貼り、絶縁してから当社窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

充電用機器の取り扱いについて

シガーライター充電器はエンジンを切ったまま使用しないでください。車のバッテリーを消耗させる原因となります。

電源コードの上に重いものを載せないでください。感電、火災、故障の原因となります。

充電終了後は、コンセントやシガーライターソケットからプラグを抜いてください。火災、故障の原因となります。

お手入れの際には、必ずコンセントや、シガーライターソケットからプラグを抜いてください。感電の原因となります。

充電器をコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、電源コードを引っ張らないでください。電源コードが傷つき、火災、感電、故障の原因となります。

お願いとご注意

ご利用にあたって

- 703N は国内専用機です。海外ではご利用できません。
- 703N は電波を使用しているため、電波の弱いところ、およびサービスエリア外ではご使用になれません。また、サービスエリア内であっても、ビルの陰、ビル内、トンネル、地下、山間部など、電波の弱いところ、電波の届かないところでは、ご使用になれません。また、通話中にこのような場所へ移動する場合、通話が途切れることがありますのであらかじめご了承ください。
- 公共の場所でご利用いただくときは、周囲の方の迷惑にならないように注意してください。
- 歩行中に着信した場合は、周囲の状況を確認し、安全な場所へ移動してからご使用ください。
- 電車などの交通機関内で使用した場合、まれに電車などに搭載されている電子機器に影響を与えることがありますので注意してください。
- 事故や故障などにより703Nに登録したデータ（電話帳、画像、サウンドなど）が消失、変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。大切な電話帳などのデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。
- 703Nは電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- 703N の時刻表示はあくまでも目安です。正確な時刻を確認したい場合は、時報サービスなどによって確認してください。
- 次のような場合は電話がつながらなかったり、雑音が入ることがあります。
  - 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。正常に動作しないことがあります。
  - 金属製家具などの近くに置かないでください。電波が飛びにくくなります。

・電気製品、AV、OA 機器などの磁気を帯びているところ、磁波が発生しているところに置かないでください。（コンピュータ、電子レンジ、スピーカー、テレビ、ラジオ、ファクシミリ、蛍光灯、ワープロ、電気こたつ、インバーターエアコン、電磁調理器など。）

・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話できなくなることがあります。特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります。

・放送局や無線局などが近く、通話中の雑音が大きいときは、703Nを移動してみてください。他の無線局などの電波が強すぎる場合は703Nが使用できないことがあります。

・トラックや車、オートバイが近くを通ったとき、雑音が入る場合があります。

●一般の電話機やテレビ、ラジオなどをご使用になっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますのでなるべく離れた場所でご使用ください。

●傍受にご注意ください。
703Nはデジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法をとられた場合には、第三者が故意に傍受するケースもまったくないとはいえません。この点をご理解いただいたうえでご使用ください。

・**傍受（ぼうじゅ）とは**
無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

自動車内でのご利用にあたって

●自動車などを運転中に使用しないでください。安全走行を損ない、事故の原因となります。法令によって定められている禁止行為をした場合は罰せられることがあります。

●車を安全な場所に停車させてからご使用ください。

●自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与えることがあるため、自動車内で使用する際は、十分な対電磁波保護がされているか、自動車販売店にご確認ください。安全走行を損なう原因となります。

航空機の機内でのご利用について

航空機の機内では、絶対にご使用にならないでください。（電源も入れないでください。）運航の安全に支障をきたす恐れがあります。法令によって定められている禁止行為をした場合は罰せられることがあります。

お取り扱いについて

● 水をかけないでください。703N、電池パック、充電用機器は防水仕様になっておりません。ふろ場など、湿気の多い場所や、雨などのかかる場所でのご使用はおやめください。また、シャツの胸ポケットに入れるなど身につけている場合、汗による湿気により内部が腐食し、故障の原因となります。調査の結果、これら水ぬれによる故障と判明した場合、保証対象外となり、修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、水ぬれによる故障は保証対象外ですので、修理を実施できる場合でも有償修理となります。

● お手入れは乾いた柔らかい布で行ってください。ぬれた布などでふくと、故障の原因となります。また、アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などでふくと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

● 端子はときどき乾いた布、綿棒などで清掃してください。端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電用機器では正常に充電できない場合があります。

● エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。急激な温度の変化により結露し、内部が腐食する原因となります。

● 703Nに無理な力がかかるような場所に置かないでください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣服のポケットに入れて座ると、ディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。

● 連続通話中、TVコール中、充電中には、電源（PWR）ボタン、ダイヤルボタン等の操作部や電池パックの温度が上昇しますが、故障ではありません。

● 極端な高温、低温は避けてください。温度は5℃～40℃、湿度は35％～85％の範囲でご使用ください。

● 703N の電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、お客様が登録、設定した内容が消失または変化してしまうことがありますので注意してください。なお、こうした消失、変化に起因する損害につきましては当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- 通常はイヤホンマイク端子キャップ、外部接続端子キャップ、miniSDメモリカードスロットのカバーをはめた状態でご使用ください。ほこり、水などが入りやすくなり、故障の原因となります。

カメラについて

お客様が703Nを利用して公衆に著しく迷惑をかける不法行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

著作権などについて

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作権人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。703Nを使用して複製など行う場合は、著作権法を尊守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、703Nにはカメラ機能が搭載されておりますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種〈703N〉の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。

この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。

※ 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

この携帯電話機〈703N〉のSARは、0.784W/kgです。この値は、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

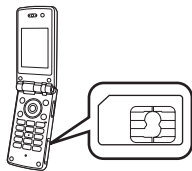
総務省　電波利用ホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm

社団法人電波産業会　暮らしの中の電波ホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html

ご利用になる前に

機能一覧

USIMカード対応

お客様の電話番号などの情報が書き込まれたカードです。USIMカード対応のボーダフォン携帯電話に挿入して使います。

サブディスプレイ

不在着信や新着メールを確認できます。カメラのファインダーとしても使えます。

マナーモード

着信を振動で知らせるなど、周囲の迷惑にならないように電話を利用するための機能です。

電話帳

703N本体には電話番号とメールアドレスをそれぞれ最大500件登録できます。USIMカードにも電話番号とメールアドレスを登録できます。

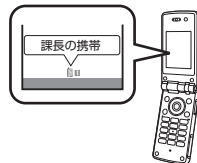
TVコール

TVコールに対応したボーダフォン携帯電話同士で、お互いの映像を見ながら通話できます。

カメラ

静止画や連続写真、動画を撮影できます。

デスクトップ

よく使う機能や電話番号などをすぐに呼び出せるように、待受画面にアイコンとして貼り付けることができます。

Language

ディスプレイ表示を英語に切り替えることができます。

おしゃべり機能

703Nで録音した音声を簡易留守録の応答メッセージや着信音、アラーム音などに利用できます。

メディアプレイヤー

メロディを再生したり、703Nのカメラで撮影した静止画や動画を楽しんだりできます。また、複数の動画を好きな順番に再生するプレイリストを作成できます。

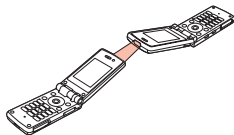
メモリカード

いろいろなデータをminiSDメモリカードに保存できます。

データフォルダ

いろいろなデータをまとめて管理できます。

赤外線通信

赤外線を利用して、データをやりとりできます。

指定着信拒否登録

着信を拒否する電話番号を指定できます。

バーコード

バーコードから読み取った情報を使って、簡単にURLへのアクセスやメールの送信などができます。

メール

ボーダフォン携帯電話やパソコンなどとの間でメッセージ、画像、メロディなどの送受信ができます。

ウェブ

サービスセンターやインターネットから情報を入手できます。

Vアプリ

インターネットなどからVアプリを入手し、利用できます。

オプションサービス

転送電話／留守番電話サービス

かかってきた電話を別の電話に転送できます。転送先に留守番電話センターを登録している場合は、留守番電話センターで相手の方のメッセージをお預かりします。

割込通話サービス

通話中に他からの電話を受けたり、他の方にかけたりできます。相手の方を切り替えながらお話しすることもできます。

発着信規制サービス

電話をかけたり受けたりする範囲を国内だけに制限したり、着信または発信専用にしたりできます。

USIMカードのお取り扱い

■ USIMカードをご利用になる前に

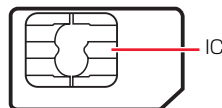
USIM（ユーシム）カード（以下USIMカード）は電話番号やお客様情報が入ったICカードです。USIMカード対応のボーダフォン携帯電話に取り付けて使用します。USIMカードが取り付けられていない場合、電話の発着信、メール、ウェブなどのネットワーク接続ができません。

- USIMカードには電話帳とSMSを保存できます。
- USIMカードに保存したデータは、他のUSIMカード対応のボーダフォン携帯電話でもご利用いただけます。
- USIMカードに使用する機器は当社の指定品以外のものは使用しないでください。指定品以外のものを使用すると、データの消失や故障の原因となる場合があります。
- 電子レンジなどの加熱調理器や高圧容器に、USIMカードを入れないでください。溶損、発熱、発煙、データの消失、故障の原因となります。
- USIM カードは乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んだり、けがの原因となる場合があります。
- USIMカードの取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないでください。（USIMカードの取り外し、および挿入時に過剰な力を加えると故障の原因となります。また、取り外しの際、手や指などを傷つける可能性がありますのでご注意ください。）
- 他社製品のICカードリーダーなどに、USIMカードを挿入し故障した場合、お客様ご自身の責任となり当社では責任を負いかねます。
- ご利用中、USIMカード自体が温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。（USIMカードのIC部分への接触は、データの消失や故障の原因となる可能性があります。不必要なIC部分への接触はなるべく避けるようにしてください。）
- USIMカードにラベル等を貼り付けないでください。USIMカードは非常に薄く、精密に作られているため、ラベルやシール程度の厚みでも接触不良やデータの破壊などの原因となることがあります。
- USIMカードの詳細については、USIMカードに添付されている説明書を参照してください。

■ USIMカードについてのその他ご注意

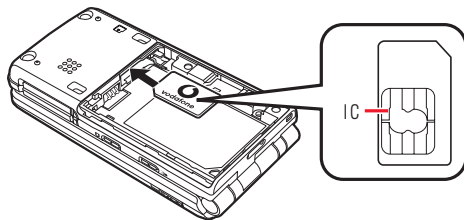
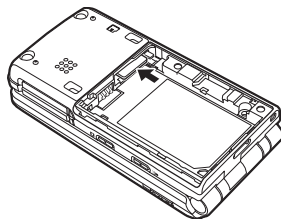
- USIMカードの所有権は当社に帰属します。
- 紛失、破損などによるUSIMカードの再発行は有償となります。
- 解約、休止などの際は、USIMカードを当社にご返却ください。
- お客様からご返却いただいたUSIMカードは、環境保全のためリサイクルされています。
- USIMカードの仕様、性能は予告なしに変更する可能性があります。
- お客様ご自身でUSIMカードに登録された情報内容は、事故や故障によって、消失または変化してしまうことがあります。大切なデータは控えをとっておかれることをおすすめします。

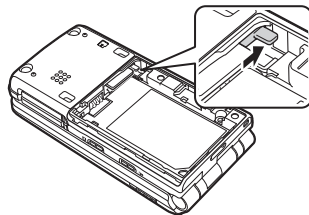
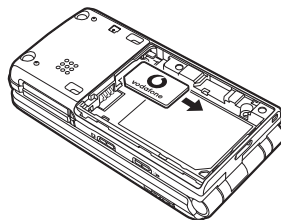
  なお、データの消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 国内外問わず USIM カードならびにボーダフォン携帯電話（USIMカード挿入済み）を盗難・紛失した場合は必ず緊急利用停止の手続きを行ってください。緊急利用停止の手続きはお問い合わせ先（☞P31-48）までご連絡ください。
- 703Nの修理やUSIMカードを交換した場合、本体やメモリカードに保存した着うた®やVアプリ、動画などのファイルがご利用できなくなる可能性があります。あらかじめご了承ください。

USIMカード

■ USIMカードを取り付ける／取り外す

USIMカードの取り付けや取り外しは、電池パックを取り外してから行います。

■ 取り付ける

1 USIM カードの金色の IC 部分を下側にして、USIMカード挿入口に差し込む

2 ロックされるまでゆっくり押し込み、固定する

■ 取り外す

1 USIM カードを固定しているロックをスライドさせる

2 USIM カードが少し出てきたら、まっすぐ静かに引き抜く

注意

- 無理に取り付けようとすると、USIM カードが破損することがありますのでご注意ください。
- 取り外したUSIMカードは、紛失しないようご注意ください。

- **USIMカードの取り付けや取り外しを行うときは、IC部分に不用意に触れたり、傷をつけたりしないでください。また、電池パックとの接点部分にも触れないようにしてください。**

■ PINコード

USIMカードには、「PIN1コード」と「PIN2コード」という2つの暗証番号があります。

■ PIN1コード

第三者によるボーダフォン携帯電話の無断使用を防ぐための4～8桁の暗証番号です。

- お買い上げ時には、「9999」に設定されています。
- PIN1コードは変更できます。
- 「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定すると、USIMカードを703Nに取り付けたり電源を入れたりするたびにPIN1コードの入力が必要になり、入力しないと703Nを使用できなくなります。

■ PIN2コード

オンラインサービスなどで個人認証が必要な場合に入力する4～8桁の暗証番号です。

- お買い上げ時には、「9999」に設定されています。
- PIN2コードは変更できます。

■ PINロック解除コード

間違ったPIN1コードまたはPIN2コードを3回連続して入力すると、現在のPIN1コードまたはPIN2コードが無効になり、特定の機能しか利用できなくなります。この状態をPINロックといいます。PINロックは「PINロック解除コード」を入力することにより解除できます。

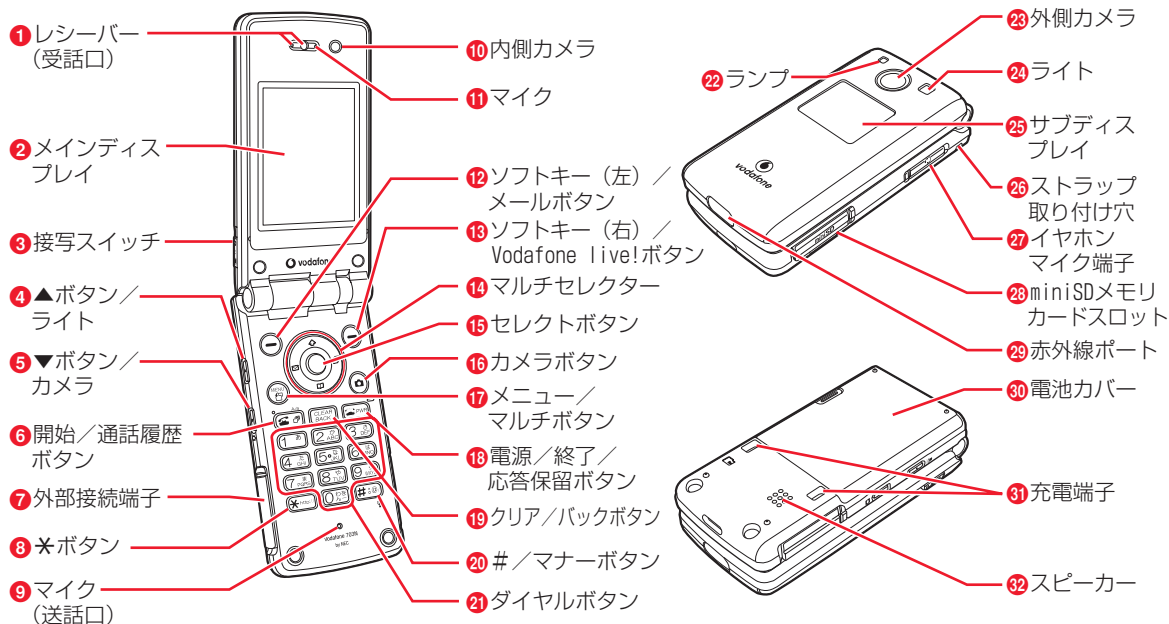
- PINロック解除コードについては、お問い合わせ先（☞P31-48）までご連絡ください。

注意

- **PIN1ロック解除コードを10回連続して間違えると、USIMカードがロックされ、703Nを使用できなくなります。**
- **PIN2ロック解除コードを10回連続して間違えると、PIN2コードを使用する操作が一切できなくなります。**
- **PIN ロック解除コードはメモに控えるなどして、お忘れにならないようにご注意ください。**
- **USIM カードがロックされた場合は、所定の手続きが必要になりますので、お問い合わせ先（☞P31-48）までご連絡ください。**

各部の名称と機能

■ 本体

❶レシーバー
（受話口）
❷メインディスプレイ
❸接写スイッチ
❹▲ボタン／ライト
❺▼ボタン／カメラ
❻開始／通話履歴ボタン
❼外部接続端子
❽✱ボタン
❾マイク
（送話口）
❿内側カメラ
⓫マイク
⓬ソフトキー（左）／メールボタン
⓭ソフトキー（右）／Vodafone live!ボタン
⓮マルチセレクター
⓯セレクトボタン
⓰カメラボタン
⓱メニュー／マルチボタン
⓲電源／終了／応答保留ボタン
⓳クリア／バックボタン
⓴＃／マナーボタン
㉑ダイヤルボタン
㉒ランプ
㉓外側カメラ
㉔ライト
㉕サブディスプレイ
㉖ストラップ取り付け穴
㉗イヤホンマイク端子
㉘miniSDメモリカードスロット
㉙赤外線ポート
㉚電池カバー
㉛充電端子
㉜スピーカー
vodafone
miniSD
Vodafone 703N
by NEC

❶レシーバー（受話口）
相手の声がここから聞こえます。

❷メインディスプレイ
この画面を見て操作をしたり、TVコールやカメラ機能を楽しみます。

❸接写スイッチ
文字やバーコードを読み取るときには接写モードに切り替えます。

❹▲ボタン／ライト
ライトを点灯するときに使います。

❺▼ボタン／カメラ
録音や撮影の操作ボタンです。703Nを折り畳んだ状態のときは、電話やメールの着信確認ボタンとしても機能します。

❻開始／通話履歴ボタン
音声電話をかけたり受けたりします。リダイヤルや着信履歴の一覧画面の表示、文字の小文字／大文字切り替えにも使います。

❼外部接続端子
急速充電器やシガーライター充電器、外部機器との接続などに使います。

❽＊ボタン
文字やポーズ（p）を入力します。

❾マイク（送話口）
自分の声をここから送ります。録音するときのマイクになります。

❿内側カメラ
カメラの撮影や、TVコール中に自分の映像を送信するときに使います。

⓫マイク
ハンズフリー中は自分の声をここから送ります。カメラで動画を撮影するときやピクチャボイスで音声を録音するときのマイクになります。

⓬ソフトキー（左）／メールボタン
画面左下のソフトキーエリアに表示された内容を実行します。

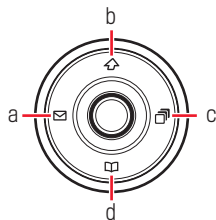
⓭ソフトキー（右）／Vodafone live!ボタン
画面右下のソフトキーエリアに表示された内容を実行します。

⓮マルチセレクター
メニュー項目や電話帳の検索や選択、カーソルの移動、画面のスクロール、音量の調節などに使用します。

a　左ボタン／受信メール
カーソルを左に移動させたり、受信メール一覧を表示します。

b　上ボタン／ショートカット
カーソルを上に移動させたり、ショートカット画面を表示します。

c　右ボタン／通話履歴
カーソルを右に移動させたり、リダイヤルや着信履歴の一覧画面を表示します。

d　下ボタン／電話帳
カーソルを下に移動させたり、電話帳メニューを表示します。

⓯セレクトボタン
画面中央下のソフトキーエリアに表示された内容を実行します。

⓰カメラボタン
カメラメニューを表示します。

⓱メニュー／マルチボタン
メインメニューやタスクメニューを表示します。

⑱電源／終了／応答保留ボタン
電源を入れたり切ったり、応答保留や通話の終了に使います。

⑲クリア／バックボタン
操作を１つ前の状態に戻したり、文字の削除や通話の保留に使います。

⑳＃／マナーボタン
記号の入力やマナーモードの設定、着信中の簡易留守録起動などに使います。

㉑ダイヤルボタン
電話番号や文字を入力します。

㉒ランプ
充電するときに点灯したり、電話やメールが着信したときなどに点滅します。

㉓外側カメラ
カメラの撮影や、TVコール中に風景などの映像を送信するときに使います。

㉔ライト
カメラ撮影をするときや、手元を照らすときに使います。

㉕サブディスプレイ
703Nの状態をメッセージやアイコンなどで表示します。

㉖ストラップ取り付け穴
ストラップを取り付けます。

㉗イヤホンマイク端子
オプション品のスイッチ付きイヤホンマイクを接続します。

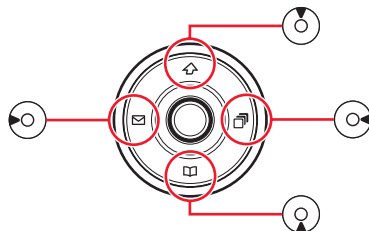
㉘miniSDメモリカードスロット
miniSDメモリカードを差し込みます。

㉙赤外線ポート
赤外線通信でデータのやりとりをします。

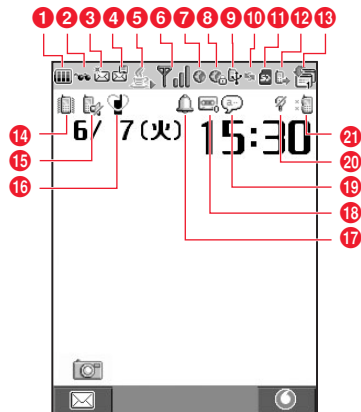
㉚電池カバー
ここを開けて電池パックの取り付けや取り外しをします。

㉛充電端子
卓上ホルダーで充電するときに使います。

㉜スピーカー
着信音やハンズフリー通話中の相手の声などがここから聞こえます。

▣ マルチセレクターの表記について
項目を選ぶときやカーソルを移動するとき、画面をスクロールするときには、マルチセレクターを使います。この取扱説明書では、マルチセレクターでの操作を次のように表記します。

使用するボタンによって、次のように表記しています。

- またはを押すとき…
- またはを押すとき…
- 、、、を押すとき…

■ メインディスプレイ

❶ 電池レベル表示

❷ シークレットモード中：点灯
シークレット専用モード中：点滅
オールロック中
PIMロック中
ダイヤル発信制限中
ダイヤル発信制限とシークレットモード／シークレット専用モードを同時に設定中
ダイヤル発信制限とPIMロックを同時に設定中

❸ 未読メールあり
受信メール空き容量なし
USIMカードのSMS空き容量なし
未読メールありで、USIMカードのSMS空き容量なし
受信メールおよびUSIMカードのSMS空き容量なし

❹ MMSメールサーバーにメールを保管中

❺ Vアプリ実行中
Vアプリ一時停止中

❻ 電波の受信レベル（の棒の数が多いほど電波の状態が良好）
圏外 圏外（サービスエリア外または電波の届かない場所にいるときに表示）

❼ Vodafone live!通信中
（グレー）パケット通信中（データ送受信なし）
パケット通信中（データ送信中）
パケット通信中（データ受信中）
（ブルー）パケット通信発信中または切断中
PDPコンテキスト確立中
パケット通信のネットワーク側からの切断中

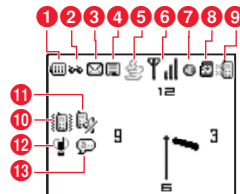
❽ SSL対応のページを表示中

❾ USBケーブル接続中

❿ 赤外線通信中

⓫ miniSDメモリカード取り付け状態
使用不可のminiSDメモリカード取り付け状態

⑫ 音声電話中
64Kデータ通信中
TVコール中
⑬ 1つの機能を使用中
複数の機能を使用中
⑭ 電話またはTVコール着信時のバイブレータを設定中
メール着信時のバイブレータを設定中
メールと電話またはTVコール着信時のバイブレータを同時に設定中
⑮ 電話／TVコールの着信音量を「消去」に設定中
メールの着信音量を「消去」に設定中
メールと電話／TVコールの着信音量を「消去」に設定中
⑯ マナーモード中
⑰ アラーム通知設定状態（起動当日。時刻を過ぎると消える）
アラーム通知設定状態（翌日以降の起動を設定中）
⑱ ～ 簡易留守録設定中（録音件数を数字で表示）
⑲ 留守番電話センターにメッセージあり
⑳ ディスプレイのバックライトを「OFF」に設定中
㉑ サイドボタン操作を「閉じたとき無効」に設定中

■ サブディスプレイ

❶ 電池レベル表示
❷ シークレットモードまたはシークレット専用モード中
オールロック中
PIMロック中
ダイヤル発信制限中
ダイヤル発信制限とシークレットモード／シークレット専用モードを同時に設定中
ダイヤル発信制限とPIMロックを同時に設定中
❸ 未読メールあり
受信メール空き容量なし
USIMカードのSMS空き容量なし
未読メールありで、USIMカードのSMS空き容量なし
受信メールおよびUSIMカードのSMS空き容量なし
❹ MMSメールサーバーにメールを保管中
❺ （ブルー）Vアプリ実行中
（グレー）Vアプリ一時停止中

❻ 電波の受信レベル（の棒の数が多いほど電波の状態が良好）

圏外（サービスエリア外または電波の届かない場所にいるときに表示）

❼ Vodafone live!通信中

（グレー）パケット通信中（データ送受信なし）

パケット通信中（データ送信中）

パケット通信中（データ受信中）

（ブルー）パケット通信発信中または切断中

パケット通信のネットワーク側からの切断中

❽ miniSDメモリカード取り付け状態

使用不可のminiSDメモリカード取り付け状態

❾ サイドボタン操作を「閉じたとき無効」に設定中

❿ 電話またはTVコール着信時のバイブレータを設定中

メール着信時のバイブレータを設定中

メールと電話またはTVコール着信時のバイブレータを同時に設定中

⓫ 電話／TVコールの着信音量を「消去」に設定中

メールの着信音量を「消去」に設定中

メールと電話／TVコールの着信音量を「消去」に設定中

⓬ マナーモード中

⓭ 留守番電話センターにメッセージあり

電池パックと充電器のお取り扱い

■ 電池パックと充電器をご利用になる前に

- はじめてお使いになる場合や、長時間ご使用にならなかった場合は、ご使用になる前に必ず充電してください。
- 長時間使用しない場合でも、なるべく6か月に一度は充電してください。長い間ご使用にならなかった電池パックは十分に充電されず、使用時間が短くなることがあります。
- 電池パックはリチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池はメモリ効果がないため、継ぎ足し充電が自由にできます。
- 次のような場所では充電しないでください。
  - ・周囲の温度が5℃以下、または40℃以上になる場所
  - ・湿気、ほこり、振動の多い場所（誤動作の原因となります）
  - ・ラジオなどのそば（ラジオなどに雑音が入ることがあります）
- 充電中に電池パックや充電器が温かくなることがありますが、異常ではありません。ただし、手で触れられないほど熱くなった場合は、充電を中止し、お問い合わせ先（☞P31-48）までご相談ください。

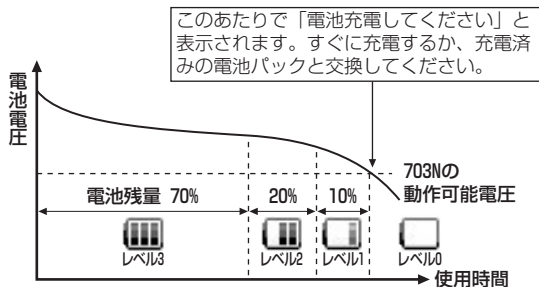
- たこ足配線にしないでください。たこ足配線にすると、コンセントが加熱し、火災の原因となることがあります。
- 電池パックを使い切った状態で保管､放置はしないでください。また、電池パックを長期間保管、放置される場合は､半年に1回程度､電池パックの充電を行ってください。電池パックが使用できなくなる可能性があります。
- 電池パックは消耗品です｡電池パックを完全に充電しても使用できる時間が極端に短くなったら､交換時期です。新しい電池パックをお買い求めください。
- 不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てずに､端子にテープなどを貼り付けて絶縁し､個別回収に出すか最寄りのボーダフォンショップ窓口へお持ちください。電池を分別廃棄している市町村の場合は､その条例に基づいて廃棄してください。
- リチウムイオン電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。

注意

- **703Nに使用する充電用機器は、必ず当社指定のものをご使用ください。また、703N以外の製品に使用しないでください。**
- **電池パック単体で充電することはできません。必ず703Nに電池パックを取り付けた状態で充電してください。電池パックなしの状態では、充電することも電源を入れることもできません。**
- **充電中にランプが赤色に点滅する場合は、電池パックの異常が考えられますので、お問い合わせ先（☞P31-48）までご相談ください。**
- **メインディスプレイに「充電器異常　充電を中止して下さい」と表示された場合は、電源を切り、703Nから充電器と電池パックをいったん取り外し、再度取り付けてから充電をやり直してください。再び同じ状態になった場合は、充電器の異常が考えられますので、お問い合わせ先（☞P31-48）までご相談ください。**
- **充電器を長時間ご使用にならない場合は、プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。**

■ 電池レベル表示

電池レベルは､メインディスプレイやサブディスプレイに表示される電池レベル表示で確認できます。

電池レベル表示は､ご使用の時間経過とともに次のように変化します。充電や電池パック交換の目安にしてください。

電池レベルの目安（常温：25℃で使用した場合の例）

レベル3：十分残っています
レベル2：少なくなっています
レベル1：ほとんど残っていません
レベル0：60秒後に使用できなくなります

▣ 電池レベルを音と表示で確かめるには

次のように操作すると、電池レベルを大きな絵表示と音で確認できます。表示は約3秒たつと消えます。

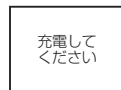
① (MENU)を押し、(設定)→「その他」→「電池残量」の順に選択する

② 音と絵表示を確認する

- 「ピッピッピッ」：電池が十分残っている
- 「ピッピッ」：電池の残量が少ない
- 「ピッ」：電池がほとんど残っていない

■ 電池が切れたら

「電池充電してください」と表示されて電池アラーム音が約10秒間鳴り、約1分後に自動的に電源が切れます。電池パックを充電してください。

メインディスプレイ

サブディスプレイ

補足

- **電池アラーム音を止めるには**
  サイドボタン以外のいずれかのボタンを押します。電池アラーム音を止めたあと、必ず一度703Nの電源を切ってから充電してください。

- **通話中に電池が切れたときは**
  通話中に電池アラーム音（ピピピ）が鳴ります。通話を終了し、電源を切って充電してください。そのまま通話を続けると、約20秒後に通話が切れます。

- **マナーモード中は**
  電池アラーム音を鳴らさず、表示でお知らせします。ただし、低電圧アラームを「ON」にし、電話着信音量を「消去」以外にした「オリジナル」マナーモードを設定している場合には鳴ります。

注意

- **電池レベル表示は電池残量の目安です。**
- **充電中もバイブレータが動作します。充電するときは、落下防止のためにもバイブレータを「OFF」にすることをおすすめします。**

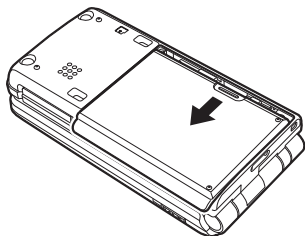
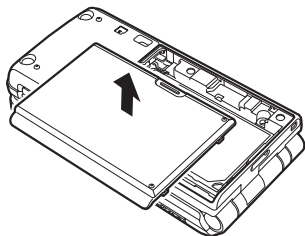
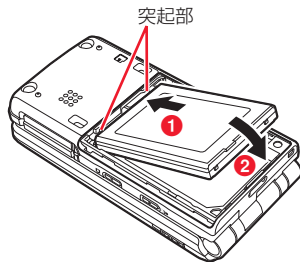
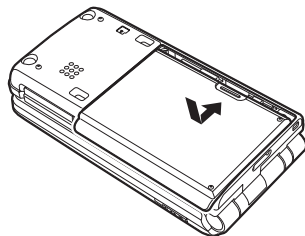
■ 電池パックの持ちについて

使用環境や操作の内容によっては、電池パックの消耗が早まり、利用可能時間が短くなります。

- 次のような原因で電池パックの消耗が早まることがあります。
  - ・極端な低温または高温の状態での使用、および保存（5℃～40℃の温度範囲でご使用ください）
  - ・電波の弱い場所での通話や、圏外表示での待ち受け（なるべく電波状態の良い環境でご使用ください）
  - ・703Nや電池パック、充電器の充電端子の汚れによる充電不良（汚れのために接触が悪くなると、正常に充電できなくなります）
- 次のようなときは、電池パックの消耗が進みます。
  - ・Vアプリを起動しているとき
  - ・カメラでの撮影、アクセスリーダーやバーコードリーダーの読み取りを何度も行ったとき
  - ・動画やメロディを再生したとき
  - ・ライトを何度も点灯したとき、または長時間使用したとき
  - ・V アプリ機能（ゲームなど）やメール作成などで連続したボタン操作をしたとき（照明の点灯時間が長くなるため）
  - ・赤外線通信を何度も行ったとき
  - ・703Nを頻繁に開閉したとき
- 次のような設定の場合は、電池パックの消耗が進みます。設定を変更すると消耗を軽減できます。
  - ・画面表示設定で、待受画面の背景画像に自作アニメを設定しているとき
  - ・照明設定で、通常時の待受画面省電力モードを「OFF」にしているときや、明るさを「レベル3」に設定しているとき

■ 電池パックを取り付ける／取り外す

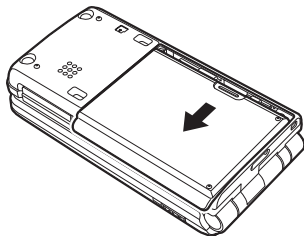
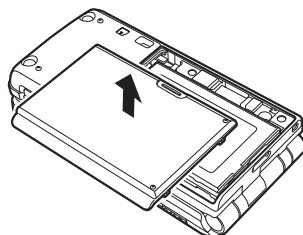
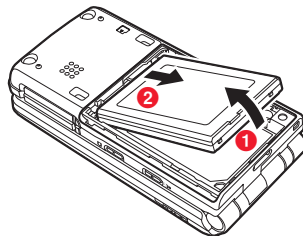
■ 取り付ける

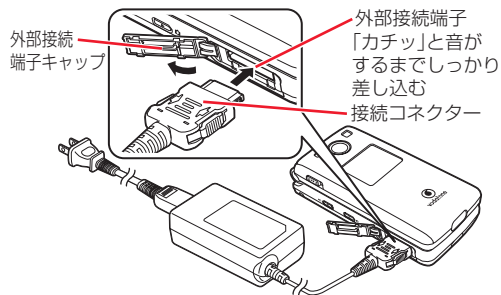
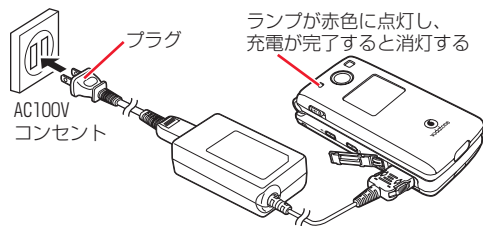
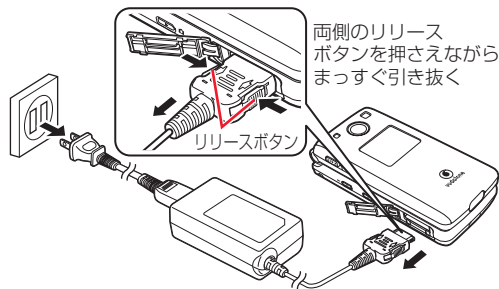
1 **電池カバーを矢印の方向に押しながらスライドさせる**

2 **矢印の方向に持ち上げて、取り外す**

3 **電池パックの突起部を703Nの溝に合わせて取り付ける**

4 **電池カバーを取り付ける**

注意

- 取り付けるときに、電池パックに無理な力を加えないでください。703Nの充電端子がこわれる場合があります。
- 電池カバーの先端部を703Nに差し込んだ状態で無理に押さえ込まないでください。電池カバーのツメがこわれる場合があります。

■ 取り外す

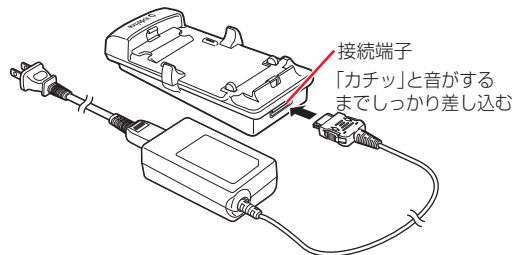
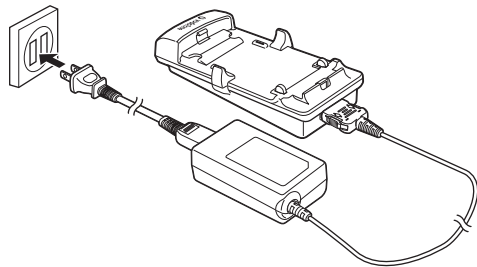
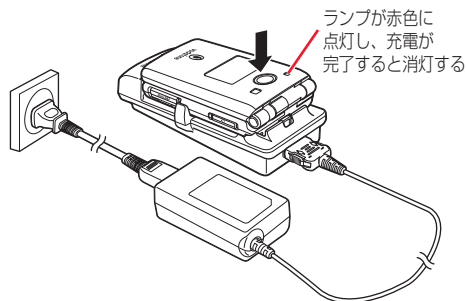
電池パックの取り外しは、電源を切ってから行ってください。また、急速充電器またはシガーライター充電器を接続していない状態で行ってください。

1 **電池カバーを矢印の方向に押しながらスライドさせる**

2 **矢印の方向に持ち上げて、取り外す**

3 **電池パックを持ち上げて、取り外す**

■ 急速充電器を利用して充電する

1　端子キャップを開き、外部接続端子に接続コネクターを差し込む

2　電源コードのプラグを AC100V コンセントに差し込む

3　充電が完了したら、703Nから接続コネクターを抜き、電源コードのプラグをACコンセントから抜く

補足

- **充電にかかる時間は**
  約120分です。時間は703Nの電源をOFFにして充電した場合の目安です。電源をONにしたまま充電すると、充電時間は長くかかります。また、周囲の温度によっても変わります。

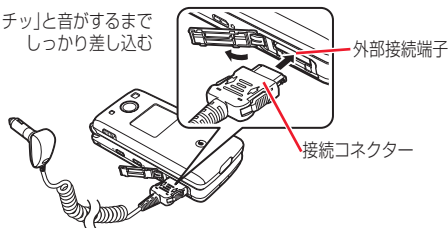
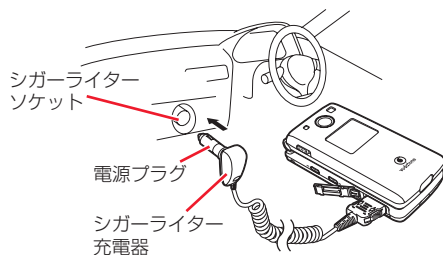
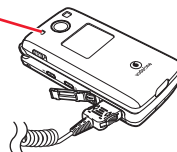
■ 卓上ホルダーを利用して充電する

1 **急速充電器の接続コネクターを、卓上ホルダーの接続端子に差し込む**

2 **電源コードのプラグを AC100V コンセントに差し込む**

3 **電池パックを取り付けた703Nを卓上ホルダーに置く**

4 **充電が完了したら、703Nを卓上ホルダーから取り外し、電源コードのプラグをACコンセントから抜く**

補足

- **充電にかかる時間は**
  約120分です。時間は703Nの電源をOFFにして充電した場合の目安です。電源をONにしたまま充電すると、充電時間は長くかかります。また、周囲の温度によっても変わります。

■ シガーライター充電器を利用して充電する

1 **端子キャップを開き、外部接続端子に接続コネクターを差し込む**

2 **シガーライターソケットにプラグを差し込む**

3 **車のエンジンをかけ、ランプが赤色に点灯していることを確認する**

4 **充電が完了したら、703Nから接続コネクターを抜き、プラグをシガーライターソケットから抜く**

補足

- **充電にかかる時間は**
  約120分です。時間は703Nの電源をOFFにして充電した場合の目安です。電源をONにしたまま充電すると、充電時間は長くかかります。また、周囲の温度によっても変わります。

- **シガーライター充電器をお使いになる場合は**
  シガーライター充電器の操作方法等については、シガーライター充電器の取扱説明書を参照してください。充電するときは、703Nを固定させるため、車載ホルダーを利用されることをおすすめします。

注意

- **炎天下で高温になった自動車内では充電しないでください。**
- **このシガーライター充電器はマイナスアース車専用(12V/24V両用)です。**

電源を入れる/切る

■ 電源を入れる

1 **703Nを開く**

2 **PWRを2秒以上押す**

この画面を「待受画面」といいます。

補足

- **お買い上げ後、初めて703Nの電源を入れたときは**
  電源を入れたあと MENU、◯、◯、⊖(✉)、◉、⊖(◯)、📷、サイドボタンの▯のいずれかを押すと、ネットワーク自動調整の確認画面が表示されます。ネットワーク情報を取得する操作をしてください(☞「Vodafone live!」の「Vodafone live!をご利用になる前に」)。
- **PIN1コード認証を設定している場合は**
  電源を入れるたびにPIN1コードを入力する必要があります(☞「セキュリティ」の「PINコード設定」)。

注意

- **703Nを開くときは両手で持って軽く開いてください。力を入れすぎると、破損の原因となります。**

■ 電源を切る

1 **PWRを2秒以上押して、メインディスプレイを消灯させる**

日付・時刻の設定

日時設定をしないとご利用になれない機能があります。お使いになる前に設定をしてください。

［お買い上げ時］ ■未設定

1 MENUを押し、（設定）→「時計」→「日時設定」の順に選択する

2 年（西暦）、月、日、時刻（24時間制）を入力する

カーソルを移動するには

を押す

3 ●（確定）を押す

補足

- **入力するボタンを押し間違えた場合は**
  を押して間違えた数字にカーソルを合わせ、入力し直します。

▣ 世界標準時との時差を設定するには（ホームエリア設定）

世界標準時（Greenwich Mean Time）との時差を設定できます。

［お買い上げ時］ ■GMT＋9:00（東京やソウルと世界標準時との時差）

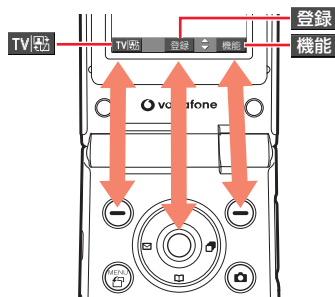
① MENUを押し、（設定）→「時計」→「ホームエリア設定」の順に選択する

② 時差を選択する
時差を反転表示して（詳細）を押すと、該当する時差にある代表的な都市名を確認できます。

機能の呼び出しかた

703Nのさまざまな機能を呼び出す操作について説明します。

■ ソフトキーの使いかた

メインディスプレイの最下段（ソフトキーエリア）には、「登録」、「機能」のような、操作や設定の選択肢が表示されます。これらの内容を実行するには、その表示位置に対応するソフトキーまたはセレクトボタンを押します。

上の例の操作方法

- TVを実行するには→ソフトキー（左）を押す
- 登録を実行するには→セレクトボタンを押す
- 機能を実行するには→ソフトキー（右）を押す

▣ ソフトキーの表記について

この取扱説明書では、ソフトキーの操作方法を次のように表記します。

■ メインメニューから機能を呼び出す

STEP 1 メインメニューを表示して大項目を選択する

STEP 2 中項目、小項目を選択する

■ STEP1　メインメニューを表示して大項目を選択する

機能の呼び出しは、待受画面でを押すと表示されるメインメニュー画面から開始します。

メインメニューには9つの大項目があり、目的の大項目を反転表示して（選択）を押すと、それぞれの項目内のメニュー（中項目）が表示されます。

待受画面

メインメニュー

メインメニューの大項目	選択すると…
Vアプリ	ライブラリからVアプリを選択して楽しんだり、Vアプリの設定を変更したりできます。
Vodafone live!	ボーダフォンウェブやインターネットへの接続ができます。
メディアプレイヤー	静止画や動画、メロディを再生できます。
メール	メールの作成や送受信メールの確認などができます。
カメラ	モードを選択して静止画や動画を撮影したり、保存してある画像の再生や編集ができます。
データフォルダ	7つの種別フォルダが表示され、保存されているファイルを確認したり利用したりできます。
ツール	スケジュールや簡易電卓、バーコードリーダーなどの便利な機能を起動できます。
電話帳	電話帳メニューが表示され、登録や検索、各種の設定などができます。
設定	703Nを使い勝手に合わせてカスタマイズできるさまざまな設定メニューを選択できます。

■ STEP2　中項目、小項目を選択する

表示された項目内のメニューから、目的の中項目、小項目の順に選択します。

〈例〉設定メニューから「音関連設定」を選択して、「着信音選択」を選択する場合

（「音関連設定」を反転表示）→●（選択）

（「着信音選択」を反転表示）→●（選択）

補足

- **メニュー操作を終了するには**
  PWRを押します。メニュー操作を終了し、待受画面に戻ります。ただし、複数の機能を同時に使っていた場合は、起動中のほかの機能の画面が表示されます。

- **メニュー操作を途中でやめるには**
  PWRを押します。設定中の内容を破棄して待受画面やもとの画面に戻ります。ただし、メニューによっては内容を破棄するかどうかのメッセージが表示されます。このとき、CLEAR BACKを押すと、メッセージ表示前の画面に戻ります。

■ メニュー操作の表記について

STEP1からSTEP2のように操作してメニュー項目を次々に選択する操作を、この取扱説明書では次のように表記しています。

1 MENUを押し、(設定)→「音関連設定」→「着信音選択」の順に選択する

また、メニュー項目や設定項目の選択画面でカーソル（「　」や画像ファイルを囲む枠など）を目的の項目に移動させることを、この取扱説明書では「反転表示する」と表記します。

■ 番号を入力して項目を選択する操作について

メニュー項目画面や一覧画面に「1」「2」などの項目番号が表示されている場合は、この数字のダイヤルボタンを押すことにより、すばやく項目を選択できます。

■ 機能メニューの使いかた

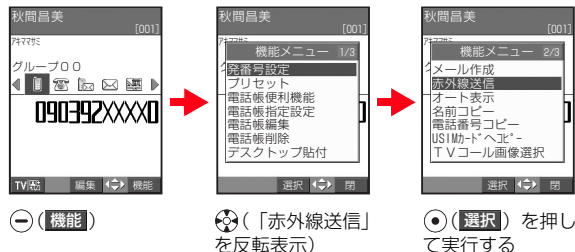
メインディスプレイのソフトキーエリアに「機能」が表示されているときに右のを押すと、機能メニューが表示されます。機能メニューはさまざまな操作にすばやく移行できる便利なメニューです。

- 機能メニューを実行するには、目的の項目を反転表示し、(選択) を押します。
- 項目が複数ページにわたっている場合は（機能メニューの右上に「1/2」のようにページ数が表示される）、を押すとページが切り替わります。

〈例〉電話帳の詳細画面の機能メニューから「赤外線送信」を選択して実行する場合

(機能)

(「赤外線送信」を反転表示)

(選択) を押して実行する

■ 機能メニュー操作の表記について

この取扱説明書では、機能メニューを選択する操作を、次のように表記しています。

機能メニューから「赤外線送信」を選択する

これは次の一連の操作を簡略化して表記したものです。

①(機能) を押す
②を押して「赤外線送信」を反転表示する
③(選択) を押す

■ メニュー表示を変更する（メニュー画面設定）

■ ガイダンスの表示／非表示を切り替える

メインメニュー画面の上部に、反転表示中の大項目についての説明文を表示しないようにする場合は「OFF」に設定します。

［お買い上げ時］ ■ON

1 MENUを押し、(設定）→「ディスプレイ設定」→「メニュー画面設定」→「ガイダンス表示」の順に選択する

2 設定を選択する

■ 設定メニューの表示方法を切り替える

(設定）の小項目の表示方法を変更できます。一覧表示、または1つの画面に機能が1つずつ表示される詳細表示のどちらかに設定できます。

［お買い上げ時］ ■一覧表示

1 MENUを押し、(設定）→「ディスプレイ設定」→「メニュー画面設定」→「メニュー表示」の順に選択する

2 設定を選択する

▣ メールおよびウェブのソフトキー、セレクトボタン、マルチセレクターの操作について

メールおよびウェブの操作では、次のボタンの働きが異なります。

- ◉：セレクトボタン◉の位置には選択肢が表示されません。カーソル位置の項目の選択、またはソフトキー（左）⊖と同じ働きに使用できます。
- ◎：機能メニュー表示時にカーソル位置の項目を選択できます。
- ◎：機能メニュー表示時に1つ前の画面に戻れます。

複数の機能を同時に使う（マルチタスク）

メインメニューに表示される9つの大項目は、次の4つのグループ（タスクグループ）に分類できます。703Nでは、このグループの中からそれぞれ1つずつの機能を、最大3つまで同時に起動できます。

タスクグループ	大項目
Vアプリグループ	Vアプリ
Web／Messagingグループ	Vodafone live!、メール
ツールグループ	メディアプレイヤー、カメラ、データフォルダ、ツール、電話帳
設定グループ	設定

TVコール中や赤外線通信中などは、ほかの機能を起動できません。ほかの機能と同時に利用できない機能や、マルチタスクの組み合わせについては、「付録」の章の「マルチタスクの組み合わせについて」を参照してください。

■ 新たなタスクを起動する

すでに起動している機能がある場合に、2つ目、3つ目のタスクを起動するには、次のように操作します。

1 **(MENU)を押し、メインメニューを表示する**

2 **起動していないグループのメニューを選択し、機能を起動する**

補足

- **同じタスクグループの機能を起動しようとした場合は**
  メッセージが表示され、「YES」を選択してすでに起動しているタスクを終了させないと、新たなタスクを起動できません。

■ タスクを切り替える

タスクメニューを表示させ、目的のタスクを選択します。

1 **(MENU)を1秒以上押し、タスクメニューを表示する**

メインメニューからタスクメニューを表示する場合は
①(MENU)を押し、メインメニューを表示する
②(−)(TASK MENU)を押す

2 **目的のタスクを選択する**

■ タスクを終了する

1 **(MENU)を1秒以上押し、タスクメニューを表示する**

メインメニューからタスクメニューを表示する場合は
①(MENU)を押し、メインメニューを表示する
②(−)(TASK MENU)を押す

2 **終了するタスクを反転表示する**

3 **(PWR)を押し、「YES」を選択する**

補足

- **起動中のタスクを一度に終了させるには**
  次のように操作すると、タスクがすべて終了し、待受画面に戻ります。
  ①(MENU)を1秒以上押し、タスクメニューを表示する
  ②(−)(END ALL)を押し、「YES」を選択する

暗証番号

703Nのご使用にあたっては、「端末暗証番号」と「交換機用暗証番号」、「発着信規制用暗証番号」が必要になります。

■ 端末暗証番号

「9999」またはご契約時にお決めいただいた4～8桁の数字で、703Nの各機能を操作するときに使用します。

- 端末暗証番号は、703Nの操作で変更できます。
- 入力した端末暗証番号は「＿」で表示されます。
- 端末暗証番号を間違えると、番号間違いの確認メッセージが表示されます。

■ 交換機用暗証番号

ご契約時に、お客様が申し込み書に記入された4桁の数字です。

オプションサービスを一般電話から操作する場合や、「ウェブの有料情報」申し込みの際に必要な番号です。

- 交換機用暗証番号は、703Nの操作では変更できません。交換機用暗証番号を変更する場合は、手続きが必要となります。詳しくは、お問い合わせ先（☞P31-48）までご連絡ください。

■ 発着信規制用暗証番号

ご契約時にお決めいただいた4桁の暗証番号で、703Nで発着信規制サービスの設定を行うときに使用します。入力を3回続けて間違えると、発着信規制サービスの設定変更ができなくなります。この場合、発着信規制用暗証番号と交換機用暗証番号の変更が必要となりますので、ご注意ください。詳しくは、お問い合わせ先（☞P31-48）までご連絡ください。

- 発着信規制用暗証番号は、703Nの操作で変更できます。

注意

- **端末暗証番号や交換機用暗証番号、発着信規制用暗証番号はお忘れにならないようにご注意ください。万一お忘れになった場合は所定の手続きが必要になります。詳しくは、お問い合わせ先（☞P31-48）までご連絡ください。**
- **端末暗証番号や交換機用暗証番号、発着信規制用暗証番号は他の人に知られないようにご注意ください。他の人に知られ悪用された場合、その損害について当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。**

基本的な操作のご案内

電話をかける

TVコールのかけかたについては、「TVコール」の章を参照してください。

1 電話番号を全桁（一般電話の場合は市外局番から）入力する

2 電話番号を確認して、［発信］を押す

3 通話が終わったら［PWR］を押す

補足

- **電話番号を押し間違えた場合は**
  ［方向キー］を押してカーソルを移動し、［CLEAR BACK］を押すとカーソル位置の数字が消去されます。
- **電話番号を通知して／通知しないでかけるには**
  ① 操作1を行う
  ② 機能メニューから「発番号設定」を選択し、「通知しない」または「通知する」（設定を解除する場合は「発番号設定消去」）を選択する
  電話番号の前に次の番号を付けてダイヤルすることもできます。
  ・通知するとき：「186」
  ・通知しないとき：「184」
- **相手がお話し中の場合は**
  ［PWR］を押していったん電話を切り、しばらくしてからかけ直してください。
- **通話中にできる操作は**
  受話音量調節、相手の声の録音、保留などの操作については「通話中の操作」を参照してください。
- **発信中／通話中に703Nを閉じると**
  発信または通話が終了します。703Nを閉じたときの動作は、クローズ動作設定で変更できます。

■ 国際電話をかけるには

国際電話をご利用になるにはお申し込みが必要です。お問い合わせ先（☞P31-48）までご連絡ください。

国際電話をかけるときは次のように操作します。

① ボーダフォンの国際電話識別番号「0046010」、国番号、先頭の「0」を除いた電話番号※の順に入力する
② 電話番号を確認して、［発信］を押す

国際電話識別番号の代わりに、待受画面で［0］を1秒以上押して「+」を入力しても、同様に国際電話をかけられます。

お買い上げ時にプリセットに登録されている国際電話識別番号を利用する場合は、次のように操作します。

① 国番号、先頭の「0」を除いた電話番号※の順に入力する
② 機能メニューから「プリセット」を選択し、「国際発信」を選択する
③ 電話番号を確認して、［発信］を押す

※ イタリアの一般電話にかける場合には、電話番号の先頭の「0」を付けてください。

▣ 電話番号を入力した画面の機能メニューについて

機能メニューから、次の操作ができます。

機能メニュー	内　容
発番号設定	発信するとき相手に電話番号を通知するかどうかを選択します。
プリセット	発信するときに付加したいプリセットを一覧から選択します。
電話帳登録	入力した電話番号を電話帳に登録します（☞「電話帳」の章）。
メール作成	メールの作成画面が表示されます（☞「メール送信」の章）。
TVコール画像選択	TVコールをかけるときの操作です。相手に送信する画像を選択します。

履歴から電話をかける

■ 以前かけた電話番号にかける（リダイヤル）

1 [発信]または[◯◀]を押す

メニューを使って操作する場合は

[MENU]を押し、[電話帳アイコン]（電話帳）→「通話履歴」の順に選択する

2 一覧画面でかけたい電話番号または名前を反転表示して、[発信]を押す

詳細を確認してからかける場合は

リダイヤルのデータを選択し、詳細画面を表示してから[発信]を押す

一覧画面　　詳細画面

補足

- **リダイヤルに記憶される内容は**
  音声電話、TVコール、パケット通信、64Kデータ通信の発信記録のうち、最新の30件分が記憶されています。
- **同じ番号に2回以上かけた場合は**
  最新の日時データだけが記憶されます。
- **相手の電話番号が電話帳に登録されている場合は**
  一覧には名前が表示されます。電話番号を確認するには、選択して詳細画面を表示します。

● **リダイヤルのデータを削除するには**
1件またはすべて削除する場合は、詳細画面の機能メニューから「1件削除」または「全件削除」を選択し、「YES」を選択します。
複数のデータを選択して削除する場合は次のように操作します。
①機能メニューから「選択削除」を選択する
②削除する項目を選択し、⊖(完了)を押す
③「YES」を選択する

● **リダイヤルのデータが1件もない場合は**
操作1で着信履歴の一覧画面が表示されます。

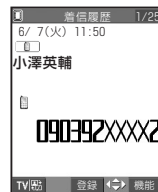
■ かけてきた相手にかけ直す(着信履歴)

1 または を押す

2 ⊖(着歴)を押す

3 一覧画面でかけたい電話番号または名前を反転表示して、 を押す

詳細を確認してからかける場合は
着信履歴のデータを選択し、詳細画面を表示してから を押す

一覧画面

詳細画面

補足

● **着信履歴に記憶される内容は**
音声電話およびTVコール(不在着信、簡易留守録で応答した着信を含む)の着信記録と、64Kデータ通信の着信記録が、それぞれ最新の30件分記憶されています。発信者番号通知がなかった場合も、「公衆電話」、「非通知設定」などの非通知理由と、かかってきた日付や時刻などが表示されます。

● **相手の電話番号が電話帳に登録されている場合は**
一覧には名前が表示されます。電話番号を確認するには、選択して詳細画面を表示します。

● **着信履歴のデータを削除するには**
1件またはすべて削除する場合は、詳細画面の機能メニューから「1件削除」または「全件削除」を選択し、「YES」を選択します。
複数のデータを選択して削除する場合は次のように操作します。
①機能メニューから「選択削除」を選択する
②削除する項目を選択し、⊖(完了)を押す
③「YES」を選択する

- **不在着信の呼び出し時間を確認するには**
  詳細画面には、呼び出しした秒数が表示されます。機能メニューから「呼出時間表示」を選択すると、不在着信の電話番号と呼び出しした秒数が一覧表示され、「ワン切り」の可能性を判断するのに便利です。

- **リダイヤルのデータが1件もない場合は**
  操作１で着信履歴の一覧画面が表示されるので、操作２は不要です。

■ メールを送受信した相手にかける（送信／受信アドレス履歴）

送信アドレス履歴、受信アドレス履歴は、送受信したメールの記録です。相手のアドレスが電話番号と一緒に電話帳に登録されている場合は、この履歴を使って電話をかけることができます。電話帳に電話番号が複数登録されている場合、１件目の電話番号に発信します。

1 を押し、「送信／受信アドレス履歴」を選択する

メニューを使って操作する場合は

を押し、（電話帳）→「送信／受信アドレス履歴」の順に選択する

受信アドレス履歴を表示する場合は

送信アドレス履歴の一覧画面で（受アド）を押す

2 かけたい相手を反転表示して、を押す

電話番号を通知するかどうかを選択してかける場合は

①一覧画面でかけたい相手を選択する
②機能メニューから「電話発信」を選択し、発信のしかたを選択する
③「発番号通知しない」または「発番号通知する」を選択する

補足

- **同じアドレスとの間で2回以上送信または受信した場合は**
  最新の日時データだけが記憶されます。

- **送信／受信アドレス履歴のデータを削除するには**
  １件またはすべて削除する場合は、詳細画面の機能メニューから「1件削除」または「全件削除」を選択し、「YES」を選択します。
  複数のデータを選択して削除する場合は次のように操作します。
  ①機能メニューから「選択削除」を選択する
  ②削除する項目を選択し、（完了）を押す
  ③「YES」を選択する

- **送信アドレス履歴が1件もない場合は**
  操作1で受信アドレス履歴の一覧画面が表示されます。

▣ リダイヤルや着信履歴、送信アドレス履歴、受信アドレス履歴に表示されるアイコンについて

通信の種類や、着信時に応答したかどうかなどによって、異なるアイコンが表示されます。

- 発信／着信を示すアイコン
  - : かけた、またはかかってきた音声電話
  - : かけた、またはかかってきたTVコール
  - : 発信したパケット通信
  - : 発信、または着信した64Kデータ通信
- 不在着信を示すアイコン
  - : 簡易留守録で応答した音声電話またはTVコール
  - : かかってきたときに出なかった音声電話
  - : かかってきたときに出なかった音声電話（未確認のもの）
  - : かかってきたときに出なかったTVコール
  - : かかってきたときに出なかったTVコール（未確認のもの）
  - : 着信時に受け取れなかった64Kデータ通信
  - : 着信時に受け取れなかった64Kデータ通信（未確認のもの）
  - : 着信時に出なかった64Kデータ通信
  - : 着信時に出なかった64Kデータ通信（未確認のもの）
- 着信拒否を示すアイコン
  - : 着信拒否した音声電話
  - : 着信拒否した音声電話（未確認のもの）
  - : 着信拒否したTVコール
  - : 着信拒否したTVコール（未確認のもの）
- 送信／受信を示すアイコン
  - : 送信、送信失敗、または受信したMMS
  - : 送信、または受信したSMS
  - : 送信に失敗したSMS

■ 履歴の機能メニューについて

リダイヤルや着信履歴、送信アドレス履歴、受信アドレス履歴の詳細画面から、機能メニューを使ったさまざまな操作ができます。項目は、表示中の詳細画面の種類によって異なります。

機能メニュー	内　容
発番号設定※1	発信するときに相手に電話番号を通知するかどうかを選択します。
プリセット※1	発信するときに付加したいプリセットを一覧から選択します。
電話発信※2	発信のしかたを選択して音声電話またはTVコールをかけます。
電話帳登録	履歴に記憶されている電話番号やE-mailアドレスを電話帳に登録します（☞「電話帳」の章）。
デスクトップ貼付	待受画面にデスクトップアイコンを貼り付けます。電話番号のデスクトップアイコンを選択すると、またはー（TV）を押すだけで音声電話、TVコールがかけられます。E-mailアドレスのデスクトップを選択すると、メールの作成画面が表示されます。
1件削除	詳細画面を表示中の履歴を1件削除します。
選択削除	複数の履歴を選択して削除できます。
全件削除	表示中の履歴をまとめて削除します。
メール作成	メールの作成画面が表示されます（☞「メール送信」の章）。
TVコール画像選択※1	TVコールをかけるときの操作です。相手に送信する画像を選択します。

機能メニュー	内　容
拒否電話リスト登録解除※1	端末暗証番号を入力すると、着信を拒否する電話番号として登録（登録済みの場合は登録解除）されます（☞「セキュリティ」の「電話の発着信制限」）。
呼出時間表示※3	着信時に呼び出しされた秒数が表示されます。

※1　リダイヤル、着信履歴でのみ表示されます。
※2　送信アドレス履歴、受信アドレス履歴でのみ表示されます。
※3　着信履歴でのみ表示されます。

電話を受ける（音声電話着信）

1　電話がかかってきたら、[発信キー]または[●]（[通話]）を押して電話を受ける

2　通話が終わったら[PWR]を押す

補足

- **エニーキーアンサーをご利用の場合は**
[0]～[9]、[*]、[十字キー]、[−]（左）、[CLEAR BACK]、[カメラ]、サイドボタンの[▲]のいずれかのボタンを押しても電話を受けられます（☞下記「■着信アンサー設定について」）。

■ **音声電話がかかってきたときの表示について**

相手が電話番号を通知してかけてきたときは、電話番号が表示されます。電話番号が電話帳に登録されている場合は、登録されている名前が表示されます。
相手が電話番号を通知してこなかった場合は、非通知の理由（「非通知設定」、「公衆電話」、「通知不可能」）が表示されます。

■ **着信アンサー設定について**

着信アンサー設定を変更して、着信中に[0]～[9]、[*]、[十字キー]、[−]（左）、[CLEAR BACK]、[カメラ]、サイドボタンの[▲]のいずれかのボタンを押すと着信音を消去できる「クイックサイレント」や、[発信キー]または[●]（[通話]）でしか電話を受けられない「OFF」に設定できます。

［お買い上げ時］ ■エニーキーアンサー

①[MENU]を押し、[設定アイコン]（設定）→「音関連設定」→「着信アンサー設定」の順に選択する
②設定を選択する

着信アンサー設定が「クイックサイレント」のときにマナーモード（☞「マナーモード」の章）を設定した場合は、「エニーキーアンサー」のときと同様にエニーキーの操作で電話を受けられます。

2

基本的な操作のご案内

電話に出られないとき

■ 着信を保留にする（応答保留）

すぐに出られないことを伝えるアナウンスを流し、しばらく待っていただくことができます。

1 着信中に[PWR]を押す

2 電話に出られる状態になったら、[通話]または●（通話）を押す

補足

- **応答保留中に電話を切るには**
  [PWR]を押します。

注意

- **応答保留中でも、相手に通話料金がかかります。**

■ メッセージを録音する（簡易留守録）

電話がかかってきたときに簡易留守録を「ON」にし、同時にマナーモード（☞「マナーモード」の章）を設定できます。簡易留守録では、相手のメッセージを約20秒間録音できます。

1 着信中に[#]または[▼]を押す

補足

- **録音されたメッセージを聞くには**
  メッセージの再生や消去、簡易留守録の設定変更などの操作については、「その他の機能」の章を参照してください。

注意

- **用件がすでに５件録音されていると、マナーモードだけが設定され、簡易留守録は起動しません。**

▣ 電話に出られないときの便利な機能について

電話に出られない状況のときは、あらかじめ簡易留守録（☞「その他の機能」の章）を「ON」にしておくと便利です。自動的に簡易留守録が応答し、用件を最大5件録音します。

オプションサービスの転送電話または留守番電話サービスをご利用になると、電話に出られないときに指定した電話番号に転送したり、留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりできます。詳しくは「オプションサービス」の章を参照してください。

着信を拒否して電話を切る

着信中の電話に応答せず、強制的に切ります。

1 着信中に機能メニューから「着信拒否」を選択する

迷惑電話を防止する機能

703Nには、いたずら電話や「ワン切り」などの迷惑電話を防止するさまざまな機能があります。

機能項目	内　容
呼出時間表示設定	設定した時間が経過するまで着信音が鳴らないように設定できます。また、設定した時間に満たない着信を着信履歴に表示しないように設定できます。「ワン切り」着信に効果的です（☞「音の設定」の「着信設定」）。
電話帳指定設定	電話帳に登録した電話番号に着信の制限を設定することにより、迷惑電話を防止できます。発信の制限もできます（☞「セキュリティ」の「電話の発着信制限」）。
登録外着信拒否	本体およびUSIMカードの電話帳に登録されていない電話番号からの着信を拒否できます（☞「セキュリティ」の「電話の発着信制限」）。
非通知着信設定	番号通知のない着信を拒否できます（☞「セキュリティ」の「電話の発着信制限」）。
拒否電話リスト	拒否電話リストに登録した電話番号からの着信を拒否します（☞「セキュリティ」の「電話の発着信制限」）。

補足

- **相反する機能が重複して設定されていると**
  1つの電話番号に電話帳指定設定の「指定着信許可」が設定され、なおかつ拒否電話リストにも登録されている場合は、電話帳指定設定が優先されます。

通話中の操作

■ 相手の声の音量を調節する

1 **通話中に(上)または(下)を1秒以上押す**

2 **受話音量を調節する**

大きくする場合は

(上)またはサイドボタンの▲を押す

小さくする場合は

(下)またはサイドボタンの▼を押す

補足

- **待受画面で受話音量を調節するには**
  ①待受中に(上)または(下)を1秒以上押す
  ②操作2を行う

■ 通話を保留にする

1 **通話中にCLEAR BACKを押す**

2 **通話に戻るときは、●(通話)、☎、または CLEAR BACKを押す**

■ 相手の声を録音する（音声メモ）

相手の声を約20秒間録音できます。録音できるのは待受中の音声メモと合わせて1件のみで、録音するごとに上書きされます。

1 **通話中に▾を1秒以上押す**

録音終了5秒前になると

残り5秒を知らせる「ピッ」という音が鳴ったあと、自動的に録音が終了する

録音を途中でやめる場合は

●(停止) またはCLEAR BACKを押すか、サイドボタンの▾を1秒以上押す

補足

- **音声メモを再生するには**

①MENUを押し、(ツール)→「メモの再生／消去」の順に選択する
②音声メモを反転表示し、●(再生) を押す

- **音声メモを消去するには**

再生中に⊖(消去) を押し、「YES」を選択します。

■ ハンズフリーに切り替える

1 **通話中に機能メニューから「ハンズフリー ON」を選択する**

ハンズフリーから通常の通話に切り替える場合は

機能メニューから「ハンズフリー OFF」を選択する

複数の通信を同時に行う

703Nでは、複数の通信を同時に行うことが可能です。たとえば次のようなことができます。

利用中の機能	同時にできることの例
音声電話中に…	ウェブを利用する MMSやSMSを送受信する パケット通信をする
TVコール中に…	SMSを受信する
ウェブを利用中に…	音声電話をかける／受ける SMSを受信する
パケット通信中に…	音声電話をかける／受ける SMSを送受信する

■ 通信中に着信があったときの操作

同時に通信できる場合とできない場合があります。

■ ウェブ利用中／パケット通信中の音声電話着信

現在の通信を中断しないで応答できます。通話を終了すると、もとの画面に戻ります。

1 **音声電話がかかってきたら、(☎)または(●)（通話）を押す**

2 **通話が終わったら(☎PWR)を押す**

■ 通信中にほかの通信を使うときの操作

現在の通信を中断しないで、別の回線を使って同時に通信します。

■ 音声電話中のメール送信

1 **通話中に(MENU)を押し、(メール)→「メール作成」の順に選択する**

2 **メールを作成し、送信する**

■ ウェブ利用中／パケット通信中の音声電話発信

1 **ウェブ利用中／パケット通信中に(MENU)を1秒以上押し、「待受画面」を選択する**

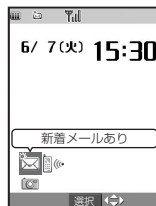
2 **音声電話をかける**

不在着信や新着メールなどの確認

■ 不在着信や新着メールなどを確認する

不在着信や新着メール、簡易留守録のメッセージ録音などがあったときには、待受画面にアイコン（デスクトップアイコン）が表示されます。デスクトップアイコンを選択すると、内容を確認できます。

1 **待受画面で(●)を押す**

2 基本的な操作のご案内

2 デスクトップアイコンを選択し、内容を確認する

新着メールを確認する場合は

「」を選択し、通知一覧からメールを確認する

不在着信を確認する場合は

「」を選択し、不在着信履歴を確認する

簡易留守録を確認する場合は

「」を選択し、メモの再生／消去の一覧からメッセージを確認する

留守番電話サービスのメッセージを確認する場合は

「」を選択し、留守番電話を起動する

未通知アラームを確認する場合は

「」を選択し、通知できなかったアラームの情報を確認する

注意

- **不在着信や新着メールなどのデスクトップアイコンが表示されているときに、待受画面でCLEAR BACKを1秒以上押すと、デスクトップアイコンが消去されます。また、電源を切っても消去されませんが、「」以外のデスクトップアイコンは、電池パックを取り外すと消去されます。**

■ 703Nを折り畳んだままで確認する

不在着信や新着メールがあるかどうかを音やランプでお知らせします。

1 703Nを折り畳んだ状態で▼を押して確認する

不在着信や新着メールがある場合は

電子音「ピピ、ピピ」が鳴る

ランプが、着信イルミネーションの「電話」または「メール」の設定色で約５秒間点灯する（不在着信、新着メールの両方がある場合は、それぞれの色が交互に点灯）

不在着信や新着メールがない場合は

電子音「ピピピ」が鳴る

ランプが「色12」の色で約5秒間点滅する

補足

- **確認機能設定を「ボイス」に設定しているときは**
  電子音が鳴ったあと、「不在着信あり」、「新着メールあり」、「簡易留守録あり」、「留守番電話あり」と音声でお知らせします。

■ 確認結果の通知方法を設定する（確認機能設定）

703Nを折り畳んだ状態で確認操作をしたときの、通知方法を変更できます。電子音の代わりに声でお知らせするようにしたり、音を鳴らさないように設定できます。

［お買い上げ時］ ■電子音

1 MENUを押し、(設定)→「音関連設定」→「確認機能設定」の順に選択する

2 設定を選択する

注意

- Languageを「English」に設定している場合は、「ボイス」を設定できません。

通話時間の確認

前回の通話時間や通算の通話時間を確認できます。また、積算した時間を「0秒」に戻せます（積算リセット）。

■ 通話時間を確認する

1 MENUを押し、(設定)→「時間」→「通話時間」の順に選択する

2 内容を確認する

▣ 通話時間の見かた

表示される項目は、次の内容です。

- 「前回通話時間」：最後に発信または着信したときの通話時間の目安を表示します。
- 「積算通話時間」：前回リセットしたときから現在までの積算時間を表示します。「デジタル通信」は、TVコールと64Kデータ通信の合計を表示します。
- 「積算リセット日時」：前回積算リセットをした日時を表示します。

補足

- 表示できる時間の範囲は
「199時間59分59秒」までです。これを超えると「0秒」からカウントされます。

注意

- 表示される通話時間はあくまで目安であり、実際の時間とは異なることがあります。

■ 積算通話時間をリセットする

1 MENUを押し、(設定)→「時間」→「積算リセット」の順に選択する

2 端末暗証番号を入力する

3 「積算時間リセット」を選択し、「YES」を選択する

ご自分の電話番号と個人データの確認

■ 電話番号やE-mailアドレスを確認する

お客様の電話番号を確認できます。E-mailアドレスを登録している場合は、E-mailアドレスを確認できます。

1 **MENUを押し、0わをん－を押す**

メインメニューを使う操作方法は

MENUを押し、(電話帳)→「ご自分の電話番号」の順に選択する

2 **目的の情報のアイコンを反転表示して、内容を確認する**

■ 個人データを登録／編集する

「ご自分の電話番号」には、最大4件の電話番号や最大3件のE-mailアドレスのほか、住所やメモなども登録できます。

1 **MENUを押し、0わをん－を押す**

2 **－(編集)を押す**

3 **端末暗証番号を入力する**

4 **項目を選択し、設定操作をする**

名前を登録する場合は

①「姓」を選択し、姓を入力する
②フリガナを確認し、必要に応じて変更する
③名を入力する
④フリガナを確認し、必要に応じて変更する

電話番号を登録する場合は

①「☎」を選択し、電話番号(市外局番も)を入力する
②アイコンを選択する
③複数登録する場合は、①～②を繰り返す

E-mailアドレスを登録する場合は

①「✉」を選択し、E-mailアドレスを入力する
②アイコンを選択する
③複数登録する場合は、①～②を繰り返す

郵便番号、住所を登録する場合は

①「 」を選択し、郵便番号を入力する
②住所を入力する

メモを登録する場合は

「 」を選択し、メモを入力する

静止画を登録する場合は

「 」を選択し、データフォルダから選択する

5 **－(完了)を押す**

■ 機能メニューで個人データを操作する

機能メニューを使って次の操作ができます。表示される機能メニューは、反転表示中のアイコンによって異なります。

機能メニュー	内　容
個人データ編集	端末暗証番号を入力すると、個人データを編集できます。
全データ表示	端末暗証番号を入力すると、電話番号やE-mailアドレス以外の項目もすべて確認できます。
名前コピー／電話番号コピー／メールアドレスコピー／住所コピー／メモコピー	名前、電話番号、E-mailアドレス、住所、メモをコピーします。「貼り付け」の操作をすると、何度でも貼り付けられます。
赤外線送信	赤外線通信対応機器にデータを送信します（☞「赤外線通信」の章）。
電話番号削除／メールアドレス削除／住所削除／メモ削除／静止画削除	「YES」を選択すると、電話番号、E-mailアドレス、住所、メモ、静止画が削除されます。
個人データ初期化	端末暗証番号を入力して「YES」を選択すると、お客様の電話番号以外の登録データがすべて削除されます。

緊急電話発信について

緊急電話発信とは、「110」や「119」など、緊急時に使用する電話発信のことです。

緊急番号･･･110、119、118

■ 発信制限と緊急電話発信の可否

703Nで発信の制限などを設定しているとき、緊急電話発信の利用は次のようになります。

設定中の機能	発信の可否
PIN認証（☞P14-2）	発信不可※
PINロック（☞P14-3）	発信不可※
オールロック（☞P14-4）	発信不可
ダイヤル発信制限（☞P14-5）	発信可
指定発信制限（☞P14-6）	発信可
発信規制（☞P17-8）	発信可

※発信動作は行いますが、接続されません。

マナーモード

マナーについて

携帯電話をご使用になるときは、周囲の方への気配りを忘れないようにしてください。

- 劇場や映画館、美術館などでは、周囲の迷惑にならないように電源を切ってください。
- レストランやホテルのロビーなど、静かな場所では、周囲の迷惑にならないように気をつけてください。
- 新幹線や電車の中などでは、車内のアナウンスや掲示に従ってください。
- 街中では、通行の妨げにならない場所で使用してください。

■ マナーを守るための機能

- **マナーモード**
  着信音やボタン確認音を鳴らさないよう、ワンタッチで設定できます。

マナーモードを利用する以外に、個々の機能でマナーを守る設定をすることもできます。

- **簡易留守録**
  着信から応答までの秒数を「0」にして簡易留守録を設定すると、着信音が鳴りません。
- **バイブレータ**
  音声電話やTVコール、メールの着信を振動でお知らせします。
- **着信音量**
  音声電話やTVコール、メールの着信音量を鳴らさないように設定できます。
- **メール鳴動**
  メールの着信音を鳴らす秒数を設定する機能です。まったく鳴らさないように設定することもできます。
- **確認機能設定**
  703Nを折り畳んだ状態で、電子音やボイスアナウンスで不在着信や新着メールを確認する機能です。音を鳴らさずにサブディスプレイの表示だけでお知らせするように設定できます。
- **ボタン確認音**
  ボタンを押したときの音を鳴らさないように設定できます。
- **スケジュール、めざまし時計、予定リスト**
  アラーム音を鳴らさないように設定できます。

カメラのシャッター音やセルフタイマーの開始音およびTVコール自動応答時の効果音は、設定にかかわらず一定の音量で鳴ります。

マナーモードの設定

マナーモードには次の3種類があり、お買い上げ時には「マナー」に設定されています。

設定項目	マナー	スーパーサイレント	オリジナル
簡易留守録	OFF（起動しない）※1	OFF（起動しない）※1	お好みで設定できます。※2
バイブレータ	ON	ON	
電話着信音量	消去	消去	
メール着信音量	消去	消去	
めざまし音量	消去	消去	
メモ確認音	ON	OFF	
ボタン確認音	OFF	OFF	
通話中マイク感度	アップ	アップ	
低電圧アラーム	OFF	OFF	

※1 ONにしたい場合は、簡易留守録（☞「その他の機能」の章）で設定してください。

※2 お買い上げ時は「マナー」と同じ設定内容です。

- マナーモード中は、電池残量確認音、警告音は鳴りません。
- 次の音は、マナーモード設定の「電話着信音量」の設定音量で鳴ります。
  - ・スケジュールまたは予定リストのアラーム音
  - ・不在着信・新着メールの確認音（「ステップ」のときはレベル2）
- 通話中保留音は、マナーモード設定の「電話着信音量」の設定音量を消去に設定しているとき以外、レベル1で鳴ります。

■ マナーモードを設定／解除する

1 待受画面または通話中に[#]を1秒以上押す

補足

- **着信中にマナーモードを設定するには**
  着信中に[#]またはサイドボタンの▯を押します。簡易留守録で応答すると同時にマナーモードが設定されます。
- **マナーモード中のディスプレイには**
  「▯」が表示されます。また、マナーモードの設定内容によって次のアイコンが表示されます。
  - ・▯：着信をバイブレータでお知らせすることを示す
  - ・▯／▯／▯：着信音を消去に設定していることを示す
  - ・▯～▯：簡易留守録の設定中であることを示す（数字は録音件数）

3 マナーモード

■ マナーモードの設定内容を変更する

マナーモードの内容を変更できます。「オリジナル」を選択すると、マナーモード設定中の動作をお好みで設定できます。

［お買い上げ時］ ■マナー

1 MENUを押し、(設定)→「マナーモード」の順に選択する

2 マナーモードの種類を選択する

「マナー」または「スーパーサイレント」を選択した場合は

マナーモードの設定が設定（「設定中」と表示）に切り替わる

「オリジナル」を選択した場合は

操作3に進む

3 項目を選択し、設定操作をする

簡易留守録の起動を設定する場合は

「簡易留守録」を選択し、「ON」（起動する）または「OFF」（起動しない）を選択する

バイブレータを設定する場合は

「バイブレータ」を選択し、「ON」（振動する）または「OFF」（振動しない）を選択する

音声電話やTVコールの着信音量を設定する場合は

「電話着信音量」を選択し、で音量を調節して●（確定）を押す

メールの着信音量を設定する場合は

「メール着信音量」を選択し、で音量を調節して●（確定）を押す

めざまし時計のアラーム音量を設定する場合は

「めざまし音量」を選択し、で音量を調節して●（確定）を押す

簡易留守録や音声メモの再生時の確認音を設定する場合は

「メモ確認音」を選択し、「ON」（鳴る）または「OFF」（鳴らない）を選択する

ボタンを押したときの音を設定する場合は

「ボタン確認音」を選択し、「ON」（鳴る）または「OFF」（鳴らない）を選択する

通話中のマイクの感度を設定する場合は

「通話中マイク感度」を選択し、「標準」または「アップ」を選択する

電池切れを知らせるアラームの鳴動を設定する場合は

「低電圧アラーム」を選択し、「ON」（鳴る）または「OFF」（鳴らない）を選択する

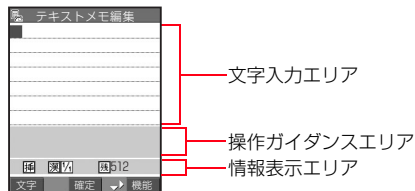
4 ー（完了）を押す

文字の入力方法

文字入力について

漢字、ひらがな、カタカナ（全角／半角）、英数字（全角／半角）、記号（全角／半角）、絵文字、顔文字を入力できます。ただし、入力画面によっては切り替えられる入力モードが制限されます。また、全角入力と半角入力の切り替えやスペースの入力、改行の入力ができない場合があります。

操作の進めかたは、文字入力方式によって異なります。ここでは、お買い上げ時に設定されている「モード1（かな方式）」での入力を中心に説明します。「モード2（2タッチ方式）」や「モード3（T9方式）」での入力については、「文字入力モード」を参照してください。

■ 文字入力画面

文字入力エリア

■：カーソル

操作ガイダンスエリア

▲▼**変換**：Ⓞを押して文字を変換できるときに表示される

☒**固定入力**／☒**固定終了**：モード3（T9方式）で固定入力が利用できるときに表示される

小／大：(☎ ◘)で小文字と大文字を切り替えられるときに表示される

長押**改行**：(☎ ◘)を1秒以上押して改行（↲）を入力できるときに表示される

ﾗｲﾄ 逆順：サイドボタンの▲を押すと、同じボタンに割り当てられた1つ前の読みに戻せるときに表示される

情報表示エリア

2／T9：「モード2（2タッチ方式）」または「モード3（T9方式）」のときに表示される

固：モード3（T9方式）で固定入力に切り替えたときに表示される

挿／上：挿入モードまたは上書きモードのときに表示される

漢／ｶﾅ／ABC／123：現在の入力モードが表示される

区：区点入力モードのときに表示される

1/1／1/2：全角入力、半角入力のどちらの状態かが表示される

a：小文字入力に切り替えているときに表示される

残：入力可能な残りバイト数が表示される

入：入力済みのバイト数が表示される

■ 文字入力／編集の中断について

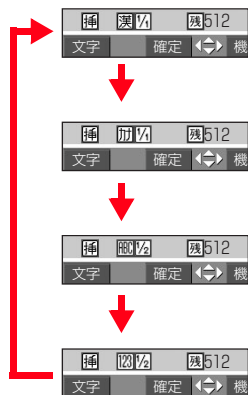
文字の入力中に音声電話やTVコールがかかってきたときは、そのまま応答してください。通話を終了すると、もとの文字入力画面に戻ります。スケジュールなどのアラーム通知が起動した場合も、アラーム通知を終了させるともとの画面に戻ります。

4 文字の入力方法

文字入力中に☎PWRを押した場合は、入力を終了するかどうかを確認するメッセージが表示されます。内容を破棄してよいときは、「YES」を選択します。

■ 入力モード

■ 入力モードの切り替え

⊖（文字）を押すごとに入力モードが切り替わります。

漢字ひらがな入力モード
全角の漢字、ひらがな、カタカナ、記号、数字を入力します。

カナ入力モード※
カタカナ、記号を入力します。

英字入力モード※
英字、記号を入力します。

数字入力モード※
数字、記号を入力します。

※ 機能メニューから半角入力と全角入力を切り替えられます。

■ 全角入力／半角入力の切り替え

カナ入力モード、英字入力モード、数字入力モードのときは、全角入力と半角入力の切り替えができます。

1 機能メニューから「全角切替」または「半角切替」を選択する

■ 小文字入力／大文字入力の切り替え

「abc」のように、小文字を続けて入力する場合は、小文字入力に切り替えると便利です。

1 機能メニューから「小文字切替」または「大文字切替」を選択する

補足

- **個別に小文字／大文字を切り替えるには**
  小文字、大文字を切り替えたい文字に◎を押してカーソルを合わせ、☎を押すごとに小文字と大文字が切り替わります。ただし、カーソルを合わせても「☎小／大」が表示されない場合は、切り替えられません。

■ かな方式の文字の割り当て一覧表

ボタン	漢字ひらがな入力モード	カナ入力モード	英字入力モード	数字入力モード
1 あ	あいうえおぁぃぅぇぉ	アイウエオァィゥェォ	—	1
2 か ABC	かきくけこ	カキクケコ	ABCabc	2
3 さ DEF	さしすせそ	サシスセソ	DEFdef	3
4 た GHI	たちつてとっ	タチツテトッ	GHIghi	4
5 な JKL	なにぬねの	ナニヌネノ	JKLjkl	5
6 は MNO	はひふへほ	ハヒフヘホ	MNOmno	6
7 ま PQRS	まみむめも	マミムメモ	PQRSpqrs	7
8 や TUV	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	TUVtuv	8
9 ら WXYZ	らりるれろ	ラリルレロ	WXYZwxyz	9
0 わを ん ー	わをんーゎ	ワヲンーヮ※1	—	0
＊ http://	— ※2	—	.ne.jp .co.jp .ac.jp www. .com .html http:// https:// vodafone.ne.jp	＊ .ne.jp .co.jp .ac.jp www. .com .html http:// https:// vodafone.ne.jp
# :@/	゛ ゜ 、。・！？		.@/!?(),-_:'~&¥	#.@/!?(),-_:'~&¥

※1 「ヮ」を半角入力することはできません。

※2 ＊http:// を押すと、区点入力モードに切り替わります。

■: 半角でのみ入力できます。

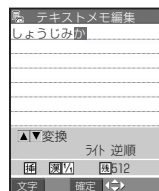
文字の入力方法（かな方式での入力）

モード1（かな方式）で文字を入力する手順を説明します。

■ 漢字／ひらがなを入力する

ひらがなを入力したあと、漢字に変換します。ひらがなのまま確定することもできます。

〈例〉「庄司美夏」と入力する場合

1 （文字）を押して漢字ひらがな入力モードにする

2 文字が割り当てられているボタンを押す

「し」：3を2回
「ょ」：8を3回、
（小文字）を1回
「う」：1を3回
「じ」：3を2回、#を1回
「み」：7を2回
「か」：2を1回

ボタンを押し間違えた場合は

CLEAR BACKを押して文字を消去し、もう一度ボタンを押す

ボタンを押す回数を間違えた場合は

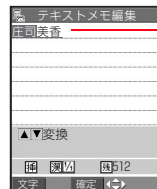
サイドボタンのを押すごとに、同じボタンの1つ前の文字に戻る

続けて同じボタンの文字を入力する場合は

を押してカーソルを右に移動する

ひらがなで確定する場合は

（確定）を押す

3 を押して漢字に変換する

最初の文節の漢字候補が反転表示される

目的の漢字が表示された場合は

（確定）を押す

変換する範囲を変更する場合は

を押して範囲を変更してを押す

4 を押して変換候補を表示する

5 目的の漢字を選択する

6 （確定）を押す

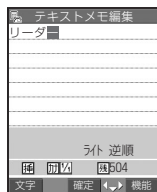
補足

- **目的の漢字に変換されないときには**
  訓読みや音読みを入力して変換すると表示される場合があります。一度に変換できない2文字以上の漢字は、変換する範囲を1文字分に変更して変換してください。
  変換できない漢字は区点コードを使って入力できます。

■ カタカナを入力する

〈例〉「リーダー」と入力する場合

1 ⊖（文字）を押してカナ入力モードにする

2 カタカナを入力する

「リ」：9を2回
「ー」：0を4回
「ダ」：4を1回、#を1回
「ー」：0を4回

ボタンを押し間違えた場合は

CLEAR BACKを押して文字を消去し、もう一度ボタンを押す

ボタンを押す回数を間違えた場合は

サイドボタンの▲を押すごとに、同じボタンの1つ前の文字に戻る

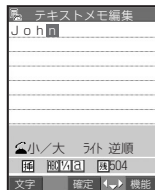
続けて同じボタンの文字を入力する場合は

◎を押してカーソルを右に移動する

■ 英字を入力する

〈例〉「Ｊｏｈｎ」と入力する場合

1 ⊖（文字）を押して英字入力モードにする

2 英字を入力する

機能メニューから
「全角切替」を選択する
「J」：5を1回
機能メニューから
「小文字切替」を選択する
「o」：6を3回
「h」：4を2回
「n」：6を2回

ボタンを押し間違えた場合は

CLEAR BACKを押して文字を消去し、もう一度ボタンを押す

ボタンを押す回数を間違えた場合は

サイドボタンの▲を押すごとに、同じボタンの1つ前の文字に戻る

続けて同じボタンの文字を入力する場合は

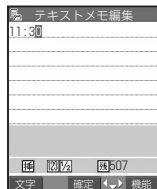
◎を押してカーソルを右に移動する

■ 数字を入力する

〈例〉「11:30」と入力する場合

1 ⊖（文字）を押して数字入力モードにする

2 数字を入力する

「11」:（1 あ）を2回
「:」:（# :@/）を12回
「3」:（3 さ DEF）を1回
「0」:（0 わを ん-）を1回

ボタンを押し間違えた場合は
　CLEAR BACK を押して文字を消去し、もう一度ボタンを押す

続けて同じボタンの文字を入力する場合は
　そのまま同じボタンを押す

■ 記号／絵文字を入力する

入力できる文字については、「付録」の章の「記号／絵文字一覧」を参照してください。

■ 1文字ずつ入力する

1 機能メニューから「記号入力」または「絵文字入力」を選択する

2 記号または絵文字を選択する

補足

- **文字変換で記号を入力するには**
  漢字ひらがな入力モードで「きごう」と入力して変換すると、候補が表示されます。「かっこ」、「さんかく」などの記号名を入力して変換することもできます。

■ 連続入力する

1 機能メニューから「絵文字記号連続入力」を選択する

2 ⊖（絵記）を繰り返し押して候補画面を切り替える

3 記号または絵文字を選択する

4 操作2～3を繰り返し、終了したら CLEAR BACK を押す

補足

- **候補画面の表示順は**
  ⊖（絵記）を押すごとに「絵文字入力」、「全角記号入力」、「特殊記号入力」、「半角記号入力」の順に表示されます。

4 文字の入力方法

■ 顔文字を入力する

入力できる顔文字については、「付録」の章の「顔文字一覧」を参照してください。

1 漢字ひらがな入力モードで「かお」または「かおもじ」と入力する

2 ◎を押して候補を表示し、顔文字を選択する

補足

- **意味から顔文字に変換するには**
  「ありがとう」、「ばんざい」など、顔文字の表す意味を入力して変換します。

■ スペース（空白）を入れる

1 機能メニューから「スペース入力」を選択する

■ 改行する

改行マーク「↲」を入力して文章を改行します。改行マークも1文字として数えられます。

1 機能メニューから「改行入力」を選択するか、☎を1秒以上押す

■ 他の機能のデータを利用して入力する

■ 電話帳のデータを引用する

1 機能メニューから「電話帳引用」を選択する

2 検索方法を選択し、引用する電話帳を検索する

3 引用する項目を選択し、⊖（完了）を押す

■「ご自分の電話番号」のデータを引用する

1 機能メニューから「個人データ引用」を選択する

2 端末暗証番号を入力する

3 引用する項目を選択し、⊖（完了）を押す

■ ウェブメモを引用する

1 機能メニューから「ウェブメモ」を選択する

2 引用するウェブメモを選択する

補足

- **全文を確認するには**
  選択する前にウェブメモの全文を確認したいときは、⊖（全文）を押します。CLEAR BACKを押すと一覧に戻ります。

■ バーコード情報を読み取って入力する

文字入力画面の機能メニューからバーコードリーダーを起動し、読み取ったバーコード情報を入力します。

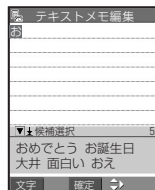
1 **機能メニューから「バーコードリーダー」を選択する**

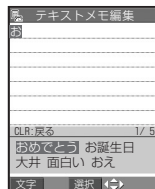
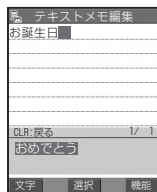
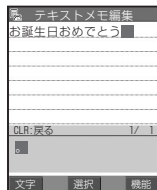
2 **バーコードを認識範囲に表示させ、◉（撮影）を押して撮影する**

3 **◉（確定）を押す**

■ ワード予測機能を利用して入力する

過去に入力した文字をもとに表示される予測候補と履歴候補を使って入力します。ワード予測機能は、モード1（かな方式）の「漢字ひらがな入力モード」またはモード2（2タッチ方式）の「全角入力モード」のときのみ利用できます。

1 **文字が割り当てられているボタンを押して読みを入力する**

操作ガイダンスエリアに予測候補が表示される

2 **目的の候補が表示されたら、◎を1秒以上押して操作ガイダンスエリアにカーソルを移動する**

3 目的の予測候補を選択する

4 そのあとに続く履歴候補が表示されたら、目的の履歴候補を選択する

補足

- **予測候補とは**
  過去に入力した文字をもとに予測された文字です。読みの入力中に操作ガイダンスエリアに次々に表示されます。
- **履歴候補とは**
  過去の入力データをもとに、確定された文字に続く内容として予測された文字です。文字を確定したときに表示されます。
- **ワード予測機能が不要な場合は**
  候補が表示されないように、機能を「OFF」にできます。「文字入力方式を設定する」を参照してください。

■ 区点コードで入力する

4桁の区点コード（☞「付録」の「区点コード一覧表」）を使って文字を入力します。区点入力モードへの切り替えは、モード1（かな方式）およびモード2（2タッチ方式）では＊http://を押すか機能メニューを使います。モード3（T9方式）のときは機能メニューでのみ切り替えができます。

1 ＊http://を押して区点入力モードに切り替える

機能メニューを使う場合は

機能メニューから「区点入力」を選択する

2 区点コードを入力する

4 文字の入力方法

文字入力モード

703Nでは、文字入力方式を次の3つの中から選択できます。

文字入力方式	入力方法	「おはよう」と入力する場合
モード1（かな方式）	ボタンを繰り返し押して、そのボタンに割り当てられている文字を入力します。	1を5回、6を1回、8を3回、1を3回押します。
モード2（2タッチ方式）	ポケットベルに文字を送信するときのように、2桁の数字を押して入力します。	1 5、6 1、8 5、1 3と押します。
モード3（T9方式）	入力したい文字が割り当てられているボタンを1回押すと読み候補が表示され、その中の候補を選んで文字を入力します。	1 6 8 1と押し、読み候補から「おはよう」を選択します。

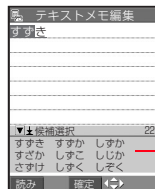
ここでは、T9方式と2タッチ方式での入力について説明します。文字入力方式の切り替えかたについては、「文字入力方式を設定する」を参照してください。

■ T9方式での文字入力

モード3（T9方式）は、「漢字ひらがな入力モード」と「カナ入力モード」のときに利用できます。

■ 文字を入力する

〈例〉「静子」と入力する場合

1 （文字）を押して漢字ひらがな入力モードにする

2 文字が割り当てられているボタンを押す

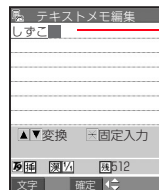
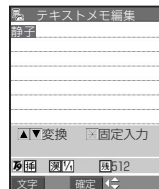
ボタンを押し間違えた場合は

CLEAR BACKを押して文字を消去し、もう一度ボタンを押す

全体の読み候補が表示されない場合は

を押して入力した文字の範囲を短くする

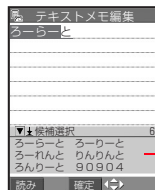
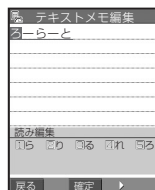
4 文字の入力方法

3 ○を押して読み候補のエリアにカーソルを移動し、候補を選択する

4 ○を押して漢字に変換する

5 ●（確定）を押す

■ 読み候補を編集する

〈例〉「ろーらーと」を「らんらんと」に編集する場合

1 ━（文字）を押して漢字ひらがな入力モードにする

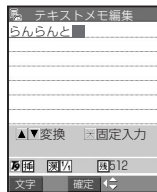
2 文字が割り当てられているボタンを押す

3 ━（読み）を押す

カーソルが先頭に移動し、読み候補のエリアに「ら行」の文字が表示される

4 入力する文字をダイヤルボタンで指定する

カーソル位置の文字を編集する必要がない場合は

○を押してカーソルを移動する

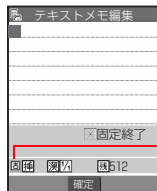
途中で読みの編集を終了する場合は
(戻る) を押す

5 (確定) を押す

読み候補が確定され、を押すと変換に移行できる

■ 固定入力で読みを入力する

固定入力に切り替えると、目的の読みを直接入力できます。

〈例〉「はためく」と入力する場合

1 を押して固定入力に切り替える

2 文字が割り当てられているボタンを押す

3 入力する文字をダイヤルボタンで指定する

4 同様に操作して読みを入力する

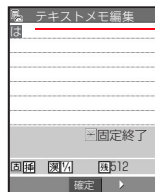
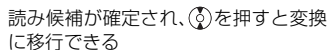
5 ＊http://を押して固定入力を終了し、●（確定）を押す

読み候補が確定され、◎を押すと変換に移行できる

■ T9方式の文字割り当て一覧表

ボタン	漢字ひらがな入力モード	カナ入力モード（全角／半角）
1 あ	あいうえおぁぃぅぇぉ 1	アイウエオァィゥェォ 1
2 か ABC	かきくけこ2	カキクケコ2
3 さ DEF	さしすせそ3	サシスセソ3
4 た GHI	たちつてとっ 4	タチツテトッ 4
5 な JKL	なにぬねの5	ナニヌネノ5
6 は MNO	はひふへほ6	ハヒフヘホ6
7 ま PQRS	まみむめも7	マミムメモ7
8 や TUV	やゆよゃゅょ 8	ヤユヨャュョ 8
9 ら WXYZ	らりるれろ9	ラリルレロ9
0 わを ん－	わをんゎー 0	ワヲンヮ※ー 0
# ：@／	読み入力中：濁点、半濁点が付いた変換候補の切り替え 確定後：゛ ゜ 、。・！ ？	

※ 「ヮ」を半角入力することはできません。

■ 2タッチ方式での文字入力

2桁の数字を押して、数字に対応する文字を入力します。モード2（2タッチ方式）には、「全角入力モード」と「半角入力モード」があります。

■ 文字を入力する

〈例〉「はる」と入力する場合

1 ―（文字）を押して全角入力モードにする

機能メニューを使って全角入力モード／半角入力モードを切り替える場合は

―（文字）を押して切り替える代わりに、機能メニューから「全角切替」または「半角切替」を選択する

2 文字に対応する2桁の数字をボタンで押す

6 は MNO 1 あ、9 ら WXYZ 3 さ DEF と押す

補足

- **小文字入力／大文字入力を切り替えるには**
  8 や TUV 0 わを ん－ を押すごとに切り替わります。機能メニューから「小文字切替」または「大文字切替」を選択しても切り替えられます。

■ 2タッチ方式の文字割り当て一覧表

●全角入力モード

ボタン		2桁目									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1桁目	1	あ ぁ	い ぃ	う ぅ	え ぇ	お ぉ	A a	B b	C c	D d	E e
	2	か	き	く	け	こ	F f	G g	H h	I i	J j
	3	さ	し	す	せ	そ	K k	L l	M m	N n	O o
	4	た	ち	つ っ	て	と	P p	Q q	R r	S s	T t
	5	な	に	ぬ	ね	の	U u	V v	W w	X x	Y y
	6	は	ひ	ふ	へ	ほ	Z z	？	！	－	／
	7	ま	み	む	め	も	￥	＆			
	8	や ゃ	（	ゆ ゅ	）	よ ょ	＊	＃			※ ※
	9	ら	り	る	れ	ろ	1	2	3	4	5
	0	わ ゎ	を	ん	゛ 、	゜ 。	6	7	8	9	0

※：大文字入力（上段）と小文字入力（下段）の切り替え

■：スペース

●半角入力モード

ボタン		2桁目									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1桁目	1	ｱ ｧ	ｲ ｨ	ｳ ｩ	ｴ ｪ	ｵ ｫ	A a	B b	C c	D d	E e
	2	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ	F f	G g	H h	I i	J j
	3	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ	K k	L l	M m	N n	O o
	4	ﾀ	ﾁ	ﾂ ｯ	ﾃ	ﾄ	P p	Q q	R r	S s	T t
	5	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	U u	V v	W w	X x	Y y
	6	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ	Z z	?	!	-	/
	7	ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	¥	&			
	8	ﾔ ｬ	(	ﾕ ｭ	)	ﾖ ｮ	*	#			※ ※
	9	ﾗ @	ﾘ /	ﾙ -	ﾚ _	ﾛ :	1 .ne.jp	2 .co.jp	3 .ac.jp	4 vodafone.ne.jp	5
	0	ﾜ ~	ｦ '	ﾝ	ﾞ ,	ﾟ .	6 www.	7 .com	8 .html	9 http://	0 https://

※：大文字入力（上段）と小文字入力（下段）の切り替え

■：スペース

4

文字の入力方法

文字入力方式を設定する

■ 文字入力方式を切り替える

3つの文字入力方式の中から使用したい方式を2つ以上選んだあと、文字入力画面を表示したときに優先的に使用する方式を設定します。

［お買い上げ時］ ■使用する文字入力方式：モード1～3（すべて）
優先入力方式：モード1

1 **MENUを押し、(設定)→「その他」→「文字入力方式」→「入力モード」の順に選択する**

2 **使用する文字入力方式を2つ以上選択し、⊖（完了）を押す**

3 **優先的に使用する文字入力方式を選択する**

補足

- **文字の入力中に一時的に切り替えるには**
  次の2通りの方法があります。
  ・文字入力画面の機能メニューから「入力モード切替」を選択し、方式を選択する
  ・文字入力画面で⊖（文字）を1秒以上押すごとに、文字入力方式が切り替わる

■ ワード予測の利用を設定する

ワード予測機能を利用しない場合は、「OFF」に設定します。

［お買い上げ時］ ■ON

1 **MENUを押し、(設定)→「その他」→「文字入力方式」→「ワード予測」の順に選択する**

2 **設定を選択する**

補足

- **文字の入力中に一時的に切り替えるには**
  文字入力画面の機能メニューから「ワード予測ON」または「ワード予測OFF」を選択します。

■ ガイダンスの表示を設定する

文字入力画面に操作ガイダンスを表示しないようにして、文字入力エリアを広くしたい場合は「OFF」に設定します。

［お買い上げ時］ ■ON

1 **MENUを押し、(設定)→「その他」→「文字入力方式」→「ガイダンス表示」の順に選択する**

2 **設定を選択する**

■ 学習履歴データを消去する

文字入力についての学習履歴データを消去できます。モード3（T9方式）とワード予測で蓄積したデータと、かな漢字変換で蓄積したデータとを別々に消去できます。

1 MENUを押し、(設定)→「その他」→「文字入力方式」→「学習履歴クリア」の順に選択する

2 端末暗証番号を入力する

3 消去する項目を選択する

文字の変換機能（ユーザ辞書）

よく使う単語を簡単な「読み」で登録しておくと、簡単に変換できます。たとえば、「かい」と入力しただけで「(株)××海外営業部」に変換されるようにできます。

■ 単語を新規登録する

単語（全角10文字、半角20文字まで）は100件まで登録できます。

1 MENUを押し、(ツール)→「ユーザ辞書」の順に選択する

2 「<新規登録>」を選択する

3 単語を入力する

4 読みを入力する

補足

- **登録できる「読み」は**
  ひらがなで10文字までです（ただし、「う゛」はカタカナの「ヴ」に変換されます）。
- **登録内容を確認するには**
  ① 操作1を行う
  ② 単語を選択し、内容を確認する

■ 登録内容を編集／削除する

1 MENUを押し、(ツール)→「ユーザ辞書」の順に選択する

2 単語を反転表示し、編集または削除の操作をする

編集する場合は

(編集)を押し、必要に応じて単語や読みを編集する

1件または全件削除する場合は

機能メニューから「1件削除」または「全件削除」を選択し、「YES」を選択する

複数の単語を選択して削除する場合は

①機能メニューから「選択削除」を選択する
②削除する項目を選択する
③(完了) を押し、「YES」を選択する

文字の編集

■ 文字を修正する

■ 文字を挿入する

1 **挿入モードでを押し、挿入する位置の1つあとの文字にカーソルを移動する**

2 **文字を入力する**

■ 文字を上書きする

1 **上書きモードでを押し、上書きする文字にカーソルを合わせる**

2 **文字を入力する**

補足

- **挿入モード／上書きモードを切り替えるには**
  機能メニューから「挿入モード」または「上書きモード」を選択します。

■ 文字を消去する

1 **消去する文字にでカーソルを合わせ、CLEAR BACKを押す**

カーソル上に文字がない場合は

カーソルの左側の1文字が消去される

CLEAR BACKを1秒以上押すと

カーソル以降の文字がすべて消去される

カーソル以降に文字がない場合にCLEAR BACKを1秒以上押すと

すべての文字が消去される

■ コピー／切り取り／貼り付けをする

■ 文字をコピー／切り取りする

範囲を指定してコピーまたは切り取りをします。この文字は、文字入力画面の別の位置やほかの文字入力画面に繰り返し貼り付けることができます。

4 文字の入力方法

1 機能メニューから「コピー」または「切り取り」を選択する

2 コピーまたは切り取りをする先頭の文字にでカーソルを合わせ、(始点)を押す

3 コピーまたは切り取りをする最後の文字にでカーソルを合わせ、(終点)を押す

■ 文字を貼り付ける

1 文字を貼り付ける位置にでカーソルを移動する

2 機能メニューから「貼り付け」を選択する

■ カーソルを文頭／文末に移動する

1 機能メニューから「JUMP」を選択する

2 項目を選択する

電話帳

電話帳の登録

■ 電話帳に登録できる項目

703N本体には電話番号とメールアドレスをそれぞれ最大500件登録できます。USIMカードにも電話番号とメールアドレスを登録できます。USIMカードに登録した電話帳のデータは、USIMカードを差し替えることによってほかのボーダフォン携帯電話でも利用できます。

1件の電話帳に登録できる内容は次のとおりです。

登録項目	登録できる内容	
	703N本体	USIMカード
名前	姓名合わせて全角16文字（半角32文字）まで	全角12文字（半角24文字）まで
フリガナ	姓名合わせて半角32文字まで	全角12文字（半角24文字）まで
グループ	20グループから選択	11グループから選択
電話番号	32桁まで（4件まで）	32桁まで（2件まで）
電話番号アイコン	電話番号ごとに、23種類から選択	―
メールアドレス	半角英数字で128文字まで（3件まで）	半角英数字で50文字まで（1件のみ）
メールアドレスアイコン	E-mailアドレスごとに、4種類から選択	―
郵便番号、住所	郵便番号は半角7文字まで、住所は全角31文字（半角62文字）まで	―
メモ	全角 50 文字（半角100文字）まで	―
静止画	着信時に表示させる静止画1件	―
動画	着信時に表示させる動画1件	―
メモリ番号	001～499	―

補足

- **703N本体とUSIMカードの電話帳の違いは**
  USIMカードの電話帳には、アイコンや画像、メモリ番号など、登録できない項目があります。また、本体の電話帳とは次の点が異なります。
  - 電話帳便利機能を設定できない
  - 電話帳指定設定を利用できない
  - 赤外線送信できない
  - オート表示させる電話番号として設定できない
  - シークレット登録できない
  - vファイルを作成してデータフォルダの「その他ファイル」に保存することができない

- **メモリ番号「000」には**
  あらかじめ留守番電話センターの番号「090-665-17000」が登録されています。
- **登録できる電話帳の件数は**
  最大500件です。ただし、1件の電話帳に電話番号やE-mailアドレスを複数登録した場合は、登録可能な電話帳の件数が少なくなります。
- **電話帳に登録できる静止画と動画の件数は**
  703N本体の電話帳全体で静止画と動画を100件ずつ登録できます。
- **知られたくない内容を登録するときは**
  シークレット登録することにより、秘密を守ることができます（☞「セキュリティ」の「秘密にしたい電話帳／スケジュールの登録」）。

注意

- **大切なデータを失わないために**
  電話帳に登録した電話番号や名前などは、電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、消失または変化してしまうことがあります。また、事故や故障でも同様の可能性があります。大切な電話帳などは、控えをとっておかれることをおすすめします。なお、電話帳が消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 電話帳に登録する

登録先を「本体」、「USIMカード」のどちらかから選択し、必要な項目を登録します。

1 ◎を押し、「電話帳登録」を選択する

メニューを使って操作する場合は

MENUを押し、(電話帳) →「電話帳登録」の順に選択する

2 登録先を選択する

3 姓を入力する

USIMカードに登録する場合は

姓名を入力する

4 フリガナを確認し、必要に応じて変更する

USIMカードに登録する場合は

このあと操作7に進む

5 名を入力する

6 フリガナを確認し、必要に応じて変更する

7 項目を選択し、登録操作をする

グループを登録する場合は

「 」を選択し、グループを選択する

選択しなかった場合は、自動的に「グループ00」に登録される

電話番号を登録する場合は

①「 」を選択し、電話番号（一般電話の場合は市外局番から）を入力する

②アイコンを選択する

③複数登録する場合は、①〜②を繰り返す

E-mailアドレスを登録する場合は

①「 」を選択し、E-mailアドレスを入力する

②アイコンを選択する

③複数登録する場合は、①〜②を繰り返す

郵便番号、住所を登録する場合は

①「 」を選択し、郵便番号を入力する

②住所を入力する

メモを登録する場合は

「 」を選択し、メモを入力する

静止画を登録する場合は

「 」を選択し、データフォルダから選択する

動画を登録する場合は

「 」を選択し、データフォルダから選択する

メモリ番号を登録する場合は

①「 」に表示されているメモリ番号（未登録の一番若い番号）を確認する

②変更が必要な場合は「 」を選択し、入力する

8 ⊖（完了）を押す

補足

- **相手によって着信音や応答メッセージを変えるには**
  電話帳便利機能を利用します。「電話帳登録時の便利な設定」を参照してください。
- **メモリ番号「001」〜「009」に登録すると**
  メモリ番号の下1桁と または⊖（TV ）を押すだけで、音声電話またはTVコールがかけられるツータッチダイヤルを利用できます。
- **グループ分けをわかりやすくするには**
  グループ名を「友達」、「会社」などのわかりやすいグループ名に変更します。「グループの設定」を参照してください。
- **登録／編集中に電話がかかってきたときは**
  そのまま音声電話やTVコールに出られます。通話が終了すると、もとの画面に戻ります。
- **703N本体とUSIMカードとの間で電話帳をコピーするには**
  機能メニューまたはツールメニューの「USIMカード操作」を使ってコピーします（☞「電話帳の利用」）。

5 電話帳

▣ 電話帳に登録した画像を着信中に表示する（電話帳画像着信設定）

電話帳に登録した電話番号から音声電話やTVコールがかかってきたとき、その電話番号に静止画や動画が登録されている場合は、メインディスプレイに登録画像が表示されます。設定を変更して表示されないようにすることもできます。

［お買い上げ時］ ■ON（表示される）

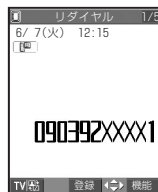
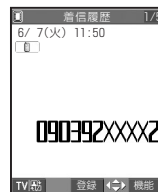
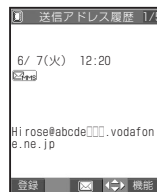
① (MENU)を押し、(設定）→「音関連設定」→「電話帳画像着信設定」の順に選択する
② 設定を選択する

▣ 着信時に表示される画像の優先順位について

電話帳に静止画と動画を両方登録すると動画が優先され、静止画は表示されません。
着信中の画像についての設定が重複している場合、実際に表示される画像の優先順位は次のようになります。

① 電話帳便利機能で着信音に設定されているムービー
② グループ便利機能で着信音に設定されているムービー
③ 着信音選択で設定されているムービー
④ 電話帳に登録されている動画
⑤ 電話帳便利機能で設定されている着信イメージ
⑥ グループ便利機能で設定されている着信イメージ
⑦ 電話帳に登録されている静止画
⑧ 画面表示設定

■ 履歴から登録する

リダイヤル、着信履歴、送信アドレス履歴、受信アドレス履歴に記録されている電話番号やE-mailアドレスを、電話帳に登録できます。

リダイヤルの詳細画面

着信履歴の詳細画面

送信／受信アドレス履歴の詳細画面

■ 新規登録する

1 **リダイヤル、着信履歴、送信アドレス履歴、受信アドレス履歴の詳細画面を表示し、●／━（登録）を押す**

2 **登録先を選択する**

3 **「新規登録」を選択する**

4 **項目を選択し、登録操作をする**

5 **━（完了）を押す**

■ 登録済みの電話帳に追加登録する

電話帳に登録内容を追加します。既存の電話帳を上書きする方法と、既存の電話帳はもとの内容のまま残して別の電話帳として登録する方法があります。追加先の電話帳を検索する操作については、「電話帳の利用」を参照してください。

1 **リダイヤル、着信履歴、送信アドレス履歴、受信アドレス履歴の詳細画面を表示し、●／━（登録）を押す**

2 **登録先を選択する**

3 **項目を選択し、登録先を検索して詳細画面を表示する**

本体の電話帳に電話番号／E-mailアドレスを追加する場合は

①「追加登録」を選択する
②検索方法を選択し、目的の電話帳を検索する

USIMカードの電話帳に電話番号／E-mailアドレスを追加する場合は

①「上書き登録」を選択する
②検索方法を選択し、目的の電話帳を検索する

4 **電話帳の詳細画面で●（選択）を押す**

5 **必要に応じて項目を選択し、登録操作をする**

6 **登録の完了操作をする**

本体の電話帳を上書きする場合は

━（完了）を押し、「YES」を選択する

本体に新しい電話帳として登録する場合は

①━（完了）を押し、「NO」を選択する
②「123」を選択し、新しいメモリ番号を入力する
③━（完了）を押す

USIMカードの電話帳に上書きする場合は

━（完了）を押し、「上書き登録」を選択して「YES」を選択する

USIMカードに新しい電話帳として登録する場合は

━（完了）を押し、「追加登録」を選択する

▣ 電話番号を入力して電話帳登録を開始するには

待受画面で電話番号を入力し、●（登録）を押すと電話帳登録の画面に移ります。以降の操作は、履歴から登録する場合と同じです。

グループの設定

「グループ01」、「グループ02」などを、「友達」、「会社」などのわかりやすいグループ名に変更できます。

1 **○を押し、「グループ登録」を選択する**

メニューを使って操作する場合は

MENUを押し、(電話帳)→「グループ登録」の順に選択する

2 グループを選択する

USIMカードのグループ名を変更する場合は

USIMカードのグループ（付き）を選択する

3 グループ名を入力する

補足

- **グループ名をお買い上げ時の状態に戻すには**
  ①操作1を行う
  ②名前をもとに戻したいグループを反転表示する
  ③機能メニューから「グループ名初期化」を選択し、「YES」を選択する
- **グループごとに着信音や応答メッセージを変えるには**
  グループ便利機能を利用します。「電話帳登録時の便利な設定」を参照してください。

▣「グループ00」について

「グループ00」はほかのグループと異なり、名前を変えたり、グループ便利機能を設定できません。703N本体の「グループ00」には、お買い上げ時に「留守番電話センター」が登録されています。登録時にグループを設定しなかった電話帳は、すべて「グループ00」に登録されます。

電話帳登録時の便利な設定

703N本体の電話帳に登録した電話番号やE-mailアドレスごと、またはグループごとに、着信音や簡易留守録の応答メッセージなどを変えられます。電話帳便利機能およびグループ便利機能には、それぞれ次の機能項目が用意されています。

目　的	機能項目	アイコン
相手によって着信音を変えたい	音声／TVコール着信音	
相手によって着信時のランプの点滅色を変えたい	着信イルミネーション	
相手によって着信時に表示される画像を変えたい	着信イメージ	
相手によって簡易留守録の応答メッセージを変えたい	応答メッセージ	
メールの送り手によって着信音を変えたい	メール着信音	
メールの送り手によって着信時のランプの点滅色を変えたい	メールイルミネーション	

電話帳の詳細画面に、設定されている機能項目のアイコンが表示される

補足

- **設定が重複している場合は**
  1つの電話帳に電話帳便利機能とグループ便利機能が重複して設定されている場合は、電話帳便利機能の設定が優先されます。

■ 電話帳便利機能を設定する

電話帳の詳細画面から設定します。詳細画面を表示する操作については、「電話帳の利用」を参照してください。

1 **詳細画面で目的の電話番号やE-mailアドレスのアイコンを反転表示する**

2 **機能メニューから「電話帳便利機能」を選択する**

3 **機能項目を選択し、設定操作をする**

補足

- **電話帳便利機能を設定すると**
  電話帳便利機能が設定されている電話番号などを反転表示して機能メニューを表示すると、「電話帳便利機能」に「★」が付いています。この場合に「電話帳便利機能」を選択すると、設定されている機能項目にも「★」が付いています。
- **設定を解除するには**
  ①操作1～2を行う
  ②「★」が付いている機能項目を選択する
- **機能項目の設定を変更するには**
  解除してから設定し直します。

注意

- **電話帳便利機能を設定した電話番号やE-mailアドレスを変更すると、設定が解除されます。**

■ グループ便利機能を設定する

1 **を押し、「グループ登録」を選択する**

メニューを使って操作する場合は
を押し、（電話帳）→「グループ登録」の順に選択する

2 **グループを反転表示し、機能メニューから「グループ便利機能」を選択する**

3 機能項目を選択し、設定操作をする

着信音や着信イメージを設定する場合は

データフォルダからフォルダを選択し、ファイルを選択する

イルミネーションや応答メッセージを設定する場合は

設定を選択する

補足

- **グループ便利機能を設定すると**
  グループ便利機能が設定されているグループを反転表示して機能メニューを表示すると、「グループ便利機能」に「★」が付いています。この場合に「グループ便利機能」を選択すると、設定されている機能項目にも「★」が付いています。
- **グループ便利機能を解除するには**
  ①操作1〜2を行う
  ②「★」が付いている機能項目を選択する
- **機能項目の設定を変更するには**
  解除してから設定し直します。

■ 便利機能の設定を確認／解除する

便利機能の設定状況を確認できます。「★」が付いている項目を選択していくと、その機能が設定されている電話番号やE-mailアドレスまたはグループを確認できます。また、それぞれの設定を解除することもできます。

1 ◎を押し、「電話帳便利機能」を選択する

メニューを使って操作する場合は

(MENU)を押し、(電話帳)→「電話帳便利機能」の順に選択する

2 「★」が付いている機能項目を反転表示し、機能メニューから「設定確認」を選択する

3 「★」が付いている項目を選択する操作を繰り返すと、その項目が設定されている電話帳またはグループを確認できる

「解除しますか？」というメッセージが表示された場合は

解除しないときは「NO」を、解除するときは「YES」を選択する

補足

- **機能項目の設定をまとめて解除するには**
  ①操作1を行う
  ②「★」が付いている機能項目を反転表示し、機能メニューから「設定解除」を選択する
  ③「YES」を選択する

電話帳の利用

■ 電話帳から電話をかける

■ 電話帳を検索する

1 を押し、「電話帳検索」を選択する

メニューを使って操作する場合は

を押し、(電話帳)→「電話帳検索」の順に選択する

2 検索方法を選択し、目的の電話帳を呼び出す

フリガナで検索する場合は

①「フリガナ検索」を選択し、フリガナ(先頭の一部だけでよい)を入力する
②またはを押し、一覧から目的の電話帳を選択する

名前で検索する場合は

①「名前検索」を選択し、名前(先頭の一部だけでよい)を入力する
②またはを押し、一覧から目的の電話帳を選択する

電話番号で検索する場合は

①「電話番号検索」を選択し、電話番号の一部(途中でもよい)を入力する
②またはを押し、一覧から目的の電話帳を選択する

E-mailアドレスで検索する場合は

①「アドレス検索」を選択し、E-mail アドレスの一部(途中でもよい)を入力する
②またはを押し、一覧から目的の電話帳を選択する

メモリ番号で検索する場合は

①「メモリ番号検索」を選択し、3桁のメモリ番号を入力する
②一覧から目的の電話帳を選択する

グループで検索する場合は

①「グループ検索」を選択し、一覧からグループを選択する
②一覧から目的の電話帳を選択する

行で検索する場合は

①「行検索」を選択し、行に対応するボタン(あ行は1 あ、か行は2 か ABC～英数記号は* http://)を押す
②一覧から目的の電話帳を選択する

補足

- **USIMカードに登録した電話帳の検索について**
  操作方法の違いはありません（ただし、メモリ番号検索は不可）。検索した電話帳は、703N本体とUSIMカードの区別なく一覧画面に表示されます。USIMカードの電話帳には「 」が表示されます。

- **登録されているすべての電話帳を一覧表示するには**
  ①操作1を行う
  ②「グループ検索」以外を選択し、 または を押す

- **より簡単な操作で電話番号検索をするには**
  電話帳メニューから「電話番号検索」を選択しなくても、電話番号の一部から、その番号が含まれる電話番号をすばやく検索できます。たとえば「03」と入力すると、先頭や途中に「03」が含まれる電話番号を検索できます。
  ①電話番号の一部を入力する
  ② を押し、表示された一覧から目的の電話帳を選択する

電話をかける

1 検索した電話帳を選択し、詳細画面を表示する

2 目的の電話番号のアイコンを反転表示し、発信操作をする

電話帳の詳細画面

音声電話をかける場合は
 を押す

TVコールをかける場合は
（TV）を押す

補足

- **一覧画面からかけるには**
  詳細画面を表示しなくても、一覧画面で目的の電話帳を反転表示して または （TV）を押してかけることができます。1つの電話帳に複数の電話番号が登録されている場合は、1番目に登録されている電話番号にかけます。

5

電話帳

■ ツータッチダイヤルでかけるには

メモリ番号「001」～「009」の電話帳に登録した電話番号へは、次のように操作するだけでかけられます。

① メモリ番号の下1桁（1～9）を押す

② 音声電話をかける場合はを、TVコールをかける場合は（TV）を押す

■ 電話帳の機能メニューを操作する

電話帳の詳細画面から、機能メニューを使ったさまざまな操作ができます。表示される機能メニューは、反転表示中の登録内容や各種設定の状態によって異なります。

機能メニュー	内　容
発番号設定	反転表示中の電話番号に発信するときに、相手に電話番号を通知するかどうかを選択します。
プリセット	反転表示中の電話番号に発信するときに付加したいプリセットを一覧から選択します。
電話帳便利機能※	相手によって着信音や簡易留守録の応答メッセージを変えられます（☞「電話帳登録時の便利な設定」）。
電話帳指定設定※	反転表示中の電話番号に、発信や着信の制限を設定します（☞「セキュリティ」の「電話の発着信制限」）。
電話帳編集	登録内容を編集します（☞「電話帳の編集」）。
電話帳削除	電話帳を1件削除したり、特定の項目だけを削除します（☞「電話帳の編集」）。
デスクトップ貼付	待受画面にデスクトップアイコンを貼り付けます。電話番号のデスクトップアイコンを選択するとまたは（TV）を押すだけで、音声電話またはTVコールをかけられます。E-mailアドレスのデスクトップを選択すると、メールの作成画面が表示されます。
メール作成	メールの作成画面が表示されます。
赤外線送信※	赤外線通信対応機器にデータを送信します（☞「赤外線通信」の章）。
オート表示※	本体を開くと同時に電話番号が表示され、すぐに発信できるようになります。オート表示を「ON」に設定する必要があります（☞「ディスプレイとランプの設定」の章）。
名前コピー／電話番号コピー／メールアドレスコピー／住所コピー※／メモコピー※	名前、電話番号、E-mailアドレス、住所、メモをコピーします。「貼り付け」の操作をすると、何度でも貼り付けられます。
シークレット解除※	シークレットデータを通常のデータに戻します。
USIMカードへコピー／本体へコピー	詳細画面を表示している電話帳を、USIMカードまたは703N本体にコピーします。

機能メニュー	内　容
TVコール画像選択	反転表示中の電話番号とのTVコール中に、相手に送信する画像を選択します。
データフォルダへ保存※	「YES」を選択すると、vファイルを作成してデータフォルダの「その他ファイル」内に保存します。

「※」の機能は、USIMカードの電話帳から操作できません。

■ USIMカードとの間で電話帳を操作する

703N本体とUSIMカードの間で、電話帳のデータをコピーまたは削除できます。どちらの場合も、複数の電話帳を一覧から選択し、まとめてコピーまたは削除できます。

1. **MENUを押し、(ツール)→「USIMカード操作」の順に選択する**
2. **端末暗証番号を入力する**
3. **「コピー」を選択する**
4. **コピー方向を選択する**
5. **「電話帳」を選択し、電話帳を検索して一覧画面を表示させる**
6. **コピーするデータを選択し、⊖(完了)を押す**
7. **「YES」を選択する**

補足

- **1件ずつコピーする場合は**
  電話帳の詳細画面の機能メニュー「USIMカードへコピー」または「本体へコピー」を選択し、「YES」を選択するとコピーできます。
- **703N本体またはUSIMカードの電話帳を削除するには**
  ①操作1〜2を行う
  ②「削除」を選択し、どちらのデータを削除するかを選択する
  ③削除するデータの一覧画面を表示させて削除するデータを選択し、⊖(完了)を押す
  ④「YES」を選択する

注意

- 「USIMカード操作」はほかの機能と同時に起動できません。
- データのコピー中または削除中は「圏外」の状態になります。
- USIMカードの電話帳に登録できない項目はコピーできません。

■ 機能メニューについて

操作5で表示させた電話帳の一覧画面の機能メニューからは、次の操作ができます。表示される機能メニューは、操作の状況によって異なります。

機能メニュー	内　容
コピー開始	「YES」を選択すると、選択したデータがコピーされます（操作6～7を行うのと同様）。
1件選択	カーソル位置のデータを選択します。
全件選択	すべてのデータを選択します。
1件解除	カーソル位置のデータの選択を解除します。
全件解除	選択をすべて解除します。
詳細表示	カーソル位置のデータの詳細画面を表示します。

電話帳の編集

■ 電話帳を編集する

電話帳の登録内容を編集し、上書きします。上書きせずに別の電話帳として登録することもできます。編集する電話帳を検索し、詳細画面を表示する操作については「電話帳の利用」を参照してください。

1 編集する電話帳の詳細画面を表示する

2 ●（編集）を押す

機能メニューを使う場合は

詳細画面の機能メニューから「電話帳編集」を選択する

3 登録時と同様の操作で項目を選択し、編集操作をする

4 編集完了の操作をする

703N本体の電話帳を上書きする場合は

−（完了）を押し、「YES」を選択する

703N本体の電話帳を別の電話帳として登録する場合は

①−（完了）を押し、「NO」を選択する

②「 」を選択してメモリ番号を入力する

③(−)（完了）を押す

USIMカードの電話帳を上書きまたは別の電話帳として登録する場合は

①(−)（完了）を押す

②「追加登録」を選択するか、「上書き登録」を選択し「YES」を選択する

■ 電話帳を削除する

電話帳を1件ずつ削除します。特定の項目の登録内容だけ削除することもできます。

1 **削除する電話帳の詳細画面を表示する**

特定の項目だけ削除する場合は

削除する項目のアイコンを反転表示する

2 **機能メニューから「電話帳削除」を選択する**

3 **削除する内容を選択する**

電話帳ごと削除する場合は

「1件削除」を選択し、「YES」を選択する

特定の項目だけ削除する場合は

「電話番号削除」、「メールアドレス削除」などを選択し、「YES」を選択する

TVコール

TVコールをご利用になる前に

TVコール対応のボーダフォン携帯電話なら、お互いの映像を見ながら通話できます。

▣ TVコールについて

第3世代の高速な通信回線を利用して、音声だけでなくお互いの映像も送れます。

- 機種が違っていても、ボーダフォンのTVコール対応携帯電話同士ならTVコールをご利用になれます。
- TVコールは、64Kの通信速度で行います。

■ メインディスプレイの表示

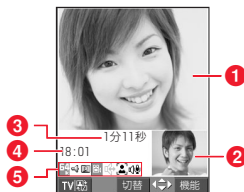
❶親画面

❷子画面

❸通話時間

❹現在の時刻

TVコール中画面

❺状態表示

- 64K：通信速度
- ：音声送受信中
- ：ハンズフリーON
- ：ハンズフリーOFF
- ：音声送受信失敗
- ：映像送受信中
- ：映像送受信失敗
- ：カメラ画像送信中
- ：代替画像送信中
- ：撮影モード・風景
- ：撮影モード・ポートレート
- ：撮影モード・接写
- ：音声ON
- ：送信音声OFF
- ：全音声OFF

TVコールをかける

音声電話をかけるときと同様に電話帳やリダイヤル、着信履歴なども使えます。相手につながると双方の映像が表示され、通話できます。相手の顔を見ながら通信するには、ハンズフリーに切り替えるか、オプション品のスイッチ付きイヤホンマイクを使用します。スイッチ付きイヤホンマイクについては「その他の機能」の章を参照してください。

1 電話番号を全桁（市外局番も）入力する

2 電話番号を確認して（TV）を押す

3 ハンズフリーに切り替えるときは、機能メニューから「ハンズフリー ON」を選択する

4 通話が終わったら PWR を押す

補足

- **TVコールがつながらなかったときは**
「お話中です」、「接続できませんでした」などのメッセージが表示されます。

- **自動的に音声電話でかけ直すようにするには（音声自動再発信設定）**
TVコールで接続できなかったときに自動的に音声電話でかけ直すようにできます（☞「TVコールの各種設定」）。

- **電話番号を通知して／通知しないでかけるには**
①操作1を行う
②機能メニューから「発番号設定」を選択し、「通知しない」または「通知する」（設定を解除する場合は「発番号設定消去」）を選択する
電話番号の前に次の番号を付けてダイヤルすることもできます。
・通知するとき：「186」
・通知しないとき：「184」

- **通話中にできる操作は**
受話音量の調節や、送信する画像の切り替え操作などについては、「TVコール中の操作」を参照してください。

- **発信中／通話中に703Nを閉じると**
発信または通話が終了します。703Nを閉じたときの動作は、クローズ動作設定で変更できます。

注意

- **ハンズフリーのときは、相手の音声がスピーカーから流れます。ほかの人の迷惑にならないようにご注意ください。**

▣ 電話番号を入力した画面の機能メニューについて
「基本的な操作のご案内」の「電話をかける」を参照してください。

TVコールを受ける

TVコールがかかってくると、メインディスプレイに「TVコール着信中」と表示されます。相手に自分の映像を送信せずに代わりの画像（代替画像）でTVコールを受けることもできます。

1 TVコールがかかってきたら、―（TV）を押して電話を受ける

代替画像で応答する場合は
●（通話）または☎を押す

2 ハンズフリーに切り替えるときは、機能メニューから「ハンズフリーON」を選択する

3 通話が終わったら☎PWRを押す

補足

- **スイッチ付きイヤホンマイクをご利用のときは**
スイッチを1秒以上押すと、代替画像で応答できます。オート着信を「ON」に設定している場合は、自動的に応答できます。

- **すぐに出られないときは（応答保留）**
  ①PWRを押す（相手側に応答保留音と応答保留画像を送信する）
  ②自分の画像で応答する場合は−（TV）を、代替画像で応答する場合は●（通話）またはを押す

- **出られないときに簡易留守録で応答するには**
  着信中に#またはサイドボタンのを押します。簡易留守録が「ON」になり、同時にマナーモードが設定されます。

- **TVコールに応答せずに切るには**
  機能メニューから「着信拒否」を選択します。

- **着信中のTVコールを転送するには**
  機能メニューから「転送電話」を選択します。

注意

- **エニーキーアンサーでTVコールを受けることはできません。**
- **ハンズフリーのときは、相手の音声がスピーカーから流れます。ほかの人の迷惑にならないようにご注意ください。**

6 TVコール

TVコール中の操作

「※」の操作の設定内容は、通話終了後も保存されます。

1 TVコール中にボタン操作または機能メニューの操作をする

相手の声の音量を調節する場合は※
　またはサイドボタンのを押すと大きく、またはサイドボタンのを押すと小さくなる

カメラ映像／代替画像を切り替える場合は
　−（TV）を押す

通話を保留にする場合は
　①CLEAR BACKを押す
　②もとの通話状態に戻るときはCLEAR BACKを押す
　　−（TV）を押してカメラ画像で通話に戻るか、を押して代替画像で通話に戻ることもできる

ハンズフリーと通常の通話を切り替える場合は
　機能メニューから「ハンズフリーON」または「ハンズフリーOFF」を選択する

相手の声を録音する場合は
　サイドボタンのを1秒以上押す（☞「ツールの利用」の「自分の声を録音する（音声メモ）」）

送信する映像を拡大／縮小する場合は
　またはを押すごとに、拡大、縮小される

カメラの設定を変更する場合は
　（☞補足「カメラの設定を変更するには」）

メインディスプレイ照明の点灯時間を変更する場合は※
　①機能メニューから「照明設定」を選択する
　②設定を選択する

親画面の画面サイズを変更する場合は※

①機能メニューから「画像表示設定」を選択する
②設定を選択する

外側カメラ／内側カメラに切り替える場合は

●（切替）を押すか、機能メニューから「外側カメラ」または「内側カメラ」を選択する

親画面、子画面の表示内容を切り替える場合は※

機能メニューから「親画面自局表示」（子画面に相手の画像）または「親画面相手端末」（子画面に自分の画像）を選択する

通話中に通話時間を表示するかどうかを設定する場合は※

①機能メニューから「通話中時間表示」を選択する
②設定を選択する

ご自分の電話番号を確認する場合は

機能メニューから「ご自分の電話番号」を選択する

音声をON／OFFする場合は

①機能メニューから「音声ON／OFF」を選択する
②「音声ON」（双方の音声あり）、「送信音声OFF」（自分の音声を送らない）、「全音声OFF」（双方の音声なし）のいずれかを選択する

補足

- **カメラの設定を変更するには**
機能メニューから「TVコール設定」を選択し、次の各設定項目を設定します。

設定項目	内　容
画像品質設定	「標準」、「画質優先」（動きが少ない被写体に適する）、「動き優先」（動きがなめらかな映像を送信する）のいずれかを選択します。
明るさ調節※	◎を押して明るさを調節し、●（確定）を押します。
ホワイトバランス設定※	光源に合った設定を選択し、自然な色合いに調整します。
色調切替	設定を選択します。カラーで撮影する場合は「通常」を選択します。
撮影モード選択	被写体や状態に合わせて設定を選択します。

「※」の設定内容は、通話を終了しても保存されます。

- **メニューの大項目「設定」からTVコールの設定を変更するには**
親画面の画像サイズを変更する操作や、親画面、子画面の表示内容を切り替える操作は、TVコール中以外にもできます。MENUを押し、（設定）→「TVコール設定」→「通話中画像表示」→「画像サイズ設定」または「親画面表示」の順に選択します。機能メニュー「TVコール設定」の「画像品質設定」も、（設定）→「TVコール設定」→「画像品質設定」から操作できます。

TVコールの各種設定

■ 送受信する映像の品質を設定する

動きの激しい被写体の映像を送受信する場合には「動き優先」が有効です。

［お買い上げ時］ ■標準

1 MENUを押し、(設定)→「TVコール設定」→「画像品質設定」の順に選択する

2 設定を選択する

■ 発信するときに送信する画像を設定する

TVコールをかけるときに送信する画像をカメラ映像にする場合は「ON」に、代替画像にする場合は「OFF」に設定します。

［お買い上げ時］ ■ON

1 MENUを押し、(設定)→「TVコール設定」→「発信時自画像送信」の順に選択する

2 設定を選択する

■ 代替画像や保留中の画像を選択する

応答保留中、通話時の保留中、簡易留守録起動中の各状況で送信する画像や、TVコール中に送信する代替画像を設定できます。プリインストール画像またはデータフォルダ内の画像から選択します。データフォルダ内の画像を利用するには、使用したい画像に「イメージ貼付」の設定をする必要があります。「イメージ貼付」については「データ管理」の「画像ファイルの利用」を参照してください。

［お買い上げ時］ ■すべて内蔵

1 MENUを押し、(設定)→「TVコール設定」→「画像選択」の順に選択する

2 項目を選択する

3 設定を選択する

補足

- **設定されている画像を確認するには**
  操作2のあと、⊖(デモ)を押します。もとの画面に戻るときは、CLEAR BACKを押します。

■ TVコールがつながらなかったときの動作を設定する

「ON」に設定すると、TVコールがつながらなかったときに自動的に音声電話でかけ直します。

［お買い上げ時］ ■OFF

1 MENUを押し、(設定)→「TVコール設定」→「音声自動再発信」の順に選択する

2 設定を選択する

注意

- 相手が話し中だったときや、圏外だったとき、電源を切っていたときなどにはかけ直しません。

■ 親画面に表示する映像について設定する

「親画面表示」では、親画面に相手または自分のどちらの映像を表示させるかを設定します。「画像サイズ設定」では、映像の表示サイズを設定します。

［お買い上げ時］ ■親画面表示：親画面相手端末
■画像サイズ設定：画面サイズで表示

1 MENUを押し、(設定)→「TVコール設定」→「通話中画像表示」の順に選択する

2 項目を選択する

3 設定を選択する

■ 特定の相手からのTVコールを自動的に受ける

あらかじめ登録しておいた相手からTVコールがかかってきたときには、自動的に応答できるように設定できます。

■ 相手の電話番号を登録する

相手の電話番号は最大5件登録できます。

1 MENUを押し、(設定)→「TVコール設定」→「TVコール自動応答設定」の順に選択する

2 端末暗証番号を入力する

3 「相手端末番号登録」を選択する

4 登録先を指定し、電話番号を選択または入力する

電話帳やリダイヤル、着信履歴から選択する場合は

①登録先を反転表示して機能メニューから「宛先選択」を選択する

②参照する項目を選択し、電話番号を選択する

直接入力する場合は

登録先を選択し、電話番号を入力する

補足

- **登録されている電話番号を削除するには**
  ①操作1〜3を行う
  ②電話番号を反転表示し、機能メニューから「1件削除」または「全件削除」を選択して「YES」を選択する

■ 自動応答を設定する

自動応答するように設定するときは「ON」にし、応答までの秒数を設定します。

［お買い上げ時］ ■ON　応答時間：5秒

1 **MENUを押し、(設定)→「TVコール設定」→「TVコール自動応答設定」の順に選択する**

2 **端末暗証番号を入力する**

3 **「ON／OFF設定」を選択する**

4 **設定を選択し、「ON」にした場合は秒数を入力する**

カメラ

カメラをご利用になる前に

703Nに内蔵されているカメラを使って、写真（静止画）や動画を撮影できます。静止画はJPEG形式で、動画はMP4形式で保存されます。

■ 撮影前のご注意

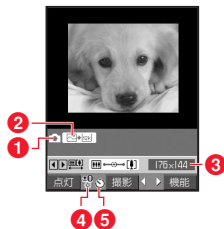
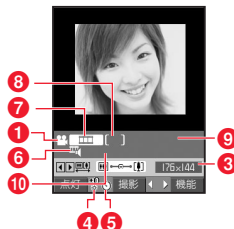
- カメラのレンズ部に指紋や油脂がつくと、ピントが合わなくなります。柔らかい布でレンズ部をきれいにしてください。
- 手ぶれにご注意ください。画像がぶれる原因となります。703Nが動かないようにしっかり持って撮影するか、安定した場所に置いてセルフタイマーで撮影してください。

■ カメラ利用時のご注意

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常に明るく見える画素や暗く見える画素もありますので、ご了承ください。
- 703N を暖かい場所に長時間置いたあとで撮影したり画像を保存したりした場合は、画質が劣化することがあります。
- カメラ部分に直射日光が長時間あたると、画像が変色することがあります。
- シャッター音やセルフタイマーのタイマー音は、マナーモード中でも一定の音量で鳴ります。
- 撮影した静止画や動画をminiSDメモリカードに保存する場合は、あらかじめminiSDメモリカードを703Nに取り付けておいてください。

▣ 撮影の中断について

電池切れのために画像を保存できなかったときでも、画像は未保存のまま一時的に保護されます。この場合、次にカメラを起動したときに、未保存の画像を保存するかどうかを確認するメッセージが表示されます。画像を保存するには、「YES」を選択して保存先を選択してください。

■ メインディスプレイの表示

フォトモード／連写モード／ピクチャボイス／デジタルカメラモードの撮影画面

ムービーモード／チャンスキャプチャ／長時間ムービーの撮影画面

❶モード

- ：ムービーモード／長時間ムービー
- ：フォトモード
- ：連写モード
- ：チャンスキャプチャ
- ：ピクチャボイス
- ：デジタルカメラモード

❷「画像保存設定」の設定状態

- ：制限なし
- ：リサイズ（12K）
- ：リサイズ（6K）

❸「画像サイズ設定」の設定状態

1280×960、640×480、352×288、176×144、128×96

❹明るさ

-2～+2：レベル−2～+2

❺セルフタイマー

（設定されているときのみ表示）

連写モード（マニュアル）の撮影枚数／撮影可能枚数

1/5：撮影可能枚数5枚のうち1枚目を撮影する場合の例

❻「撮影種別設定」の設定状態

- ：通常
- ：映像のみ
- ：音声のみ

❼「ムービー容量設定」の設定状態

- ：メール
- ：ムービーメモ

長時間ムービー撮影時は を表示

❽「ムービー保存設定」の設定状態

- ：ハイクオリティ
- ：ファイン
- ：ノーマル

❾撮影時間

❿撮影状態

● REC：録画中

補足

- 「画像サイズ設定」を「待受（240×269）」にすると❶〜❸は表示されません。

静止画の撮影

■ 静止画撮影モード

1枚ずつ撮影するときは「フォトモード」または「デジタルカメラモード」、連写するときは「連写モード」で撮影します。

「フォトモード」、「連写モード」で撮影した静止画は、「フォトリスト」内の「INBOX」フォルダなどに保存できます。

「デジタルカメラモード」で撮影した静止画は、「フォトリスト」内の「デジタルカメラ」フォルダなどに保存できます。

モード	特　長	画像サイズ（ドット）
フォトモード	メールに添付したり待受画面の背景にするなど、携帯電話で利用するのに適したサイズの静止画を撮影できます。	352×288 240×269 176×144 128×96
連写モード	静止画を連続で撮影できます。自作アニメまたは1枚ずつの静止画として保存できます。	
デジタルカメラモード	パソコンでの加工や印刷に適した大きな静止画を撮影できます。	1280×960 640×480

■ 静止画を撮影する

■ 静止画を1枚撮影する

1 （カメラボタン）を押し、「フォトモード」または「デジタルカメラモード」を選択する

メニューを使って操作する場合は

（MENU）を押し、（カメラ）→「フォトモード」または「デジタルカメラモード」の順に選択する

デスクトップアイコンを使って操作する場合は

「（カメラアイコン）」を選択してカメラメニューを表示する

2 必要に応じて機能メニューを使った操作をする（☞補足、「■静止画の撮影前の機能メニューについて」）

3 撮影したい画像をメインディスプレイに表示する

ライトを使用する場合は

（－）（点灯／消灯）またはサイドボタンの▲を押して点灯、消灯する

ズームを使って拡大／縮小する場合は

○◀または▶○を押すごとに、1段階ずつ拡大、縮小される（画像サイズ1280×960のときは無効）

4 ●（撮影）または▾を押す

5 撮影した静止画を確認する

もう一度撮り直す場合は

⊖（取消）を押すか、機能メニューから「取り消し」を選択して「YES」を選択し、操作2からやり直す

画像を左右反転する場合は

機能メニューから「鏡像表示」または「正像表示」を選択する

画面表示サイズを変更する場合は

機能メニューから「表示サイズ設定」を選択し、設定を選択する（画像サイズ176×144、128×96のときのみ操作可能）

6 ●（保存）を押して「YES」を選択し、保存先を選択する

左右反転させて保存する場合は

機能メニューから「鏡像保存」を選択して「YES」を選択し、保存先を選択する

補足

- **セルフタイマーを使って撮影するには**
  操作2で次のように操作します。
  ①機能メニューから「セルフタイマー設定」を選択し、「ON」を選択する
  ②撮影までの秒数を入力する
  秒数を変更しない場合は●（確定）を押す
- **内側カメラ／外側カメラに切り替えて撮影するには**
  操作2で機能メニューから「内側カメラ」または「外側カメラ」を選択します。
- **撮影した静止画をすぐにメール送信するには**
  操作5で機能メニューから「メール作成」を選択し、宛先などを指定して送信します。
- **撮影した静止画をすぐに加工するには**
  操作5で機能メニューから「画像加工」を選択して「YES」を選択し、保存先を選択するか、「NO」を選択します。このあと、表示される画像編集画面の機能メニューを使って加工します。
- **撮影した静止画をすぐに待受画面などに利用するには**
  操作5で機能メニューから「イメージ貼付」を選択して「YES」を選択し、保存先を選択してから設定操作をします。
- **703Nを閉じたまま撮影するには**
  閉じたまま、外側カメラを使って撮影できます。サイドボタンの▾を1秒以上押すとカメラが起動します。そのまま▾を押すとシャッター音が鳴り、撮影した画像がサブディスプレイに表示されます。撮影後、自動的に保存されるようにするには、あらかじめ自動保存設定で保存先を設定しておいてください。サイドボタンの▾を1秒以上押すとカメラが終了します。

■ 静止画の撮影前の機能メニューについて

撮影前に、機能メニューから次の操作ができます。表示される機能メニューや選択できる項目は、モードや各種設定の状況によって異なります。

機能メニュー	内　容
内側カメラ／外側カメラ※1	内側カメラと外側カメラを切り替えます（☞補足「内側カメラ／外側カメラに切り替えて撮影するには」）。
カメラモード切替	モードを選択して切り替えます。
画像サイズ設定※1	画像サイズを選択します。
画像保存設定	メール添付可能な容量に制限する場合は「リサイズ（12K）」（12Kバイトまでの大きいサイズの画像を添付できる）または「リサイズ（6K）」（6Kバイトまでの画像を添付できる）を選択します。
明るさ調節	◎を押して明るさを調節し、◉（確定）を押します。
ホワイトバランス設定※1	光源に合った設定を選択し、自然な色合いに調整します。
撮影モード選択	被写体や状態に合わせて設定を選択します。
色調切替	設定を選択します。カラーで撮影する場合は「通常」を選択します。
シャッター音選択※1	シャッター音を3種類から選択します。
セルフタイマー設定※2	セルフタイマーを使って撮影します（☞補足「セルフタイマーを使って撮影するには」）。
フレーム選択	「データフォルダ」を選択した場合は、フォルダを選択し、フレームを選択します。撮影終了後、機能メニューを使ってフレームを取り替えることもできます。
アクセスリーダー	カメラを使って文字情報やバーコード情報を読み取る機能を起動します（☞「ツールの利用」の章）。
バーコードリーダー	
自動保存設定※1	撮影した画像が自動的に保存されるように設定できます。「ON」を選択した場合は、保存先（「本体」または「メモリカード」）を選択します。
表示サイズ設定※1	「画面サイズで表示」を選択すると、画面のサイズに合わせて拡大表示します。
画像チューニング※1	画面がちらつく場合に設定を変更します。

※1　設定内容は、カメラを終了しても保存されます。

※2　動作時間設定の内容は、カメラを終了しても保存されます。

■ 連続写真を撮影する

設定した間隔で自動的に連写する「オート」と、手動で連写する「マニュアル」の2通りの撮影方法があります。連写の設定の変更は撮影前の機能メニューを使います。この設定はカメラ終了後も保存されます。連写した画像は、必要なものまたは全部を静止画として保存するほか、連続再生できる自作アニメとして保存することもできます。

1 を押し、「連写モード」を選択する

2 必要に応じて機能メニューを使った操作をする（☞「静止画を1枚撮影する」）

3 必要に応じて連写の設定を変更する

撮影方法をオート／マニュアルに切り替える場合は

機能メニューから「連写切替」を選択し、設定を選択する

連写する枚数を変更する場合は

機能メニューから「撮影間隔／枚数」→「撮影枚数」の順に選択し、枚数を入力する

連写の間隔を変更する場合は（オートのとき）

機能メニューから「撮影間隔／枚数」→「撮影間隔」の順に選択し、設定を選択する

4 撮影したい画像をメインディスプレイに表示する

ライトを使用する場合は

（点灯／消灯）またはサイドボタンのを押して点灯、消灯する

ズームを使って拡大／縮小する場合は

またはを押すごとに、1段階ずつ拡大、縮小される

5 （撮影）またはを押す

6 撮影した静止画を確認する

もう一度撮り直す場合は

機能メニューから「取り消し」を選択して「YES」を選択し、操作2からやり直す

静止画を1枚ずつ確認する場合は

で枠を移動し、（詳細）を押す

静止画を選択する場合は

で枠を移動し、（選択）を押す

すべて選択／選択解除する場合は

機能メニューから「全件選択」または「全件解除」を選択し、「YES」を選択する

すべての静止画を左右反転する場合は

機能メニューから「鏡像表示」または「正像表示」を選択する

7 機能メニューを使って保存操作をする

選択中の静止画だけを保存する場合は

①機能メニューから「選択保存」を選択し、保存方法を選択して「YES」を選択する
②保存先を選択する

すべて保存する場合は

①機能メニューから「全件保存」または「全件保存＆自作アニメ」を選択し、保存方法を選択して「YES」を選択する
②保存先を選択する

補足

- **設定できる枚数や間隔は**
  操作3で選択できる連写の枚数や間隔は、画像サイズ設定によって異なります。

動画の撮影

■ 動画撮影モード

音付きの動画だけでなく、映像のみの撮影、または音声のみの録音もできます。撮影条件によってデータ量が異なるので、画面に表示される撮影可能時間と撮影経過時間を目安として撮影してください。

「ムービーモード」で撮影した動画は、「ムービーリスト」内の「INBOX」フォルダなどに保存できます。「長時間ムービー」で撮影した動画は、「ムービーリスト」内の「メモリカード」フォルダに自動的に保存されます。

モード	特　長	画像サイズ（ドット）
ムービーモード	メールに添付したり、手軽に記録を残すための撮影に適しています。	176×144 128×96
長時間ムービー※	miniSDメモリカードの容量により、最長約60分の動画を撮影できます。703N本体には保存できません。	

「※」のモードは、miniSDメモリカードを取り付けているときに撮影できます。

■ 動画を撮影する

1 (カメラボタン)を押し、「ムービーモード」または「長時間ムービー」を選択する

メニューを使って操作する場合は

(MENU)を押し、(カメラ)→「ムービーモード」または「長時間ムービー」の順に選択する

デスクトップアイコンを使って操作する場合は

「(カメラアイコン)」を選択してカメラメニューを表示する

2 必要に応じて機能メニューを使った操作をする(☞補足、「■動画の撮影前の機能メニューについて」)

3 撮影したい画像をメインディスプレイに表示する

ライトを使用する場合は

(－)(点灯／消灯)またはサイドボタンの▲を押して点灯、消灯する

ズームを使って拡大／縮小する場合は

(◀)または(▶)を押すごとに、1段階ずつ拡大、縮小される

4 (●)(撮影)または▼を押す

5 (●)(終了)または▼を押して撮影を終了する

「ムービーモード」の場合は

操作6に進む

「長時間ムービー」の場合は

撮影した動画が自動的に保存され、操作が終了する

6 必要に応じて(－)(再生)を押して、撮影した動画を確認する

スロー再生や特定の位置からの再生をして確認したい場合は

再生中に(●)(停止)を押し、機能メニューを使った操作をする(☞「■一時停止中画面の機能メニューについて」)

もう一度撮り直す場合は

機能メニューから「取り消し」を選択して「YES」を選択し、操作2からやり直す

画面表示サイズを変更する場合は

機能メニューから「表示サイズ設定」を選択し、設定を選択する

7 (●)(保存)を押して「YES」を選択し、必要に応じてタイトルを編集する

8 保存先を選択する

補足

- **セルフタイマーを使って撮影するには**
  操作2で次のように操作します。
  ①機能メニューから「セルフタイマー設定」を選択し、「ON」を選択する
  ②撮影までの秒数を入力する
  秒数を変更しない場合は●（確定）を押す

- **内側カメラ／外側カメラに切り替えて撮影するには**
  操作2で機能メニューから「内側カメラ」または「外側カメラ」を選択します。

- **撮影した動画をすぐにメール送信するには**
  ①操作1～6を行う
  ②機能メニューから「メール作成」を選択する
  ③タイトルを編集し、宛先などを指定して送信する

- **操作音を録音しないようにするには**
  ボタン確認音を「OFF」に設定します（☞「音の設定」の「ボタン確認音」）。

7 カメラ

■ 動画の撮影前の機能メニューについて

撮影前に、機能メニューから次の操作ができます。表示される機能メニューや選択できる項目は、モードや各種設定の状況によって異なります。

機能メニュー	内　容
内側カメラ／外側カメラ※1	内側カメラと外側カメラを切り替えます（☞補足「内側カメラ／外側カメラに切り替えて撮影するには」）。
カメラモード切替	モードを選択して切り替えます。
画像サイズ設定※1	画像サイズを選択します。
ムービー容量設定※1	用途に合わせてファイル容量を選択します。メールに添付するには「メール」、703Nで手軽に記録を残すには「ムービーメモ」を選択します。
ムービー保存設定※1	動画の画質を選択します。
明るさ調節	⊙を押して明るさを調節し、●（確定）を押します。
ホワイトバランス設定※1	光源に合った設定を選択し、自然な色合いに調整します。
色調切替	設定を選択します。カラーで撮影する場合は「通常」を選択します。
撮影モード選択	被写体や状態に合わせて設定を選択します。
シャッター音選択※1	シャッター音を3種類から選択します。
セルフタイマー設定※2	セルフタイマーを使って撮影します（☞補足「セルフタイマーを使って撮影するには」）。
自動保存設定※1	撮影した画像が自動的に保存されるように設定できます。「ON」を選択した場合は、保存先（「本体」または「メモリカード」）を選択します。
表示サイズ設定※1	「画面サイズで表示」を選択すると、画面のサイズに合わせて拡大表示します。
撮影種別設定	「通常」、「映像のみ」、「音声のみ」のいずれかを選択します。

機能メニュー	内　容
画像チューニング※1	画面がちらつく場合に設定を変更します。

※1　設定内容は、カメラを終了しても保存されます。

※2　動作時間設定の内容は、カメラを終了しても保存されます。

▣ 一時停止中画面の機能メニューについて

動画を再生中に一時停止した状態で、機能メニューを使った次の操作ができます。

機能メニュー	内　容
通常再生	通常の再生をします。
スロー再生	スロー再生します。
早送り再生	早送りで再生します。
停止	再生を終了します。
再生位置選択	を押して再生開始位置を指定し、(確定)を押すとその位置からの再生が開始されます。
プロパティ表示	ファイル形式などの情報を表示します。

便利なカメラ機能

■ 静止画に音声を付ける(ピクチャボイス)

静止画を撮影したあと、音声を録音します。すでに保存されている静止画に音声を追加することもできます。音声を付けた静止画は、「ムービーリスト」内の「INBOX」などに保存できます。

1 を押し、「ピクチャボイス」→「フォトモード」の順に選択する

メニューを使って操作する場合は

を押し、(カメラ)→「ピクチャボイス」→「フォトモード」の順に選択する

保存されている静止画に音声を付ける場合は

①を押し、「ピクチャボイス」→「フォトリスト」の順に選択する

②フォルダを選択し、一覧画面でファイルを反転表示して(選択)を押す

③操作4に進む

2 撮影したい画像をメインディスプレイに表示する

3 (撮影)またはを押す

4 ●（録音）または▼を押して音声を録音する

5 ●（停止）または▼を押して録音を終了する

6 必要に応じて─（再生）を押して、撮影した画像を確認する

もう一度録音し直す場合は

機能メニューから「取り消し」を選択して「YES」を選択し、操作4からやり直す

画面表示サイズを変更する場合は

機能メニューから「表示サイズ設定」を選択し、設定を選択する

7 ●（保存）を押して「YES」を選択し、必要に応じてタイトルを編集する

8 保存先を選択する

補足

- **いろいろな機能を利用して撮影するには**
  ズームやライトの操作方法、撮影前の機能メニューの使いかたは、静止画の撮影時と同じです。

■ チャンスをのがさず動画を撮影する（チャンスキャプチャ）

撮影開始のタイミングが早すぎた場合でも、大切な場面をのがさず記録することができます。チャンスキャプチャで撮影すると、ムービー容量設定で設定されている容量に達しても撮影が続行されます。撮影を終了すると前のほうを破棄し、終了まぎわの部分を撮影可能な時間分だけ保存します。

撮影した動画は、「ムービーリスト」内の「INBOX」フォルダなどに保存できます。

1 📷を押し、「チャンスキャプチャ」を選択する

2 撮影したい画像をメインディスプレイに表示する

3 ●（撮影）または▼を押す

4 ●（終了）または▼を押して撮影を終了する

5 必要に応じて、─（再生）を押して撮影した動画を確認する

6 ●（保存）を押して「YES」を選択し、必要に応じてタイトルを編集する

7 保存先を選択する

補足

- **いろいろな機能を利用して撮影するには**
  ズームやライトの操作方法、撮影前や撮影後の機能メニューの使いかたは、動画の撮影時と同じです。
- **残り撮影時間の表示の見かた**
  撮影を開始すると、通常の動画の撮影時と同様に撮影時間と撮影可能時間が表示されます。撮影可能容量を超えると「＊＊：＊＊／＊＊：＊＊」と表示されますが、撮影は続行できます。

撮影した画像の確認

フォトリストからは、703Nで撮影した静止画だけでなくダウンロードした画像、プリインストール画像、自作アニメなども確認できます。ムービーリストからは、703Nで撮影した動画やダウンロードした動画などを再生できます。画像表示中または再生中の操作は、メディアプレイヤーからの操作時と同じです。「メディアプレイヤー」の章を参照してください。

■ 静止画を確認する

1 **(カメラ)を押し、「フォトリスト」を選択する**

メニューを使って操作する場合は
(MENU)を押し、(カメラ) →「フォトリスト」の順に選択する

2 **フォルダを選択する**

3 **一覧画面でファイルを反転表示し、(●)(表示)を押す**

■ 動画を確認する

1 **(カメラ)を押し、「ムービーリスト」を選択する**

2 **フォルダを選択する**

3 **一覧画面でファイルを反転表示し、(●)(再生)を押す**

撮影した画像の編集

データフォルダに保存されている画像を編集します。画像によっては編集できないものもあります。

■ 静止画を編集する

STEP 1 編集画面を呼び出す

STEP 2 編集操作をする

STEP 3 保存する

■ STEP1　編集画面を呼び出す

1 **Ⓜを押し、（データフォルダ）を選択してファイルの保存場所を選択する**

2 **一覧画面でファイルを反転表示し、●（表示）を押す**

3 **機能メニューから「イメージ編集」を選択する**

■ STEP2　編集操作をする

1 **機能メニューを使って編集操作をする**

画像にフレームを付ける場合

①「フレーム合成」を選択する
②フォルダを選択してフレームを選択し、画像を確認する
③●（確定）を押す

写真の質感やコントラストなどを変える場合

①「フォトレタッチ」を選択する
②項目を選択し、画像を確認する
③●（確定）を押す

画像にマークを付ける場合

①「マーカースタンプ」を選択する
②━（マーカー）を押し、マーカースタンプを選択する
③必要に応じて、機能メニューを使ってマーカースタンプの角度やサイズを変更する
④◎で位置を決める
⑤●（配置）を押し、画像を確認する
⑥●（確定）を押す

画像に文字を書き込む場合

①「文字スタンプ」を選択する
②文字を入力する
③必要に応じて、機能メニューを使って文字色やフォント、文字サイズを変更する
④◎で位置を決める
⑤●（配置）を押し、画像を確認する
⑥●（確定）を押す

画像を切り取る場合

①「トリミング」を選択する
②切り取るサイズを選択する
③◎で位置を決める
④●（確定）を押し、画像を確認する
⑤●（確定）を押す

画像を回転させる場合

①「回転」を選択する
②回転させる角度を選択し、画像を確認する
③●（確定）を押す

明るさを調節する場合

①「明るさ」を選択する
②◎で明るさを調節する
③●（確定）を押す

2 必要に応じて操作1を繰り返し、編集する

■ STEP3　保存する

1 ●（保存）を押す

2 「YES」または「NO」を選択する

もとのファイルを上書きする場合

「YES」を選択する

別のファイルとして保存する場合

「NO」を選択する

補足

- メモリ不足の場合は
  次のように操作してメモリ不足分のファイルを削除すると、保存できます。
  ①確認画面で「YES」を選択する
  ②フォルダを選択し、削除するファイルを選択する
  ③⊖（完了）を押し、「YES」を選択する

注意

- 画像の加工を繰り返すと、画質が劣化することがあります。

■ 動画を編集する

STEP 1 編集画面を呼び出す
STEP 2 編集操作をする
STEP 3 保存する

■ STEP1　編集画面を呼び出す

1 MENUを押し、（データフォルダ）を選択してファイルの保存場所を選択する

2 一覧画面でファイルを反転表示し、機能メニューから「オーディオ＆ムービー編集」を選択する

■ STEP2　編集操作をする

1 機能メニューを使って編集操作をする

動画の一部を切り出す場合は

①「オーディオ＆ムービー切り出し」を選択する
②必要に応じて●（再生）を押し、切り出し開始位置で●（停止）を押して⊖（始点）を押す
③切り出し終了位置で●（停止）を押し、⊖（終点）を押す

④必要に応じて⊖（デモ）を押して確認してから、⊙（確定）を押す

動画から静止画を切り出す場合は

①「イメージ切り出し」を選択する

②必要に応じて⊙（再生）を押し、切り出したい場面で⊙（停止）を押す

③⊖（確定）を押し、「YES」を選択する

④保存先のフォルダを選択する（STEP3は不要）

動画に音声を録音する場合は

①「アフレコ編集」を選択する

②必要に応じて⊙（再生）を押し、録音開始位置で⊖（始点）を押して音声を録音する

③録音が終わったら⊖（終点）を押す

④⊙（完了）を押す

⑤必要に応じて⊖（デモ）を押して確認してから、⊙（確定）を押す

メールに添付できるサイズに切り出す場合は

①「メールサイズ切り出し」を選択する

②必要に応じて⊙（再生）を押し、切り出しの開始位置で⊙（停止）を押して⊖（始点）を押す

③再生終了後、必要に応じて⊖（デモ）を押して確認してから、⊙（確定）を押す

2 必要に応じて操作1を繰り返し、編集する

■ STEP3　保存する

1 ⊙（保存）を押す

2 「YES」を選択する

補足

- **件数オーバーまたはメモリ不足の場合は**
  次のように操作してメモリ不足分のファイルを削除すると、保存できます。
  ①確認画面で「YES」を選択する
  ②フォルダを選択し、削除するファイルを選択する
  ③⊖（完了）を押し、「YES」を選択する

▣ 動画編集中の機能メニューについて

動画の編集中やデモ再生中に一時停止した状態で、機能メニューから次の操作ができます。表示される機能メニューは、状況によって異なります。

機能メニュー	内　容
通常再生	通常の再生をします。
スロー再生	スロー再生します。
早送り再生	早送りで再生します。
停止	再生を終了します。
始点	一時停止した位置を、切り出しの始点に設定します。
終点	一時停止した位置を、オーディオ＆ムービー切り出しの終点に設定します。

機能メニュー	内　容
確定	一時停止した位置を、イメージ切り出しの画面として確定します。

メール添付

撮影した静止画や動画を、すぐにメールに添付して送信できます。静止画や動画の撮影方法については、「静止画の撮影」および「動画の撮影」を参照してください。

1. **撮影終了後の機能メニューから「メール作成」を選択する**

   動画を添付する場合は

   このあと必要に応じてタイトルを編集する

2. **メール作成画面で宛先、件名、本文などを入力して送信する**

静止画のプリントを指定する（DPOF設定）

DPOF（「Digital Print Order Format」の略称）とは、デジタルカメラで撮影した静止画のプリント指定形式です。703Nのデジタルカメラモードで撮影し、miniSDメモリカードに保存した静止画の中からプリントしたいものを選んで枚数（最大99枚）を指定しておけば、DPOF対応のデジタルカメラプリントショップやプリンタで、指定した情報に沿ったプリントができます。

- ボーダフォンライブ！などから入手した静止画はプリント指定できません。
- DPOFは、miniSDメモリカードの「DCIM」フォルダに保存されている静止画に対してのみ設定できます。
- 操作中にminiSDメモリカードの容量が不足すると、容量不足の確認メッセージが表示されます。この場合はいったん操作を終了し、不要なデータを削除してからやり直してください。
- プリント時の操作などの詳細については、プリントする機器の操作説明書をご覧ください。

■ プリントする静止画と枚数を指定する

1 MENUを押し、(データフォルダ)→「ピクチャー」→「メモリカード」→「DCIM」の順に選択し、ファイルの保存場所を選択する

2 プリント指定するファイルを反転表示する

3 機能メニューから「DPOF設定」を選択する

4 「プリント指定」を選択する

5 枚数を入力する

■ プリントの指定を解除する

1 MENUを押し、(データフォルダ)→「ピクチャー」→「メモリカード」→「DCIM」の順に選択し、ファイルの保存場所を選択する

2 プリント指定の解除操作をする

1件解除する場合

①指定を解除するファイルを選択する

②機能メニューから「DPOF 設定」を選択し、「プリント指定解除」を選択する

全件解除する場合

機能メニューから「DPOF設定」を選択し、「プリント指定全解除」を選択する

7 カメラ

ディスプレイとランプの設定

画面表示設定

待受画面にカレンダーや画像を表示させたり、電話の発信、着信画面、問い合わせ画面に画像を表示させることができます。あらかじめ登録されているプリインストール画像やダウンロードした画像、撮影した画像、自作アニメを選択できます。

[お買い上げ時] ■待受画面 カレンダー：背景画像あり、イメージ：Nature
■電話発信、電話着信、問い合わせ：すべてスタンダード

1 **MENUを押し、(設定)→「ディスプレイ設定」→「画面表示設定」の順に選択する**

2 **項目を選択し、設定操作をする**

待受画面にカレンダーを表示する場合は

①「待受画面」を選択する
②「カレンダー」を選択する
③「背景画像なし」を選択する

待受画面にカレンダーと背景画像を表示する場合は

①「待受画面」を選択する
②「カレンダー」を選択する
③「背景画像あり」を選択する
④フォルダを選択する
⑤画像を選択する

待受画面に画像を表示する場合は

①「待受画面」を選択する
②「イメージ」を選択する
③フォルダを選択する
④画像を選択する

電話の発信、着信画面、問い合わせ画面に画像を表示する場合は

①「電話発信」、「電話着信」、「問い合わせ」のいずれかを選択する
②フォルダを選択する
③画像を選択する

時計表示設定

■ 時計の表示方法を設定する

日本語表示または英語表示にできます。時計を表示させないときは「OFF」に設定します。

[お買い上げ時] ■日本語

1 **MENUを押し、(設定)→「時計」→「時計表示設定」→「表示方法」の順に選択する**

2 **設定を選択する**

注意

- Languageを「English」に設定している場合は、「ON」または「OFF」しか設定できません。

■ 時計の表示サイズを変更する

［お買い上げ時］ ■大きく表示

1 MENUを押し、(設定) →「時計」→「時計表示設定」→「表示サイズ」の順に選択する

2 設定を選択する

照明設定

メインディスプレイとサブディスプレイ、ボタンのバックライトの点灯方法などを設定できます。

［お買い上げ時］ ■通常時：ON ■待受画面省電力モード：ON、待ち時間：5分 ■充電時：標準
■範囲：液晶＋ボタン ■明るさ：レベル2

1 MENUを押し、(設定) →「ディスプレイ設定」→「照明設定」の順に選択する

2 項目を選択し、設定操作をする

通常時のバックライトの点灯方法を設定する場合は

①「通常時」を選択する
②設定を選択する
③待受画面省電力モードの設定を選択し、「ON」を選択した場合は待ち時間を入力する

充電時のバックライトの点灯方法を設定する場合は

①「充電時」を選択する
②設定を選択する

バックライトの点灯範囲を設定する場合は

①「範囲」を選択する
②設定を選択する

メインディスプレイのバックライトの明るさを設定する場合は

①「明るさ」を選択する
②明るさのレベルを選択する

補足

- **バックライトの点灯範囲について**
  「液晶＋ボタン」はディスプレイとボタンのバックライト、「液晶」はディスプレイのバックライトのみが点灯します。
- **バックライトの明るさのレベルについて**
  レベル1（暗い）、レベル2（標準）、レベル3（明るい）の中から選択します。

- **ボタン一つで通常時のバックライトのON／OFFを切り替えるには**
  待受画面で5を1秒以上押します。照明設定の「通常時」の設定（「ON」または「OFF」）も切り替わります。電源を切っても設定は変わりません。

注意

- **サブディスプレイのバックライトの明るさは変更できません。**

配色パターン

メインディスプレイに表示する文字や背景画面の配色を切り替えます。

［お買い上げ時］■スタンダード

1 **MENUを押し、（設定）→「ディスプレイ設定」→「配色パターン」の順に選択する**

2 **配色パターンを選択する**

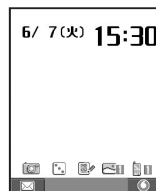
補足

- **配色パターンの反転表示中は**
  ディスプレイの配色が反転表示中のパターンに変わります。

注意

- **絵文字や画像は配色パターンを変更しても色が変わりません。また、ウェブのサイトやメールの本文の画面など、配色の変わらないデータや機能があります。**

よく使う機能を待受画面に設定する（デスクトップ）

よく使う機能やデータ、電話番号などを待受画面にデスクトップアイコンとして貼り付けると、簡単な操作で機能やデータを呼び出せます。アイコンは15件まで貼り付けられます。

待受画面のデスクトップアイコン

デスクトップに貼り付けられるアイコンは、次のとおりです。

アイコン	選択すると…
Vアプリライブラリ、ショートカット機能、スケジュール、簡易電卓、テキストメモ、予定リスト、カメラ、アクセスリーダー、バーコードリーダー	貼り付けた機能が起動します。
イメージ※1、動画、メロディ※2	貼り付けたデータが表示、再生されます。

アイコン	選択すると…
電話番号、E-mailアドレス、URL	貼り付けたデータを利用した画面（ダイヤル入力画面、メール作成画面、サイト画面）が表示されます。

※1「プリインストール」フォルダ内の画像および自作アニメは貼り付けられません。

※2「プリインストール」フォルダ内のメロディおよびおしゃべり機能で録音した音声は貼り付けられません。

■ デスクトップアイコンを貼り付ける

各機能の画面で、機能メニューから「デスクトップ貼付」を選択してデスクトップアイコンを貼り付けられます。

［お買い上げ時］ ■カメラ

〈例〉電話番号を貼り付ける場合

1. **電話帳やリダイヤル、着信履歴などの詳細画面で、設定したい電話番号を表示する**
2. **機能メニューから「デスクトップ貼付」を選択し、「YES」を選択する**

■ デスクトップアイコンから機能やデータを呼び出す

1. **待受画面で●を押す**
2. **デスクトップアイコンを選択する**

■ デスクトップアイコンの情報を確認する

1. **MENUを押し、（設定）→「ディスプレイ設定」→「デスクトップ」の順に選択する**
2. **確認するデスクトップアイコンを選択する**

■ デスクトップアイコンのタイトルを編集する

1. **MENUを押し、（設定）→「ディスプレイ設定」→「デスクトップ」の順に選択する**
2. **編集したいデスクトップアイコンを反転表示し、機能メニューから「タイトル名編集」を選択する**
3. **タイトルを編集する**

■ デスクトップアイコンをお買い上げ時の状態に戻す

1 **MENUを押し、(設定)→「ディスプレイ設定」→「デスクトップ」の順に選択する**

2 **機能メニューから「デスクトップ初期化」を選択する**

3 **「YES」を選択する**

■ デスクトップアイコンを削除する

1 **MENUを押し、(設定)→「ディスプレイ設定」→「デスクトップ」の順に選択する**

2 **項目を選択する**

1件削除する場合は

削除したいデスクトップアイコンを反転表示し、機能メニューから「1件削除」を選択して「YES」を選択する

全件削除する場合は

機能メニューから「全件削除」を選択して「YES」を選択する

本体を開くと同時に特定の電話番号を表示させる　（オート表示）

■ オート表示機能を設定する

指定した電話番号を表示させたい場合は「ON」に設定します。

［お買い上げ時］ ■OFF

1 **MENUを押し、(設定)→「ディスプレイ設定」→「オート表示」の順に選択する**

2 **設定を選択する**

■ オート表示させる電話番号を設定する

USIMカードの電話帳に登録されている電話番号には、オート表示を設定できません。

1 **電話帳の詳細画面で、設定する電話番号を表示する**

2 **機能メニューから「オート表示」を選択する**

補足

- **すでにオート表示が設定されている電話番号がある場合は**
  「すでに他の電話帳に設定されています　変更しますか？」というメッセージが表示されます。「YES」を選択すると、設定を変更できます。

注意

- **次の場合は、オート表示がONに設定されていても電話番号は表示されません。**
  - ・PIMロック中
  - ・オールロック中
  - ・シークレット専用モード時
  - ・オート表示する電話番号が指定されていない場合
  - ・オート表示を設定した電話番号以外の電話番号に指定発信制限が設定されている場合

サブディスプレイ

サブディスプレイを表示しないようにしたり、待受画面や背景などの表示方法を設定できます。

［お買い上げ時］ ■サブディスプレイ：ON
■待受表示固定：OFF
■待受画面表示：アナログ時計1、ピクト表示：ON
■背景設定：Nature
■着信表示：ON、着信表示：画像＋着信番号
■メール表示：ON
■アニメーション表示：ON、バックライト：OFF

1 **MENUを押し、（設定）→「ディスプレイ設定」→「サブディスプレイ」の順に選択する**

2 **設定を選択する**

各種の内容を表示させる場合は
「ON」を選択し、操作3に進む

何も表示しないようにする場合は
「OFF」を選択する

3 **項目を選択し、設定操作をする**

待受画面を固定する場合は
①「待受表示固定」を選択する
②設定を選択する

待受画面の時計を設定する場合は
①「待受画面表示」を選択する

②設定を選択する
③ピクト表示の設定を選択する

待受画面に背景画像を表示する場合は

①「背景設定」を選択する
②フォルダを選択する
③画像を選択する

音声電話やTVコールの着信時の表示を設定する場合は

①「着信表示」を選択する
②設定を選択し、「ON」を選択した場合は着信表示の種類を選択する

メール受信時の表示を設定する場合は

①「メール表示」を選択する
②設定を選択する

発信中に表示されるアニメーション表示を設定する場合は

①「アニメーション表示」を選択する
②設定を選択し、「ON」を選択した場合はバックライトの設定を選択する

補足

- **待受表示固定を「ON」に設定した場合は**
「着信表示」、「メール表示」、「アニメーション表示」は選択できません。

フォント設定

メインディスプレイおよびサブディスプレイに表示される文字の種類を2種類から選択できます。また、メインディスプレイの文字の太さを３種類から選択できます。ただし、メールのメッセージ画面、ウェブの情報画面に表示される文字の太さを変更することはできません。

［お買い上げ時］ ■文字種類：フォント1 ■太さ：中太字

1 **MENUを押し、(設定)→「ディスプレイ設定」→「フォント設定」の順に選択する**

2 **項目を選択し、設定操作をする**

文字の種類を設定する場合は

①「文字種類」を選択する
②使用するフォントを選択する

文字の太さを設定する場合は

①「太さ」を選択する
②文字の太さを選択する

補足

- **「フォント2」に切り替えられる文字の種類は**
文字種類を「フォント2」に設定すると、英字、数字、ひらがな、カタカナと一部の記号、ギリシャ文字、ロシア文字を「フォント2」に切り替えられます。漢字やそのほかの文字、電話番号の入力、時計表示などの文字は切り替わりません。

英語表示に切り替える

メインディスプレイやサブディスプレイに表示される機能名やメッセージを英語に切り替えられます。

［お買い上げ時］ ■Japanese

1 **MENUを押し、(設定)→「ディスプレイ設定」→「Language」の順に選択する**

2 **設定を選択する**

着信イルミネーション

ランプについて設定します。「着信イルミネーション選択」では点滅色を、「パターン設定」では点滅パターンを設定できます。「カラー設定」では色の名前を編集したり、色合いを調節できます。点滅色は、12色とグラデーションから選択できます。

［お買い上げ時］ ■着信イルミネーション選択　電話：色5、TVコール：色5、メール：色1
■パターン設定：固定パターン
■カラー名：色1～色12

1 **MENUを押し、(設定)→「音関連設定」→「着信イルミネーション」の順に選択する**

2 **項目を選択し、設定操作をする**

点滅色を選択する場合は

①「着信イルミネーション選択」を選択する
②設定する項目を選択する
③点滅色を選択する

点滅パターンを選択する場合は

①「パターン設定」を選択する
②点滅パターンを選択する

カラー名を編集する場合は

①「カラー設定」を選択する
②「カラー名編集」を選択する

③編集するカラー名を選択する
④カラー名を編集する

色合いを調節する場合は

①「カラー設定」を選択する
②「カラー調節」を選択する
③調節するカラー名を選択する
④で調節する色に枠を移動し、で輝度を調節する
⑤（確定）を押す

補足

- **ランプの色を確認するには**
「着信イルミネーション選択」で点滅色を選択するときや、「カラー設定」でカラー名を選択するときには、ランプが反転表示中の色で点灯し、実際の色を確認できます。
- **カラー調節について**
色1～色12について、赤、緑、青でそれぞれ12段階の調節ができます。
- **グラデーションについて**
グラデーションは、色1～色12までの色を順に点灯します。

通話中イルミネーション

通話中や保留中のランプの点滅色を設定できます。点滅色は、7色と3種類のグラデーションから選択できます。点滅させないときは「OFF」に設定します。

［お買い上げ時］ ■OFF

1 を押し、（設定）→「通話設定」→「通話中イルミネーション」の順に選択する

2 点滅色を選択する

補足

- **点滅色を確認するには**
操作2では、ランプが反転表示中の色で点滅し、実際の色を確認できます。
- **グラデーション1～3について**
グラデーション1～3は、順に点灯する色の組み合わせがそれぞれ異なります。

音の設定

着信設定

■ 着信音量

着信音の大きさを6段階のレベルに調節したり、音が3秒ごとに大きくなる「ステップ」や、音を鳴らさない「消去」に設定できます。

[お買い上げ時] ■電話／TVコール：レベル4
■メール：レベル4

1 を押し、（設定）→「音関連設定」→「着信音量」の順に選択する

2 項目を選択する

3 を押して着信音量を調節する

ステップに設定する場合は
レベル6のときにを押す

消去に設定する場合は
レベル1のときにを押す

4 （確定）を押す

補足

- **着信音量の「電話／TVコール」を変更すると**
メディアプレイヤー、スケジュールや予定リストのアラームの音量や、各種の設定で音声電話やTVコールの着信音を選択するときの試聴音量にも反映されます。
- **着信音量の「メール」を変更すると**
各種の設定でメールの着信音を選択するときの試聴音量にも反映されます。
- **着信音量の「電話／TVコール」をステップまたは消去に設定すると**
メディアプレイヤーの再生時は、レベル2で再生されます。
- **マナーモードが設定されている場合は**
マナーモードの設定内容が優先されます。

■ 着信音選択

音声電話、TVコール、メールを受けたときの着信音をそれぞれ選択できます。ランダムメロディに設定すると、着信するごとに違うメロディが鳴ります。

[お買い上げ時] ■電話：着信音1 ■TVコール：着信音1
■メール：着信音2

1 を押し、（設定）→「音関連設定」→「着信音選択」の順に選択する

2 項目を選択する

3 着信音を選択する

あらかじめ登録されているメロディを選択する場合は

①「メロディ」を選択する
②「プリインストール」を選択する
③メロディを選択する

保存されているメロディを選択する場合は

①「メロディ」を選択する
②フォルダを選択する
③メロディを選択する

ムービーを選択する場合は

①「オーディオ＆ムービー」を選択する
②フォルダを選択する
③必要に応じて、ムービーを反転表示させて(−)(デモ)を押し、ムービーを確認する
④ムービーを選択する

録音されているおしゃべりを選択する場合は

①「おしゃべり」を選択する
②「おしゃべり1」または「おしゃべり2」を選択する

フォルダ内のメロディがランダムに鳴るようにする場合は

①「ランダムメロディ」を選択する
②フォルダを選択する

着信音を鳴らさないようにする場合は

「OFF」を選択する

補足

- **選択操作中に鳴っている着信音を止めるには**
  操作3では、一覧画面で反転表示中の着信音が鳴り、着信音を確認できます。着信音を止めるには、(電話)、左右の(−)、(＊)、(#)のいずれかのボタンを押します。

- **一覧画面のデータを並べ替えるには**
  「プリインストール」と「おしゃべり」を除くフォルダから選択する場合には、一覧画面の機能メニューから「ソート」を選択すると、並べかたの基準を選択してデータを並べ替えることができます。

- **メールの着信音を設定する場合は**
  「オーディオ＆ムービー」は選択できません。

- **「プリインストール」フォルダ内の着信音・メロディ一覧**

表　示	備　考
着信音1～3	―
Scarborough Fair	イギリス民謡
四季より「秋」	ANTONIO VIVALDI
木星	GUSTAV THEODORE HOLST
ジュトゥヴ	SATIE Erik
さくらさくら	日本古謡
カノン	Johann Pachelbel
ノクターン	CHOPIN FREDERIC FRANCOIS
夢路より	Stephen Collins Foster
トッカータとフーガ	Johann Sebastian Bach
wonderful moments	―
Calling	―

表　示	備　考
You've Got Mail	—
キラキラ	—
ヒーリング	—
ひよこ	—
ハト時計	—
アーケード	—
Voice Percussion	—

注意

- **データの内容によっては、着信音として選択できない場合があります。**
- **miniSDメモリカードのデータは選択できません。**
- **メールの着信音にはムービーを設定できません。**

■ バイブレータ

音声電話、TVコール、メールを受けたときの振動パターンを設定できます。

［お買い上げ時］ ■電話、TVコール、メール：すべてOFF

1 MENUを押し、(設定)→「音関連設定」→「バイブレータ」の順に選択する

2 項目を選択する

3 振動パターンを選択する

着信音に設定されているメロディに合わせて振動させる場合は

「メロディ連動」を選択する

補足

- **選択操作中のバイブレータの振動を止めるには**
  操作3では、一覧画面で反転表示中のパターンでバイブレータが振動し、パターンを確認できます。振動を止めるには、、左右の、、のいずれかのボタンを押します。

注意

- **バイブレータを設定しているときは、着信時などの振動で703Nが火気（ストーブなど）に近づいたり、机から落ちる場合があるので注意してください。**

■ メール鳴動

メールを受信したときに着信音を鳴らすかどうかを選択し、鳴らす場合はその時間を1～30秒の範囲で設定できます。

［お買い上げ時］ ■設定：ON、鳴動時間：5秒

1 MENUを押し、(設定)→「音関連設定」→「メール鳴動」の順に選択する

2 設定を選択し、「ON」を選択した場合は着信音を鳴らす秒数を入力する

補足

- **OFFに設定すると**
  メールを受信したときに着信音、振動、ランプ、バックライトによる着信のお知らせをしません。
- **鳴動時間を変更すると**
  バックライトとランプの点灯時間が連動して変わります。

■ 呼出時間表示設定

すぐに切れてしまう迷惑電話（ワン切り）が多いときなどに便利な設定です。電話がかかってきてもすぐに呼び出し動作を開始しないで、無音でいる秒数を設定できます。また、呼び出しする前に切れたときは不在着信の表示もしないように設定できます。

［お買い上げ時］ ■無音時間設定：0秒
■時間内不在着信表示：表示する

1 MENUを押し、(設定)→「音関連設定」→「呼出時間表示設定」の順に選択する

2 項目を選択し、設定操作をする

呼び出し動作を開始するまでの時間を設定する場合は

①「無音時間設定」を選択する
②無音時間の秒数を入力する

無音時間内の不在着信を表示するかどうかを設定する場合は

①「時間内不在着信表示」を選択する
②設定を選択する

補足

- **電話帳に登録されている電話番号からかかってきたときは**
  着信と同時に呼出動作を開始します。本機能は、電話帳に登録されていない電話番号からの着信にのみ適用されます。
- **無音時間内の703Nの動作は**
  メインディスプレイやサブディスプレイには着信中の画面が表示され、応答することもできます。

着信音／アラーム音に使う音声の録音（おしゃべり機能）

あらかじめ音声を「おしゃべり1」または「おしゃべり2」に録音しておくと、スケジュール、予定リスト、またはめざまし時計のアラーム音、簡易留守録の応答メッセージ、各種着信音、応答保留音、通話中保留音に録音した音声を選択できるようになります。1件あたり、約15秒間録音できます。

1 MENUを押し、(ツール)→「おしゃべり機能」の順に選択する

2 「おしゃべり 1」または「おしゃべり 2」を選択する

3 「録音」を選択する

4 音声を録音する

録音終了5秒前になると

残り5秒を知らせる「ピッ」という音が鳴ったあと、自動的に録音が終了する

録音を途中でやめる場合は

◉（停止）または CLEAR BACK を押す

補定

- **録音したおしゃべりを確認するには**
  ① 操作1～2を行う
  ②「再生」を選択する
- **おしゃべりを消去するには**
  ① 操作1～2を行う
  ②「消去」を選択し、「YES」を選択する

▣ おしゃべりをアラーム音に使う場合の開始音について

「開始音」を設定すると、おしゃべりをアラーム音として流す前に「ピピッ」という音が鳴ります。開始音を「ON」にすると、メニュー項目「開始音設定」に「★」が付きます。
開始音を設定または解除するには、次のように操作します。
① 操作1～2を行う
②「開始音設定」を選択する
③ 設定を選択する

各種確認音の設定

■ ボタン確認音

ボタンを押したときの確認音を鳴らすかどうかを設定できます。ONの場合の音量レベルは、必ずレベル2となります。

［お買い上げ時］ ■ON

1 MENU を押し、（設定）→「その他」→「ボタン確認音」の順に選択する

2 設定を選択する

補足

- **設定を変更すると**
  各種の操作アラーム音、スヌーズ解除音、受話音量調節時の通知音、電池残量の確認音にも反映されます。

■ 充電確認音

充電開始時、終了時の確認音を鳴らすかどうかを設定できます。ONに設定しても、マナーモードを設定している場合、充電確認音は鳴りません。

［お買い上げ時］ ■ON

1 MENUを押し、(設定)→「その他」→「充電確認音」の順に選択する

2 設定を選択する

保留中ガイダンスの設定（保留音選択）

電話がかかってきた場合に応答できないとき、電話をかけてきた相手に流す応答保留音と、通話中に保留したときの保留音をそれぞれ設定できます。

［お買い上げ時］ ■応答保留音：応答保留音1
■通話中保留音：エリーゼのために

1 MENUを押し、(設定)→「通話設定」→「保留音選択」の順に選択する

2 項目を選択する

3 保留音を選択する

補足

● **保留音を試聴するには**
保留音の選択画面で保留音を反転表示し、⊖（デモ）を押します。

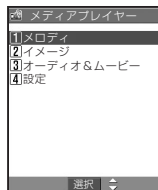
● **保留音の一覧**

設定項目	保留音	内　容
応答保留音	応答保留音1	「ただいま電話に出ることができません。そのままお待ちになるか、しばらくたってからおかけ直しください。」
	応答保留音2	「ただいま電話に出ることができません。しばらくたってからおかけ直しください。」
	おしゃべり1	おしゃべり機能で録音した音声データ※
	おしゃべり2	
通話中保留音	エリーゼのために	－
	おしゃべり1	おしゃべり機能で録音した音声データ※
	おしゃべり2	

※ 録音されていない場合「おしゃべり1」、「おしゃべり2」は表示されません。

メディアプレイヤー

メディアプレイヤーをご利用になる前に

メディアプレイヤーは、データフォルダに保存されている静止画や動画、メロディなどを楽しむための機能です。

メディアプレイヤー画面

「メロディ」からは、あらかじめ登録されているプリインストールメロディやボーダフォンライブ！で入手したメロディ、ご自分で録音した音声などの再生ができます。

「イメージ」からは、703Nのカメラで撮影したりボーダフォンライブ！で入手した静止画、プリインストール画像などを楽しめます。

「オーディオ＆ムービー」からは、703Nのカメラで撮影したりボーダフォンライブ！で入手した動画や着うた®などの再生ができます。

「設定」では、メディアプレイヤー利用中のメインディスプレイの照明と、メロディや動画の再生パターンについて設定できます。

ファイルの再生や機能メニューを使った操作は、データフォルダからもできます。ファイルの移動や削除、サブフォルダの追加などの操作については、「データ管理」の章を参照してください。

■ **著作権情報を含むファイルの利用について**

ダウンロードしたメロディや画像のファイルなどに著作権保護情報が含まれていると、再生や利用、転送などが制限される場合があります。「有効期限」、「使用可能時間」、「使用可能回数」や転送が可能かどうかなど、各種の著作権保護情報は、一覧画面の機能メニュー「プロパティ」／「プロパティ表示」で確認できます。

使用可能回数が残り1回になったときは、再生操作をしたときに「残り使用回数が1回です　再生しますか？」と表示されます。

利用権利がない場合は「コンテンツ・キーがありません」、「コンテンツ・キーが終了しました」などのメッセージが表示されます。権利取得の操作をしてください。

著作権保護情報が含まれるファイルをダウンロードした場合や権利取得の操作をした場合は、利用権利の取得がメールで通知されます。

メロディ／音声を再生する

ダウンロードしたメロディやあらかじめ登録されている「プリインストール」フォルダ内のメロディ、おしゃべり機能で録音した音声などを再生できます。

1 (MENU)を押し、(メディアプレイヤー)→「メロディ」の順に選択する

2 フォルダを選択する

3 一覧画面でファイルを反転表示し、(●)(再生)を押す

■ 再生中の操作について

再生中には、ボタンや機能メニューを使った次の操作ができます。

(↑)／サイドボタンの(▲)：音量大
(↓)／サイドボタンの(▼)：音量小
(←)／(→)：前後の曲の再生
(−)(off／on)：ミュート（消音）の設定／解除
(●)(停止／再生)：停止／再生
(CLEAR BACK)：終了
(−)(機能)：機能メニューの表示

■ 一覧／再生中／停止中の機能メニューについて

一覧画面やメロディ、音声の再生中または停止中の機能メニューからは次の操作ができます。表示される機能メニューは、ファイルの種類によって異なります。

機能メニュー	内 容
タイトル名編集	一覧などに表示されるタイトルを変更します。
ファイル名編集	プロパティなどに表示されるファイル名を変更します。
着信音設定	反転表示中または再生中のメロディ、音声を着信音に設定します。
デスクトップ貼付	メロディをすぐに再生できるように、デスクトップアイコンとして貼り付けます。
メール添付	反転表示中または再生中のファイルを添付したメールを新規作成します。
プロパティ	ファイルサイズや更新日時、著作権保護情報などを表示します。
1件削除	反転表示中のファイルを削除します。
選択削除	ファイルを選択し、まとめて削除します。
全件削除	同一フォルダ内のすべてのファイルを削除します。
ソート	並べかたの基準を選択して一覧画面の表示順を並べ替えます。
メモリカードへコピー／本体へコピー	反転表示中または再生中のファイルを、miniSDメモリカードまたは本体のデータフォルダにコピーします。
メモリカードへ移動／本体へ移動	反転表示中のファイルを、miniSDメモリカードまたは本体のデータフォルダに移動します。
フォルダ移動	ファイルを選択し、別のフォルダに移動します。
権利取得	ウェブアクセスして、ファイルの利用権利を取得する操作をします。

画像を見る

703Nで撮影した静止画やダウンロードした画像、プリインストール画像、自作アニメなどを再生できます。

1 MENUを押し、(メディアプレイヤー) →「イメージ」の順に選択する

2 フォルダを選択する

3 一覧画面でファイルを反転表示し、●(表示)を押す

■ 一覧／画像表示中画面の機能メニューについて

一覧画面や画像表示中の機能メニューからは、次の操作ができます。表示される機能メニューは、ファイルの種類によって異なります。

機能メニュー	内　容
イメージ編集	画像を編集します（☞「カメラ」の章）。
タイトル編集	一覧などに表示されるタイトルを変更します。
イメージ貼付	画像を各種の画面に設定します（☞「データ管理」の章）。
プロパティ	ファイルサイズや更新日時、著作権保護情報などを表示します。
メール添付	反転表示中または表示中のファイルを添付したメールを新規作成します。
赤外線送信	赤外線通信対応機器にデータを送信します（☞「赤外線通信」の章）。
画像表示設定	画像の表示方法を「標準」または「画面サイズで表示」に設定します。
デスクトップ貼付	画像をすぐに表示できるように、デスクトップアイコンとして貼り付けます。
メモリカードへコピー／本体へコピー	反転表示中または表示中のファイルを、miniSDメモリカードまたは本体のデータフォルダにコピーします。
メモリカードへ移動／本体へ移動	反転表示中のファイルを、miniSDメモリカードまたは本体のデータフォルダに移動します。
電話帳登録	着信時に表示される画像として電話帳に登録します。
メール用サイズ変更	JPEG画像をメールに添付できるサイズに縮小します。
貼付表示位置	貼り付け先での画像の表示位置を設定します（☞「データ管理」の章）。
切り出し範囲	貼り付け先での画像の表示範囲を設定します（☞「データ管理」の章）。
ファイル名編集	プロパティなどに表示されるファイル名を変更します。
フォルダ移動	反転表示中のファイルを別のフォルダに移動します。
1件削除	反転表示中または表示中のファイルを削除します。

機能メニュー	内　容
全件削除	同一フォルダ内のすべてのファイルを削除します。
複数選択	複数のファイルを選択したあと、再度機能メニュー※を使って削除や別のフォルダへの移動をします。
ソート	並べかたの基準を選択して一覧画面の表示順を並べ替えます。
タイトル名一覧／サムネイル	一覧画面の表示方法を、一時的にタイトル名一覧または画像を使った表示に切り替えます。
4枚画像合成	画像を4枚選び、1枚の画像に合成します。
リトライ	再生中のアニメーションファイルを始めから再生し直します。または表示中のSVGファイルを拡大、縮小、上下左右にスクロールした状態からもとの表示に戻します。
権利取得	ウェブアクセスして、ファイルの利用権利を取得する操作をします。
DPOF設定	反転表示中または表示中のminiSDメモリカードの「DCIM」フォルダ内の画像に、プリントの設定をします（☞「カメラ」の章）。
コピー	反転表示中のminiSDメモリカードの「DCIM」フォルダ内の画像を、「DCIM」フォルダ内の自作フォルダにコピーします。

機能メニュー	内　容
移動	反転表示中のminiSDメモリカードの「DCIM」フォルダ内の画像を、「DCIM」フォルダ内の自作フォルダに移動します。
自作アニメ設定	自作アニメを編集します。
自作アニメ解除	自作アニメを解除します。

※ 機能メニュー「タイトル名一覧／サムネイル」、「削除」、「移動」、「全件選択」、「全件選択解除」を選択できます。

■ 画像表示中の操作について

画像の表示中には、ボタンや機能メニューを使った次の操作ができます。

- ⓪／サイドボタンの▲：大きい画像をスクロールして上方を表示
- ⓪／サイドボタンの▼：大きい画像をスクロールして下方を表示
- ◀／▶：前後の画像の表示
- ⊖（機能）：機能メニューの表示

SVGファイルを表示しているときは次の操作ができます。

- #／*：拡大表示／縮小表示
- 4／6：スクロールして左方を表示／右方を表示
- 2／8：スクロールして上方を表示／下方を表示

10 メディアプレイヤー

動画を見る

703Nで撮影した動画やダウンロードした動画、着うた®などを再生できます。ファイルを1つずつ再生するほか、プレイリストを作成して続けて再生することもできます。

10

メディアプレイヤー

■ 動画を選んで再生する

1 **MENUを押し、(メディアプレイヤー)→「オーディオ&ムービー」の順に選択する**

2 **フォルダを選択する**

3 **一覧画面でファイルを反転表示し、●(再生)を押す**

▣ 一覧／一時停止中画面の機能メニューについて

一覧画面や動画の一時停止中の機能メニューからは、次の操作ができます。表示される機能メニューは、ファイルの種類によって異なります。

機能メニュー	内　容
通常再生	通常の再生をします。
スロー再生	スロー再生します。
早送り再生	早送りで再生します。
停止	再生を終了します。
再生位置選択	を押して再生開始位置を指定し、●(確定)を押すと、その位置からの再生が開始されます。
オーディオ&ムービー編集	動画を編集します(☞「カメラ」の章)。
タイトル編集	一覧などに表示されるタイトルを変更します。
メール添付	反転表示中または再生中のファイルを添付したメールを新規作成します。
着信音設定	反転表示中または再生中の動画を着信音に設定します。
プロパティ表示	ファイルサイズや更新日時※1などの情報を表示します。
赤外線送信	赤外線通信対応機器にデータを送信します(☞「赤外線通信」の章)。
メモリカードへコピー／本体へコピー	反転表示中または再生中のファイルを、miniSDメモリカードまたは本体のデータフォルダにコピーします。
メモリカードへ移動／本体へ移動	反転表示中のファイルを、miniSDメモリカードまたは本体のデータフォルダに移動します。
フォルダ移動	反転表示中のファイルを別のフォルダに移動します。
デスクトップ貼付	動画をすぐに再生できるように、デスクトップアイコンとして貼り付けます。

機能メニュー	内　容
画像表示設定	表示サイズを「等倍表示」または「画面サイズで表示」に設定します。
電話帳登録	着信時に表示される動画として電話帳に登録します。
ファイル名編集	プロパティなどに表示されるファイル名を変更します。
1件削除	反転表示中のファイルを削除します。
全件削除	同一フォルダ内のすべてのファイルを削除します。
複数選択	複数のファイルを選択したあと、再度機能メニュー※2を使って削除や別のフォルダへの移動をします。
ソート	並べかたの基準を選択して一覧画面の表示順を並べ替えます。
一覧表示切替	一覧画面の表示方法を切り替えます。
権利取得	ウェブにアクセスして、ファイルの利用権利を取得する操作をします。

※1 ダウンロードしたMP4ファイルは作成日時が表示されます。

※2 機能メニュー「削除」、「移動」、「全件選択」、「全件選択解除」を選択できます。

■ 再生中／一時停止中の操作について

再生中または一時停止中には、ボタンや機能メニューを使った次の操作ができます。

●（停止／再生）：一時停止／再生再開
上／サイドボタンの上：音量大
下／サイドボタンの下：音量小
左／右：前後の動画の再生
左を1秒以上：巻き戻し
右を1秒以上：早送り
再生中の−（早送）：早送り再生
一時停止中の−（コマ送）：コマ送り（押すごとにコマが進む）
再生中の−（off／on）：ミュート（消音）の設定／解除
CLEAR BACK：終了
一時停止中の−（機能）：機能メニューの表示

■ プレイリストを使って再生する

最大10ファイルの動画を並べたプレイリストを作り、リスト順に再生できます。

1 MENUを押し、（メディアプレイヤー）→「オーディオ＆ムービー」の順に選択する

2 「プレイリスト」を反転表示し、機能メニューから「プレイリスト編集」を選択する

3 リスト番号を選択し、フォルダからファイルを選択する

動画をプレイリストから解除する場合は

解除する動画を選択し、「オーディオ＆ムービー解除」を選択して「YES」を選択する

4 操作3を繰り返してリストを作成し、⊖（完了）を押す

5 「プレイリスト」を反転表示し、◉（再生）を押す

補足

- **プレイリストを解除するには**
  ①操作1を行う
  ②「プレイリスト」を反転表示し、機能メニューから「プレイリスト解除」を選択して「YES」を選択する

注意

- ファイルによってはプレイリストに設定できない場合があります。miniSDメモリカードに保存されているファイルは選択できません。

メディアプレイヤーの設定

■ 再生パターンを設定する

音楽や動画を繰り返し楽しみたいときに便利な設定です。メディアプレイヤーで再生操作をしたときに、1曲を繰り返し再生したり、フォルダやプレイリストのすべてのファイルを繰り返し再生するように設定できます。

［お買い上げ時］ ■一曲再生

1 MENUを押し、（メディアプレイヤー）→「設定」→「再生パターン」の順に選択する

2 設定を選択する

■ 再生中のパネル照明を設定する

再生中のメインディスプレイの照明について設定します。

［お買い上げ時］ ■通常動作

1 MENUを押し、（メディアプレイヤー）→「設定」→「パネル照明設定」の順に選択する

2 設定を選択する

補足

- **設定による動作は**
  設定により、次のような動作になります。
  ・「通常動作」：ディスプレイ設定の「照明設定」に従う。
  ・「常時ON」：再生中は常時点灯する。
  ・「常時OFF」：再生中はボタン操作をしても点灯しない。

■ 音響効果を有効／無効にする設定（SRS_WOW設定）

メディアプレイヤーやデータフォルダからファイルを再生するときに共通の設定です。音響効果が設定されている音声付き動画を再生するときに、その効果を有効にするには「ON」に設定します。

［お買い上げ時］ ■ON

① MENUを押し、（設定）→「その他」→「SRS_WOW 設定」の順に選択する
② 設定を選択する

メモリカード

メモリカードをご利用になる前に

703Nでは、外部メモリとしてminiSDメモリカードを利用できます。703Nのカメラで撮影した静止画や動画は、703N本体かminiSDメモリカードのどちらかを選んで保存できます。また、703N本体とminiSDメモリカードの間で、さまざまなデータを転送（コピーおよび移動）することもできます。

- 703Nには、miniSDメモリカードが同梱されておりません。市販のminiSDメモリカードをお買い求めのうえ、ご利用ください。
- miniSDメモリカードの詳細については、市販のminiSDメモリカードに添付されている取扱説明書をご覧ください。
- すでに何らかのデータが保存されているminiSDメモリカードを初めて703Nで使用する際には、必要なデータをパソコンなどに退避してから、703Nのフォーマット機能を使ってフォーマットしてください（☞「メモリカードの利用」）。

■ miniSDメモリカードの取り扱い

miniSDメモリカードをご使用になるときは、次のことにご注意ください。

- miniSDメモリカードの登録内容は、事故や故障によって消失または変化してしまうことがあります。大切なデータは控えをとっておくことをおすすめします。なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 703Nの電源を入れた状態でminiSDメモリカードを取り付けたり、取り外したりしないでください。
- miniSDメモリカードは正しく取り付けてください。正しく取り付けられていないとご利用になれません。
- 新たにラベルやシールを貼らないでください。miniSDメモリカードは非常に薄く、精密に作られているため、ラベルやシール程度の厚みでも接触不良やデータの破壊などの原因となることがあります。
- miniSDメモリカードは、乳幼児の手の届かない場所に保管するようにしてください。誤って飲み込んだりけがの原因となることがあります。
- miniSDメモリカードは、推奨のものをご使用ください。推奨以外のminiSDメモリカードは使用できない場合や正しく動作しない場合があります。
- miniSDメモリカードにアクセスしているときは、miniSDメモリカードを703Nから抜いたり、電源を切ったり、電池パックを取り外したりしないでください。データが破壊されたり、miniSDメモリカードが使えなくなる場合があります。

- 703Nの電池残量が少ない場合は、miniSDメモリカードを利用できないことがあります。

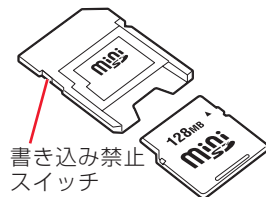
補足

- **703Nで推奨するメモリカードは**
  16Mバイト、32Mバイト、64Mバイト、128MバイトのminiSDメモリカードです。miniSDメモリカードおよびminiSDメモリカードアダプタは、家電製品取扱店などでお買い求めいただけます。

▣ miniSDメモリカードをパソコンなどで利用するときは

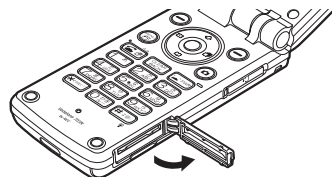
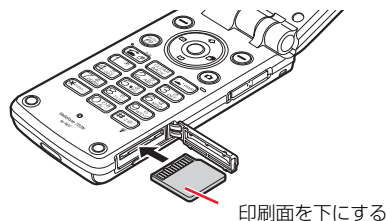
miniSDメモリカードを市販のminiSDメモリカードアダプタに装着すると、SDメモリカードに対応したパソコンなどでも利用できます。

▣ 書き込み禁止スイッチについて

miniSDメモリカードアダプタには、データの誤消去を防止する「書き込み禁止スイッチ」があります。パソコンなどで利用するときにアダプタの「書き込み禁止スイッチ」を「LOCK」にすると、miniSDメモリカードのデータを消去したりデータを書き込んだりできなくなります。

■ miniSDメモリカードを取り付ける／取り外す

■ 取り付ける

必ず703Nの電源を切った状態で取り付けてください。

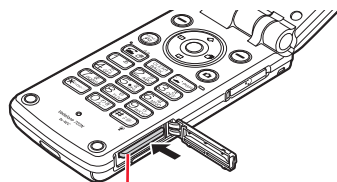
1 miniSDメモリカードスロットのカバーを開く

2 miniSDメモリカードを差し込み、ロックされるまでゆっくり押し込む

3 カバーを閉じる

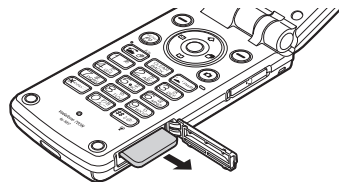
補足

- miniSDメモリカードを取り付けているときのメインディスプレイには
  「[icon]」が表示されます。miniSDメモリカードに不具合がある場合や、正常にフォーマットできなかった場合は「[icon]」が表示されます。メモリカードフォーマットやメモリカードチェックディスクを行ってください。

■ 取り外す

必ず703Nの電源を切った状態で取り外してください。

1 miniSD メモリカードスロットのカバーを開き、miniSDメモリカードを軽く押し込む

軽く押し込んで手を離すと、miniSD
メモリカードが少し飛び出てくる

2 miniSD メモリカードをゆっくり引き抜いて取り出す

miniSDメモリカードをまっすぐに引き抜く

3 カバーを閉じる

メモリカードの利用

■ miniSDメモリカードをフォーマット（初期化）する

miniSDメモリカードを使うときは、703Nでフォーマットする必要があります。フォーマットすると、すべてのデータが消去されるのでご注意ください。

1 (MENU)を押し、[icon]（ツール）→「メモリカード」の順に選択する

2 機能メニューから「メモリカードフォーマット」を選択する

3 端末暗証番号を入力して「YES」を選択する

注意

- フォーマットは、電池パックが十分に充電された状態で行ってください。
- フォーマット中は、絶対にminiSDメモリカードや電池パックを抜かないでください。miniSDメモリカードや703Nが破損する恐れがあります。

▣ miniSDメモリカードの状態チェックについて

miniSDメモリカードの操作中に電源が切れたことが原因でデータに不具合が生じることがあります。その場合、miniSDメモリカードのチェックによって修復できることがあります。

①(MENU)を押し、(ツール)→「メモリカード」の順に選択する

②機能メニューから「メモリカードチェックディスク」を選択し、「YES」を選択する

703Nで作成したフォルダやデータをパソコンなどの操作で削除したことなどが原因で、チェックディスクを行っても修復されなかった場合には、再度miniSDメモリカードをフォーマットする必要があります。miniSDメモリカード内の必要なデータをパソコンなどに退避してから、703Nのフォーマット機能を使ってフォーマットしてください。

■ miniSDメモリカード内のデータを確認する

■ miniSDメモリカードに保存できるファイル

miniSDメモリカードには、次の2つのタイプのデータを保存できます。

データ	特　長
静止画、動画、メロディ、Vアプリ、vファイル(「その他ファイル」フォルダに保存されているデータ)	本体とminiSDメモリカードとの間で、1件ずつコピーまたは移動ができます(Vアプリは移動のみ)。
電話帳、スケジュール、予定リスト	・本体とminiSDメモリカードとの間で電話帳、スケジュール(スケジュールや予定リスト)のデータを全件まとめてエクスポートまたはインポートできます。 ・miniSDメモリカードから本体には、1件ずつインポートできます。

▣ メモリの使用状況の確認について

miniSDメモリカードのメモリ容量や空き容量などを確認できます。

①(MENU)を押し、(ツール)→「メモリカード」の順に選択する

②機能メニューから「メモリカード情報表示」を選択する

■ データフォルダからの確認

データフォルダを起動し、それぞれの種別フォルダからminiSDメモリカード内のデータを確認します。

1 MENUを押し、(データフォルダ)を選択してフォルダを選択する

静止画を確認する場合は

①「ピクチャー」→「メモリカード」→「DCIM」または「ピクチャー」の順に選択し、「DCIM」を選択した場合はフォルダを選択する

②確認するファイルを反転表示し、●(表示)を押す

動画またはメロディを確認する場合は

①「ムービー」または「着信メロディ&サウンド」→「メモリカード」の順に選択する

②確認するファイルを反転表示し、●(再生)を押す

Vアプリを確認(起動)する場合は

①「Vアプリ」を選択し、機能メニューから「メモリカードへ切替」を選択する

②Vアプリを選択する

vファイルを確認する場合は

①「Bookmarks」/「定型文」/「その他ファイル」→「メモリカード」の順に選択する

②確認するファイルを選択する

③確認するデータを選択する

■ メディアプレイヤーからの確認

静止画、動画およびメロディを確認できます。

1 MENUを押し、(メディアプレイヤー)→「イメージ」、「オーディオ&ムービー」または「メロディ」→「メモリカード」の順に選択する

静止画を確認する場合は

「DCIM」または「ピクチャー」を選択し、「DCIM」を選択した場合はフォルダを選択する

2 確認するファイルを反転表示し、●(表示/再生)を押す

■ ツールメニューの「メモリカード」からの確認

まとめてエクスポートした電話帳、スケジュール、予定リストを確認できます。

1 MENUを押し、(ツール)→「メモリカード」の順に選択する

2 分類を選択する

電話帳を確認する場合は

①「電話帳」を選択し、ファイルを選択する

②確認するデータを選択する

11 メモリカード

スケジュールまたは予定リストを確認する場合は

①「スケジュール」を選択し、ファイルを選択する

②確認するデータを選択する

▣ ファイルのタイトル編集について

703N本体からまとめてエクスポートした場合、miniSDメモリカード内のファイルにはエクスポートの日付、時刻がタイトルとして付けられています。このタイトルを編集できます。ファイルを確認する場合と同じ手順でファイルを呼び出し、次のように操作します。

① ファイルを反転表示し、機能メニューから「タイトル編集」を選択する

② タイトルを編集する

データの転送

703N本体とminiSDメモリカードとの間で、データのやりとりができます。

■ 1件ずつコピー／移動する

静止画や動画、メロディ、vファイルをそのままのファイル形式でコピーまたは移動できます。

Vアプリの移動については、「Vアプリの基本操作」の「Vアプリの管理」を参照してください。

■ 本体からminiSDメモリカードにコピー／移動する

1 コピーまたは移動するファイルを一覧画面で反転表示する

2 機能メニューを使った操作をする

コピーする場合は

「メモリカードへコピー」を選択し、確認メッセージが表示された場合は「OK」を選択する

移動する場合は

「メモリカードへ移動」を選択し、確認メッセージが表示された場合は「YES」を選択する

補足

- **静止画、動画、メロディの内容を確認してからコピーするには**
  ファイルの表示画面や再生画面の機能メニューを使って、同様に操作します。

- **コピー／移動した静止画のminiSDメモリカードでの保存先は**
  「デジタルカメラ」フォルダの静止画は「DCIM」フォルダに、「INBOX」フォルダや自作のサブフォルダの静止画は「ピクチャー」フォルダに保存されます。

- **各種の設定に利用されているファイルを miniSD メモリカードに移動すると**
  各種の画面や着信音などに設定されているファイルをminiSDメモリカードに移動すると、その設定はお買い上げ時の状態に戻ります。

- **自作アニメに使用されている画像を miniSD メモリカードに移動すると**
  画像を1つでもminiSDメモリカードに移動すると、自作アニメの設定が解除されます。

■ miniSD メモリカードから本体にコピー／移動する

1 コピーまたは移動するファイルを一覧画面で反転表示する

2 機能メニューを使った操作をする

コピーする場合は

「本体へコピー」を選択し、確認メッセージが表示された場合は「OK」を選択する

移動する場合は

「本体へ移動」を選択し、確認メッセージが表示された場合は「YES」を選択する

補足

- **静止画、動画、メロディの内容を確認してからコピーするには**
  ファイルの表示画面や再生画面の機能メニュー「本体へコピー」を使って、同様に操作します。
  メモリカード内のMIDIファイルの場合、再生中に「本体へコピー」はできない場合があります。

- **コピー／移動した静止画の703N本体での保存先は**
  「DCIM」フォルダの静止画は「デジタルカメラ」フォルダに、「ピクチャー」フォルダの静止画は「INBOX」フォルダに保存されます。

■ インポート／エクスポートする

703N本体の電話帳、スケジュール、予定リストの各データをまとめてminiSDメモリカードにコピーすると、自動的にvファイルに変換されます。この操作を「エクスポートする」と呼びます。逆にminiSDメモリカードの各データを703N本体にコピーする操作を「インポートする」と呼びます。

※ 電話帳、スケジュール、予定リストを1件ずつminiSDメモリカードにコピーしたい場合は、データを個別にvファイルに変換して「その他ファイル」に保存する必要があります（☞「データ管理」の「vファイルの利用」）。そのあとで前述の「1件ずつコピー／移動する」の操作をしてください。

■ 本体からminiSDメモリカードにまとめてエクスポートする

1 MENUを押し、(ツール)→「メモリカード」の順に選択する

2 エクスポートの操作をする

電話帳をエクスポートする場合は

①「電話帳」を反転表示し、機能メニューから「本体からエクスポート」を選択する
②端末暗証番号を入力して「YES」を選択する

スケジュール、予定リスト、またはその両方をエクスポートする場合は

①「スケジュール」を反転表示し、機能メニューから「本体からエクスポート」を選択する
②項目を選択する
③端末暗証番号を入力して「YES」を選択する

補足

- **電話帳をエクスポートすると**
「ご自分の電話番号」に登録されている内容もエクスポートされます。

■ miniSDメモリカードから本体にまとめてインポートする

miniSDメモリカードの電話帳、スケジュール、予定リストのデータは、1回のエクスポートごとに1つのファイルにまとめて管理されています。703N本体には、このファイルごとインポートできます。インポートするとき、本体のデータに追加する方法と703N本体のデータを削除して上書きする方法のどちらかを選択できます。

1 MENUを押し、(ツール)→「メモリカード」の順に選択する

2 分類を選択する

電話帳をインポートする場合は

「電話帳」を選択する

スケジュールや予定リストをインポートする場合は

「スケジュール」を選択する

3 インポートするファイルを反転表示し、機能メニューから「追加インポート」または「上書インポート」を選択する

4 端末暗証番号を入力して「YES」を選択する

補足

- **ファイルに含まれるデータを確認してからまとめてインポートするには**
  ①操作1～2を行う
  ②ファイルを選択してデータの一覧を確認し、機能メニューから「追加全件インポート」または「上書全件インポート」を選択する
  ③端末暗証番号を入力して「YES」を選択する
- **「上書インポート」／「上書全件インポート」時に個人データの内容を変更しない場合は**
  「先頭のデータを自局データとして設定しますか？」と表示されたときに「NO」を選択してください。

■ miniSDメモリカードから本体に1件ずつインポートする

miniSDメモリカードの電話帳、スケジュール、予定リストのデータを1件ずつインポートできます。

1 MENUを押し、（ツール）→「メモリカード」の順に選択する

2 分類を選択する

電話帳をインポートする場合は
「電話帳」を選択する

スケジュールや予定リストをインポートする場合は
「スケジュール」を選択する

3 ファイルを選択する

4 インポートするデータを反転表示し、機能メニューから「追加1件インポート」を選択して「YES」を選択する

注意

- **データの転送中は「圏外」の状態になります。**

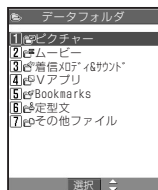
▣ ファイルの削除について

miniSDメモリカードの電話帳、スケジュール、予定リストのデータなどを削除するには、次のように操作します。
①MENUを押し、（ツール）→「メモリカード」の順に選択する
②分類を選択する
③削除するファイルを反転表示する
④機能メニューから「1件削除」を選択し、「YES」を選択する

「電話帳」または「スケジュール」のファイルをまとめて削除する場合は、次のように操作します。
①MENUを押し、（ツール）→「メモリカード」の順に選択する
②削除する分類を選択する
③機能メニューから「全件削除」を選択し、端末暗証番号を入力して「YES」を選択する

データ管理
（データフォルダとvファイル）

データフォルダについて

作成、入手したさまざまなデータを一括管理するのがデータフォルダです。あらかじめ用意されているフォルダやご自分で追加したサブフォルダを使ってデータを整理できます。

データフォルダの一覧画面

■ データフォルダの構成

データフォルダ内にはあらかじめ7つの種別フォルダが用意されています。種別フォルダを開くと、サブフォルダ（ファイルの分類や、ウェブへのアクセスやプレイリストなどへのショートカット）が一覧表示されます。自作のサブフォルダを作成することもできます。

保存できるファイルの種類は種別フォルダによって異なりますが、「その他ファイル」にはあらゆる種類のファイルを保存できます。

補足

- **「メモリカード」フォルダ内のフォルダについて**
  「ピクチャー」フォルダの「メモリカード」を選択すると、「DCIM」、「ピクチャー」の2つのフォルダがあることを確認できます。「DCIM」にはデジタルカメラで撮影した画像（JPEG(DCF)）を、「ピクチャー」には本体の「ピクチャー」フォルダ内の「INBOX」と同じファイルを保存できます。

- **ウェブアクセスのショートカットについて**
  「ピクチャーダウンロード」、「ムービーダウンロード」、「メロディダウンロード」はショートカットです。これらを選択して「YES」を選択すると、ウェブにアクセスします。

- **ファイルのアイコンについて**
  転送できないファイルには、カギ付きのアイコンが表示されます。
  〈例〉 ：転送できるJPEGファイル
  　　 ：転送できないJPEGファイル
  壊れたファイルは で表示されます。

■ miniSDメモリカードについて

703Nでは、データの保存場所としてminiSDメモリカードを利用できます。703Nのカメラで撮影した静止画や動画は、直接miniSDメモリカードに保存できます。703N本体とminiSDメモリカードの間でデータを転送（コピーおよび移動）することもできます。データフォルダでは、miniSDメモリカードに保存されているデータも参照できます。

種別フォルダ	サブフォルダ	概　要	保存できるファイル	保存件数／容量
ピクチャー	「INBOX」、「ピクチャーダウンロード」、「デジタルカメラ」、「プリインストール」、「自作アニメ」、「メモリカード」	703Nで撮影した静止画などを管理します。	JPEG、JPEG（DCF）、GIF、WBMP、PNG、SVG、プリインストール画像	最大400件／約2Mバイト※
ムービー	「INBOX」、「ムービーダウンロード」、「メモリカード」、「プレイリスト」	703Nで撮影した動画やダウンロードした動画、着うた®などを管理します。	MP4（映像あり）、MP4（映像なし）	最大100件／約3 Mバイト※
着信メロディ＆サウンド	「INBOX」、「メロディダウンロード」、「プリインストール」、「おしゃべり」、「メモリカード」	ダウンロードしたメロディや、おしゃべり機能で録音したサウンドなどを管理します。	SMAF、MIDI、プリインストールメロディ	最大160件／約840Kバイト※
Vアプリ	—	Vアプリを管理します。	Java（ダウンロード）、Java（プリインストール）	3～100件
Bookmarks	「本体」、「メモリカード」	703N本体とminiSDメモリカードに保存されているブックマークを管理します。	vBookmark	100件
定型文	「本体」、「メモリカード」	703N本体とminiSDメモリカードに保存されているテキストメモを管理します。	vNote、TEXT	10件
その他ファイル	「本体」、「メモリカード」	703N本体とminiSDメモリカードに保存されているvファイルやHTMLファイルなどを管理します。	TEXT、vCard、vCalendar、vBookmark、vNote、HTML、XHTML、CSS、WML、WMLC、WMLS、WMLSC、WBXML、不明ファイル	最大100件／約500Kバイト※

※　保存可能件数はデータ量により変動します。

保存されているファイルの確認

■ ファイルを確認する

1 (MENU)を押し、(データフォルダ)を選択する

2 種別フォルダを選択し、サブフォルダを選択する

3 一覧画面でファイルを反転表示し、(●)(選択/表示/再生)を押す

静止画の一覧画面の表示方法を一時的に切り替える場合は

機能メニューから「タイトル名一覧」または「サムネイル」を選択する

動画の一覧画面の表示方法を切り替える場合は

機能メニューから「一覧表示切替」を選択し、「タイトル」または「タイトル+画像」を選択する

補足

- **miniSDメモリカード内のデジタルカメラデータを確認する場合は**
  ①操作1を行う
  ②「ピクチャー」→「メモリカード」→「DCIM」の順に選択し、フォルダを選択する
  ③操作3を行う
- **miniSDメモリカード内の静止画を確認する場合は**
  ①操作1を行う
  ②「ピクチャー」→「メモリカード」→「ピクチャー」の順に選択する
  ③操作3を行う
- **vファイルを確認する場合は**
  ①操作1〜2を行う
  ②一覧画面でファイルを選択し、データを選択する

▣ 静止画の表示方法の変更について(サムネイル表示設定)

ファイルの一覧画面の表示方法を変更できます。タイトルまたは画像(サムネイル)を使った表示のどちらかに設定できます。

[お買い上げ時] ■サムネイル

①(MENU)を押し、(設定)→「ディスプレイ設定」→「サムネイル表示設定」の順に選択する
②設定を選択する

サムネイル表示の場合、この取扱説明書で「ファイルを反転表示し」などと表記している操作をするときは、ファイルに枠を移動してください。

■ データフォルダの機能メニューを利用する

一覧画面や確認中の画面から、機能メニューを使った操作ができます。表示される機能メニューはフォルダやファイルの種類によって異なります。ここでは、各種のファイルに共通の機能メニューについて説明します。

機能メニュー	内　容
タイトル名編集／タイトル編集	一覧などに表示されるタイトルを変更します。
ファイル名編集	プロパティなどに表示されるファイル名を変更します。
プロパティ／プロパティ表示	ファイルサイズや更新日時※、著作権保護情報などを表示します。
メール添付	選択したファイルを添付したメールを新規作成します。
赤外線送信	赤外線通信機能対応機種にデータを送信します（☞「赤外線通信」の章）。
ソート	並べかたの基準を選択して一覧画面の表示順を並べ替えます。
メモリカードへコピー、メモリカードへ移動、本体へコピー、本体へ移動	703N本体とminiSDメモリカードの間でデータをコピーまたは移動します（☞「メモリカード」の章）。

※　ダウンロードしたMP4ファイルは作成日時が表示されます。

画像ファイルの利用

データフォルダの「ピクチャー」フォルダに保存されている画像のファイルをいろいろな機能に利用したり、加工したりできます。

画像表示中などの操作については、「メディアプレイヤー」の章を参照してください。

■ 画像を利用する

■ 各種の画面に設定する

画像を待受画面に表示したり、着信時やTVコールの代替画像など各種の場面で表示されるように設定します。

1 **MENUを押し、（データフォルダ）を選択してファイルの保存場所を選択する**

2 **設定する画像を反転表示または選択し、一覧画面または確認中画面の機能メニューから「イメージ貼付」を選択する**

3 **項目を選択する**

TVコール時に使用する画面を設定する場合は

①項目を選択し、画面を確認する

②●（確定）を押し、確認メッセージが表示された場合は「YES」を選択する

12

データ管理（データフォルダとvファイル）

■ 貼り付け先での表示位置を設定する

1 MENUを押し、(データフォルダ)を選択してファイルの保存場所を選択する

2 設定する画像を反転表示または選択し、一覧画面または確認中画面の機能メニューから「貼付表示位置」を選択する

3 表示位置を選択する

■ 貼り付け先での表示範囲を設定する

1 MENUを押し、(データフォルダ)を選択してファイルの保存場所を選択する

2 設定する画像を反転表示または選択し、一覧画面または確認中画面の機能メニューから「切り出し範囲」を選択する

3 表示する範囲を選択する

■ 4枚の画像を1つに合成する

画像を4枚選んで配置を決め、1枚の画像に合成できます。合成した画像は新たな1枚として保存され、もとの4枚はそのまま残ります。

1 MENUを押し、(データフォルダ)を選択し、ファイルの保存場所を選択する

2 一覧画面の機能メニューから「4枚画像合成」を選択する

3 配置する位置を選択し、画像を選択する

4 操作3を繰り返して4枚の画像を設定し、(完了)を押す

5 合成された画像を確認し、●(保存)を押す

保存を中止する場合は
(取消)を押す

補足

- 合成した画像の保存場所は
  機能メニューの「4枚画像合成」を選択したフォルダに保存されます。

■ アニメーションを作成する

画像を使って最大20コマのアニメーションを作成できます。

1 MENUを押し、(データフォルダ)→「ピクチャー」→「自作アニメ」の順に選択する

2 「<未登録>」を選択する

3 **コマを選択し、画像のあるフォルダを選択する**

コマに設定した画像を解除する場合は

解除する画像を選択し、「イメージ解除」を選択する

4 **画像を選択する**

選択する前に画像を確認する場合は

(デモ)を押す。もとの画面に戻るときはCLEAR BACKを押す

5 **操作3～4を繰り返す**

6 **画像の選択が終わったら、(完了)を押す**

補足

- **自作アニメを編集するには**
  画像の差し替えや追加ができます。画像を差し替える場合は、すでに設定済みのコマを選択し、新たに設定したい画像を選択します。
  ①操作1を行う
  ②編集する自作アニメを反転表示し、機能メニューから「自作アニメ設定」を選択する
  ③操作3～6を行う

- **自作アニメを解除するには**
  ①操作1を行う
  ②削除する自作アニメを反転表示し、機能メニューから「自作アニメ解除」を選択して「YES」を選択する

サウンドファイルの利用

データフォルダに保存されているメロディやサウンドのファイルを、着信音に利用できます。ただし、ファイル形式やデータ内容によっては利用できない場合があります。

再生中の操作については、「メディアプレイヤー」の章を参照してください。

■ 着信音に利用する

1 **MENUを押し、(データフォルダ)を選択してファイルの保存場所を選択する**

2 **一覧画面でファイルを反転表示し、機能メニューから「着信音設定」を選択する**

3 **項目を選択する**

補足

- **内容を確認して設定するには**
  ファイルの再生画面の機能メニューからも同様に操作できます。

vファイルの利用

■ vファイルについて

vファイルとは、703Nのデータを他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどとの間で相互に利用できるようにしたファイルの総称です。vファイルを利用すると、703Nの電話帳やスケジュールをパソコンで管理したり、他のボーダフォン携帯電話やパソコンで作成したデータを703Nに取り込んだりすることが可能になります。

vファイルに対応している703Nの機能は次のとおりです。

ファイル形式	対応する機能
vCard	電話帳
vCalendar	スケジュール、予定リスト
vNote	テキストメモ
vBookmark	ブックマーク

■ 703Nのデータを他の機器で利用するには

電話帳やスケジュールなどのデータをデータフォルダに保存すると、自動的にvファイルで保存されます。作成されたvファイルは、メールに添付したり赤外線通信を使ったりして他のボーダフォン携帯電話やパソコンに送信できます。

miniSDメモリカードを取り付けてご利用の場合は、作成したvファイルをminiSDメモリカードに保存できます。このminiSDメモリカードをminiSDメモリカード対応の他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどに取り付けることにより、vファイルを利用できます。

■ 入手したデータを703Nで利用するには

メールやウェブ、赤外線通信を利用して他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどから入手したvファイルは、データフォルダに保存し、各機能に取り込むことにより利用できるようになります。

vファイルが保存されたminiSDメモリカードを703Nに取り付けた場合も、miniSDメモリカードから各機能に取り込む必要があります。

注意

- **パソコンなどでvファイルを利用するには、vファイルに対応したソフトウェアが必要です。データの内容によっては、703Nに取り込めない場合やパソコンなどで利用できない場合があります。**
- **パソコンやminiSDメモリカードのドライブの種類によっては、703NでフォーマットしたminiSDメモリカードや保存したvファイルが読み込めない場合があります。**

■ vファイルを作成（保存）する

作成されたvファイルは、データフォルダの「その他ファイル」に保存されます。データの呼び出しかたについては、各機能のページを参照してください。

1 **保存するデータを表示する**

2 **機能メニューから「データフォルダへ保存」を選択し、「YES」を選択する**

注意

- 703Nではブックマークのvファイルは作成できません。

■ vファイルを各機能に取り込む

703N本体またはminiSDメモリカードに保存されているvファイルを機能に取り込みます。

1 **MENUを押し、(データフォルダ）を選択する**

2 **「その他ファイル」フォルダを選択する**

3 **「本体」または「メモリカード」を選択する**

4 **取り込むvファイルを反転表示し、機能メニューを使って登録操作をする**

電話帳に取り込む場合は

「電話帳へ登録」を選択し、端末暗証番号を入力して「YES」を選択する

スケジュールまたは予定リストに取り込む場合は

「スケジュール／予定リスト登録」を選択し、端末暗証番号を入力して「YES」を選択する

ブックマークに取り込む場合は

「ブックマークへ登録」を選択し、端末暗証番号を入力して「YES」を選択する

テキストメモに取り込む場合は

「テキストメモへ登録」を選択し、端末暗証番号を入力して「YES」を選択する

フォルダの管理

■ フォルダを作成する

種別フォルダ「ピクチャー」、「ムービー」、「着信メロディ＆サウンド」の中にサブフォルダを作成できます。

1 **MENUを押し、(データフォルダ）を選択する**

2 **フォルダを選択し、機能メニューから「フォルダ追加」を選択する**

3 フォルダ名を入力する

補足

- **miniSDメモリカードの「DCIM」フォルダにフォルダを作成するには**
  すでに「DCIM」フォルダに保存されている静止画がある場合は、「DCIM」フォルダの中にもフォルダを作成できます。
  ①MENUを押し、(データフォルダ)→「ピクチャー」→「メモリカード」→「DCIM」の順に選択する
  ②機能メニューから「フォルダ作成」を選択する
  ③フォルダ名を入力する

▣ デジタルカメラモードで撮影した静止画の保存先について

デジタルカメラモードで撮影した静止画の保存先として「メモリカード」を指定すると、miniSDメモリカードの「DCIM」フォルダに保存されます。カメラの自動保存設定を「ON」にして保存先を「メモリカード」に設定している場合も同じです。
保存先が「DCIM」フォルダ内に作成した自作のフォルダになるように変更することもできます。次のように操作します。
①MENUを押し、(データフォルダ)→「ピクチャー」→「メモリカード」→「DCIM」の順に選択する
②保存先にするフォルダを反転表示して機能メニューから「保存先フォルダ選択」を選択し、「YES」を選択する

■ フォルダ名を変更する

自作のフォルダは、名前を変更できます。

1 MENUを押し、(データフォルダ)を選択する
2 フォルダを選択して自作のサブフォルダを反転表示し、機能メニューから「フォルダ名編集」または「フォルダタイトル編集」を選択する
3 フォルダ名を入力する

■ フォルダを削除する

自作のフォルダを削除できます。

1 MENUを押し、(データフォルダ)を選択する
2 フォルダを選択して削除するサブフォルダを反転表示し、機能メニューから「フォルダ削除」を選択する
3 端末暗証番号を入力して「YES」を選択する

ファイルの管理

■ ファイルのタイトル名を変更する

一覧などに表示されるタイトル名を変更できます。

1 **MENUを押し、(データフォルダ)を選択する**

2 **ファイルの保存場所を選択し、ファイルを反転表示する**

3 **機能メニューから「タイトル名編集」または「タイトル編集」を選択する**

4 **タイトル名を入力する**

■ ファイルを移動する

ファイルを自作のサブフォルダに移動するなどして整理できます。移動先を選択できるサブフォルダは、ファイル形式によって制限されます。

1 **MENUを押し、(データフォルダ)を選択して移動元フォルダを選択する**

2 **機能メニューを使って移動操作をする**

「ピクチャー」/「ムービー」フォルダのファイルを1件移動する場合は

①移動するファイルを反転表示し、機能メニューから「フォルダ移動」を選択する
②移動先のフォルダを選択する

「ピクチャー」/「ムービー」フォルダの複数のファイルを選択して移動する場合は

①機能メニューから「複数選択」を選択する
②移動するファイルをすべて選択し、機能メニューから「移動」を選択する
③移動先のフォルダを選択する

「着信メロディ&サウンド」フォルダのファイルを選択して移動する場合は

①機能メニューから「フォルダ移動」を選択する
②移動するフォルダを選択する
③移動するファイルをすべて選択し、(完了)を押す
④「YES」を選択する

■ ファイルを削除する

ファイルを削除する操作は、種別フォルダによって異なります。ここでは「ピクチャー」、「ムービー」、「着信メロディ＆サウンド」、「その他ファイル」の各フォルダ内のファイルを削除する操作について説明します。

「Vアプリ」については「Vアプリの基本操作」の「Vアプリの管理」を、「Bookmarks」については「情報の利用」の「ブックマーク」を、「定型文」については「ツールの利用」の「メモをとる（テキストメモ）」を参照してください。

1 **MENUを押し、（データフォルダ）を選択してフォルダを選択する**

2 **機能メニューを使って削除操作をする**

1件のファイルを削除する場合は

削除するファイルを反転表示し、機能メニューから「1件削除」を選択して「YES」を選択する

「ピクチャー」／「ムービー」フォルダの複数のファイルを選択して削除する場合は

①機能メニューから「複数選択」を選択する
②削除するファイルをすべて選択する
③機能メニューから「削除」を選択して「YES」を選択する

「着信メロディ＆サウンド」／「その他ファイル」フォルダの複数のファイルを選択して削除する場合は

①機能メニューから「選択削除」を選択する
②削除する項目を選択し、（完了／決定）を押す
③「YES」を選択する

同一フォルダ内のすべてのファイルを削除する場合は

①機能メニューから「全件削除」を選択する
②端末暗証番号を入力して「YES」を選択する

補足

- **各種の設定に利用されているファイルを削除すると**
  各種の画面や着信音などに設定されているファイルを削除すると、その設定はお買い上げ時の状態に戻ります。ただし、ファイルを削除しても「TVコール設定」の「画像選択」の設定は保持されます。
- **自作アニメに使用されている画像を削除すると**
  画像を1つでも削除すると、自作アニメの設定が解除されます。
- **「プリインストール」フォルダ内の画像を除く703N本体のすべての画像を削除するには**
  あらかじめ登録されている画像を除き、703N本体に保存されているすべての画像をまとめて削除できます。
  ①MENUを押し、（データフォルダ）→「ピクチャー」の順に選択する
  ②機能メニューから「画像全削除」を選択する
  ③端末暗証番号を入力して「YES」を選択する

赤外線通信

赤外線通信をご利用になる前に

赤外線通信機能を搭載したボーダフォン携帯電話やパソコンなどと次のデータを送受信できます。

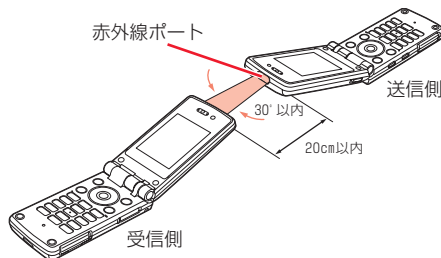
1件ずつ送受信できるデータ	電話帳、 「ご自分の電話番号」の登録内容、 スケジュール、予定リスト、 テキストメモ、静止画、動画、vファイル
全件まとめて送受信できるデータ	電話帳、スケジュール、予定リスト

注意

- **電話帳を全件まとめて送受信すると、「ご自分の電話番号」のデータが電話帳に含まれて送受信されます。このとき、受信側の「ご自分の電話番号」のデータが、お客様の電話番号を除きすべて上書きされます。**
- **USIM カードおよび miniSD メモリカードのデータは赤外線送信できません。**

■ 赤外線通信をするときは

次のことに注意してください。

- 赤外線ポートがまっすぐ向き合うようにし、20cm 以内に近づけてください。
- 安定した場所に置き、データの送受信が終わるまで動かさないでください。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くなどでは正常に通信できないことがあります。

補足

- **赤外線通信が中断された場合は**
  「中断されました　続けますか？」などの再接続を確認する画面が表示された場合は、「赤外線通信をするときは」の注意点を確認して「YES」を選択してください。

注意

- **703Nの赤外線通信機能は、IrMC1.1に準拠しています。ただし、相手側の機器がIrMC1.1に準拠していても、アプリケーションによっては送受信できないデータがあります。**
- **赤外線通信中は「圏外」の状態になります。**

赤外線通信の利用

■ データを1件ずつ送受信する

1件送信する

各機能の画面から機能メニューを使って送信します。

1 **各機能の一覧画面で送信するデータを反転表示する**

2 **機能メニューから「赤外線送信」を選択する**

3 **受信側を待機状態にする**

4 **「YES」を選択する**

5 **送受信が終了すると、メッセージが表示される**

補足

- **内容を確認してから送信するには**
  機能によっては、詳細画面や再生画面からも送信できます。

1件受信する

メニューから「1件受信」を選択すると、受信待機状態になります。

1 **MENUを押し、（ツール）→「赤外線通信」→「1件受信」の順に選択する**

2 **送信側で1件送信の操作をする**

3 **送受信が終了したら、「YES」を選択する**

■ データをまとめて送受信する

送受信する双方でそれぞれの端末暗証番号と、共通の認証パスワード（双方で取り決めた4桁の数字）を入力する必要があります。

全件送信する

1 **MENUを押し、（ツール）→「赤外線通信」→「全件転送」の順に選択する**

2 **端末暗証番号を入力する**

3 **「送信」を選択する**

4 **全件転送するデータを選択する**

5 **認証パスワードを入力する**

6 **受信側を待機状態にする**

7 **「YES」を選択する**

8 送信が終了すると、メッセージが表示される

■ 全件受信する

1 MENUを押し、(ツール)→「赤外線通信」→「全件転送」の順に選択する

2 端末暗証番号を入力する

3 「受信」を選択する

4 認証パスワードを入力し、「YES」を選択する

5 送信側で全件送信の操作をする

6 「YES」を選択する

補足

- **認証パスワードとは**
  赤外線通信の全件送信、全件受信の際に使うパスワードで、送受信する双方で取り決めた4桁の数字です。

注意

- 全件受信をすると、登録されていたデータはシークレットデータも含めてすべて削除され、上書きされます。全件転送をする前に、大切なデータが登録されていないことをお確かめください。
- 電話帳を全件受信すると、「ご自分の電話番号」の登録内容(お客様の電話番号を除く)が上書きされます。

■ 電話帳の画像を転送しないようにする場合は(電話帳画像転送)

電話帳データの送受信時には、登録されている静止画も転送されるため、時間がかかることがあります。電話帳の画像を転送しないようにすると、転送にかかる時間を短縮できます。送信側の703Nで次のように操作します。

[お買い上げ時] ■する

①MENUを押し、(ツール)→「電話帳画像転送」の順に選択する
②「しない」を選択する

13 赤外線通信

セキュリティ

端末暗証番号の変更

［お買い上げ時］ ■9999

1 MENUを押し、(設定)→「ロック／セキュリティ」→「端末暗証番号変更」の順に選択する

2 現在の端末暗証番号を入力する

3 新しい端末暗証番号（4～8桁）を入力する

4 「YES」を選択する

PINコード設定

■ PIN1／PIN2コードを変更する

USIMカードの暗証番号であるPIN1コード、PIN2コードを変更できます。

［お買い上げ時］ ■PIN1コード、PIN2コードともに9999

1 MENUを押し、(設定)→「ロック／セキュリティ」→「PIN設定」の順に選択する

2 端末暗証番号を入力する

3 「PIN1コード変更」または「PIN2コード変更」を選択し、現在のPIN1コードまたはPIN2コードを入力する

4 新しいPIN1コードまたはPIN2コード（4～8桁）を入力する

5 もう一度新しいPIN1コードまたはPIN2コードを入力する

注意

- 「PIN1コード入力設定」が「OFF」に設定されている場合は、PIN1コードを変更できません。

■ 電源を入れたときのPIN1コード認証を設定する

USIMカードが無断で使用されるのを防ぐための設定です。電源を入れるたびにPIN1コードによる認証をするようにしたい場合は、「ON」に設定してください。

［お買い上げ時］ ■OFF

1 MENUを押し、(設定)→「ロック／セキュリティ」→「PIN設定」の順に選択する

2 端末暗証番号を入力する

3 「PIN1コード入力設定」を選択する

4 設定を選択し、PIN1コードを入力する

補足

- 操作4で設定を変更しなかった場合は
  PIN1コードの入力は不要です。

注意

- PIN1コードを3回連続して間違えると、現在のPIN1コードが無効になり、特定の機能しか利用できないPINロックの状態になります。

■ PINロックを解除する

間違ったPIN1コードまたはPIN2コードを3回連続して入力すると、現在のPIN1コードまたはPIN2コードが無効になり、特定の機能しか利用できなくなります。この状態をPINロックといいます。ロックされてしまった場合は、お問い合わせ先（☞P31-48）までご連絡のうえ、次の手順でロックの解除と新しいPINコードの設定をしてください。

1 「PINロック解除コード入力」の画面が表示されている状態で、PINロック解除コードを入力する

2 新しいPIN1コードまたはPIN2コードを入力する

3 もう一度新しいPIN1コードまたはPIN2コードを入力する

注意

- PIN1ロック解除コードを10回連続して間違えるとUSIMカードがロックされ、703Nを使用できなくなります。
- PIN2ロック解除コードを10回連続して間違えると、PIN2コードを使用する操作が一切できなくなります。
- USIMカードがロックされた場合は、所定の手続きが必要になりますので、お問い合わせ先（☞P31-48）までご連絡ください。

無断で利用されたくないとき

■ 他の人に使われないようにする（オールロック）

オールロックを設定すると、電源を入れる、切る以外の操作ができなくなります。

■ オールロックを設定する

［お買い上げ時］ ■解除

1 MENUを押し、（設定）→「ロック／セキュリティ」→「オールロック」の順に選択する

2 端末暗証番号を入力する

補足

- **オールロック中のメインディスプレイは**
  「オールロック」と「 」が表示されます。
- **オールロック中に電話がかかってきたり、メールが着信したときは**
  着信音などによる着信のお知らせをしません。オールロックを解除すると、待受画面に「不在着信あり」や「新着メールあり」のデスクトップアイコンが表示されます。
- **オールロック中にアラームの通知時刻になったときは**
  アラーム通知されません。オールロックを解除すると、待受画面に「未通知アラームあり」のデスクトップアイコンが表示されます。
- **オールロック中に電源を切ったときは**
  設定は保持され、解除されません。

■ オールロックを解除する

1 端末暗証番号を入力し、●を押す

注意

- **端末暗証番号を5回連続して間違えると、電源が切れます。**

■ 個人情報の表示／変更を防止する（PIMロック）

PIMロックを設定すると、次のような制限によって個人情報を守れます。

- 電話帳、スケジュール、予定リスト、メーリングリスト、テキストメモ、簡易留守録、音声メモ、ウェブ、メール、Vアプリ、カメラ、データフォルダ、「ご自分の電話番号」などの各機能が起動しない
- スケジュール、めざまし時計、予定リストで設定した時刻になってもアラーム通知しない
- 電話をかけるときや電話がかかってきたときに、電話帳に登録されている名前を表示しない

- 新着メールあり、不在着信あり、未通知アラームあり、簡易留守録あり、留守番電話ありの各デスクトップアイコンを表示しない
- 貼り付け可能なデスクトップアイコンのうち、Vアプリライブラリ、イメージ、動画、メロディ、電話番号、URL、E-mailアドレスを表示しない
- リダイヤル、着信履歴、送信アドレス履歴、受信アドレス履歴のデータをすべて削除する
- 設定リセット、メモリリセット、オールリセットを実行できない

■ PIMロックを設定／解除する

［お買い上げ時］ ■解除

1 MENUを押し、（設定）→「ロック／セキュリティ」→「PIMロック」の順に選択する

2 端末暗証番号を入力する

補足

- **PIMロック中のメインディスプレイは**
「」が表示されます。
- **PIMロックとオールロックが同時に設定されている場合は**
「」は表示されず、オールロックアイコン「」だけが表示されます。PIMロックを解除するときは、先にオールロックを解除する必要があります。
- **PIMロック中に電源を切ったときは**
設定は保持され、解除されません。
- **PIMロック中に不在着信や新着メールなどがあった場合は**
PIMロックを解除すると、待受画面にデスクトップアイコンが表示されます。
- **プリインストール以外の画像やメロディを各種の設定に利用している場合は**
PIMロック中は、各種の画面や着信音などがお買い上げ時の動作に戻ります。

■ 登録されていない相手への発信やメール送信を禁止する（ダイヤル発信制限）

電話帳に登録されていない電話番号やE-mailアドレスへの発信および送信を禁止できます。ダイヤル発信制限を設定した場合にできるのは、次のような発信や送信だけです。

- 設定前に登録した電話帳を使った発信およびメール送信
- 設定後のリダイヤル、送信アドレス履歴を使った発信およびメール送信
- 緊急番号（110、119、118）への発信

■ ダイヤル発信制限を設定／解除する

［お買い上げ時］ ■解除

1 MENUを押し、(設定)→「ロック／セキュリティ」→「ダイヤル発信制限」の順に選択する

2 端末暗証番号を入力する

補足

- **ダイヤル発信制限中のメインディスプレイは**
  「 」が表示されます。ただし、シークレットモード／シークレット専用モードが同時に設定されている場合は「 」が、PIMロックが同時に設定されている場合は「 」が表示または点滅表示されます。
- **ダイヤル発信制限中に電源を切ったときは**
  設定は保持され、解除されません。

注意

- **ダイヤル発信制限を設定すると、それまでのリダイヤル、着信履歴、送信アドレス履歴、受信アドレス履歴はすべて削除されます。**
- **ダイヤル発信制限中は、電話帳の登録、編集、削除ができません。**

電話の発着信制限

さまざまな方法で発信や着信を制限できます。発信を制限した場合、許可されている電話番号以外には電話をかけられません。着信を制限した場合、着信拒否する電話がかかってきたときには、相手に話中音を流して電話を受けません。ただし、電話がかかってきたことは待受画面の「不在着信あり」のデスクトップアイコンで確認できます。

ここで説明する機能のほかに、海外への発信を規制したり、703Nを発信専用または着信専用にできる「発着信規制サービス」もご利用になれます。詳しくは「オプションサービス」の章を参照してください。

■ 電話番号ごとに着信／発信を制限する（電話帳指定設定）

703N本体の電話帳に登録した電話番号を使って発信や着信を制限することにより、私用電話や迷惑電話を防止できます。

制限の機能には次の3種類があり、それぞれ最大20件の電話番号に対して設定できます。

- 「指定発信制限」：設定した電話番号にしか電話をかけられません。
- 「指定着信拒否」：設定した電話番号からの着信（電話やデータ通信）を拒否します。

- 「指定着信許可」：設定した電話番号からの着信（電話やデータ通信）だけを許可し、その他の着信を拒否します。

1 電話帳の詳細画面で、設定する電話番号を表示する

2 機能メニューから「電話帳指定設定」を選択する

3 端末暗証番号を入力する

4 機能を選択する

補足

- **設定を解除するには**
  すでに設定されている機能には「★」が付いています。操作4で「★」の付いている機能を選択すると、機能が解除されます。
- **設定状況を確認するには**
  ①(MENU)を押し、(電話帳）→「電話帳指定設定」の順に選択する
  ②端末暗証番号を入力する
  ③「★」が付いている機能を選択する
  ④電話番号を確認する場合は、一覧から名前を選択する

注意

- **USIM カードの電話帳やシークレット登録された電話帳に登録されている電話番号には、電話帳指定設定を設定できません。**
- **指定発信制限を設定すると、それまでのリダイヤルはすべて削除されます。**
- **指定発信制限中は、電話帳の登録、編集、削除、USIM カードへのコピーができません。また、着信履歴を使った発信もできません。**
- **指定発信制限中に、デスクトップに貼り付けられた電話帳から発信することはできません。**

■ 電話帳未登録の電話番号からの着信を拒否する（登録外着信拒否）

本体およびUSIMカードの電話帳に登録されていない電話番号からの着信を、すべて拒否するように設定できます。

［お買い上げ時］ ■許可

1 (MENU)を押し、(設定）→「ロック／セキュリティ」→「登録外着信拒否」の順に選択する

2 端末暗証番号を入力する

3 設定を選択する

注意

- **相手が電話番号を通知しないでかけてきた場合、この機能は無効となります。**

■ 番号通知のない着信／迷惑電話を拒否する（非通知着信設定）

番号通知のない着信を拒否できます。また、番号通知のある迷惑電話などは、拒否電話リストに電話番号を登録することにより着信拒否できます。

■ 着信の許可／拒否を設定する

番号通知のない着信については、非通知理由ごとに許可または拒否を設定できます。着信を許可する場合は、着信音で区別するように設定できます。

［お買い上げ時］ ■すべて許可（通常着信音と同じ）

1 MENUを押し、(設定) →「ロック／セキュリティ」→「非通知着信設定」の順に選択する

2 端末暗証番号を入力する

3 非通知理由または「リスト」を選択する

4 設定を選択し、「許可」を選択した場合は着信音を選択する

▣ 非通知理由について

非通知理由は、相手が電話番号を通知してこない3種類の事情によって3つに分類されています。相手が電話番号を通知してこなかった場合には、着信中の画面などにも非通知理由が表示されます。

- 「通知不可能」：海外からかけている、または発信者番号を送出できないネットワークからかけている
- 「公衆電話」：公衆電話からかけている
- 「非通知設定」：発信者番号を通知しない設定にしてかけている

■ 拒否する電話番号をリストに登録する

登録する電話番号は、着信履歴、電話帳、リダイヤルのいずれかから選択するか、直接入力します。最大20件登録できます。

1 MENUを押し、(設定) →「ロック／セキュリティ」→「非通知着信設定」の順に選択する

2 端末暗証番号を入力する

3 「リスト」を反転表示し、━（リスト）を押す

4 ━（追加）を押し、追加方法を選択する

5 電話番号を選択または入力する

14 セキュリティ

補足

- **拒否電話リストから電話番号を削除するには**
  ①操作1〜3を行う
  ②削除する電話番号を反転表示し、機能メニューから「1件削除」を選択して「YES」を選択する
  すべて削除する場合：「全件削除」を選択する
- **拒否電話リストの電話番号を修正するには**
  ①操作1〜3を行う
  ②修正する電話番号を選択する
  ③機能メニューから「編集」を選択し、修正する

秘密にしたい電話帳／スケジュールの登録

他の人に知られたくない電話帳やスケジュールは、シークレットモード中またはシークレット専用モード中に登録することにより、シークレットデータとして保護できます。シークレットデータを呼び出すには、端末暗証番号の入力が必要です。

シークレットモードはシークレットデータを含むすべての電話帳やスケジュールを呼び出せるモードで、シークレット専用モードはシークレットデータのみを呼び出すモードです。

■ 電話帳／スケジュールをシークレット登録する

［お買い上げ時］ ■シークレットモード、シークレット専用モードともに解除

1 MENUを押し、(設定)→「ロック／セキュリティ」→「シークレットモード」または「シークレット専用モード」の順に選択する

2 端末暗証番号を入力し、シークレットモードまたはシークレット専用モードにする

3 電話帳またはスケジュールを登録する

補足

- **シークレットモード中／シークレット専用モード中のディスプレイは**
  シークレットモード中は「👓」が表示されます。また、シークレット専用モードにすると「👓」が点滅し、シークレットデータの登録件数が表示されたあと、待受画面に戻ります。
- **シークレットモード／シークレット専用モードとダイヤル発信制限が同時に設定されている場合は**
  「🔒」が表示または点滅表示されます。
- **シークレットモード／シークレット専用モードを解除するには**
  シークレットモード中またはシークレット専用モード中にPWRを押します。また、操作1を行うか、電源を切っても解除できます。

14 セキュリティ

- **オールロックとシークレットモード／シークレット専用モードが同時に設定されている場合は**
「」（オールロックのアイコン）だけが表示されます。オールロックを解除すると、シークレットモード／シークレット専用モードも解除されます。

注意

- **USIMカードには電話帳をシークレット登録できません。**
- **シークレットモード中またはシークレット専用モード中に音声電話やTVコールをかけたり受けたりすると、モードが解除されます。**

■ シークレットデータを呼び出し、修正、削除する

1 MENUを押し、（設定）→「ロック／セキュリティ」→「シークレットモード」または「シークレット専用モード」の順に選択する

2 端末暗証番号を入力し、シークレットモードまたはシークレット専用モードにする

3 電話帳またはスケジュールを呼び出し／編集／削除する

補足

- **シークレットデータ表示中のメインディスプレイは**
「」が点滅します。
- **シークレットデータを通常のデータに戻すには**
シークレットデータを呼び出し、機能メニューから「シークレット解除」を選択します。

■ シークレット登録した電話帳／スケジュールについて

- 着信時や着信履歴に、電話帳に登録されている名前が表示されません。
- シークレットデータを使って発信したときは、リダイヤルに記憶されません。
- シークレットモード中またはシークレット専用モード中でないと、ツータッチダイヤルやスイッチ付きイヤホンマイクでの発信ができません。
- シークレットデータの電話帳には、デスクトップへの貼り付けやオート表示、電話帳指定設定、電話帳便利機能、グループ便利機能を設定できません。USIMカードへもコピーできません。
- シークレットモード中またはシークレット専用モード中でないときでもスケジュールのアラーム通知は行われますが、アラームメッセージは表示されません。

サイドボタンの誤動作の防止

かばんの中などでの誤動作を防ぐため、折り畳んでいるときのサイドボタン操作を無効にします。

［お買い上げ時］ ■閉じたとき有効

1 MENUを押し、(設定)→「その他」→「サイドボタン操作」の順に選択する

2 設定を選択する

補足

● **「閉じたとき無効」に設定中のメインディスプレイは**
待受画面に「 」が表示されます。

● **「閉じたとき無効」に設定すると**
折り畳んだ状態では次のサイドボタン操作ができません。
・ 不在着信や新着メールを電子音やボイスアナウンスで確認する操作
・ カメラの起動およびシャッター、ライトの操作
・ 着信中のサイドボタン操作

注意

● **スイッチ付きイヤホンマイクを接続しているときや、外部接続端子にパソコンなどを接続しているときは、この機能の設定にかかわらずサイドボタン操作が有効になります。**

お買い上げ時の状態に戻す

■ 各機能の設定をお買い上げ時の状態に戻す（設定リセット）

各種の機能の設定を、初期状態に戻すことができます。ただし、日付・時刻など一部の設定や電話帳などの個人情報は保存されています（☞「付録」の「リセット項目一覧」）。

1 MENUを押し、(設定)→「その他」→「設定リセット」の順に選択する

2 端末暗証番号を入力する

3 「YES」を選択する

■ 電話帳などの登録内容を消去する（メモリリセット）

電話帳やスケジュールなどの登録内容、リダイヤルや着信履歴などの記憶、送受信メールのデータなど、すべての個人情報をまとめて消去できます（☞「付録」の「リセット項目一覧」）。

1 MENUを押し、(設定)→「その他」→「メモリリセット」の順に選択する

2 **端末暗証番号を入力する**

3 **「YES」を選択する**

■ すべての登録内容を消去する（オールリセット）

設定リセットとメモリリセットを一括して実行し、電源を入れ直します。

1 **MENUを押し、(設定)→「その他」→「オールリセット」の順に選択する**

2 **端末暗証番号を入力する**

3 **「YES」を選択する**

14

セキュリティ

補足

● **オールリセット後に703Nをお使いになる場合は**
オールリセットをしたあとは、ネットワーク自動調整をし直す必要があります。MENU、、、()、、()、、サイドボタンののいずれかを押すと、ネットワーク自動調整の確認画面が表示されます。ネットワーク情報を取得する操作をしてください（☞「Vodafone live!」の「Vodafone live!をご利用になる前に」）。

ツールの利用

スケジュール機能の利用

703Nのカレンダーに、スケジュール、個人的な休日、記念日をそれぞれ最大100件登録できます。

■ カレンダーの見かた

一か月表示

一週間表示

次のように表示されます。

- 「＿」：当日（一か月表示のときのみ）
- 赤色の日付：日曜・祝日・登録した休日
- 青色の日付：土曜日
- 「○」（ピンク色の丸）：記念日
- スケジュールの登録がある日付には、「▫」（午前に登録あり）や「▪」（午後に登録あり）が表示される
- カーソル位置の日付にスケジュールなどの登録がある場合は、カレンダーの下のamやpmのあとに午前、午後別のスケジュール件数やアイコンが表示される

補足

- **祝日が変更、新設された場合は**
  休日を登録してください。お買い上げ時に登録されている祝日は、「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律（平成13年法律第59号）」に基づいています（2005年10月現在）。

■ 表示方法を切り替える

［お買い上げ時］ ■一ヶ月表示

1 **MENUを押し、（ツール）→「スケジュール」の順に選択する**

2 **機能メニューから「一ヶ月表示」または「一週間表示」を選択する**

▣ カレンダー画面の機能メニューについて

カレンダー画面の機能メニューからは、次の操作ができます。表示される機能メニューは、登録状況によって異なります。

機能メニュー	内　容
新規登録	スケジュール、休日、記念日を新規登録します。
一ヶ月表示／一週間表示	カレンダー画面の表示方法が切り替わります。
アイコン別表示	アイコンを選択すると、同一アイコンのスケジュールが一覧表示されます。
ユーザアイコン設定	「<未登録>」を選択し、目的のフォルダから画像を選択します。
登録件数	登録状況が表示されます。
前日まで削除	前日までの登録内容を項目別にまとめて削除します。
全件削除	登録内容を項目別にまとめて削除します。
祝日リセット	「YES」を選択すると、祝日の設定をお買い上げ時の状態に戻します。
デスクトップ貼付	カレンダーをすぐに呼び出せるように、デスクトップアイコンとして貼り付けます。

■ スケジュールを登録する

アラームを設定すると、設定した日時にアラーム音やアニメーションでお知らせし、アラームメッセージを表示します。

1　MENUを押し、（ツール）→「スケジュール」の順に選択する

2　ー（新規）を押し、「スケジュール」を選択する

3　項目を選択し、設定操作をする

スケジュールの開始日時を設定する場合は

1行目の「」を選択し、日時を入力する

スケジュールの終了日時を設定する場合は

2行目の「」を選択し、日時を入力する

繰り返しを設定する場合は

①「」を選択し、設定を選択する

②「毎週」を選択した場合は、曜日を選択してー（完了）を押す

アラーム通知を設定する場合は

①「」を選択し、設定を選択する

②「事前通知する」を選択した場合は、何分前に通知するかを入力する

アラーム音を設定する場合は

「」を選択し、目的のフォルダからアラーム音を選択するか、「OFF」を選択する

アラームメッセージを設定する場合は

①「」を選択し、アラームメッセージ（全角256文字、半角512文字）を入力する

②アイコンを選択する

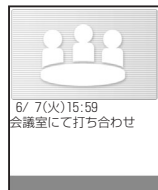
4　ー（完了）を押す

補足

- **繰り返しの設定の内容は**
  - ・「設定なし」：1日限りの設定となり、繰り返しません。
  - ・「毎日」：毎日、設定した時刻にアラームを起動します。
  - ・「毎週」／「毎月」／「毎年」：毎週同じ曜日、毎月同じ日、毎年同じ日にアラームを起動します。
- **アラームが設定されているときのメインディスプレイは**
  当日に設定されているアラームがあるときは「」が、翌日以降の設定があるときは「」が表示されます。
- **開始日時で設定した日付の曜日と曜日繰り返しで指定した曜日が異なる場合は**
  曜日指定繰り返しの曜日が優先され、スケジュールは開始日時以降の最初の曜日に登録されます。

▣ アラームの設定時刻になると

アラーム音が約5分間繰り返し鳴り、メインディスプレイとサブディスプレイにアニメーションが表示されます。

アラーム音を止めるには、いずれかのボタンを押します。もう一度押すとアラームメッセージが消えます。

電源が切れている場合は、アラーム通知できません。操作中でアラーム通知できなかった場合は、待受画面に「」（未通知アラームあり）のデスクトップアイコンが表示されます。ただし、「アラーム通知設定」の設定を「通知優先」にすると、操作中でもアラーム通知されるようになります（☞「その他の機能」の「アラーム通知の優先度を設定する」）。

■ 休日／記念日を登録する

1 **MENUを押し、（ツール）→「スケジュール」の順に選択する**

2 **（新規）を押し、「休日」または「記念日」を選択する**

3 **項目を選択し、設定操作をする**

年月日を設定する場合は
「」を選択し、年月日を入力する

繰り返しを設定する場合は
「」を選択し、設定を選択する

メッセージを設定する場合は
「」を選択し、メッセージ（全角10文字、半角20文字）を入力する

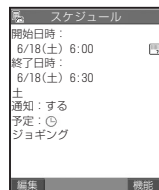
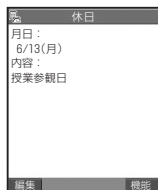
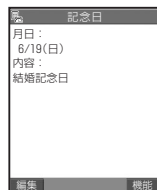
4 **（完了）を押す**

■ スケジュール／休日／記念日を確認する

登録内容を、当日の一覧画面や詳細画面で確認します。

1 **MENUを押し、(ツール)→「スケジュール」の順に選択する**

2 **確認する日付を選択する**

3 **項目を選択する**

スケジュールの詳細画面

休日の詳細画面

記念日の詳細画面

▣ 詳細画面の機能メニューについて

当日の一覧画面、詳細画面、アイコン別表示画面の機能メニューからは、次の操作ができます。表示される機能メニューは、スケジュールの種類によって異なります。

機能メニュー	内　容
新規登録	スケジュール、休日、記念日を新規登録します。
編集	内容を編集します。
コピー	確認中の内容をコピーした新しいスケジュールを登録します。
カレンダー表示	アイコン別表示から現在の日付のカレンダー画面に戻ります。
アイコン別表示	アイコンを選択すると、同一アイコンのスケジュールが一覧表示されます。
ユーザアイコン設定	「<未登録>」を選択し、目的のフォルダから画像を選択します。
シークレット解除	「YES」を選択すると、シークレットが解除されます。
赤外線送信	赤外線通信対応機器にデータを送信します（☞「赤外線通信」の章）。
データフォルダへ保存	「YES」を選択すると、vファイルを作成してデータフォルダの「その他ファイル」内に保存します。
1件削除	確認中のスケジュールを削除します。
前日まで削除	前日までの登録内容を削除します。
選択削除	削除するスケジュールを選択します。
全件削除	登録内容を項目別にまとめて削除します。

■ スケジュール／休日／記念日を編集する

各項目の編集方法は、登録するときと同じです。

1 MENUを押し、(ツール)→「スケジュール」の順に選択する

2 日付を選択する

3 項目を反転表示し、(編集)を押す

4 項目を選択し、編集操作をする

5 (完了)を押す

補足

- **すでに登録されている開始日時や繰り返しを設定した場合は**
  操作5のあと上書きを確認する画面が表示されるので、「YES」を選択します。

- **詳細画面から編集を始めるには**
  操作2のあと、項目を選択して詳細画面を表示させてから(編集)を押します。

■ スケジュール/休日/記念日を削除する

■ 1件/前日分まで/選択して削除する

1 MENUを押し、(ツール)→「スケジュール」の順に選択する

2 日付を選択する

3 機能メニューを使って削除操作をする

反転表示した項目だけを削除する場合は
「1件削除」を選択し、「YES」を選択する

選択した日付の前日までの項目を削除する場合は
①「前日まで削除」を選択する
②項目を選択し、端末暗証番号を入力して「YES」を選択する

複数の項目を選択して削除する場合は
①「選択削除」を選択する
②削除する項目を選択する
③(完了)を押し、端末暗証番号を入力して「YES」を選択する

補足

- **詳細画面やカレンダー画面の機能メニューを使うには**
  詳細画面の機能メニュー「1件削除」、「前日まで削除」、「選択削除」も同様に使えます。カレンダー画面の機能メニューからは「前日まで削除」、「全件削除」が使えます。

■ まとめて削除する

1 MENUを押し、(ツール)→「スケジュール」の順に選択する

2 機能メニューから「全件削除」を選択する

3 項目を選択し、端末暗証番号を入力して「YES」を選択する

めざまし時計の利用

めざまし時計を設定した時刻になるとアラーム通知します。

■ めざまし時計を設定する

設定は3件まで登録でき、そのうちの1件を有効にできます。

1 **MENUを押し、(ツール)→「めざまし時計」の順に選択する**

2 **●(確定)を押す**

登録が1件もない場合は
操作3に進む

すでに登録がある場合は
「<未登録>」を反転表示して−(編集)を押し、操作3に進む

3 **起動時刻を入力する**

4 **繰り返しの設定を選択し、「毎週」を選択した場合は、曜日を選択して−(完了)を押す**

5 **目的のフォルダからアラーム音を選択するか、「OFF」を選択する**

アラーム音を選択した場合は
操作6に進む

アラーム音を「OFF」にした場合は
操作7に進む

6 **○を押して音量を調節し、●(確定)を押す**

7 **スヌーズ通知の設定を選択する**

8 **●(確定)を押す**

9 **有効にしたい設定を選択する**

■ めざまし時計の設定を変更/解除する

登録済みの設定を選択して有効にします。めざまし時計を解除するときは「OFF」を選択します。

[お買い上げ時] ■OFF

1 **MENUを押し、(ツール)→「めざまし時計」の順に選択する**

2 **●(確定)を押す**

3 **有効にしたい設定または「OFF」を選択する**

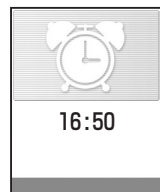
補足

- **設定の内容を確認するには**
操作2のあと、設定を反転表示し、機能メニューから「詳細表示」を選択します。

● めざまし時計が設定されているときのメインディスプレイは
当日に設定されているアラームがあるときは「🔔」が、翌日以降の設定があるときは「🔔」が表示されます。

■ アラームの設定時刻になると

メインディスプレイとサブディスプレイにはアニメーションが表示されます。「スヌーズ通知しない」の場合はアラーム音が約5分間繰り返し鳴ります。「スヌーズ通知する」の場合はスヌーズを解除するまで5分おきにアラーム音が約1分間鳴ります（動作が最大6回）。

アラーム音を止めるには、いずれかのボタンを押します。「スヌーズ通知しない」の場合は、もう一度押すと表示が消えます。「スヌーズ通知する」の場合は、PWRを押すとスヌーズが解除されます。

操作中でアラーム通知できなかった場合は、待受画面に「🔔」（未通知アラームあり）のデスクトップアイコンが表示されます。ただし、「アラーム通知設定」を「通知優先」にすると、操作中でもアラーム通知されるようになります（☞「その他の機能」の「アラーム通知の優先度を設定する」）。

■ めざまし時計の設定を削除する

1 MENUを押し、（ツール）→「めざまし時計」の順に選択する

2 ●（確定）を押す

3 機能メニューを使って削除操作をする

反転表示した設定だけを削除する場合は
「1件解除」を選択し、「YES」を選択する

すべての設定を削除する場合は
①「全件解除」を選択する
②端末暗証番号を入力して「YES」を選択する

予定リストの利用

予定リストを登録しておくと、設定した期日をアラーム通知するほか、予定をカテゴリーで分けたり優先度をつけたりして管理できます。

■ 予定リストを登録する

最大100件登録できます。予定リストを登録すると、設定した期日にアラーム音や用件の表示でお知らせします。

1 MENUを押し、(ツール)→「予定リスト」の順に選択する

2 ー(新規)を押すか、機能メニューから「新規登録」を選択する

3 項目を選択し、設定操作をする

用件を設定する場合は

「」を選択し、用件の内容(全角100文字、半角200文字)を入力する

期日を設定する場合は

①「期」を選択し、項目を選択する

②「直接入力」を選択した場合は期日を入力し、「カレンダーから入力」を選択した場合は期日を選択する

優先度を設定する場合は

「優」を選択し、設定を選択する

カテゴリーを設定する場合は

「」を選択し、設定を選択する

アラーム通知を設定する場合は

①「」を選択し、設定を選択する

②「事前通知する」を選択した場合は、何分前に通知するかを入力する

アラーム音を設定する場合は

「」を選択し、目的のフォルダからアラーム音を選択するか、「OFF」を選択する

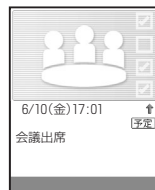
4 ー(完了)を押す

補足

- **ー(新規)について**
  予定リストが1件でも登録されている場合、操作2の画面にはソフトキー「新規」の代わりに「編集」が表示されます。
- **アラームが設定されているときのメインディスプレイは**
  当日に設定されているアラームがあるときは「」が、翌日以降の設定があるときは「」が表示されます。

▣ アラームの設定時刻になると

アラーム音が約5分間繰り返し鳴り、メインディスプレイとサブディスプレイにアニメーションが表示されます。
アラーム音を止めるには、いずれかのボタンを押します。もう一度押すとアラームメッセージが消えます。

15
ツールの利用

電源が切れている場合は、アラーム通知できません。操作中でアラーム通知できなかった場合は、待受画面に「🔔」（未通知アラームあり）のデスクトップアイコンが表示されます。ただし、「アラーム通知設定」の設定を「通知優先」にすると、操作中でもアラーム通知されるようになります（☞「その他の機能」の「アラーム通知の優先度を設定する」）。

■ 予定リストを確認する

一覧画面や内容確認画面で登録内容を確認します。

1 MENUを押し、（ツール）→「予定リスト」の順に選択して一覧画面を表示する

2 確認する予定リストを選択して内容確認画面を表示する

▣ 一覧／内容確認画面の機能メニューについて

一覧画面や内容確認画面の機能メニューからは、次の操作ができます。表示される機能メニューは、画面や登録状況によって異なります。

機能メニュー	内　容
新規登録	予定リストを新規登録します。
編集	内容を編集します。
状態	予定リストの状態を変更できます。
カテゴリー別表示	カテゴリーを選択すると、同一カテゴリーの予定リストが一覧表示されます。
ソート／フィルタ	並べ替えまたは抽出の方法を選択し、一覧表示のしかたを切り替えます。
デスクトップ貼付	一覧画面をすぐに呼び出せるように、デスクトップアイコンとして貼り付けます。
赤外線送信	赤外線通信対応機器にデータを送信します（☞「赤外線通信」の章）。
データフォルダへ保存	「YES」を選択すると、vファイルを作成してデータフォルダの「その他ファイル」内に保存します。
1件削除	反転表示中または確認中の予定リストを削除します。
選択削除	削除する予定リストを選択します。
完了済み削除	状態が「完了」の予定リストのみを削除します。
全件削除	すべての予定リストを削除します。

■ 予定リストを編集する

各項目の編集方法は、登録時と同じです。

1 MENUを押し、（ツール）→「予定リスト」の順に選択する

2 予定リストを反転表示し、⊖（編集）を押す

3 項目を選択し、編集操作をする

4 ⊖（完了）を押す

補足

- **内容確認画面から編集を始めるには**
  操作１のあと、予定リストを選択して内容確認画面を表示させてから⊖（編集）を押します。

- **「状態確認」の内容を編集するには**
  一覧画面または内容確認画面の機能メニューから「状態」を選択します。「予定」、「承諾」、「依頼」、「暫定」、「確認」、「拒否」、「完了」、「代理」のいずれかから選択します。

- **「完了日」を編集するには**
  一覧画面または内容確認画面の機能メニューから「状態」を選択して「完了」を選択し、完了日を設定します。

■ 予定リストを削除する

1 MENUを押し、（ツール）→「予定リスト」の順に選択する

2 予定リストを反転表示し、機能メニューを使って削除操作をする

反転表示した項目だけを削除する場合は

「1件削除」を選択し、「YES」を選択する

複数の項目を選択して削除する場合は

①「選択削除」を選択する
②削除する項目を選択する
③⊖（完了）を押し、端末暗証番号を入力して「YES」を選択する

完了している予定リストのみを削除する場合は

①「完了済み削除」を選択する
②端末暗証番号を入力して「YES」を選択する

すべての予定リストを削除する場合は

①「全件削除」を選択する
②端末暗証番号を入力して「YES」を選択する

補足

- **内容確認画面の機能メニューを使うには**
  内容画面の機能メニュー「1件削除」も同様に使えます。

メモをとる（テキストメモ）

テキストメモ（全角256文字、半角512文字）を作成できます。作成したテキストメモは、メールの本文やスケジュールのアラームメッセージなどに使えます。最大10件登録でき、「ツール」メニューの「テキストメモ」だけでなく、「データフォルダ」メニューの「定型文」からも操作できます。

■ テキストメモを登録する

1 MENUを押し、（ツール）→「テキストメモ」の順に選択する

2 「<未登録>」を反転表示し、(編集)を押す

3 内容を入力する

補足

- **登録済みのテキストメモを編集するには**
  操作2で編集するテキストメモを反転表示し、(編集)を押します。
- **テキストメモの分類を設定するには**
  一覧画面または内容画面の機能メニュー「分類」で設定します。

■ テキストメモを確認／利用する

1 を押し、(ツール)→「テキストメモ」の順に選択して一覧画面を表示する

2 テキストメモを選択して内容画面を表示する

データフォルダからの操作でテキストメモを確認／利用するには

①を押し、(データフォルダ)→「定型文」→「本体」の順に選択する
②操作2を行う

■ 一覧／内容画面の機能メニューについて

一覧画面や内容画面の機能メニューからは、次の操作ができます。表示される機能メニューは、画面や登録状況によって異なります。

機能メニュー	内　容
テキストメモ編集	内容を編集します。
メール作成	内容を本文に使用したメールを作成します。
スケジュール作成	内容をアラームメッセージに使用したスケジュールを作成します。
赤外線送信	赤外線通信対応機器にデータを送信します（☞「赤外線通信」の章）。
データフォルダへ保存	「YES」を選択すると、vファイルを作成してデータフォルダの「その他ファイル」内に保存します。
テキストメモ情報	作成日時、最終更新日時および分類が表示されます。
分類	分類項目を選択します。
1件削除	反転表示中または確認中のテキストメモを削除します（☞「テキストメモを削除する」）。
選択削除	削除するテキストメモを選択します（☞「テキストメモを削除する」）。
全件削除	すべてのテキストメモを削除します（☞「テキストメモを削除する」）。
デスクトップ貼付	一覧画面をすぐに呼び出せるように、デスクトップアイコンとして貼り付けます。

■ テキストメモを削除する

1 MENUを押し、(ツール)→「テキストメモ」の順に選択する

2 テキストメモを反転表示し、機能メニューを使って削除操作をする

反転表示したテキストメモだけを削除する場合は

「1件削除」を選択し、「YES」を選択する

複数のテキストメモを選択して削除する場合は

①「選択削除」を選択する

②削除する項目を選択する

③−(完了)を押して「YES」を選択する

すべてのテキストメモを削除する場合は

「全件削除」を選択し、「YES」を選択する

補足

- **内容画面の機能メニューを使うには**
  内容画面の機能メニューからも同様に削除できます。
- **データフォルダからの操作でテキストメモを削除するには**
  ①MENUを押して(データフォルダ)→「定型文」→「本体」の順に選択する
  ②操作2を行う

自分の声を録音する（音声メモ）

待受中に自分の声を約20秒間録音できます。録音できるのは通話中の音声メモと合わせて1件のみで、録音するごとに上書きされます。

■ 待受中に音声メモを録音する

1 MENUを押し、(ツール)→「音声メモ」の順に選択する

2 「YES」を選択する

録音終了5秒前になると

残り5秒を知らせる「ピッ」という音が鳴ったあと、自動的に録音が終了する

録音を途中でやめる場合は

●(停止)またはCLEAR BACKを押す

■ 音声メモを再生する

1 MENUを押し、(ツール)→「メモの再生／消去」の順に選択する

2 音声メモを反転表示し、●(再生)を押す

15 ツールの利用

補足

- **音声メモを消去するには**
  再生中に⊖（消去）を押すか、操作2で音声メモを反転表示し、機能メニューから「1件消去」を選択して「YES」を選択します。
- **音声メモと簡易留守録をまとめて消去するには**
  機能メニューから「全件消去」を選択し、「YES」を選択します。
- **待受画面から音声メモを再生するには**
  メニュー操作を使わずに次のように操作すると、最新の簡易留守録から順に再生されたあと、音声メモが再生されます。
  ①サイドボタンのを押す
  ②再生中に、音声メモが再生されるまで繰り返しサイドボタンのを押す

注意

- **「全件消去」を実行すると、音声メモだけでなく、簡易留守録（☞「その他の機能」の章）もすべて消去されます。**

電卓の利用（簡易電卓）

10桁までの四則演算ができます。

1 MENUを押し、（ツール）→「簡易電卓」の順に選択する

2 計算する

数字を入力する場合は
ダイヤルボタンを押す

「+」、「−」、「×」、「÷」、「=」を入力する場合は
マルチセレクターを押す

小数点を入力する場合は
⊖（.）を押す

計算結果／数字を消す場合は
CLEAR BACKを押す

補足

- **計算結果が10桁を超えると**
  エラーとなり、「.E」が表示されます。
- **簡易電卓をよく使う場合は**
  機能メニューから「デスクトップ貼付」を選択します。

文字情報の利用（アクセスリーダー）

印刷されている電話番号やE-mailアドレス、URLなどをカメラで読み取り、文字情報として登録できます。この文字情報を使って電話をかけたり、メールを送ったり、インターネット接続したりできます。

認識できる文字は、半角の英字および数字と、一部の半角記号のみです。全角文字は認識できません。

STEP 1 文字を読み取って登録する

STEP 2 文字情報を利用する

■ STEP1　文字を読み取って登録する

文字情報は8件、1件あたり最大256文字まで登録できます。文字を読み取るときは、接写スイッチを切り替えてください。また、703Nが揺れないようにしっかり持って操作してください。

接写モードに切り替える

1 MENUを押し、(ツール)→「アクセスリーダー」の順に選択する

登録が1件もない場合は

操作2に進む

すでに登録がある場合は

「<新規取込>」を選択し、操作2に進む

すでに8件登録されている場合は

不要な文字情報を選択し、●(選択)を押して「YES」を選択し、操作2に進む

2 読み取りたい文字列を認識範囲に表示させる

文字列が長い場合、操作5で残りの部分を読み取るので、文字列全体を認識範囲に入れる必要はありません。

ズームを使う場合は

◀を押すと拡大し、▶を押すともとに戻る

3 ●(撮影)を押して撮影し、認識した文字を確認する

もう一度読み取り直す場合は

CLEAR BACKを押す

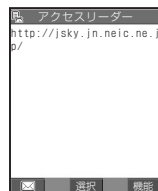
15 ツールの利用

読み取った文字を修正する場合は

修正する文字にカーソルを合わせ、認識した文字の上部に表示される変更候補文字の番号を押すか、⊖（文字）を押して「英字入力モード」または「数字入力モード」にし、正しい文字を入力する

4 **◉（確定）を押す**

5 **必要に応じて、操作2〜3を繰り返して残りの文字列を読み取り、「YES」を選択して◉（確定）を押す**

6 **機能メニューから「登録」を選択する**

詳細画面

※　画面例は「NEC　SUPER　TOWN」のURLです。

登録する前に修正する場合は

機能メニューから「編集」を選択して修正する

▣ 文字列を認識しにくいときは

⊖（点灯／消灯）またはサイドボタンの🔒を押すごとにライトの点灯と消灯が切り替わります。また、撮影前や登録前の機能メニューからは次の操作ができます。「認識モード設定」と「反転モード設定」は、通常は「自動設定」でかまいません。

機能メニュー	内　容
認識モード設定	文字列の種類を選択します。
反転モード設定	印刷の状態を設定します。薄い色地に濃い色の文字のときは「無反転固定」、濃い色地に薄い色の文字のときは「反転固定」にします。

■ STEP2　文字情報を利用する

文字情報の種類に応じた操作をします。

1 **詳細画面または一覧画面で、機能メニューまたは⊖（✉）を使った操作をする**

インターネットに接続する場合は

機能メニューから「Internet」を選択する

メールを作成する場合は

⊖（✉）を押すか、機能メニューから「メール作成」を選択する

電話／TVコールをかける場合は

機能メニューから「電話発信」を選択し、発信のしかたを選択する

E-mailアドレスまたは電話番号を電話帳に登録する場合は

機能メニューから「メールアドレス登録」または「電話番号登録」を選択する

URLをブックマークに登録する場合は

機能メニューから「ブックマーク登録」を選択する

文字情報を使って電話帳を検索する場合は

機能メニューから「電話帳検索」を選択する

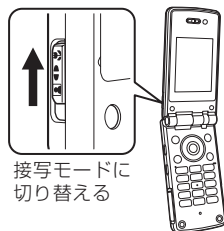
補足

- **登録した情報の一覧画面を表示するには**
  次のいずれかの操作をします。
  - ・MENUを押し、(ツール)→「アクセスリーダー」の順に選択する
  - ・詳細画面でCLEAR BACKを押す
  - ・詳細画面で、機能メニューから「一覧表示」を選択する
- **登録した情報の詳細画面を表示するには**
  次のいずれかの操作をします。
  - ・STEP1の操作をする
  - ・一覧画面で文字情報を選択する
  - ・一覧画面で、機能メニューから「詳細表示」を選択する
- **一覧画面をすぐに呼び出せるようにするには**
  一覧画面の機能メニューから「デスクトップ貼付」を選択します。
- **登録済みの文字情報の読み取り直しをするには**
  ①読み取り直しをする文字情報の詳細画面を表示する
  ②●（選択）を押し、「YES」を選択する
  ③STEP1の操作2〜6を行う
- **文字情報を削除するには**
  機能メニューから「1件削除」または「全件削除」を選択して「YES」を選択します。

バーコード情報の利用（バーコードリーダー）

バーコード（QRコード）※に含まれる電話番号やE-mailアドレス、画像、メロディなど、さまざまな情報をカメラで読み取って利用できます。これらの情報を登録して、繰り返し利用することもできます。

※ QRコードは縦、横二方向に情報を持つ二次元コードの一種です。1つの情報が複数のQRコードに分かれているものもあります。QRコード以外のバーコードや二次元コードは読み取れません。

バーコードを読み取るときは、接写スイッチを切り替えてください。また、703Nが揺れないようにしっかり持って操作してください。読み取った情報は、すぐに使うことも登録（最大5件）することもできます。

1 MENUを押し、(ツール)→「バーコードリーダー」の順に選択する

登録が1件もない場合は

操作2に進む

すでに登録がある場合は

「<新規取込>」を選択し、操作2に進む

すでに5件登録されている場合は

「<新規取込>」を選択して「YES」を選択するか、次のように操作する

①不要な情報を反転表示し、機能メニューから「1件削除」を選択して「YES」を選択する

②「<新規取込>」を選択し、操作2に進む

2 バーコードを認識範囲に表示させる

ピントの合う範囲内で、なるべく大きく映るようにします。

ズームを使う場合は

を押すと拡大し、を押すともとに戻る

ライトを利用する場合は

(点灯/消灯)またはサイドボタンのを押して点灯、消灯する

3 ●(撮影)を押して撮影し、情報を確認する

結果表示画面

※ 画面例は「NEC SUPER TOWN」のURLです。

もう一度読み取り直す場合は

①CLEAR/BACKを押し、「YES」を選択する
②操作1の「すでに5件登録されている場合は」の操作からやり直す

複数のバーコードに分割されている情報を読み取る場合は

「OK」を選択し、操作2〜3を繰り返して情報を読み取る

4 情報の登録または利用の操作をする

読み取り結果を登録する場合は

機能メニューから「登録」を選択して「YES」を選択する

URLをブックマークに登録する場合は

機能メニューから「ブックマーク登録」を選択する

電話帳に登録する場合は

「電話帳登録」を選択するか機能メニューから「電話帳登録」を選択し、登録操作をする（☞「電話帳」の章）

画像を保存する場合は

①画像を選択し、「ファイル登録」を選択して保存先を選択する
②確認メッセージが表示されたら「YES」または「NO」を選択し、「YES」の場合は項目を選択する

メロディを保存する場合は

①メロディのアイコンを選択し、「ファイル登録」を選択して「YES」を選択する
②保存先を選択し、確認メッセージが表示されたら「YES」または「NO」を選択し、「YES」の場合は項目を選択する

メロディを再生する場合は

メロディのアイコンを選択し、「メロディ再生」を選択する

インターネットに接続する場合は

URLを選択し、「OK」を選択する（☞「ウェブの基本操作」の章）

メールを作成する場合は

「メール作成」またはE-mailアドレスを選択する（☞「メール送信」の章）

電話／TVコールをかける場合は

電話番号を選択し、発信のしかたを選択して発信する（☞「基本的な操作のご案内」、「TVコール」の章）

結果表示画面の文字をコピーする場合は

機能メニューから「コピー」を選択し、始点と終点を指定する

補足

- **登録した情報の一覧画面を表示するには**
  次のいずれかの操作をします。
  ・ MENU を押し、(ツール)→「バーコードリーダー」の順に選択する
  ・ 結果表示画面で CLEAR BACK を押す
  ・ 結果表示画面で、機能メニューから「一覧表示」を選択する
- **登録した情報の結果表示画面を表示するには**
  一覧画面で情報を選択します
- **一覧画面に表示されるタイトルを編集するには**
  一覧画面の機能メニューから「タイトル編集」を選択します。
- **一覧画面をすぐに呼び出せるようにするには**
  一覧画面の機能メニューから「デスクトップ貼付」を選択します。
- **情報を削除するには**
  一覧画面の機能メニューから「1件削除」または「全件削除」を選択して「YES」を選択します。

ライトの利用

待受中に703Nのライトを点灯させ、手元を照らしたりして利用できます。

1 ▲を1秒以上押す

2 消灯するときは、いずれかのボタンを押す

補足

- **自動的に消灯するときは**
  点灯後、約30秒で自動的に消灯します。電話がかかってきたときやメールを受信したときなどにも消灯します。

注意

- **ライトを人の目に近づけて点灯したり、点灯中に直視したりしないでください。目に影響を与える可能性があります。また、目がくらんだり突然の光に驚くなどして、事故の原因になることがあります。**

その他の機能

通話中の便利な機能

■ プッシュトーンを送る（ポーズダイヤル）

703Nからプッシュトーンを送信して、ご自宅の留守番電話の遠隔操作やポケットベルへのメッセージ送信、各種プッシュホンサービスの操作などができます。

■ ポーズダイヤルを登録する

プッシュトーンとして送信するダイヤルデータを、あらかじめ登録しておきます。登録できるデータは0～9、#、*、およびポーズ（*を1秒以上押して「p」を入力）です。途中にポーズを入力しておくと、ポーズの箇所で区切りながらプッシュトーンを送信できます。登録できるデータは1件のみ（最大128文字）です。

1 MENUを押し、(設定）→「その他」→「ポーズダイヤル」の順に選択する

2 ―（編集）を押し、ダイヤルデータを入力する

補足

- **ポーズダイヤルを削除するには**
  ①操作1を行う
  ②機能メニューから「削除」を選択し、「YES」を選択する

■ ポーズダイヤルを送信する

登録したポーズダイヤルを呼び出してから、送信先に電話をかけます。

1 MENUを押し、(設定）→「その他」→「ポーズダイヤル」の順に選択する

2 ●（送信）を押し、送信先の電話番号をダイヤルする

電話帳を利用する場合は
①またはを押し、検索方法を選択して目的の電話帳を呼び出す
②目的の電話番号のアイコンを反転表示する

リダイヤルを利用する場合は
を押し、目的のリダイヤルを選択する

着信履歴を利用する場合は
を押し、目的の着信履歴を選択する

3 または●（発信）を押して電話をかける

4 繰り返しまたは●（送信）を押してダイヤルデータを送信する

補足

- **ポーズダイヤルをまとめて送信するには**
  ①操作1～3を行う

②相手につながったあと◎を1秒以上押し、「一括送出」を選択する

■ 通話中の雑音を抑える(ノイズキャンセラ)

「ON」に設定すると、周囲の騒音が抑えられ、通話中の相手の声が聞きやすくなります。

[お買い上げ時] ■ON

1 MENUを押し、(設定) →「通話設定」→「ノイズキャンセラ」の順に選択する

2 設定を選択する

■ 通話中に通話時間を確認する（通話中時間表示）

「ON」に設定すると、音声電話中やTVコール中の画面に通話時間が表示されます。

[お買い上げ時] ■ON

1 MENUを押し、(設定) →「時間」→「通話中時間表示」の順に選択する

2 設定を選択する

発信時の便利な機能

■ 番号を付加して電話をかける（プリセット登録）

「184」など特定の番号をあらかじめプリセット登録しておくと、電話番号の前に付加してダイヤルできます。電話帳や着信履歴などを使ってかけるときにも付加できます。

■ プリセットを登録する

最大7件登録できます。

[お買い上げ時] ■国際発信（0046010）

1 MENUを押し、(設定)→「その他」→「プリセット登録」の順に選択する

2 「<未登録>」を反転表示し、⊖（編集）を押す

3 登録名（最大全角8文字、半角16文字）を入力する

4 番号（最大10桁）を入力する

補足

- プリセットを削除するには
  ①操作1を行う

②削除するプリセットを反転表示し、機能メニューから「1 件削除」を選択して「YES」を選択する
すべて削除する場合：「全件削除」を選択する

■ プリセットを付加してダイヤルする

1 かける電話番号が表示されている画面で機能メニューから「プリセット」を選択する

2 付加するプリセットを選択する

3 [発信]を押す

TVコールをかける場合は
(TV) を押す

着信時の便利な機能

■ 簡易留守録を設定する

簡易留守録を「ON」にするとき、応答メッセージの選択と、着信から応答までの秒数の変更ができます。

［お買い上げ時］ ■簡易留守録：OFF ■応答メッセージ：標準
■呼出時間：8秒

1 MENUを押し、(ツール)→「簡易留守録」の順に選択する

2 「ON」を選択する

3 応答メッセージを選択する

4 呼出時間を入力する

補足

- **応答メッセージを確認するには**
  確認したい応答メッセージを反転表示し、(デモ) を押します。
- **自分で録音した応答メッセージを使うには**
  あらかじめ「おしゃべり機能」で音声を録音しておくと、応答メッセージとして選択できます。
- **簡易留守録設定中のメインディスプレイは**
  「[アイコン]」など、録音件数を示すアイコンが表示されます。
- **簡易留守録を解除するには**
  ①操作1を行う
  ②「OFF」を選択する
- **留守番電話サービスや転送電話サービスより簡易留守録を優先させるには**
  同時に設定する場合は、留守番電話サービスや転送電話サービスより呼出時間を短く設定します。

■ 簡易留守録を再生する

1 MENUを押し、(ツール)→「メモの再生／消去」の順に選択する

2 再生する簡易留守録を反転表示し、●（再生）を押す

次の簡易留守録（または音声メモ）に切り替える場合は

再生中にサイドボタンの▾を押すと、次の録音内容が再生される

補足

- **待受画面から簡単な操作で簡易留守録（または音声メモ）を再生するには**
  メニュー操作を使わずに次のように操作すると、最新の簡易留守録から順に再生されます。
  ①サイドボタンの▾を押す（最新の簡易留守録が再生される）
  ②再生中にサイドボタンの▾を押すと、次の録音内容が再生される

■ 簡易留守録を消去する

録音件数が5件になると、録音できなくなります。不要な簡易留守録は消去してください。

1 MENUを押し、（ツール）→「メモの再生／消去」の順に選択する

2 消去する簡易留守録を反転表示し、機能メニューを使って消去操作をする

反転表示した簡易留守録だけを消去する場合は

「1件消去」を選択し、「YES」を選択する

すべての簡易留守録を消去する場合は

「簡易留守録全件消去」を選択し、「YES」を選択する

すべての簡易留守録と音声メモをまとめて消去する場合は

「全件消去」を選択し、「YES」を選択する

補足

- **再生中に消去するには**
  再生中に⊖（消去）を押して「YES」を選択します。

注意

- **「全件消去」を実行すると、簡易留守録だけでなく、通話中または待受中の音声メモ（☞「ツールの利用」の章）も消去されます。**

アラーム通知の優先度を設定する

スケジュールやめざまし時計、予定リストのアラーム通知の優先度を設定します。「操作優先」に設定していると、待受画面表示のときに限りアラーム通知をします。操作中でアラーム通知できなかった場合は、待受画面に戻ったときに未通知アラームのデスクトップアイコン「🔔」が表示されます。「通知優先」にすると、703Nの操作中や通話中でもアラーム通知をします。

［お買い上げ時］ ■操作優先

1 MENUを押し、(設定)→「時計」→「アラーム通知設定」の順に選択する

2 設定を選択する

よく使う機能の呼び出しを簡単にする(ショートカット登録)

機能を呼び出すときはMENUを押して大項目→中項目→小項目の順に選択しますが、機能をショートカット登録すると、呼び出しがもっと簡単になります。

■ ショートカットを使って機能を呼び出す

1 MENUを2回押す

前回ショートカット画面を表示させてからメインメニュー画面に切り替えなかった場合は
MENUを1回押すだけでショートカットが表示される

待受画面からの簡単な操作方法は
を押す

2 表示されたショートカットから機能を選択する

補足

- **ショートカット画面/メインメニュー画面を切り替えるには**
MENUを押すごとに切り替わります。

■ 機能をショートカット登録する

最大10件登録できます。

[お買い上げ時] ■めざまし時計、スケジュール、簡易電卓、Vアプリ

1 MENUを押し、(設定)→「ディスプレイ設定」→「ショートカット登録」の順に選択する

2 「<未登録>」を選択する

3 カテゴリーを選択し、機能を選択する

補足

- **登録を解除/初期化するには**
①操作1を行う
②機能を反転表示し、機能メニューから「1件解除」を選択して「YES」を選択する
すべて解除する場合:「全件解除」を選択する
お買い上げ時の状態に戻す場合:「ショートカット初期化」を選択する

サブアドレスに対応できるようにする（サブアドレス設定）

サブアドレスは、特定の通信機器へ着信させるために契約者回線番号に付加する番号です。

電話番号に含まれる「＊」を区切り文字とし、「＊」以降をサブアドレスとして認識させたい場合は「ON」に設定します。

［お買い上げ時］ ■OFF

1 MENUを押し、（設定）→「その他」→「サブアドレス設定」の順に選択する

2 設定を選択する

通話中に折り畳んだときの動作を設定する（クローズ動作設定）

音声電話中やTVコール中に703Nを折り畳んだときの動作を設定できます。

［お買い上げ時］ ■終話

1 MENUを押し、（設定）→「音関連設定」→「クローズ動作設定」の順に選択する

2 設定を選択する

■ 折り畳んだときの動作について

設定により、次のような動作になります。

- 「ミュート」：音声を消し、TVコールの場合は代替画像を送信する。
- 「保留音」：保留音を流して通話を保留にする。TVコールの場合は通話中保留画像も送信する。
- 「終話」：PWR を押したときと同様に、通話を終了する。

「ミュート」または「保留音」の場合、703Nを開くと通話に戻れます。

注意

- **スイッチ付きイヤホンマイクを接続している場合、703Nを折り畳んでも通話状態は変わりません。カメラ映像でTVコールを使用している場合、703Nを折り畳むと代替画像に切り替わります。**

スイッチ付きイヤホンマイクを使う

イヤホンマイク端子のカバーを開け、オプション品のスイッチ付きイヤホンマイクの接続プラグを差し込んで使用します。

■ ワンタッチで電話をかける

メモリ番号「001」の電話帳へは、スイッチ付きイヤホンマイクのスイッチを押すだけで電話がかけられます。

1 スイッチを1秒以上（「ピッ」と鳴るまで）押す

2 通話が終わったら、スイッチを1秒以上（「ピッピッ」と鳴るまで）押す

■ ワンタッチで電話を受ける

1 着信中にスイッチを1秒以上（「ピッ」と鳴るまで）押す

2 通話が終わったら、スイッチを1秒以上（「ピッピッ」と鳴るまで）押す

▣ スイッチ付きイヤホンマイクのご利用にあたって

- 接続プラグは確実に差し込んでください。確実に差し込まれていないと、音が聞こえないことがあります。
- 着信中にスイッチ付きイヤホンマイクを接続すると、電話を受けてしまうことがありますのでご注意ください。

■ 自動的に電話を受ける（オート着信）

スイッチを押さなくてもかかってきた電話やTVコールに応答できるように設定できます。自動的に受けたい場合は「ON」に設定し、着信から応答までの秒数を設定します。

［お買い上げ時］ ■OFF（ONの場合の呼出時間：6秒）

1 MENUを押し、(設定)→「外部オプション」→「オート着信」の順に選択する

2 設定を選択し、「ON」を選択した場合は呼出時間を入力する

メモリ使用状況を確認する

次の情報を確認できます。

- 電話帳（本体およびUSIMカード）の登録件数、電話帳に登録されている静止画および動画の件数
- 受信メール、送信メールのメモリ使用状況
- ウェブのメモリ使用状況
- データフォルダのデータ別メモリ使用状況

1 MENUを押し、(設定)→「その他」→「メモリ確認」の順に選択する

2 ⊙を押して各種の情報を確認する

16 その他の機能

外部機器を利用してデータ通信をする

703Nとパソコンを USBケーブルで接続し、パケット通信や64Kデータ通信をします。

■ データ通信に必要な機器

- 703N本体
- Vodafone Global Standard USBケーブル（オプション品）またはUSBケーブルⅡ（オプション品）
- USBドライバー（付属品）
- パソコン※

※動作環境については、付属のUSB ドライバーに同梱の『インストールマニュアル』をご確認ください。

■ データ通信を行う前に

- Vodafone Global Standard USBケーブルやUSBケーブルⅡをご使用の際は、USB ドライバーをパソコンにインストールする必要があります。詳細については『インストールマニュアル』を参照してください。
- パソコンとVodafone Global Standard USBケーブル、USBケーブルⅡの接続については、『インストールマニュアル』を参照してください。
- パソコンの通信設定などについては、ご契約されたプロバイダの説明書、またはお手持ちのパソコンの取扱説明書を参照してください。なお、本データ通信をご利用いただけるプロバイダは『3Gガイドブック』でご確認ください。
- プロバイダ不要の「アクセスインターネット」でデータ通信をご利用になるときは、アクセスポイントや設定方法、サービス概要などを『3Gガイドブック』でご確認ください。

注意

- **データ通信は、電波の安定した環境で行ってください。**

オプションサービス

オプションサービスの種類

次のオプションサービスをご利用いただけます。

サービス名称	内　容
転送電話サービス	かかってきた電話を、指定した電話番号へ転送します。
留守番電話サービス	留守番電話センターを利用した転送電話サービスです。音声電話の伝言メッセージをお預かりします。
割込通話サービス	音声電話中の相手を保留にし、第三者からの音声電話を受けたり、第三者へ音声電話をかけたりできます。通話相手の切り替えもできます。
発着信規制サービス	電話をかけたり受けたりすることを制限します。
発信者番号通知サービス	お客様の電話番号を相手に通知したり、かけてきた相手の電話番号を確認したりできます。

サービスの詳しい内容、お申し込みについては『3Gガイドブック』を参照してください。

オプションサービスの操作方法

オプションサービスの開始や停止などは、703Nのメニュー画面で操作する方法、703Nでサービスコードを入力する方法、一般電話から操作する方法のいずれかで行います。

■ 各サービスのメニュー画面で操作する

メニュー画面をたどって操作します。「転送電話／留守番電話サービス」、「割込通話サービス」、「発着信規制サービス」の各ページでは、この方法について説明しています。

■ サービスコードを使って操作する

サービスの開始や停止などを頻繁にする場合は、サービスコードを利用すると便利です。よく使うサービスコード（最大10件）をあらかじめ登録しておくと、簡単に操作できます。

■ サービスコードを登録する

1. **MENUを押し、(設定)→「ネットワークサービス」→「サービス直接入力」の順に選択する**
2. **「<未登録>」を反転表示し、機能メニューから「設定追加」を選択する**
3. **サービス設定名（全角10文字、半角20文字）を入力する**
4. **サービスコード（☞補足「入力するサービスコード」）を入力し、「YES」を選択する**

補足

- **入力するサービスコード**

サービス	設　定	サービスコード
転送電話／留守番電話	開始	* →転送条件のコード番号※1 → * →転送先電話番号→ * →着信の種別※2 →（無応答転送の場合のみ、 * →呼出時間「5」、「10」、「15」、「20」、「25」、「30」）#
	停止	## →転送条件のコード番号※1 → #
割込通話	開始	* → 43 → #
	停止	# → 43 → #
発着信規制	開始	* →規制内容のコード番号※3 → * →発着信規制用暗証番号→ #
	停止	# →規制内容のコード番号※3 → * →発着信規制用暗証番号→ #
	暗証番号変更	* → 03 → * → 330 → * →現在の発着信規制用暗証番号→ * →新しい発着信規制用暗証番号→ * →新しい発着信規制用暗証番号→ #

※1　転送条件のコード番号
呼出なし転送：21
着信中／話中時転送：67
電源OFF／圏外時転送：62
無応答転送：61
※2　着信の種別
音声電話：11
TVコールおよび64Kデータ通信：20
※3　規制内容のコード番号
全発信規制：33
国際発信全規制：331
国際発信規制 exHC：332
全着信規制：35
全着信規制（roam）：351

- **サービスコードを編集するには**
操作2で編集する項目を反転表示し、機能メニューから「設定変更」を選択します。

- **サービスコードを削除するには**
①操作1を行う
②削除するサービスコードを反転表示し、機能メニューから「1件削除」を選択して「YES」を選択する
すべて削除する場合：「全件削除」を選択して「YES」を選択する

■ サービスコードで操作する

1 MENU を押し、（設定）→「ネットワークサービス」→「サービス直接入力」の順に選択する

2 使用するサービスコードを選択する

3 ●（送信）を押す

補足

- **サービスコードを登録しないで操作するには**
  待受画面でサービスコード(☞補足「入力するサービスコード」)を入力し、☎を押します。

■ 一般電話から操作する

703Nが手元にないときや電波の届かない場所などでも、一般電話から操作できます。一般電話からの操作やご利用については『3Gガイドブック』を参照してください。

転送電話/留守番電話サービス

転送を実行する条件は、次の4種類の中から選択できます。

転送条件	内　容
呼出なし転送	703Nの着信音を鳴らさずに転送し、「不在着信あり」のデスクトップアイコンも表示されません。
着信中/話中時転送	着信中や通話中のために電話を受けられない場合に転送します。
電源OFF/圏外時転送	電源を切っているとき、または圏外の場合に転送します。
無応答転送	設定した秒数だけ着信音を鳴らし、応答しなかった場合に転送します。

■ 転送電話/留守番電話サービスを開始する

着信の種類(音声電話、またはデジタル通信)ごとに転送設定し、サービスを開始できます。留守番電話サービスを利用する場合は、転送先として留守番電話センターの電話番号を登録します。転送電話サービスと留守番電話サービスは同時に設定できません。

1 **MENUを押し、(設定)→「ネットワークサービス」→「留守番/転送電話」の順に選択する**

2 **転送条件を選択する**

3 **「転送電話開始」を選択する**

4 **着信の種類を選択する**

音声電話について開始する場合は

「音声」を選択する

TVコールおよび64Kデータ通信について開始する場合は

「デジタル通信」を選択する

5 **項目を選択し、内容を設定する**

転送先電話番号を登録する場合は

①「転送先電話番号」を選択する
②電話番号を入力する

留守番電話サービスを利用する場合は

①「転送先電話番号」を選択する

②Ⓒを押し、「メモリ番号検索」を選択して「000」と入力する

③「留守番電話センター」を選択し、「09066517000」が表示されている詳細画面で●(選択)を押して●(確定)を押す

「無応答転送」で着信音を鳴らす秒数を設定する場合は

①「呼出時間」を選択する

②秒数を選択する

6 「開始」を選択し、「YES」を選択する

補足

- **転送先電話番号の登録に電話帳を使うには**
  「転送先電話番号は？」の画面でⒸを押すと、電話帳を検索できます。
- **電話帳を使わずに留守番電話センターの電話番号を入力する場合は**
  操作5で「転送先電話番号」を選択し、「09066517000」を入力します。
- **設定内容を確認するには**
  ①操作1～2を行う
  ②「設定確認」を選択する

注意

- **転送電話として留守番電話センターの電話番号を登録している場合は、TVコールの着信を転送できません。**

▣ 手動での着信転送について

転送電話サービス、留守番電話サービスを「着信中／話中時転送」で開始している場合、着信音が鳴っている間に機能メニューから「着信転送」を選択すると、手動で転送できます。割込電話サービスを合わせて開始している場合は、割り込み音が鳴っている間に同様の操作ができます。

▣ 留守番電話センターの電話番号について

留守番電話サービスを利用するには、転送先電話番号として留守番電話センターの電話番号を登録する必要があります。この電話番号（「090-665-17000」）は、お買い上げ時に703N本体の電話帳のメモリ番号「000」に登録されています。

■ 転送電話／留守番電話サービスを停止する

着信の種類ごとにサービスを停止できます。

1 **MENUを押し、(設定)→「ネットワークサービス」→「留守番／転送電話」の順に選択する**

2 **転送の条件を選択する**

3 **「転送電話停止」を選択する**

4 着信の種類を選択する

音声電話について停止する場合は

「音声」を選択する

TVコールおよび64Kデータ通信について停止する場合は

「デジタル通信」を選択する

5 「停止」を選択し、「YES」を選択する

補足

- **サービスをまとめて停止するには**
  ①操作1を行う
  ②「全停止」を選択し、「YES」を選択する

■ 留守番電話の伝言メッセージを聞く

留守番電話センターに伝言メッセージが入っているときは、メインディスプレイの上部やサブディスプレイに「 」アイコンが表示され、デスクトップアイコンも表示されます。

1 MENUを押し、(設定)→「ネットワークサービス」→「留守録操作」の順に選択する

2 「留守録再生」を選択し、「YES」を選択する

補足

- **メインディスプレイの上部やサブディスプレイの「 」アイコンを消すには**
  伝言メッセージを消去するか、次のように操作します。
  ①操作1を行う
  ②「留守録アイコン消去」を選択し、「YES」を選択する
  留守録アイコンは、USIMカードを差し替えたり設定リセットをしても消えません。消す場合は、上記の操作をしてください。

■ 留守番電話センターの電話番号を設定する

［お買い上げ時］ ■1416

1 MENUを押し、(設定)→「ネットワークサービス」→「留守録操作」の順に選択する

2 「センター電話番号設定」を選択する

3 電話番号を入力し、「YES」を選択する

割込通話サービス

割込通話サービスは、音声電話でのみご利用になれます。

■ 割込通話サービスを開始／停止する

1 (MENU)を押し、(設定)→「ネットワークサービス」→「割込通話」の順に選択する

2 「開始」または「停止」を選択し、「YES」を選択する

補足

- 設定内容を確認するには
  ①操作1を行う
  ②「設定確認」を選択する

■ 割込通話を受ける

最初の音声電話を保留にして、あとから音声電話をかけてきた相手と通話します。相手を切り替えることもできます。

1 通話中に電話がかかってくると、割り込み音が聞こえる

2 または●(通話)を押し、あとからかけてきた相手と通話する

3 相手を切り替えるときはを押す

補足

- 割込通話中にを押すか703Nを折り畳んだときは
  通話中の相手との通話が切れます。このあと保留中になっていた相手からの着信状態となり、または●(通話)を押すと通話できます。ただし、クローズ動作設定の設定状態によっては折り畳んでも切れません。
- 通話中の相手が電話を切ったときは
  「プープー」という音が鳴ります。このときを押すと、保留中になっていた相手との通話になります。

注意

- 割込通話サービスは、音声電話でのみご利用になれます。TVコールではご利用になれません。

発着信規制サービス

次の規制内容で発着信やSMSの送受信を制限できます。

設定項目		内　容
発信規制	全発信規制	緊急通話以外、電話をかけたりSMSを送信したりできないようにします。
	国際発信全規制	海外へ電話をかけたりSMSを送信したりできないようにします。
	国際発信規制exHC	ホーム地（契約している事業者のサービスエリア）以外の海外へ電話をかけたりSMSを送信したりできないようにします。
着信規制	全着信規制	すべての電話やSMSを受けられないようにします。
	全着信規制(roam)	ホーム地（契約している事業者のサービスエリア）以外の国では、すべての電話やSMSを受けられないようにします。

設定時には、発着信規制用暗証番号（ご契約時にお決めいただいた発着信規制サービス専用の4桁の番号）の入力が必要です。

注意

- 発着信規制用暗証番号を３回連続して間違えると、設定ができなくなります。この場合、発着信規制用暗証番号と交換機用暗証番号の変更が必要となります。詳しくは、お問い合わせ先（☞P31-48）までご連絡ください。

■ 発信規制／着信規制を設定する

1 MENUを押し、(設定)→「ネットワークサービス」→「発着信規制」→「発信規制設定」または「着信規制設定」の順に選択する
2 規制内容を選択する
3 「開始」または「停止」を選択する
4 発着信規制用暗証番号を入力する

補足

- 設定内容を確認するには
  ①操作1～2を行う
  ②「設定確認」を選択する

■ 発着信規制の制限をすべて解除する

1 MENUを押し、(設定)→「ネットワークサービス」→「発着信規制」→「規制全解除」の順に選択する

2 発着信規制用暗証番号を入力する

■ 発着信規制用暗証番号を変更する

お使いの発着信規制用暗証番号（4桁）を変更できます。

1 MENUを押し、(設定)→「ネットワークサービス」→「発着信規制」→「規制暗証番号設定」の順に選択する

2 現在の発着信規制用暗証番号を入力する

3 新しい発着信規制用暗証番号を入力する

4 もう一度新しい発着信規制用暗証番号を入力する

発信者番号通知サービス

電話をかけるときにご自分の電話番号を相手に通知するかどうかを設定できます。

■ 電話番号を通知してかける

1 1あ 8やTUV 6はMNOを押す

2 相手の電話番号を入力する

3 を押す

TVコールをかける場合は

（TV）を押す

■ 電話番号を通知しないでかける

1 1あ 8やTUV 4たGHIを押す

2 相手の電話番号を入力する

3 を押す

TVコールをかける場合は

（TV）を押す

Vodafone live!

Vodafone live!をご利用になる前に

■ Vodafone live!とは

Vodafone live!（以下、ボーダフォンライブ!と表記）とは、ボーダフォンが提供する音声通話以外の通信サービスで、メール、ウェブ、Vアプリをご利用になれます。

各サービスの通信料は『3Gガイドブック』を参照してください。

■ メール

MMS（Multimedia Messaging Service）

ボーダフォン携帯電話やパソコン、E-mailに対応している携帯電話、PHSなどと、長い文字メッセージや画像、サウンド、ビデオなどの送受信ができます。

※ MMSのご利用には、別途ご契約が必要です。

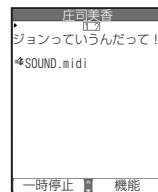
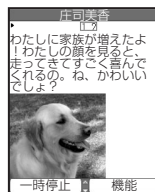
SMS（Short Message Service）

ボーダフォン携帯電話同士で、電話番号を宛先として短い文字メッセージの送受信ができます。

補足

- **リトライ機能について**
  相手が電源を切っていたり電波の届かないところにいる場合は、サービスセンターにメールが保管され、電波が届くようになると相手が受信するまで繰り返し配信します（リトライ）。
  サービスセンターから配信を繰り返す時間については、『3Gガイドブック』を参照してください。

▣ スライドメール

MMSでは、複数の画面が順番に表示されるスライドメールを作成できます。スライドごとに、文字メッセージ、画像、サウンドを添付できます。

■ ウェブ

ウェブは、ボーダフォン携帯電話からいろいろなジャンルのコンテンツにアクセスして、情報を見たり画像やメロディをダウンロードしたりできるサービスです。インターネットのコンテンツへもアクセスできます。

※ ウェブのご利用には、別途ご契約が必要です。

メニューからアクセス

ボーダフォンライブ！のメニューから読みたい項目を選択して情報を入手できます。

インターネットアクセス

URLを入力してインターネットにアクセスし、情報を入手できます。

■ Vアプリ

Vアプリ（Java™対応アプリ）は、Java™で作られたボーダフォン携帯電話専用のアプリケーションです。

※ ウェブからダウンロードする場合や、ネットワーク接続型のVアプリを利用するには、別途ご契約が必要です。

Vアプリのダウンロード

ウェブを利用して、Vアプリを提供しているサイトからダウンロードできます。

Vアプリでできること

- **待受画面**

待受設定に対応したVアプリは待受画面として利用できます。

- **カメラ撮影**

カメラ撮影に対応したVアプリで静止画の撮影や保存ができます。

- **赤外線通信**

赤外線通信に対応したVアプリで、他の機器との赤外線通信によるデータ送受信などができます。

- **ネットワーク接続**

ネットワークに接続して、ゲームを楽しんだり、リアルタイムに情報を入手したりできます。

■ ネットワーク情報を取得する

ボーダフォンライブ!を利用するために、サービスセンターに接続してネットワーク情報を取得します。

お買い上げ後、はじめて、、、（）、、（）、、サイドボタンののいずれかを押すと、ネットワーク自動調整の確認画面が表示され、ネットワーク情報取得の操作ができます。

1
、のいずれかを押す

2 ⊖（YES）を押す

補足

- ネットワーク情報を手動で取得する場合は
  ①MENUを押し、（設定）→「ネットワーク設定」→「ネットワーク自動調整」の順に選択する
  ②端末暗証番号を入力する
  ③⊖（YES）を押す
- 703Nを閉じたままサイドボタンのを1秒以上押すと
  メインディスプレイにネットワーク自動調整の確認画面が表示されます。

注意

- ネットワーク自動調整をしないと、メインメニューを表示できません。

メールアドレスの変更

パソコンなどとMMSを送受信するときのメールアドレスを変更できます。

1 ⊖（ ）を押す

2 「My Vodafone」を選択する

3 「オリジナルメール設定・各種メール設定」を選択する

4 画面の指示に従って操作する

メール受信

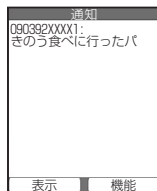
新着メールの確認

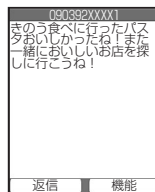
新着メールの受信はデスクトップアイコンで通知されます。

1　待受画面で●を押す

2　を選択する

通知一覧画面

3　通知一覧画面で受信通知を反転表示し、－（詳細）を押す

通知詳細画面

4　通知詳細画面で－（表示）を押す

メッセージ画面

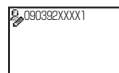
補足

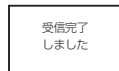
- **メッセージを確認しないで受信通知を削除するには**
  通知一覧画面で受信通知を反転表示して－（削除）を押すか、通知詳細画面で機能メニューから「削除」を選択します。受信通知を削除しても、受信メールは削除されません。ただし、通知詳細画面で受信通知を削除した場合は、受信メールも削除されます。
- **の表示について**
  は新着メールを受信したときだけでなく、コンテンツ・キーを含むファイルの閲覧可能通知や、メールの受信エラー通知を受信したときにも表示されます。通知一覧をすべて確認するか、受信メールのメール一覧を表示するとは消えます。

■ 703Nを折り畳んだまま新着メールを確認する操作について

メールを受信すると着信音が鳴り、サブディスプレイにメール受信を通知する画面が表示されます。

サブディスプレイの「メール表示」をONに設定している場合はサブディスプレイに差出人が約15秒間表示されます。

090392XXXX1

サブディスプレイの「メール表示」をOFFに設定している場合は、差出人は表示されません。

受信完了
しました

■ MMSの続きを受信する

新着のMMSが次のいずれかに当てはまる場合は、サービスセンターのメールサーバーに一時蓄積され、新着MMSまたはその一部が、サーバーに蓄積されていることを通知するメッセージが配信されます。

- 自動受信を「全て手動」に設定している場合
- 自動受信を「1KB以上は手動」、「10KB以上は手動」または「50KB以上は手動」に設定していて、メールサイズが設定を超えた場合
- 本体のメモリに空きがないとき
- TVコール中
- 外部機器を接続してパケット通信中のとき

MMSがサービスセンターに蓄積されているときは、メールを受信するまでディスプレイ上部に が表示されます。

1 待受画面で●を押す

2 を選択する

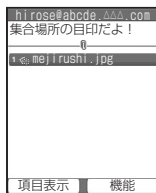
通知一覧画面

3 通知一覧画面から受信通知を反転表示し、−（詳細）を押す

通知詳細画面

4 通知詳細画面で−（受信）を押す

5 通知一覧画面に受信通知が再表示されたら−（詳細）を押す

6 ⊖（表示）を押す

メッセージ画面

補足

- **メールボックスの受信メールからMMSの続きを受信するには**
  メッセージ画面で⊖（受信）を押します。

▣ 通知詳細画面の操作について

通知詳細画面で、機能メニューから次の操作ができます。受信通知の内容によっては、機能メニューは表示されません。

機能メニュー	内　容
削除	受信通知を削除します。受信通知を削除した場合は、受信メールも削除されます。
転送	受信メールを他の宛先に転送します。
無視	通知一覧画面に戻ります。
詳細	受信メールのタイムスタンプ、差出人、サイズなどの詳細情報を確認します。

■ 受信したメールを利用する

受信したメールに、すぐに返信、転送をします。返信するメールタイプは、もとのメールと同じになります。

転送する場合は、優先メールタイプで設定されているメールタイプになります。ただし、転送しようとするメールが、SMS の条件を満たしていない場合には、メールタイプはMMS となります。

1 受信メールのメッセージ画面を表示する

2 返信、転送の操作をする

返信する場合は

⊖（返信）を押す

転送する場合は

機能メニューから「転送」を選択する

3 メールを編集し、送信する

補足

- **返信、転送の操作は**
  返信、転送についての詳細は、「メールボックス」の章を参照してください。

メール送信

メールの作成

■ 送信できる文字数

メールタイプにより送信できる文字数は次のとおりです。

メールタイプ	送信できる文字数
MMS	全角約10,000文字／半角英数約30,000文字（添付ファイルと本文、件名などを合わせて最大300Kバイト）
SMS	全角または半角で70文字（最大で140バイト） すべて半角英数で入力した場合は160文字

■ 入力項目

メールタイプにより入力できる項目は次のとおりです。

メールタイプ	項目			
	本　文	宛　先	件　名	添付ファイル
MMS	○	◎	○	○
SMS	◎	◎	×	×

◎：必ず入力する

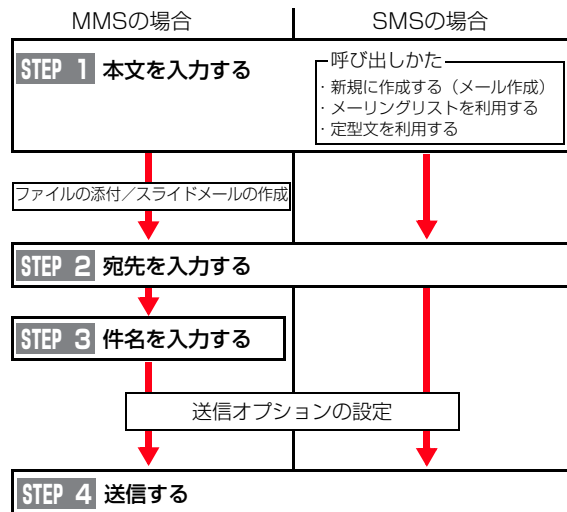
○：入力できる（MMSは本文、添付ファイルのいずれかを入力、指定すれば送信できる）

×：入力できない

宛先として、MMSは電話番号とE-mailアドレス、SMSは電話番号を入力できます。

入力できる宛先は、MMSが最大20件まで、SMSが1件のみです。

■ 操作手順

メール作成の操作手順は、次のようになります。

■ STEP1　本文を入力する

1 ⊖（[メール]）を押し、「メール作成」を選択する

メッセージ編集画面

定型文を利用する場合は

①⊖（[メール]）を押し、「定型文」を選択する
②定型文を反転表示し、⊖（[利用]）を押す

2 ⊖（[編集]）を押す

3 本文を入力する

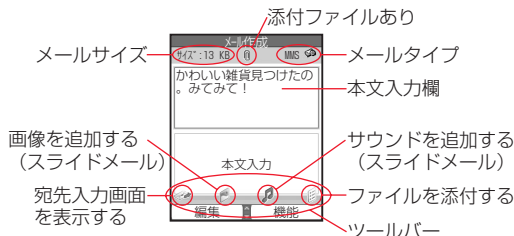
補足

- **メニューを使ってメールを呼び出すには**
  MENUを押し、（メール）を選択する
- **メーリングリストを利用する場合は**
  ①待受画面でを押し、「メーリングリスト」を選択する
  ②利用するメーリングリストを反転表示し、⊖（[メール]）を押す

- **メールタイプについて**
  新規作成するメールは、送信設定の優先メールタイプで設定されているメールタイプになります。メールタイプは編集中に変更できます。
  優先メールタイプをSMSに設定している場合、SMSで入力できる文字数を超えて本文を入力したり、E-mailアドレスを宛先に入力すると、メールタイプは自動的にMMSに変更されます。定型文を利用した場合も、SMSの文字数を超えた場合は自動的にMMSに変更されます。
- **本文を入力すると**
  「本文入力」と表示された本文入力欄が追加されます。追加された本文入力欄にカーソルを移動し⊖（[編集]）を押して本文を入力すると、自動的にスライドメールになります。

▣ メッセージ編集画面の操作について

メッセージ編集画面では、画面下のアイコンを選択してファイル添付やスライドの設定操作ができます。

20
メール送信

■ STEP2　宛先を入力する

本文入力、ファイル添付、スライド追加のいずれかを行わないと、宛先の入力へは進めません。

1　メッセージ編集画面で◎を繰り返し押してツールバーにカーソルを移動する

2　にカーソルを移動し、⊖（宛先）を押す

宛先入力画面

機能メニューから操作する場合は

本文入力欄にカーソルを移動し、機能メニューから「宛先」を選択します。

3　宛先入力欄にカーソルを移動する

宛先を追加する場合は

①機能メニューから「宛先追加」を選択する
②宛先の種類を選択する

4　宛先を入力する

直接入力する場合は

①⊖（編集）を押す
②電話番号やE-mailアドレスを入力する

電話帳から入力する場合は

①機能メニューから「宛先選択」を選択する
②電話帳を検索し、電話番号やE-mailアドレスを選択する

送信／受信アドレス履歴から入力する場合は

①機能メニューから「宛先選択」を選択する
②「送信／受信アドレス履歴」を選択する
③送信する相手を選択する
④●（選択）を押す

5　複数の宛先を設定する場合は、操作3～4を繰り返す

補足

- **宛先追加について**
  宛先はCc、Bccを合わせて最大20件まで指定できます。
  Cc、Bccはメールのコピーを送信する相手に使用します。Ccに指定した相手の電話番号やE-mailアドレスは送信先のメールに表示されますが、Bccに指定した相手の電話番号やE-mailアドレスは表示されません。
  SMSで宛先追加をするとMMSになります。

- **宛先を削除するには**
  宛先の入力欄にカーソルを移動し、機能メニューから「削除」を選択します。
  入力済みの宛先が複数の場合は、「全削除」を選択できます。

■ STEP3　件名を入力する

1 **宛先入力画面で件名の入力欄にカーソルを移動し、(編集)を押す**

メールタイプをSMSからMMSに変更して件名を入力する場合は

①宛先入力画面で機能メニューから「件名追加」を選択する
②件名の入力欄にカーソルを移動し、(編集)を押す

2 **件名を入力する**

補足

- **件名を削除するには**
  宛先入力画面で機能メニューから「件名削除」を選択します。

■ STEP4　送信する

1 **宛先入力画面で「送信」を選択する**

補足

- **メールタイプを変更するには**
  ①「メールタイプ：MMS」または「メールタイプ：SMS」を選択する
  ②メールタイプを選択する
  SMSで送信できない入力項目が設定されている場合は、SMSに変更できません。

ファイルの添付

画像、サウンド、ビデオなどのファイルをMMSに添付して送信します。メールのファイル添付は本文、宛先、件名、添付ファイルを合わせて300Kバイトまで可能です。

■ データフォルダからファイルを添付する

1 **メッセージ編集画面でを繰り返し押してツールバーにカーソルを移動する**

2 **にカーソルを移動し、(ファイル添付)を押す**

3 フォルダを選択し、ファイルを選択する

添付ファイルを追加する場合は

操作1〜3を繰り返す

補足

- **機能メニューを使ってファイルを添付するには**
  ①メッセージ編集画面で機能メニューから「データ挿入」→「ファイル添付」の順に選択する
  ②フォルダを選択し、ファイルを選択する

20

メール送信

注意

- **送信先が受信できる添付ファイルの形式や、送信先のサービス対応状況については、あらかじめ確認してください。ボーダフォン携帯電話のサービス対応状況については、『3Gガイドブック』を参照してください。**

■ ファイル一覧画面の操作について

添付ファイルを選択するファイル一覧画面では、機能メニューを使って次の操作ができます。

機能メニュー	内　容
開く	ファイルを表示、再生して確認します。 画像ファイルの場合は、画像ビューア画面が表示されます。 サウンドファイルの場合は、⊖(再生) で再生されます。
ソート	名前、日付、ファイルサイズ、ファイルタイプで一覧を並べ替えます。
詳細	ファイルタイプ、ファイルサイズ、最終更新日時を表示します。

■ メッセージ編集画面の機能メニュー

メッセージ編集画面では、機能メニューを使って次の操作ができます。カーソルの位置、編集の状態により、表示される項目は異なります。

機能メニュー	内　容
宛先	宛先入力画面を表示します。
スライド持続時間※	次のスライドを表示、再生するまでの時間を設定します。
スライド削除※	スライドを削除します。
新規スライド	スライドを追加します。
データ挿入	ファイルを添付します。
プレビュー	メッセージのプレビュー画面を表示して確認します。
添付リスト	添付ファイルの一覧を表示して確認します。
下書き保存	作成したメールを下書きに保存します。
定型文保存	作成したメールを定型文に保存します。

「※」のメニューは、スライドメールの編集で表示されます。

■ 添付リストを利用する

ファイルを添付すると、メッセージ編集画面に📎が表示されます。添付リストを表示すると、添付したファイルを一覧で確認できます。添付リストでは、ファイルを表示、再生して確認したり、添付リストから削除したりできます。

1 メッセージ編集画面で◎を繰り返し押してツールバーにカーソルを移動する

2 📄にカーソルを移動し、機能メニューから「添付リスト」を選択する

3 添付リストの操作をする

画像を再生表示する場合は

ファイルを反転表示し、⊖（表示）を押す

サウンド、動画を再生する場合は

ファイルを反転表示して◉（表示）を押し、⊖（再生）を押す

添付ファイルを1件ずつ削除する場合は

ファイルを反転表示し、機能メニューから「削除」を選択する

すべての添付ファイルを削除する場合は

①機能メニューから「全削除」を選択する
②⊖（はい）を押す

補足

- **画像表示中の操作について**
  画像を選択すると、画像ビューア画面が表示されます。画像ビューアの操作については「メールボックス」の章を参照してください。ただし、メッセージ編集画面からの画像ビューアの操作は次の点が異なります。
  ・添付ファイルの保存はできません。
  ・画像ビューアの機能メニューから「新規メール作成」を選択してスライドメールを作成すると、表示中の画像を除いて作成中のメールの内容がすべて削除されます。

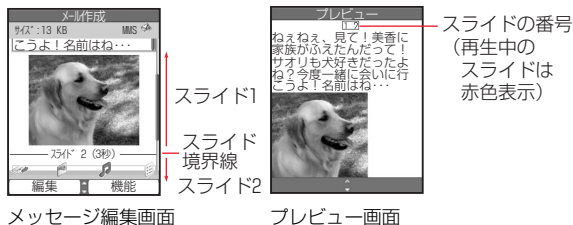
スライドメールの作成

メッセージ編集画面では、スライドが上から順に表示されます。表示イメージを確認するときは、プレビュー画面を表示させます。

メッセージ編集画面

プレビュー
ねぇねぇ、見て！美香に家族がふえたんだって！サオリも犬好きだったよね？今度一緒に会いに行こうよ！名前はね・・・

スライドの番号（再生中のスライドは赤色表示）

プレビュー画面

■ スライドを追加する

メッセージに新たにスライドを追加したり、現在編集中のスライドの前かあとにスライドを追加します。追加後は、追加したスライドの編集ができます。

1 メッセージ編集画面で◎を繰り返し押してツールバーにカーソルを移動する

2 スライド追加操作をする

画像を追加する場合は

①　にカーソルを移動し、⊖（画像追加）を押す

②フォルダを選択し、ファイルを選択する

サウンドを追加する場合は

①　にカーソルを移動し、⊖（サウンド追加）を押す

②フォルダを選択し、ファイルを選択する

本文を追加する場合は

①　にカーソルを移動し、機能メニューから「新規スライド」を選択する

②追加する位置を選択する

③⊖（編集）を押し、本文を入力する

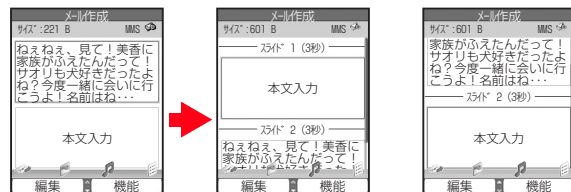
補足

- **1つのスライドに2つ目の画像またはサウンドを追加すると**
  自動的にスライドが1つ追加されます。
- **スライド追加操作について**
  次の操作でもスライドを追加できます。
  画像またはサウンドを追加する場合：
  ①スライド境界線、またはスライド内の本文入力欄、画像、サウンドにカーソルを移動する
  ②機能メニューから「データ挿入」を選択し、画像またはサウンドを追加する
  本文を追加する場合：
  ①スライド境界線、またはスライド内の画像やサウンドにカーソルを移動する
  ②機能メニューから「新規スライド」を選択する
  ③スライドを追加する位置を選択する
  ④⊖（編集）を押し、本文を入力する

20 メール送信

- **スライドメールへのファイル添付について**
  次の操作で、スライドメールにファイルを添付することができます。
  ・ にカーソルを移動し、⊖（ファイル添付）を押す
  ・ 機能メニューから「データ挿入」→「ファイル添付」を選択する

▣ スライドの追加位置について

本文を追加する例

追加前の画面　　前に追加した場合

後に追加した場合

注意

- **送信先がスライドメールに対応しているかどうか、あらかじめ確認してください。対応していない機種ではスライドメールを受信してもスライド表示されません。画像やサウンドは通常の添付ファイルになります。**

▣ スライドの画像またはサウンドの操作について

スライドの画像またはサウンドにカーソルがあるときは、機能メニューを使って次の操作ができます。

機能メニュー	内　容
画像変更／サウンド変更	別の画像やサウンドに差し替えます。
画像削除／サウンド削除	画像やサウンドを削除します。
再生	サウンドを再生します。

■ スライドの間隔を設定する

スライドから次のスライドに移行するまでの時間を設定します。1～60秒の範囲で指定できます。

［お買い上げ時］ ■3秒

1　メッセージ編集画面でスライド境界線にカーソルを移動し、機能メニューから「スライド持続時間」を選択する

2　設定操作をする

設定の秒数を設定する場合は

「3秒」、「5秒」または「10秒」を選択する

秒数を入力する場合は

①「カスタム時間」を選択する
②⊖（編集）を押し、秒数を入力する
③機能メニューから「保存」を選択する

■ スライドを削除する

スライドを削除すると、そのスライドの本文、画像、サウンドも削除されます。

1 **メッセージ編集画面でスライド境界線にカーソルを移動し、機能メニューから「スライド削除」を選択する**

送信オプションの設定

メールに次のオプションを設定できます。ここで設定した内容は、送信メール1件に対してのみ有効です。

送信オプション	内　容
配信確認	送信したメールが相手に届いたかどうかを通信レポートで確認します。
有効期限	メールがメールサーバーに保存される時間を設定します。設定した時間が経過するとメールサーバーから削除されます。
配信時間指定	メールを送信するまでの時間を設定します。送信操作後、メールは設定した時間が経過するまでメールサーバーに保存されます。
重要度	送信するメールの重要度を3段階で設定します。

1 **宛先入力画面で「設定」にカーソルを移動し、⊖（選択）を押す**

2 **項目を選択し、設定操作をする**

配信確認を設定する場合は

①「配信確認」を選択する
②設定を選択する

有効期限を設定する場合は

①「有効期限」を選択する
②設定を選択する

配信時間指定を設定する場合は

①「配信時間指定」を選択する
②設定を選択する

重要度を設定する場合は

①「重要度」を選択する
②設定を選択する

補足

- **送信オプションの初期設定を変更するには**
  初期設定については、「メールのその他設定」の「送信設定」を参照してください。

注意

- **有効期限を設定してもサーバーに保存される最大時間を超えると、メールはメールサーバーから自動的に削除されます。**

作成メールの保存

■ 下書きに保存する

メール作成を中断するときなどに、作成中のメールを下書きに保存できます。下書きに保存したメールは、あとから編集の続きをして送信できます。

1 メッセージ編集画面または宛先入力画面で、機能メニューから「下書き保存」を選択する

補足

- **メール作成を中断するとき下書き保存するには**
  ①メッセージ編集画面または宛先入力画面で、(PWR)を押す
  ②(YES)を押す
- **下書きのメールを操作するには**
  下書きはメールボックスの一つです。メールボックスの操作については、「メールボックス」の章を参照してください。

■ 下書き保存したメールの編集について

下書き保存したメールを表示して編集を再開するときは、次のように操作します。

①(✉)を押し、「下書き」を選択する
②編集するメールを反転表示し、(編集)を押す

メニューを使って操作する場合は、操作1で(MENU)を押し、(メール)→「下書き」の順に選択します。

■ 定型文に保存する

作成したメールを定型文に保存すると、同じ内容のメールを簡単に作成できます。

1 メッセージ編集画面または宛先入力画面で、機能メニューから「定型文保存」を選択する

2 (編集)を押し、定型文の名前を入力する

3 機能メニューから「保存」を選択する

補足

- **送信済みメール、受信メール、ユーザフォルダのメールを定型文に保存するには**
  ①(✉)を押し、「送信済みメール」または「受信メール」を選択する
  ユーザフォルダのメールを保存する場合は：(✉)を押し、「ユーザフォルダ」を選択してフォルダを選択する

②メールを選択する
③機能メニューから「保存／電話帳登録」→「定型文保存」の順に選択する
④⊖（編集）を押し、定型文の名前を入力する
⑤機能メニューから「保存」を選択する

メニューを使って操作する場合は、操作１でMENUを押し、（メール）→「送信済みメール」／「受信メール」／「ユーザフォルダ」のいずれかを選択します。

● **定型文のメールを操作するには**

定型文はメールボックスの一つです。メールボックスの操作については、「メールボックス」の章を参照してください。

● **定型文を変更するには**

定型文を直接修正することはできません。内容を変更するときは、定型文からメールを編集し、再度定型文として保存し直してください。

メールボックス

メールの内容確認

メールボックスとは、「受信メール」「送信済みメール」「未送信メール」「ユーザフォルダ」「下書き」「定型文」の各フォルダの総称です。

メールボックスの各フォルダには、次のようにメールが保存されます。

フォルダ		保存されるメール
受信メール		受信したメール
送信済みメール		送信が完了したメール 配信時間指定の設定により送信待ちになっているメール
未送信メール		送信に失敗したメール 送信中にキャンセルしたメール
ユーザフォルダ※	User Folder 01～10	受信メールから手動で移動したメール
下書き		下書き保存したメール
定型文		定型文保存したメール

※ ユーザフォルダの中には10個のフォルダ(User Folder 01～10)があります。「User Folder 01～10」のフォルダ名は変更できます。

■ メール一覧から確認する

1 ⊖(✉) を押す

メニューを使って操作する場合は

MENUを押し、(メール) を選択する

2 フォルダを選択する

3 メール一覧画面でメールを反転表示し、⊖(表示) を押す

操作2で「未送信メール」または「下書き」を選択した場合は

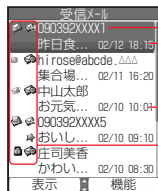
メールを反転表示し、機能メニューから「表示」を選択する

操作2で「定型文」を選択した場合は

メールを反転表示し、⊖(利用) を押す

補足

- **定型文の内容確認について**
  定型文は、他のフォルダのメールと異なり、プレビューで内容を確認することはできません。メッセージ編集画面が表示されます。

■ メール一覧画面

受信メールの場合

メールアイコン：意味

：未読メール、添付ファイルなし

：未読メール、添付ファイルあり

：既読メール、添付ファイルなし

：既読メール、添付ファイルあり

：保護されているメール

：メールサーバーに蓄積されている未受信メール

：重要度「高」

：配信確認が設定されている

：MMS

：SMS

：USIMカードに保存されているSMS

■ 未読／既読の切り替え

受信メールの未読と既読を切り替えることができます。

1 受信メールのメール一覧画面でメールの選択操作をする

1件ずつ切り替える場合は

メールを反転表示する

複数のメールを切り替える場合は

①機能メニューから「選択」を選択する

②メールを反転表示し、㊀（選択）を押す

③②を繰り返して対象のメールをすべて選択する

2 機能メニューから「既読にする」または「未読にする」を選択する

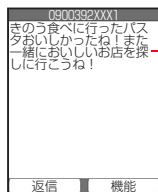
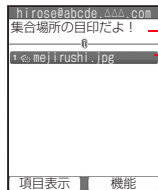
補足

- **選択を解除するには**
  メールを反転表示し、㊀（選択解除）を押します。複数またはすべてのメールを選択している場合は、機能メニューから「全て選択解除」を選択します。
- **タイムスタンプ、差出人などの詳細を確認するには**
  メール一覧画面でメールを反転表示し、機能メニューから「メッセージの詳細」を選択します。

▣ 通信レポート

送信メールに配信確認を設定すると、サービスセンターから通信レポートが送られてきます。

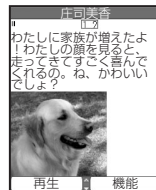
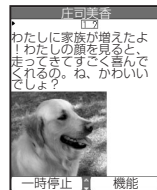
■ メッセージ画面からの操作

■ メッセージ画面

SMS、添付ファイルのないMMS

添付ファイルのあるMMS

補足

- **送信元へのメール作成がすぐにできるようにするには**
  メッセージ画面で機能メニューから「保存／電話帳登録」→「デスクトップ貼付」の順に選択します。
- **サウンドの再生音を消すには**
  機能メニューから「ミュート」を選択します。
  マナーモードが設定されている場合は、サウンドの再生を確認する画面が表示され、そのつど再生するかどうかを選択できます。

■ スライドメール

スライドメールはメッセージ画面を表示すると、自動的に再生を開始し、スライドが順に表示されます。再生を停止するときは⊖（一時停止）を押します。停止中画面で⊖（再生）を押して再度表示することもできます。

停止中画面　　再生中画面

再生可能なサウンドが添付されている場合は、自動的に再生されます。メール設定の「サウンド」で自動的に再生するかどうかを設定できます。

■ 電話帳登録

差出人や宛先の、電話番号、E-mailアドレスを電話帳に登録できます。

1 **メッセージ画面で機能メニューから「保存／電話帳登録」→「電話帳登録」の順に選択する**

2 **電話帳登録の操作をする**

■ コピー

受信メールやユーザフォルダのメールのメッセージ内の文字をコピーして、文字入力の貼り付けで利用できます。

1 **受信メールやユーザフォルダのメールのメッセージ画面で機能メニューから「コピー」を選択する**

2 **項目を選択し、コピー操作をする**

本文からコピーする場合は

①「本文」を選択する

②コピーする範囲の最初の文字にカーソルを移動し、⊖（選択）を押す

③最後の文字にカーソルを移動し、⊖（ｺﾋﾟｰ）を押す

差出人の電話番号、E-mailアドレスからコピーする場合は

「差出人」を選択する

宛先の電話番号、E-mailアドレスからコピーする場合は

「宛先」を選択する

件名からコピーする場合は

「件名」を選択する

▣ メッセージ画面の機能メニューについて

メッセージ画面では、機能メニューを使って次の操作ができます。メールによって表示される項目は異なります。

機能メニュー	内　容
ミュート／ミュート解除	サウンドのミュート（消音）や、ミュートの解除をします。
返信	受信メールに返信します。
返信種別選択	返信のしかたを選択して受信メールに返信します。
削除	メールを削除します。
保護／保護解除	メールを保護、保護解除します。
転送	メールを他の宛先に転送します。
保存／電話帳登録	メールのデスクトップ貼り付け、添付ファイルの保存、定型文保存、差出人や宛先の電話番号、E-mailアドレスの電話帳登録をします。

機能メニュー	内　容
電話発信	差出人や宛先の電話番号に電話やTVコールをかけます。
コピー	本文、差出人、宛先、件名の文字をコピーします。
メッセージの詳細	タイムスタンプ、差出人、宛先、メールサイズ、重要度などの情報を表示します。
項目表示※	サウンド、画像、動画ファイルをビューア画面で表示します。
詳細※	添付ファイルのファイルタイプ、ファイルサイズ、最終更新日時などを表示します。

「※」のメニューは、添付ファイルにカーソルがあるときに表示されます。

21

メールボックス

フォルダ管理

受信メールが保存できる10個のユーザフォルダがあり、受信メールを分類して保存できます。

■ フォルダ名を変更する

お買い上げ時、ユーザフォルダには「User Folder 01」～「User Folder 10」という名前が付けられています。この名前をわかりやすい名前に変更できます。

1 ⊖（✉）を押し、「ユーザフォルダ」を選択する

メニューを使って操作する場合は

MENUを押し、（メール）→「ユーザフォルダ」の順に選択する

2 ユーザフォルダを反転表示し、機能メニューから「フォルダ名の変更」を選択する

3 ダイヤルボタンを押し、フォルダ名を入力する

4 ⊖（OK）を押す

■ メールを他のフォルダに移動する

移動できるのは、受信メールのみです。

1 ⊖（✉）を押す

メニューを使って操作する場合は

MENUを押し、（メール）を選択する

2 フォルダを選択する

受信メールのメールを移動する場合は

「受信メール」を選択する

ユーザフォルダのメールを移動する場合は

「ユーザフォルダ」を選択し、フォルダを選択する

3 メールを反転表示し、機能メニューから「フォルダ移動」を選択する

4 移動先のフォルダを選択する

メールの返信

返信で自動的に作成されるメールは次のようになります。

項　目	内　容
本文	入力されません。引用返信の場合は、もとのメールの本文が入力されます。
宛先	受信メールの差出人が自動的に入力されます。
件名（MMSのみ）	もとのメールに件名があるときのみ、「Re:」を付加した件名が自動的に入力されます。
添付ファイル	引用返信の場合のみ添付されます。

1 ⊖（✉）を押す

メニューを使って操作する場合は

MENUを押し、（メール）を選択する

2 フォルダを選択する

受信メールのメールに返信する場合は

「受信メール」を選択する

ユーザフォルダのメールに返信する場合は

「ユーザフォルダ」を選択し、フォルダを選択する

3 メールを反転表示し、返信のしかたを選択する

差出人にのみ返信し、もとのメールの本文を引用しない場合は

機能メニューから「返信種別選択」→「返信」の順に選択する

差出人にのみ返信し、もとのメールの本文を引用する場合は

機能メニューから「返信種別選択」→「引用返信」の順に選択する

差出人とすべての宛先に返信し、もとのメールの本文を引用しない場合は

機能メニューから「返信種別選択」→「全員へ返信」の順に選択する

差出人とすべての宛先に返信し、もとのメールの本文を引用する場合は

機能メニューから「返信種別選択」→「全員へ引用返信」の順に選択する

4 メールを作成し、送信する

補足

- **返信で表示されるメッセージのメールタイプは**
  もとのメールと同じメールタイプになります。編集中にメールタイプを変更することもできます。

メールの転送

受信メール、送信済みメール、下書きをほかの宛先に転送できます。転送で自動的に作成されるメールは次のようになります。

項　目	内　容
本文	もとのメールの本文が引用されます。
宛先	何も入力されません。
件名（MMSのみ）	もとのメールに件名があるときのみ、「Fw:」を付加した件名が自動的に入力されます。
添付ファイル（MMSのみ）	もとのメールに添付されてきたファイルが、転送不可のものを除きすべて添付されます。

1 （ ）を押す

メニューを使って操作する場合は

を押し、（メール）を選択する

2 フォルダを選択する

受信メールを転送する場合は

「受信メール」を選択する

送信済みメールを転送する場合は

「送信済みメール」を選択する

ユーザフォルダのメールを転送する場合は

「ユーザフォルダ」を選択し、フォルダを選択する

下書きを転送する場合は

「下書き」を選択する

3 メールを反転表示し、機能メニューから「転送」を選択する

4 メールを作成し、送信する

補足

- **転送で表示されるメッセージのメールタイプは**
  優先メールタイプになります。ただし、転送しようとするメールがSMSの条件を満たしていない場合、メールタイプはMMSとなります。

未送信メールからのメール送信

■ 1件ずつ送信する

送信に失敗したメールや送信をキャンセルしたメールを1件ずつ再送信します。

1 （ ）を押し、「未送信メール」を選択する

メニューを使って操作する場合は

を押し、（メール）→「未送信メール」の順に選択する

2 **メールを反転表示し、機能メニューから「再送信」を選択する**

補足

- **送信する前に未送信メールを編集するには**
  メール一覧画面でメールを反転表示し、機能メニューから「編集」を選択します。
- **未送信メールを下書きに移動するには**
  メール一覧画面でメールを反転表示し、機能メニューから「下書きへ移動」を選択します。

■ 一括して送信する

未送信メールに保存されているメールを一括して送信します。

1 **（　）を押し、「未送信メール」を選択する**

2 **機能メニューから「一括送信」を選択する**

メールの保護

メールを削除できないように保護します。ただし、メモリリセットやオールリセットを実行すると、USIMカードに保存されたSMSを含め保護されたメールもすべて削除されます。保護されたメールにはメール一覧で が表示されます。

1 **（　）を押す**

メニューを使って操作する場合は
を押し、（メール）を選択する

2 **フォルダを選択する**

受信メールを保護する場合は
「受信メール」を選択する

送信済みメールを保護する場合は
「送信済みメール」を選択する

ユーザフォルダのメールを保護する場合は
「ユーザフォルダ」を選択し、フォルダを選択する

下書きを保護する場合は
「下書き」を選択する

定型文を保護する場合は
「定型文」を選択する

3 **メールの選択操作をする**

1件ずつ保護する場合は
メールを反転表示する

複数のメールを保護する場合は
①機能メニューから「選択」を選択する
②メールを反転表示し、⊖（選択）を押す
③②を繰り返して対象のメールをすべて選択する

フォルダ内のメールをすべて保護する場合は
①機能メニューから「選択」を選択する
②機能メニューから「全て選択」を選択する

4 **機能メニューから「保護」を選択する**

補足

- **保護を解除する場合は**
  操作4で機能メニューから「保護解除」を選択します。
- **選択を解除するには**
  メールを反転表示し、⊖（選択解除）を押します。複数またはすべてのメールを選択している場合は、機能メニューから「全て選択解除」を選択します。

注意

- **未送信メールは保護できません。**

メールの削除

■ メールを指定して削除する

1 **⊖（✉）を押す**

メニューを使って操作する場合は
MENUを押し、（メール）を選択する

2 **メールボックスを選択する**

受信メールを削除する場合は
「受信メール」を選択する

送信済みメールを削除する場合は
「送信済みメール」を選択する

ユーザフォルダのメールを削除する場合は
「ユーザフォルダ」を選択し、フォルダを選択する

下書きを削除する場合は
「下書き」を選択する

定型文を削除する場合は
「定型文」を選択する

3 **削除操作をする**

1件ずつ削除する場合は
①メールを反転表示する
②機能メニューから「削除」を選択する

③⊖（YES）を押す

複数のメールを削除する場合は

①機能メニューから「選択」を選択する
②メールを反転表示し、⊖（選択）を押す
③②を繰り返して対象のメールをすべて選択する
④機能メニューから「削除」を選択する
⑤⊖（YES）を押す

補足

- **未送信メールを削除するには**
  メール一覧画面でメールを反転表示し、⊖（削除）を押し、⊖（YES）を押します。未送信メールは1件ずつしか削除できません。

- **選択を解除するには**
  メールを反転表示し、⊖（選択解除）を押します。

■ フォルダ内のメールをすべて削除する

フォルダごとに一括してメールを削除します。

1 ⊖（✉）を押す

メニューを使って操作する場合は

MENUを押し、（メール）を選択する

2 フォルダを選択する

受信メールを削除する場合は

「受信メール」を選択する

送信済みメールを削除する場合は

「送信済みメール」を選択する

ユーザフォルダのメールを削除する場合は

「ユーザフォルダ」を選択し、フォルダを選択する

下書きを削除する場合は

「下書き」を選択する

定型文を削除する場合は

「定型文」を選択する

3 機能メニューから「全削除」を選択する

4 ⊖（YES）を押す

補足

- **保護されているメールがあるときは**
  保護されているメールは削除されません。

メール内の電話番号／E-mailアドレス／URLの利用

メール本文に含まれる電話番号、E-mailアドレス、URLは、本文中に青字で表示されているもののみ電話帳登録や発信、メール送信、インターネットアクセスに利用できます。

■ 電話帳に登録する

1 **メッセージ画面で電話番号またはE-mailアドレスを選択する**

2 **「電話帳登録」を選択する**

3 **電話帳登録の操作をする（☞「電話帳」の章）**

■ 電話発信／メール送信／インターネットアクセスを行う

1 **メッセージ画面で電話番号、E-mail アドレス、URLの利用操作をする**

電話／TVコールをかける場合は

①電話番号を選択し、「発信」を選択する

②発信のしかたを選択して発信する（☞「基本的な操作のご案内」、「TVコール」の章）

メールを送信する場合は

①電話番号またはE-mailアドレスを選択し、「メール作成」を選択する

②メールを作成、送信する（☞「メール送信」の章）

インターネットアクセスをする場合は

URLを選択する（☞「ウェブの基本操作」の章）

補足

- **ストリーミング再生のURLについて**
  先頭に「rtsp://」が付いている半角英数字、「.」「/」などの文字列を選択した場合は、動画などのストリーミング再生になります。

添付ファイルの利用

■ 添付ファイルを確認する

受信MMSに添付されてきた画像やサウンドなどのファイルを、個別に表示、再生して確認します。

1 メッセージ画面で添付ファイルにカーソルを移動し、⊖（項目表示）を押す

スライドメールの場合は

メッセージ画面で添付ファイルにカーソルを移動し、機能メニューから「項目表示」を選択する

補足

- **添付ファイルの詳細を確認するには**
  メッセージ画面で添付ファイルにカーソルを移動し、機能メニューから「詳細」を選択します。
- **コンテンツ・キーが必要なファイルの場合は**
  コンテンツ・キーの取得を確認する画面が表示されます。コンテンツ・キー取得の操作をしてください。

▣ 画像表示中の操作（画像ビューア画面）

画像を項目表示すると、画像ビューア画面が表示されます。画像ビューア画面では、⊖（拡大）を押すと画像を拡大表示できます。もとの表示に戻すときは機能メニューから「画面に合わせる」を選択します。

画像ビューア画面から機能メニューを使って次の操作ができます。

機能メニュー	内　容
保存	表示中の画像ファイルをデータフォルダに保存します。
詳細	表示中の画像ファイルの詳細を表示します。
新規メール作成	表示中の画像ファイルを使用してスライドメールを作成します。

■ データフォルダに保存する

1 メッセージ画面で添付ファイルにカーソルを移動し、機能メニューから「保存／電話帳登録」→「添付データ保存」の順に選択する

2 ⊖（保存）を押す

3 ファイル名を確認し、⊖（OK）を押す

ファイル名を変更する場合は

①ダイヤルボタンを押し、ファイル名を入力する
②⊖（OK）を押す

補足

- **ファイル一覧を並べ替えるには**
  ファイル一覧画面で⊖（ソート）を押し、並べ替える基準を選択します。

メール一覧画面からの操作

■ 受信メールやユーザフォルダのメールを並べ替える

受信メールやユーザフォルダのメールの一覧画面をタイムスタンプ、差出人、開封状態、メールタイプで並べ替えることができます。

1 (−)( ) を押す

メニューを使って操作する場合は

(MENU)を押し、(メール) を選択する

2 フォルダを選択する

受信メールを並べ替えるには

「受信メール」を選択する

ユーザフォルダのメールを並べ替えるには

「ユーザフォルダ」を選択し、フォルダを選択する

3 機能メニューから「ソート」を選択する

4 項目を選択する

タイムスタンプ（受信日時）で並べ替える場合は

「タイムスタンプ」を選択する

差出人で並べ替える場合は

「差出人」を選択する

開封状態（未読／既読）で並べ替える場合は

「開封状態」を選択する

メールタイプ（MMS／SMS）で並べ替える場合は

「タイプ」を選択する

■ 受信SMSをUSIMカードに移動する

受信SMSをUSIMカードに移動します。USIMカードのSMSには が表示されます。

1 (−)( ) を押し、「受信メール」を選択する

メニューを使って操作する場合は

(MENU)を押し、(メール) →「受信メール」の順に選択する

2 SMSを反転表示し、機能メニューから「USIMへ移動」を選択する

USIMから本体へ戻す場合は

が表示されているSMSを反転表示し、「USIMから移動」を選択する

注意

- **ユーザフォルダのSMSはUSIMカードに移動できません。**

■ メール一覧画面の機能メニューについて

メール一覧画面では、機能メニューを使って次の操作ができます。メールボックスによって表示される項目は異なります。

機能メニュー	内　容
受信	MMSの続きを受信します。
送信	メールを送信します。
再送信	メールを再送信します。
一括送信	メールをまとめて再送信します。
返信種別選択	返信のしかたを選択して受信メールに返信します。
転送	メールを他の宛先に転送します。
編集	メッセージ編集画面を表示して、編集します。
表示	メールのプレビューを表示して確認します。
削除	メールを削除します。
全削除	フォルダ内のメールをすべて削除します。
フォルダ移動	メールを他のフォルダに移動します。
下書きへ移動	未送信メールを下書きへ移動します。
保護／保護解除	メールを保護、保護解除します。
既読にする／未読にする	受信メールの既読と未読を切り替えます。
ソート	メール一覧をタイムスタンプ、差出人、開封状態、メールタイプで並べ替えます。
USIMへ移動／USIMから移動	受信SMSをUSIMカードへ移動したり、USIMカードのSMSを受信メールに移動します。
メッセージの詳細	タイムスタンプ、差出人、宛先、メールサイズ、重要度などの情報を表示します。
選択	複数のメールを操作対象に選択します。
電話発信	差出人の電話番号に電話やTVコールをかけます。
戻る	前の画面に戻ります。

メールサーバー

メールリストの利用

次のいずれかに当てはまるMMSが送られてきた場合は、サービスセンターに一時蓄積され、新着MMSまたはその一部が、メールサーバーに保存されていることを通知するメッセージが配信されます。

- 自動受信を「全て手動」に設定している場合
- 自動受信を「1KB以上は手動」、「10KB以上は手動」または「50KB以上は手動」に設定していて、メールサイズが設定を超えた場合
- 本体のメモリに空きがないとき
- TVコール中
- 外部機器を接続してパケット通信中のとき

MMSがサービスセンターに蓄積されているときは、ディスプレイ上部にが表示されます。メールサーバーに保存されているMMSの一覧（メールリスト）を取得すると、蓄積されているメールの受信、削除、転送などの操作ができます。

メールサーバーに保存される時間については、『3Gガイドブック』を参照してください。

■ メールリストを取得する

1 ()を押し、「サーバーメール操作」を選択する

メニューを使って操作する場合は

を押し、（メール）→「サーバーメール操作」の順に選択する

2 サーバーメール操作画面で「メールリスト受信」を選択する

補足

- **すでに取得したメールリストを表示するには**
  サーバーメール操作画面で「サーバーメールリスト」を選択すると、メールリストを取得し直さずに表示できます。
- **メールサーバーの使用状況を確認するには**
  サーバーメール操作画面で「サーバーメール容量」を選択します。最新の内容に更新する場合は、続けて（更新）→（YES）を押します。

■ メールリストからMMSを受信する

1 **メールリストを表示する**

2 **MMSを反転表示し、⊖（受信）を押す**

補足

- **メールリストのMMSをすべて受信するには**
  ①メールリストを取得する
  ②サーバーメール操作画面で「全メール受信」を選択する

■ メールリストを利用してサーバー内のMMSを削除する

削除したMMSは受信できなくなります。

1 **メールリストを表示する**

2 **MMSを反転表示し、機能メニューから「削除」を選択する**

3 **⊖（YES）を押す**

補足

- **メールリストのMMSをすべて削除するには**
  ①メールリストを取得する
  ②サーバーメール操作画面で「全メール削除」を選択する
  ③⊖（YES）を押す

サーバー内のメール転送

1 **メールリストを表示する**

2 **MMSを反転表示し、機能メニューから「転送」を選択する**

3 **宛先を入力し、送信する**

補足

- **転送で表示されるメッセージは**

項　目	内　容
本文	もとのMMSの本文が引用されます。
宛先	何も入力されません。
件名	もとのMMSの件名に「Fw:」を付加した件名が自動的に入力されます。
添付ファイル	もとのMMSに添付されていた添付ファイルが、転送不可のものを除きすべて送付されます。

宛先以外の項目は編集できません。

メールのその他設定

メーリングリスト

複数の相手に同じメールをたびたび送信する場合は、電話番号やE-mailアドレスをメーリングリストに登録しておくと、宛先の入力が簡単にできます。メーリングリストは20件登録でき、電話番号やE-mailアドレスをそれぞれ5件まで登録できます。

■ メーリングリストを登録する

1 (MENU)を押し、(電話帳)→「メーリングリスト」の順に選択する

2 メーリングリストを選択する

リスト名を変更する場合は

メーリングリストを反転表示し、機能メニューから「リスト名編集」を選択してリスト名を入力する

3 電話番号、E-mailアドレスを入力する

電話番号、E-mailアドレスを直接入力する場合は

①登録番号を反転表示し、(−)(編集)を押す
②電話番号、E-mailアドレスを入力する

電話帳から入力する場合は

①登録番号を反転表示し、機能メニューから「宛先選択」→「電話帳」の順に選択する
②電話帳を検索し、電話番号、E-mailアドレスを選択する

送信アドレス履歴から入力する場合は

①登録番号を反転表示し、機能メニューから「宛先選択」→「送信アドレス履歴」の順に選択する
②電話番号、E-mailアドレスを選択する

受信アドレス履歴から入力する場合は

①登録番号を反転表示し、機能メニューから「宛先選択」→「受信アドレス履歴」の順に選択する
②電話番号、E-mailアドレスを選択する

リダイヤルから入力する場合は

①登録番号を反転表示し、機能メニューから「宛先選択」→「リダイヤル」の順に選択する
②電話番号を選択する

着信履歴から入力する場合は

①登録番号を反転表示し、機能メニューから「宛先選択」→「着信履歴」の順に選択する
②電話番号を選択する

4 操作3を繰り返して電話番号、E-mailアドレスをすべて登録する

■ メーリングリストを削除する

メーリングリストに登録されている電話番号、E-mailアドレスを削除します。

1 **MENUを押し、(電話帳)→「メーリングリスト」の順に選択する**

2 **メーリングリストを選択する**

3 **登録番号を反転表示し、機能メニューから「1件削除」または「全件削除」を選択する**

4 **「YES」を選択する**

補足

- **リスト名を初期化するには**
  ①操作1を行う
  ②メーリングリストを反転表示し、機能メニューから「リスト名初期化」を選択する
  ③「YES」を選択する

送信設定

■ メールの有効期限を設定する

メールが、メールサーバーに保存される時間を設定します。設定した時間が経過するとメールサーバーから削除されます。

［お買い上げ時］ ■削除しない

1 **(　)を押し、「設定」→「送信設定」→「有効期限」の順に選択する**

2 **設定を選択する**

補足

- **メニューを使って送信設定を呼び出すには**
  MENUを押し、(メール)→「設定」→「送信設定」の順に選択します。

■ 配信時間指定を設定する

MMSを送信するまでの時間を設定します。送信操作後、MMSは設定した時間が経過するまでメールサーバーに保存されます。

［お買い上げ時］ ■すぐに配信

1 ⊖（✉）を押し、「設定」→「送信設定」→「配信時間指定」の順に選択する

2 設定を選択する

■ 優先するメールタイプを設定する

新規にメール作成を起動したときに、MMS、SMSどちらのメッセージ編集画面を表示するかを設定します。

［お買い上げ時］ ■MMS

1 ⊖（✉）を押し、「設定」→「送信設定」→「優先メールタイプ」の順に選択する

2 機能メニューから「上へ」または「下へ」を選択し、優先するメールタイプを上にする

3 ⊖（順序保存）を押す

受信設定

■ 自動受信を設定する

MMSの受信方法を設定します。設定によりMMSの受信は次のようになります。

自動受信の設定	MMSの受信
全て自動	すべてのMMSを自動で受信します。
全て手動	すべてのMMSを手動で受信します。
1KB以上は手動	MMSのサイズにより手動で受信します。
10KB以上は手動	
50KB以上は手動	

［お買い上げ時］ ■全て手動

1 ⊖（✉）を押し、「設定」→「受信設定」→「自動受信」の順に選択する

2 設定を選択する

補足

- **メニューを使って受信設定を呼び出すには**
  MENUを押し、✉（メール）→「設定」→「受信設定」の順に選択します。

■ 匿名のメールを拒否する

名前の通知がないメールの受信を拒否できます。

［お買い上げ時］ ■いいえ

1 ━（✉）を押し、「設定」→「受信設定」→「匿名拒否」の順に選択する

2 設定を選択する

確認設定

■ 送信メールの配信確認を設定する

メールを送信したとき、相手に届いたかどうかを確認する通信レポートが配信されるように設定します。

［お買い上げ時］ ■いいえ

1 ━（✉）を押し、「設定」→「確認設定」→「配信確認」の順に選択する

2 設定を選択する

補足

- **メニューを使って確認設定を呼び出すには**
  MENUを押し、✉（メール）→「設定」→「確認設定」の順に選択します。

■ 受信メールの配信確認を設定する

配信確認を設定しているメールを受信したとき、届いたことを通知する通信レポートを差出人に送信するかどうかを設定します。

［お買い上げ時］ ■する

1 ━（✉）を押し、「設定」→「確認設定」→「配信確認応答」の順に選択する

2 設定を選択する

補足

- **配信確認応答を「常に確認する」に設定すると**
  配信確認を設定しているメールを受信したあと、はじめてメールを利用するときに、差出人に通信レポートを送信するかどうかを確認する画面が表示され、そのつど選択できます。

個人設定

■ 署名を設定する

署名を設定すると、送信メールの本文の末尾に自分の名前やE-mailアドレスなどを自動的に付けられます。

［お買い上げ時］ ■署名挿入：しない

1 ⊖（✉）を押し、「設定」→「個人設定」の順に選択する

2 項目を選択し、設定操作をする

署名を編集する場合は

①「署名編集」を選択する
②⊖（編集）を押し、署名を入力する
③機能メニューから「保存」を選択する

署名を付けるかどうかを設定する場合は

①「署名挿入」を選択する
②設定を選択する

補足

- **メニューを使って個人設定を呼び出すには**
  MENUを押し、✉（メール）→「設定」→「個人設定」の順に選択します。

■ 冒頭文を設定する

冒頭文を設定すると、送信メールの冒頭にあいさつ文などを自動的に付けられます。

［お買い上げ時］ ■冒頭文挿入：しない

1 ⊖（✉）を押し、「設定」→「個人設定」の順に選択する

2 項目を選択し、設定操作をする

冒頭文を編集する場合は

①「冒頭文編集」を選択する
②⊖（編集）を押し、冒頭文を入力する
③機能メニューから「保存」を選択する

冒頭文を付けるかどうかを設定する場合は

①「冒頭文挿入」を選択する
②設定を選択する

メール設定

■ メッセージ表示時にサウンドを自動再生する

スライドメールのメッセージ画面を表示したときに、添付されているサウンドを自動的に再生するかどうかを設定します。

［お買い上げ時］ ■常に確認する

1 ⊖（✉）を押し、「設定」→「メール設定」→「サウンド」の順に選択する

2 設定を選択する

補足

- **メニューを使ってメール設定を呼び出すには**
  MENUを押し、✉（メール）→「設定」→「メール設定」の順に選択します。
- **サウンドを「常に確認する」に設定すると**
  サウンドが添付されているスライドメールのメッセージ画面を表示したとき、サウンドを再生するかどうかを確認する画面が表示され、そのつど選択できます。

■ 文字のサイズを設定する

メッセージ画面の本文の文字サイズを「大」、「中」、「小」から選択します。

［お買い上げ時］ ■中

1 ⊖（✉）を押し、「設定」→「メール設定」→「フォントサイズ」の順に選択する

2 設定を選択する

補足

- **ウェブのフォントサイズ設定との関係**
  文字のサイズは、ウェブとメールで共通の設定です。ウェブとメールのどちらかを変更すれば、他の一方の設定も変わります。

■ SMSセンター番号を変更する

SMSセンター番号を変更できます。ボーダフォンからSMSセンター番号変更のお知らせがないかぎり変更しないでください。SMSセンター番号を誤って変更すると、SMSの送信ができなくなります。SMSセンター番号はUSIMカードに登録されます。お買い上げ時の設定に戻す機能はありませんので、ご注意ください。

［お買い上げ時］ ■+819066519300

1 ⊖（✉）を押し、「設定」→「メール設定」→「SMSメッセージセンター」の順に選択する

2 ⊖（編集）を押し、SMS センター番号を入力する

3 機能メニューから「保存」を選択する

■ MMSの作成モードを設定する

MMS作成時に、ファイルを添付／追加するかしないかを設定します。

設定により、ファイル添付や追加の操作が次のようになります。

MMS作成モードの設定	添付、追加ファイルの操作
いいえ	ファイルの添付はできません。 MMS 標準のファイル（JPEG、GIF、WBMP）のみ追加できます。それ以外のファイルの追加はできません。
はい（警告あり）	MMS標準のファイル（vCard, vCalendar）以外を添付しようとすると、確認画面が表示され、そのつど操作を選択できます。 MMS 標準のファイル（JPEG、GIF、WBMP）以外を追加しようとすると、確認画面が表示され、そのつど操作を選択できます。
はい（警告なし）	MMS 標準のファイルも、それ以外のファイルも添付または追加できます。

［お買い上げ時］ ■はい（警告なし）

1 ⊖（✉）を押し、「設定」→「メール設定」→「MMS作成モード」の順に選択する

2 設定を選択する

補足

- **MMS標準のファイルとは**
  受信側がMMS対応機種であれば再生／表示可能なファイルのことで、JPEG、GIF、WBMP、vCard、vCalendarの各ファイルです。

■ メール設定をお買い上げ時の状態に戻す

メール設定を初期状態に戻します（☞「付録」の「リセット項目一覧」）。

1 ⊖（✉）を押し、「設定」→「メール設定」→「設定リセット」の順に選択する

2 ⊖（YES）を押す

注意

- **SMSセンター番号の設定は、設定リセットをしてもお買い上げ時の設定には戻りません。**

■ メールの登録内容をすべて消去する

メールボックスに保存されているメール、ユーザフォルダの名前をすべて消去します（☞「付録」の「リセット項目一覧」）。

1 ⊖（✉）を押し、「設定」→「メール設定」→「メモリリセット」の順に選択する

2 ⊖（YES）を押す

注意

- メモリリセットをすると、保護されているメールもすべて削除されます。

ウェブの基本操作

ウェブをご利用になる前に

■ SSL

SSL（Secure Socket Layerの略）とは、インターネット上でデータを暗号化して送受信する通信方法で、一般的にはクレジットカードの番号や個人情報など、大切な情報を送受信するときに使用されます。

703Nには、このSSLに使用する認証機関から発行された電子的な証明書（ルート証明書）があらかじめ登録されており、内容を確認できます。

▣ SSL利用に関するご注意

セキュリティで保護されている情報画面を表示する場合、お客様は自己の判断と責任においてSSLを利用することに同意されたものとします。
お客様自身によるSSLの利用に際し、ボーダフォンおよび認証会社である日本ベリサイン株式会社、日本ボルチモアテクノロジーズ株式会社、エントラストジャパン株式会社は、お客様に対しSSLの安全性等に関して何ら保証を行うものではありません。万一何らかの損害がお客様に発生した場合でも一切責任を負うものではありませんので、あらかじめご了承願います。

■ キャッシュ（一時保存用のメモリ）

ウェブで入手した情報は、メモリに一時的に保存されます（キャッシュ）。キャッシュに保存されている情報は、ウェブを終了したり電源を切っても消去されませんが、あらかじめ設定されている容量を超えると古いものから順に自動的に消去されます。有効期限が設定されている情報は、有効期限を過ぎるとキャッシュから消去されます。

「ブラウザキャッシュクリア」を実行すると、手動でキャッシュを消去できます。

一度見た情報画面を再度表示すると、サービスセンター内の情報ではなく、キャッシュに保存されている情報の画面が表示されることがあります。

ウェブへのアクセス

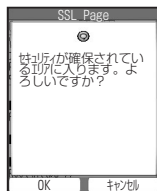
■ メニューからアクセスする

ボーダフォンライブ！のメニューから読みたい項目を選択し、情報のサイトにアクセスします。

1 **を押す**

2 項目を選択する

補足

- **メインメニューからボーダフォンライブ！のメニューを表示するには**
  (MENU)を押し、(Vodafone live!)→「Vodafone live!」の順に選択します。
- **セキュリティで保護されている情報画面の表示**
  SSL通信対応の情報画面を表示しようとすると、確認画面が表示されます。操作を続ける場合は、(OK)を押してください。
  SSL対応の情報画面には「」が表示されます。

■ URLを入力してアクセスする

URLを直接入力し、情報画面にアクセスします。

1 (MENU)を押し、(Vodafone live!)→「URL入力」の順に選択する

2 (編集)を押す

URLの先頭文字（http://／https://）を切り替える場合は

機能メニューから「http://」または「https://」を選択し、(編集)を押す

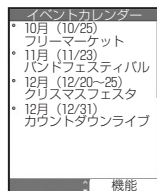
3 URLを入力する

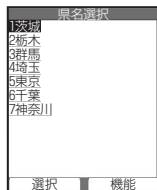
4 機能メニューから「OK」を選択する

補足

- **情報表示中にURLを入力して別のサイトにアクセスするには**
  機能メニューから「URL入力」を選択します。

情報画面の操作のしかた

情報画面では、次のボタンを使って操作します。

- ：カーソルを移動する、または画面をスクロールする
- ：カーソルを下のメニューに移動する
- ：カーソルを上のメニューに移動する

- サイドボタンの▲／▼：画面をスクロールする
- CLEAR BACK：前の画面に戻る
  メロディの再生を停止する（自動的にメロディが再生されたとき）

- ⊖（選択）：カーソル位置の項目を選択する

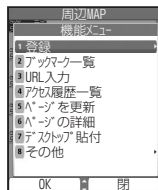
補足

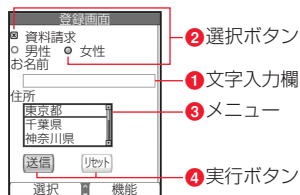
- **よく見る情報画面をデスクトップに貼り付けるには**
  ① 情報画面を表示中に、機能メニューから「デスクトップ貼付」を選択する
  ② ⊖（YES）を押す

■ 情報画面の機能メニューについて

情報画面では機能メニューを使って次の操作ができます。

機能メニュー	内　容
登録	お気に入りに情報を保存したり、ブックマークにURLを登録します。
ブックマーク一覧	登録されているブックマークを利用してウェブにアクセスします。
お気に入り一覧	保存されているお気に入りの情報を表示します。
URL入力	URLを直接入力してウェブにアクセスします。
アクセス履歴一覧	アクセス履歴からウェブにアクセスします。
進む	次の画面に進みます。（次に情報画面がある場合）
ページを更新	表示中の情報画面を最新の内容に更新します。
ページの詳細	表示中の情報画面のURLや詳細情報を確認します。
デスクトップ貼付	表示中の情報画面のURLとタイトルをデスクトップに貼り付けます。
その他	ファイル一覧の表示、文字コピー、情報画面内の文字検索、表示中の情報画面のURLのメール送信、ウェブ設定の起動などの操作ができます。

情報画面の機能メニューでは、項目を次の2通りの操作で選択できます。

- ◎で項目を反転表示し、⊖（OK）を押す
- 項目の左に表示される数字のキーを押す

■ 文字入力／項目選択

❶文字入力欄

□にカーソルを合わせて⊖（編集）を押すと、文字が入力できる状態になります。

❷選択ボタン

□（チェックボックス）にカーソルを合わせ⊖（選択）を押すと、☒に変わります。

○（ラジオボタン）にカーソルを合わせ⊖（選択）を押すと、◉に変わります。

❸メニュー

メニューにカーソルを合わせ⊖（編集）を押すと、項目が選択できるようになります。

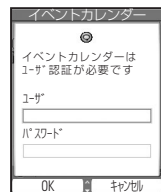
❹実行ボタン

□にカーソルを合わせ⊖（選択）を押すと、送信や取り消しなどの動作を実行します。

補足

- **ウェブメモについて**
  文字入力欄に入力した文字は、新しいものから順に20件まで自動的にウェブメモに記録され、文字入力のときに利用できます。記憶される文字は1件につき、全角最大16文字、半角最大32文字までです。

■ 認証

情報画面によっては、認証が必要なものがあります。認証を要求する画面が表示されたら、文字入力欄を選択し、ユーザIDやパスワードを入力してください。

■ ファイルアップロード

703Nに保存されているファイルをアップロードするときは、次のように操作します。

1 アップロードできる情報画面で「参照」などの実行ボタンを選択する

2 データフォルダからファイルを選択する

3 「送信」などの実行ボタンを選択する

■ 情報内の電話番号／E-mailアドレス／URLを利用する

情報画面に電話番号、E-mailアドレス、URLが含まれているときは、それを利用して電話をかける、MMSを作成する、ウェブにアクセスするなどの操作ができます。

利用できる電話番号、E-mailアドレス、URLにはアンダーラインが付いています。

1 情報画面を表示する

2 電話番号、E-mailアドレス、URLを選択し、電話、メール、ウェブの操作をする

電話／TVコールをかける場合は

①電話番号を選択する

②発信のしかたを選択して発信する（☞「基本的な操作のご案内」、「TVコール」の章）

電話帳に電話番号を登録する場合は

①電話番号を選択する

②「電話帳登録」を選択する（☞「電話帳」の章）

MMSを作成する場合は

①E-mailアドレスを選択する

②MMSを作成、送信する（☞「メール送信」の章）

ウェブにアクセスする場合は

URLを選択する（☞「ウェブの基本操作」の章）

- TVコールをかけられるのは、お気に入りから情報画面を表示したときのみです。通信中はかけられません。

情報の利用

画像ファイルの利用

■ データフォルダに保存する

情報画面の画像ファイルをデータフォルダに保存できます。保存した画像ファイルは、待受画面などに設定できます。

1 **情報画面を表示する**

2 **機能メニューから「その他」を選択し、「ファイル一覧」を選択する**

3 **画像ファイルを反転表示し、⊖（保存）を押す**

4 **⊖（保存）を押す**

5 **ファイル名を確認し、⊖（OK）を押す**

ファイル名を変更して保存する場合は

①ダイヤルボタンを押し、ファイル名を入力する
②⊖（OK）を押す

補足

- **メディアプレイヤーによる画像の表示**
画像ファイルの種類によっては、自動的にメディアプレイヤーを起動して画像を表示します。メディアプレイヤー起動後の操作は、「メディアプレイヤー」の章を参照してください。

メロディファイルの利用

情報画面にサウンド（メロディ）が含まれているときは、再生したりデータフォルダに保存したりできます。保存したメロディは着信音などに利用できます。

■ メロディを再生する

1 **情報画面を表示する**

2 **機能メニューから「その他」を選択し、「ファイル一覧」を選択する**

3 **サウンドファイルを反転表示し、機能メニューから「展開」を選択する**

4 **⊖（再生）を押す**

補足

- **メロディを停止するには**
⊖（一時停止）を押します。

- **メロディの再生音量は**
着信音量の「電話／TVコール」で設定されている音量で再生されます。マナーモードが設定されているときは、確認画面が表示され、⊖（YES）を押すとメロディが再生されます。ウェブで再生中にメロディの音量を調節することはできません。

- **メディアプレイヤーによるメロディの再生**
  メロディファイルの種類によっては、自動的にメディアプレイヤーを起動して再生します。メディアプレイヤー起動後の操作は、「メディアプレイヤー」の章を参照してください。

■ データフォルダに保存する

1. **情報画面を表示する**
2. **機能メニューから「その他」を選択し、「ファイル一覧」を選択する**
3. **サウンドファイルを反転表示し、⊖（保存）を押す**
4. **⊖（保存）を押す**
5. **ファイル名を確認し、⊖（OK）を押す**

   ファイル名を変更して保存する場合は
   ①ダイヤルボタンを押し、ファイル名を入力する
   ②⊖（OK）を押す

各種ファイルの利用

情報画面に含まれるファイルはファイル一覧で確認し、データフォルダに保存できます。

ただし、コンテンツ・キーを含むファイルの場合、ファイル一覧は表示されません。

1. **情報画面を表示する**
2. **ファイルの保存操作をする**

   コンテンツ・キーを含むファイルを保存する場合は
   ①ダウンロードするファイルを選択する
   ②⊖（ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ）を押す

   各種ファイルを保存する場合は
   ①機能メニューから「その他」を選択し、「ファイル一覧」を選択する
   ②ファイルを反転表示し、⊖（保存）を押す
   ③⊖（保存）を押す
   ④ファイル名を確認し、⊖（OK）を押す

■ ファイル一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	内　容
展開	カーソル位置のファイルを表示再生します。

機能メニュー	内　容
詳細	カーソル位置のファイルの詳細情報を確認します。
新規メール作成	カーソル位置のファイルを添付してメールを作成します。

注意

- **ダウンロードしながら再生するファイル（ストリーミング）は保存できません。なお、ストリーミングは一時停止中も接続されたままとなります。**

お気に入り

■ お気に入りに保存する

残しておきたい情報やあとで見直したい情報は、お気に入りに保存しておくと簡単に表示できます。お気に入りは情報を画面ごと保存するため、表示するときに通信をしません。お気に入りは最大100件まで登録できます。

1 **情報画面を表示する**

2 **機能メニューから「登録」を選択する**

3 **「お気に入り保存」を選択する**

4 **ダイヤルボタンを押し、名前を入力する**

5 **⊖（OK）を押す**

補足

- **メモリや登録件数がいっぱいのときの操作**
  メモリや登録件数がいっぱいでお気に入りを保存できないときは、確認画面が表示されます。すでに保存されているお気に入りを削除して保存操作を続ける場合は次のように操作します。
  ①⊖（YES）を押す
  ②削除するお気に入りを選択する

■ お気に入りを表示する

1 **MENUを押し、(Vodafone live!)→「お気に入り」の順に選択する**

2 **お気に入りを選択する**

補足

- **お気に入りの名前やURLを確認するには**
  ①操作1を行う
  ②お気に入りを反転表示し、機能メニューから「詳細」を選択する

- **お気に入りの情報を更新するには**
  お気に入りに保存されている情報を更新するには、次のように操作します。更新すると、お気に入りに保存されている内容も更新されます。
  ①操作1を行う

②お気に入りを反転表示し、機能メニューから「ページを更新」を選択する

■ 登録内容を編集する

保存されているお気に入りの名前を変更できます。

1 **MENUを押し、(Vodafone live!)→「お気に入り」の順に選択する**

2 **お気に入りを反転表示し、機能メニューから「名前変更」を選択する**

3 **ダイヤルボタンを押し、名前を入力する**

4 **―(OK)を押す**

■ お気に入りを削除する

1 **MENUを押し、(Vodafone live!)→「お気に入り」の順に選択する**

2 **削除の操作をする**

1件ずつ削除する場合

①お気に入りを反転表示し、機能メニューから「削除」を選択する

②―(YES)を押す

すべて削除する場合

①機能メニューから「全削除」を選択する

②―(YES)を押す

ブックマーク

■ ブックマークに登録する

よく利用する情報のURLをブックマークに登録しておくと、簡単な操作でアクセスできます。ブックマークは100件まで登録できます。

1 **情報画面を表示する**

2 **機能メニューから「登録」を選択する**

3 **「ブックマーク登録」を選択する**

4 **名前とURLを確認し、―(OK)を押す**

補足

- **名前が正しくないときは**
  ブックマークの名前が入力されていないときや、すでに同じ名前が登録されているときは確認画面が表示されます。次のように操作して名前を入力してください。
  ①ダイヤルボタンを押し、名前を入力する
  ②―(OK)を押す

- **登録件数がいっぱいのときは**
  登録件数がいっぱいでブックマークを保存できないときは、確認画面が表示されます。すでに保存されているブックマークを削除して保存操作を続ける場合は次のように操作します。
  ①(YES)を押す
  ②削除するブックマークを選択する

■ ブックマークからアクセスする

1 を押し、(Vodafone live!)→「ブックマーク」の順に選択する

2 ブックマークを選択する

補足

- **ブックマークの名前やURLを確認するには**
  ①操作1を行う
  ②ブックマークを反転表示し、機能メニューから「詳細」を選択する
- **データフォルダからブックマークを表示するには**
  ①を押し、(データフォルダ)→「Bookmarks」の順に選択する
  ②「本体」を選択する
  ③ブックマークを選択する

■ 登録内容を編集する

登録されているブックマークの名前やURLを変更できます。

1 を押し、(Vodafone live!)→「ブックマーク」の順に選択する

2 編集の操作をする

名前を変更する場合

①ブックマークを反転表示し、機能メニューから「名前変更」を選択する
②ダイヤルボタンを押し、名前を入力する
③(OK)を押す

URLを変更する場合

①ブックマークを反転表示し、機能メニューから「URL編集」を選択する
②ダイヤルボタンを押し、URLを入力する
③機能メニューから「OK」を選択する

■ ブックマークを削除する

1 MENU を押し、(Vodafone live!)→「ブックマーク」の順に選択する

2 削除の操作をする

1件ずつ削除する場合

①ブックマークを反転表示し、機能メニューから「削除」を選択する

②⊖（YES）を押す

すべて削除する場合

①機能メニューから「全削除」を選択する

②⊖（YES）を押す

アクセス履歴

アクセスしたURLは、最新のものから1ドメインにつき30件、10ドメインまでアクセス履歴に記憶されます。アクセス履歴から、前に閲覧した情報画面に簡単にアクセスできます。

1 情報画面で機能メニューから「アクセス履歴一覧」を選択する

2 アクセス履歴の操作をする

ウェブにアクセスする場合

アクセス履歴を選択する

1件ずつ削除する場合

①アクセス履歴を反転表示し、機能メニューから「削除」を選択する

②⊖（YES）を押す

すべて削除する場合

①機能メニューから「全削除」を選択する

②⊖（YES）を押す

補足

- **アクセス履歴のURLを確認するには**

①操作1を行う

②アクセス履歴を反転表示し、機能メニューから「詳細」を選択する

情報表示中の各種設定

■ 最新の情報に更新／再取得する

表示中の情報画面を最新の内容に更新できます。情報画面によっては、更新できない場合もあります。

1 情報画面で機能メニューから「ページを更新」を選択する

■ 情報内の文字を検索する

情報画面を任意の文字で検索し、該当したところを反転表示にできます。

1 情報画面で機能メニューから「その他」→「ページ内検索」の順に選択する

2 ダイヤルボタンを押し、検索文字を入力する

3 ⊖（実行）を押す

4 機能メニューから「キャンセル」を選択する

補足

- 繰り返し検索する場合は
  ①操作1～3を行う
  ②⊖（検索）を押す
  カーソル位置より下に該当する文字がある場合は、⊖（検索）が表示されます。ない場合は⊖（先頭から）が表示されます。

■ 情報内の文字をコピーする

情報内の文字をコピーして、文字入力の貼り付けに利用できます。

1 情報画面で機能メニューから「その他」→「文字コピー」の順に選択する

2 コピーする範囲の最初の文字にカーソルを移動し、⊖（選択）を押す

3 最後の文字にカーソルを移動し、⊖（ｺﾋﾟｰ）を押す

■ URLを確認する

表示中の情報画面のURLや詳細情報を確認できます。

1 **情報画面で機能メニューから「ページの詳細」を選択する**

■ URLをメールで送信する

表示中の情報画面のURLをメールで送信できます。

1 **情報画面で機能メニューから「その他」→「URI転送」の順に選択する**

2 **メールを作成する**

補足

- **メールを送信するには**
  情報画面のURLは、メールの本文に自動的に入力されます。宛先などを入力して、メールを送信してください。メール作成の操作については、「メール送信」の章を参照してください。

- **URIとは**
  URIは、URLと同様にインターネットにおける情報画面の「住所」にあたる記述です。

■ 証明書を確認する

SSL通信対応の情報画面を表示しているとき、アクセス中のサイトのサーバ証明書を確認したり、703Nにあらかじめ登録されているルート証明書を確認できます。

1 **情報画面で機能メニューから「その他」→「ウェブ設定」→「証明書」の順に選択する**

2 **確認の操作をする**

サーバ証明書を確認するには

①「サーバ証明書」を選択する

②証明書を反転表示し、⊖（詳細）を押す

ルート証明書を確認するには

①「ルート証明書」を選択する

②証明書を反転表示し、⊖（詳細）を押す

補足

- **サーバ証明書とは**
  SSL通信を行うサーバの正当性を認証する証明書です。

- **ルート証明書とは**
  サーバ証明書の発行元の正当性を認証する証明書です。

ウェブのその他設定

画像やサウンドの取得設定（テキストブラウズ設定）

情報に含まれる画像やサウンドをダウンロードしないように設定すると、表示が早くなります。

［お買い上げ時］ ■画像：画像を表示する
■サウンド：サウンドを再生する

1 **MENUを押し、(Vodafone live!)→「ウェブ設定」→「テキストブラウズ設定」の順に選択する**

2 **項目を選択し、設定操作をする**

画像のダウンロードを設定する場合は

①「画像」を選択する
②設定を選択する

サウンドのダウンロードを設定する場合は

①「サウンド」を選択する
②設定を選択する

画面のスクロール設定

情報画面のスクロール量を「一行」「半画面」「一画面」から選択できます。

［お買い上げ時］ ■一行

1 **MENUを押し、(Vodafone live!)→「ウェブ設定」→「スクロール設定」の順に選択する**

2 **設定を選択する**

文字のサイズ設定

情報画面の文字サイズを「小」「中」「大」から選択できます。

［お買い上げ時］ ■中

1 **MENUを押し、(Vodafone live!)→「ウェブ設定」→「フォントサイズ設定」の順に選択する**

2 **設定を選択する**

セキュリティ設定

■ Cookieを設定する

Cookieは、情報の提供者が利用者を識別するために使用するデータで、703Nに自動的に保存されます。このCookieの保存を受け付けるかどうかを設定できます。また、すでに703Nに保存されたCookieをすべて消去できます。

［お買い上げ時］ ■許可する

1 MENUを押し、(Vodafone live!)→「ウェブ設定」の順に選択する

2 項目を選択し、設定操作をする

Cookieを受け付けるかどうかを設定する場合は

①「Cookie設定」を選択する
②設定を選択する

Cookieをすべて消去する場合は

①「Cookie全消去」を選択する
②━(YES)を押す

■ 製造番号を通知する

製造番号は、電話番号とは異なるお客様を特定するための専用承認番号です。受信する情報によっては、この製造番号の通知を要求されることがあります。通知の要求があったときに通知するかどうかを設定できます。

［お買い上げ時］ ■通知しない

1 MENUを押し、(Vodafone live!)→「ウェブ設定」→「製造番号通知」の順に選択する

2 設定を選択する

■ 証明書を確認する

703Nにあらかじめ登録されているルート証明書を確認できます。

1 MENUを押し、(Vodafone live!)→「ウェブ設定」→「証明書」の順に選択する

2 「ルート証明書」を選択する

3 証明書を反転表示し、━(詳細)を押す

補足

- サーバ証明書を確認するには
  ①操作1を行う
  ②「サーバ証明書」を選択する

ウェブの初期化

■ ウェブ設定をお買い上げ時の状態に戻す

ウェブ設定を初期状態に戻します（☞「付録」の「リセット項目一覧」）。

1 **MENUを押し、(Vodafone live!)→「ウェブ設定」→「ウェブ設定クリア」の順に選択する**

2 **−(YES)を押す**

■ アクセス履歴を消去する

1 **MENUを押し、(Vodafone live!)→「ウェブ設定」→「履歴クリア」の順に選択する**

2 **−(YES)を押す**

■ 情報画面のキャッシュを消去する

キャッシュに一時保存されている情報画面のデータをすべて消去します。

1 **MENUを押し、(Vodafone live!)→「ウェブ設定」→「ブラウザキャッシュクリア」の順に選択する**

2 **−(YES)を押す**

Vアプリの基本操作

Vアプリをご利用になる前に

■ お買い上げ時に登録されているVアプリ

お買い上げ時には次のVアプリが登録されており、ダウンロードしなくてもすぐにご利用になれます。

- COOL HOCKEY2

■ ネットワーク接続型Vアプリについて

Vアプリによっては、ネットワーク（ウェブ）に接続して動作するものがあります。ネットワーク接続型Vアプリを利用するときの通信料については『3Gガイドブック』を参照してください。

- **JavaTMおよびJBlendTMのライセンスを確認するには**

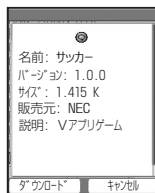
  (MENU)を押し、(Vアプリ）→「JavaTM情報」の順に選択します。

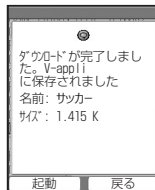
Vアプリのダウンロード

Vアプリをウェブの情報画面からダウンロードします。Vアプリは最大100件までダウンロードできます。

1 (MENU)を押し、(Vodafone live!)を選択する

2 Vアプリを提供している情報画面を表示する

3 Vアプリを選択する

ダウンロード確認画面

4 (−)（ダウンロード）を押す

5 (−)（戻る）を押す

Vアプリをすぐに起動する場合は

(−)（起動）を押す

補足

- **一時停止中のVアプリがあるときは**
  自動的に終了します。

● **Vアプリをバージョンアップするときは**
すでに登録してあるVアプリのバージョンアップ版をダウンロードしようとすると、確認画面が表示されます。⊖（上書き）を選択すると前のバージョンに上書きできます。

● **ダウンロード中に中止するときは**
CLEAR BACKを押します。

● **メモリの使用状況を確認するときは**
① MENUを押し、（設定）→「その他」→「メモリ確認」の順に選択する
② ◎を押して情報を確認する

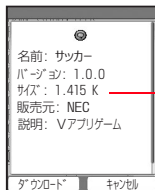
注意

● **次のような場合はダウンロードできません。**
・ **ダウンロードしようとしたファイルが正しくない場合**
・ **ダウンロードするVアプリのサイズが大きすぎる場合**
・ **登録件数をオーバーしてしまう場合**
・ **メモリが不足している場合**
・ **保存できないVアプリの場合**

● **電池残量が少ないときにダウンロードすると、正常に終了できない場合があります。電池残量が十分にあることを確認してダウンロードしてください。**

● **USIMカードを交換すると、ダウンロードしたVアプリは、本体に保存しているものも、メモリカードに保存しているものも利用できなくなります。**

■ ダウンロード確認画面について

ウェブの情報画面でダウンロードするVアプリを選択すると、ダウンロード確認画面が表示されデータサイズを確認できます。ここで⊖（キャンセル）を押すとダウンロードを中止できます。

Vアプリの起動

1 **MENUを押し、（Vアプリ）→「Vアプリライブラリ」の順に選択する**

2 **Vアプリを選択する**

補足

● **メモリカードのVアプリライブラリに切り替えるには**
操作１のあと、機能メニューから「メモリカードへ切替」を選択します。メモリカードから本体へ切り替えるときは、機能メニューから「本体へ切替」を選択します。

● **Vアプリライブラリのアイコンについて**

PRE：お買い上げ時に登録されているVアプリ

DL：ダウンロードしたVアプリ

：Vアプリ待受設定で選択されているVアプリ

● **データフォルダからVアプリを起動するには**

① を押し、(データフォルダ)→「Vアプリ」の順に選択する

② Vアプリを選択する

● **Vアプリライブラリをデスクトップに貼り付けるには**

① Vアプリライブラリ画面で機能メニューから「デスクトップ貼付」を選択する

②「YES」を選択する

▣ Vアプリ起動中に表示される確認画面について

Vアプリが通信やメール送受信などの機能を使用する場合、確認画面が表示されます。表示された機能を使用してVアプリを続ける場合は「YES」を選択します。確認画面の表示のしかたはセキュリティレベル設定で変更できます。

インターネットに接続する場合

確認画面が表示される機能

・MMS送信　・SMS送信　・メールサーバー操作
・受信メール削除　・送信メール削除　・電話発信
・ウェブアクセス　・アドレス帳保存
・ファイルデータ削除　・ファイルデータ新規保存
・ファイルデータ上書き保存　・ファイル名称変更
・フォルダ名称変更　・フォルダ作成　・赤外線通信

Vアプリの終了／一時停止／再開

■ Vアプリを終了／一時停止する

1 **Vアプリ起動中に PWR を押す**

2 **項目を選択する**

一時停止する場合

「一時停止」を選択する

終了する場合

「終了」を選択する

補足

● **待受設定のVアプリの場合は**

待受設定のVアプリ起動中に PWR を押すと、一時停止して待受画面が表示されます。

■ 一時停止中のVアプリを再開する

一時停止中のVアプリがあるときは、ディスプレイ上部にが表示されます。

1 Vアプリ一時停止中にを1秒以上押し、タスクメニューを表示する

2 Vアプリを選択する

Vアプリの管理

■ プロパティを確認する

Vアプリの詳細情報を確認します。

1 を押し、（Vアプリ）→「Vアプリライブラリ」の順に選択する

2 Vアプリを反転表示し、機能メニューから「プロパティ表示」を選択する

補足

- **表示される詳細情報は**
  Vアプリの名称、ベンダ名（Vアプリの提供元）、バージョン、レコードサイズ、待受設定できるかどうかなどが表示されます。
- **Vアプリの関連リンクにアクセスするには**
  プロパティ画面で「Webへ」を選択すると、Vアプリに関連するウェブのサイトにアクセスできます。

■ Vアプリを移動する

Vアプリを、本体からメモリカードへ、またはメモリカードから本体へ移動します。

1 を押し、（Vアプリ）→「Vアプリライブラリ」の順に選択する

メモリカードに保存されているアプリを表示する場合は

機能メニューから「メモリカードへ切替」を選択する

2 Vアプリを反転表示し、機能メニューから「登録先変更（移動）」を選択する

3 「YES」を選択する

注意

- 待受設定で選択されている V アプリをメモリカードに移動すると、待受設定は解除されます。

■ Vアプリを削除する

1 MENUを押し、(Vアプリ)→「Vアプリライブラリ」の順に選択する

2 Vアプリを反転表示し、機能メニューから「Vアプリ削除」を選択する

3 「YES」を選択する

注意

- お買い上げ時に登録されているVアプリは削除できません。
- 待受設定で選択されているVアプリは削除できません。

Vアプリの利用

Vアプリの待受設定

待受画面でVアプリを常に起動させておくことができます。待受設定できるVアプリは1件のみです。メモリカードのVアプリは待受設定できません。

［お買い上げ時］ ■待受設定：しない　■Vアプリ選択：なし
■起動開始時間設定：3秒
■スリープ時間設定：0分

1 **MENUを押し、(Vアプリ)→「Vアプリ設定」→「Vアプリ待受設定」の順に選択する**

2 **項目を選択し、設定操作をする**

Vアプリ待受設定を有効にするには

①「待受設定」を選択する
②「する」を選択する

Vアプリを選択するには

①「Vアプリ選択」を選択する
②Vアプリを選択する

起動開始時間を設定するには

①「時間設定」を選択し、「起動開始時間設定」を選択する
②設定を選択する
③CLEAR BACKを押す

スリープ時間を設定するには

①「時間設定」を選択し、「スリープ時間設定」を選択する
②設定を選択する
③CLEAR BACKを押す

3 **−(登録)を押し、「YES」を選択する**

補足

- **Vアプリ待受設定を無効にするには**
  操作2で「待受設定」を選択し、「しない」を選択します。
- **起動開始時間とスリープ時間について**
  起動開始時間は、待受画面になってから待受設定されたVアプリが自動的に起動するまでの時間です。スリープ時間を設定すると、一定時間何も操作しないとき待受設定のVアプリを自動的に一時停止させることができます。最後に操作してから一時停止するまでの時間を選択してください。
- **VアプリライブラリからVアプリ待受設定を設定するには**
  待受設定するVアプリを反転表示し、機能メニューから「Vアプリ待受設定」を選択します。
  待受設定できないVアプリには「Vアプリ待受設定」は表示されません。

注意

- **Vアプリによっては、待受設定できないものもあります。待受設定できないVアプリは「Vアプリ選択」で表示されません。**

Vアプリのセキュリティレベルを設定する

■ セキュリティレベルを設定する

Vアプリの中には、起動中に通信やメール送受信などの機能を利用するものがあります。それらの機能を使用するときに確認画面を表示するかどうかを、Vアプリごとに設定できます。

セキュリティレベルを設定できる項目には次のものがあります。

項　目	説　明
電話発信	電話の発信について設定します。
ネットワーク接続	ウェブアクセスについて設定します。
メール送受信	メールの送受信について設定します。
外部接続	赤外線通信、リモコン機能について設定します。
個人情報取得	電話帳の利用について設定します。
個人情報書込み	フォルダ作成、フォルダ削除、フォルダ名称変更について設定します。
録画／録音	カメラ撮影や録音について設定します。

［お買い上げ時］ ■電話発信：使用ごとに確認する
■ネットワーク接続：起動ごとに確認する
■メール送受信：使用ごとに確認する
■外部接続：起動ごとに確認する
■個人情報取得：使用ごとに確認する
■個人情報書込み：使用ごとに確認する
■録画／録音：起動ごとに確認する

1 MENUを押し、（Vアプリ）→「Vアプリライブラリ」の順に選択する

2 V アプリを反転表示し、機能メニューから「セキュリティレベル設定」を選択する

3 項目を選択し、設定操作をする

補足

- **セキュリティレベル設定の内容は**
  - 「初回のみ確認する」：Vアプリを最初に起動したときのみ確認画面が表示されます。
  - 「起動ごとに確認する」：V アプリを起動するごとに確認画面が表示されます。
  - 「使用ごとに確認する」：V アプリ起動中に機能を使用するたび確認画面が表示されます。
  - 「使用しない」：機能を使用しません。

  選択できる設定は項目ごとに異なります。

注意

- **V アプリによってセキュリティレベルを設定できる項目は異なります。設定できない項目は表示されません。**

■ セキュリティレベルを初期化する

セキュリティレベルの設定を初期状態に戻します。

1 **MENUを押し、(Vアプリ)→「Vアプリライブラリ」の順に選択する**

2 **V アプリを反転表示し、機能メニューから「セキュリティレベル設定」を選択する**

3 **「設定リセット」を選択する**

4 **「YES」を選択する**

Vアプリのその他設定

Vアプリ起動中の着信設定

Vアプリ起動中に着信があったり、アラーム設定時刻になったときの動作を選択できます。

［お買い上げ時］ ■着信優先動作

1 (MENU)を押し、(Vアプリ)→「Vアプリ設定」→「着信時優先動作設定」の順に選択する

2 設定を選択する

▣ **Vアプリ起動中に着信があったり、アラーム設定時刻になったとき**

「着信時優先動作設定」の設定により、次のようになります。

- **「着信優先動作」に設定しているとき**
  Vアプリは一時停止し、着信やアラームの動作になります。
  待受設定のVアプリが起動している場合は、一時停止せずに着信通知やアラーム通知が表示されます。
- **「着信通知表示」に設定しているとき**
  Vアプリは起動し続け、着信やアラーム設定時刻になったことを着信通知（電話番号や名前の表示）やアラーム通知でお知らせします。Vアプリを一時停止または終了するときは、(PWR)を押します。
  電話がかかってきた場合は、Vアプリを一時停止または終了しなくても(☎)を押して電話に出られます。

703Nを閉じている状態で、待受設定のVアプリが起動しているときに電話がかかってきた場合は、Vアプリが起動していないときと同様に着信アンサー設定、簡易留守録の設定によりサイドボタンの▲または▼で応答できます。

Vアプリの再生音量／バイブレータ設定

■ 再生音量を設定する

Vアプリの効果音などの音量を調節します。

［お買い上げ時］ ■レベル4

1 (MENU)を押し、(Vアプリ)→「Vアプリ設定」→「再生音量／バイブ設定」→「再生音量設定」の順に選択する

2 (◎)で音量を調節し、(●)(確定)を押す

補足

- **マナーモードが設定されているときは**
  Vアプリ起動中もマナーモードの設定が優先されます。

29 Vアプリのその他設定

■ バイブレータを設定する

Vアプリに組み込まれているバイブレータを有効にするかどうかを設定します。

［お買い上げ時］ ■ON

1 MENUを押し、(Vアプリ)→「Vアプリ設定」→「再生音量／バイブ設定」→「バイブレータ設定」の順に選択する

2 設定を選択する

補足

- **マナーモードが設定されているときは**
  Vアプリ起動中もマナーモードの設定が優先されます。

Vアプリ起動中のディスプレイ設定

Vアプリ起動中の照明の点灯方法を次の設定から選択します。

点灯方法の設定	説　明
常時ON	常に点灯します。
常時OFF	ボタンを押しても点灯しません。
通常設定連動	ボタンを押すと点灯します。

また、Vアプリに組み込まれている点滅動作を有効にするかどうかを設定します。

［お買い上げ時］ ■照明設定：通常設定連動
■Vアプリ点滅制御設定：ON

1 MENUを押し、(Vアプリ)→「Vアプリ設定」→「パネル照明設定」の順に選択する

2 項目を選択し、設定操作をする

照明を設定するには

①「照明設定」を選択する
②設定を選択する

点滅を設定するには

①「Vアプリ点滅制御設定」を選択する
②設定を選択する

Vアプリの初期化

■ Vアプリ設定をお買い上げ時の状態に戻す

Vアプリ設定を初期状態に戻します（☞付録「リセット項目一覧」）。

1 **MENUを押し、(Vアプリ)→「Vアプリ設定」→「その他」→「Java™初期化」→「設定リセット」の順に選択する**

2 **端末暗証番号を入力する**

3 **「YES」を選択する**

■ Vアプリの登録内容をすべて消去する

Vアプリライブラリ内のダウンロードしたVアプリをすべて消去します。

1 **MENUを押し、(Vアプリ)→「Vアプリ設定」→「その他」→「Java™初期化」→「メモリリセット」の順に選択する**

2 **端末暗証番号を入力する**

3 **「YES」を選択する**

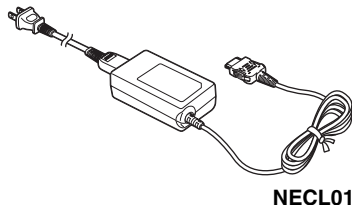
Abridged English Manual

For more information about handset operations and functions, please visit the Vodafone Website (www.vodafone.jp) for the full manual* or dial 157 from a Vodafone handset to contact Vodafone Customer Centre.

* Please note that the full manual may not be available in English at time of purchase. In this case, contact Customer Service or check Vodafone Website again at a later date.

Accessories

Make sure the following accessories are included in the package with the handset: These accessories are also sold separately.

For details on accessories or optional items, contact Customer Service (☞P 30-59).

The handset supports miniSD Memory Card (not included). Purchase miniSD Memory Card(s) if necessary.

Safety Precautions

- To ensure safe use of the handset, please read these Safety Precautions carefully before use. After reading, please keep the Safety Precautions for future reference.
- The following precautions are provided for your benefit to protect you and others and to avoid damage to property. Please observe these Safety Precautions.

Vodafone shall not be liable for any damages incurred by you or a third party as a result of improper use of this product, failure during use, memory loss or any other nonconformity.

Symbols

This manual uses various symbols to facilitate your understanding of the contents, ensure correct use to prevent injury to yourself and others and prevent damage to property. The symbols used and their meanings are described below. Read the main text only after thoroughly understanding the meaning of these.

Danger	Improper handling poses a great risk of death or serious injury.
Warning	Improper handling poses a potential risk of death or serious injury.
Caution	Improper handling poses the risk of injury or damage to the product or other property.

Symbols

	The action is prohibited.
	The action is compulsory.
	The power cord must be unplugged.

Danger

Handset, Battery & Charging Devices

Use the specified battery and charging devices (☞Accessories). Using non-specified devices may cause the battery to leak battery fluid, overheat, burst or ignite.

Do not use or store the handset, battery, Rapid Charger, Desktop Holder or In-Car Charger near fire or heat sources to avoid high temperatures. It may cause the battery to leak, overheat, burst, smoke, ignite or distort.

Battery

To prevent battery leakage, overheating, bursting, ignition, electric shock, or equipment failure, do not:

- Use excessive pressure to force the battery into place.
- Disassemble or modify the battery.
- Get the battery wet.
- Dispose of the battery in fire.
- Solder the battery directly.
- Short-circuit the positive and negative poles of the battery with metallic items. Also, carry or store the battery with metallic items such as a necklace that may accidentally touch the terminals.
- Do not apply excessive force on the battery.
- Install the battery in the handset aligning the positive and negative poles correctly.

If battery fluid gets into your eyes, do not rub them. Rinse them immediately with clean water and consult a doctor as soon as possible. Failing to do so may cause the loss of eyesight.

Warning

Handset, Battery & Charging Devices

Do not apply a strong impact to the battery or charging devices. It may cause the battery to leak, overheat, burst, ignite, or cause other equipment to fail or start a fire.

Do not use the devices in a place where there may be ignition or explosion. Using these devices in places such as a filling station where there is an inflammable atmosphere such as from propane gas, petrol fumes, or coal, dust, metal, etc., may result in an explosion or fire.

Do not place the devices in a cooking vessel such as a microwave oven or pressure cooker. This may cause the battery to leak battery fluid, overheat, burst or ignite, or may cause the handset or charging devices to overheat, smoke, ignite, or cause damage to circuits.

Keep the devices away from direct sunlight or high temperatures. Using the devices under direct sunlight or in a car in hot weather may cause the battery to leak, overheat, burst, ignite, distort or break. Also, a part of the outer case may overheat and burn the skin.

If you notice something unusual such as an abnormal sound, smoke or smell, remove the devices from their power sources as indicated below and contact Customer Service (☞P 30-59). Be careful not to burn or hurt yourself when removing them.

- Handset: Turn the handset off then remove the battery.
- Rapid Charger: Disconnect the plug from the AC socket.
- In-Car Charger: Disconnect the plug from the cigarette lighter socket.

Handset

Do not use the handset while driving. Doing so may interfere with safe driving and cause an accident. Stop your vehicle at a safe place before using the handset. Breaking the law may result in punishment.

Do not disassemble or modify the handset. This may result in fire, bodily injury, electric shock, or equipment failure. Contact Customer Service (☞P 30-59) for check-up, adjustment or repair of components other than specified in this manual.

Do not swing the handset by the hand strap. Doing so may cause bodily injury, equipment failure or breakage.

Do not direct infrared signals into eyes. This may affect the eyes. Directing infrared signals to another infrared device may cause its malfunction.

Do not point the light close to someone's eyes. Avoid staring at the light when lit. This may cause damage to the eyes or accidents.

Turn off the handset near electronic devices. The handset may affect the operation of these devices.

Examples of electronic devices in this category include: Hearing aids, implanted cardiac pacemakers or defibrillators, other medical electronic equipment, fire alarms, automatic doors and other automatic control devices.

Consult with the manufacturer or sales agent of the medical device about the radio wave effects.

Turn off the handset in areas where usage is prohibited. The handset may affect the operation of medical or other electronic devices. Follow the rules of the hospital or health care facility for handset usage. Breaking the law may result in punishment.

If you hear thunder while using your handset outdoors, turn the handset off, and move to a safe place immediately. There is a risk of lightning or electric shock.

If you have a weak heart, be careful with the settings of call vibration or speaker volume.

If you are wearing a medical electronic device, do not place the handset in a breast pocket or inner pocket. If you use the handset near medical electronic devices, the magnet in the handset may cause them to malfunction.

Hold the handset away from your ear and keep enough distance with it when you talk in the handsfree mode with the speaker. It may affect your hearing.

Battery

If charging the battery is not completed within its appropriate charging time, stop charging. Otherwise the battery may leak, overheat, burst, or ignite.

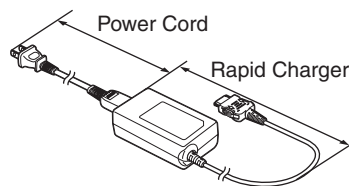
If you notice something unusual such as an abnormal smell, overheating, change in colour or distortion, remove the battery from the handset. Do not use the battery and contact Customer Service (☞P 30-59). Otherwise the battery may leak, overheat, burst or ignite.

If battery fluid gets on your skin or clothing, rinse immediately with clean water. Failing to do so may result in inflammation of the skin.

If the battery is leaking or smells strange, immediately move it away from any heat sources. Failing to do so may result in fire or bursting by igniting the leaked battery fluid.

Charging Devices

Do not use the devices other than specified by Vodafone for use with the handset. Using the devices with other products may cause fire or electric shock.

Use the specified socket and voltage. Using a charging device with a non-specified socket or voltage may cause fire or equipment failure.

• Rapid Charger AC100 V to 240 V
The power cord included with the product is exclusively for use in Japan. Do not use it outside Japan.
Vodafone is not liable for any problems resulting from charging outside Japan.
• In-Car Charger DC12/24 V (only for cars with negative earth).

Do not disassemble or modify a charging device. Doing so may result in fire, bodily injury, electric shock, or equipment failure. Contact Customer Service (☞P 30-59) for check-up, adjustment or repair of components other than specified in this manual.

The In-Car Charger is only for cars with negative earth. Never use it in cars with positive earth. This may cause fire.

If the power cord becomes damaged, stop using it and contact Customer Service (☞P 30-59). Continuing to use it may cause electric shock, smoke or fire.

Use only the specified fuse to replace the fuse of the In-Car Charger. Using it with non-specified fuses may cause fire or equipment failure.

When using a charging device, to prevent overheating, ignition, bursting, fire, electric shock, or equipment failure, do not:

- Get charging devices wet.
- Touch a charging device, power cord, or AC socket with wet hands.
- Charge a wet battery pack.
- Place a charging device in an unstable place while charging. Cover or wrap the charging device with cloth or futon.
- Use the Rapid Charger or Desktop Holder in a very humid place.
- Short-circuit the charging terminals or connector terminals while a charging device is connected to an electric socket or cigarette lighter socket, or touch the charger or connector terminals with any part of your body.
- Plug too many devices into one socket.

If fluid such as water seeps in, immediately unplug from the electric socket or cigarette lighter socket. Never attempt to repair it yourself. Contact Customer Service (☞P 30-59). Continuing to use it may cause electric shock, smoke, or fire.

Wipe any dust off the plug. Failure to do so may cause fire.

When plugging the Rapid Charger into an electric socket, do not allow it to touch metal and also be sure to plug the charger securely. Otherwise this may cause electric shock, short circuit, or fire.

If you hear thunder, unplug the Rapid Charger from the AC socket. Failure to do so may cause fire, injury or electric shock.

Handset Use near Electronic Medical Equipment

This section is based on "Guidelines on the Use of Radio Communications Equipment such as Cellular Telephones and Safeguards for Electronic Medical Equipment" (Electromagnetic Compatibility Conference, April 1997) and "Report of Investigation of the Effects of Radio Waves on Medical Equipment, etc." (Association of Radio Industries and Business, March 2001).

Do not use or carry the handset within 22 cm of an implanted cardiac pacemaker or defibrillator. Pacemakers and defibrillators may be affected by radio waves.

Turn the handset off in crowded areas such as on a train during the rush hour. Someone using an implanted cardiac pacemaker or defibrillator may be near you. Pacemakers and defibrillators may be affected by radio waves.

Observe the following inside hospitals and health care facilities.

- Do not take the handset into operating rooms, intensive care units (ICU), or coronary care units (CCU).
- Keep the handset turned off in hospital waiting rooms or wards. There may be electronic medical devices near you.
- Follow rules set by individual hospitals or health care facilities which prohibit carrying or using mobile phones.

If a medical electronic device other than an implanted cardiac pacemaker or defibrillator is used outside a hospital or health care facility, consult with the manufacturer or sales agent about the radio wave effects.

Caution

Handset, Battery & Charging Devices

Do not keep these devices in a dusty or humid and high temperature place. This may cause equipment failure.

Do not place the devices on an unstable surface or it may fall and cause injury or equipment failure.

If the user is a child, the parent should teach the child how to handle the device safely. Also, watch to make sure the device is being properly used. Failing to observe instructions may cause injury.

Keep the devices away from infants. They may mistakenly swallow the devices or sustain injuries in other ways.

Handset

If you use the handset in a car, in rare cases it may affect electronic equipment in the car, depending on the type of car. Consult with your car dealer that there are sufficient magnetic protection measures. Otherwise, driving may become unsafe.

Do not close the phone with an object such as the hand strap inserted between the keypad and display. Doing so may cause damage to the phone.

Do not place magnetic cards near the handset or clamp them in the fold of the handset. Magnetic data on cash cards, credit cards, telephone cards, or floppy disks, etc. may be erased.

Do not get the handset wet. Using the handset, wet from liquids, may result in overheating, electric shock or equipment failure.

Depending on your physical characteristics and other conditions, skin irritations, a rash or eczema may develop in some rare cases. In such cases, stop using the handset immediately and consult a doctor.

Part		Material	Surface Finish
Outer Case	Main Display Side, Keypad Side	PC Resin	Acrylic UV Cured Coating
	Sub Display Side, Speaker Side, Battery Cover	ABS Resin	Acrylic UV Cured Coating
Infrared Port		PC Resin	—
Lamp Lens, Light Lens		PC Resin	—
Front Camera Lens, Rear Camera Lens, Main Display Screen, Sub Display Screen		Acrylic Resin	Acrylic Surface Cured Resin
Rear Camera Lens Frame		Nickel	Chrome Plating
Screw Covers (Main Display, Near Speaker), Rubber Pad (tip of the operation side)		Silicon Rubber	—
Macro Switch		Polyacetal Resin	—
Multi Selector		ABS Resin, PC Resin	Chrome Plating (Base: Nickel)
Centre Key		ABS Resin	Chrome Plating (Base: Nickel)
Soft Key (left)/Message Key, Soft Key (right)/Vodafone live! Key, Menu/Task Menu Key, Camera Key, Clear/Back Key, Start/Call log Key, Keypad, ✳Key, #/Manner Mode Key, Power/End/Hold Key		PC Resin	Acrylic Urethane UV Cured Coating
▲/Light Key, ▼/Camera Key		PC Resin	—
Hinge Caps		ABS Resin	Chrome Plating (Base: Nickel)
Earphone Jack, External Connector, miniSD Memory Card Slot Cover		Elastomer Resin	—
Logo Badge		PC Resin Aluminium	—
Screws (in Battery Compartment)		Iron	Trivalent Chrome Chromate Finish
Charging Terminals		Phosphor Bronze	Gold Plating

Do not sit down with the handset in your back pocket. Also, do not place heavy objects on the handset. Doing so may cause equipment failure or damage.

Do not leave the handset for long periods of time in a location where bright light enters the camera lens. Light entering through a lens is concentrated and may cause fire or equipment failure.

Watch out for broken glass if the display or camera lens gets damaged. Touching broken glass parts may cause bodily injury.

Do not pour fluids or put objects into the miniSD memory card slot or USIM card slot. Doing so may cause fire, electric shock or equipment failure

When inserting a miniSD Card, slide the card into the slot and press it in until it is securely fastened. Do not release immediately. When removing the card, press the card with your finger. When the card ejects, hold it with your finger to keep it from popping out.

Point the miniSD Card slot away from your face when removing the card. If your finger is removed abruptly, the miniSD Card may eject abruptly and cause bodily injury.

Battery

Do not dispose of exhausted batteries with ordinary refuse. This may cause fire or environmental destruction. Tape over charger terminals and bring it to a Vodafone Shop or follow local regulations regarding battery disposal.

Charging Devices

Do not use the In-Car Charger while the engine is not running. This may cause the car battery to run down.

Do not place heavy objects on the power cord. This may cause electric shock, fire, or equipment failure.

After charging completes, unplug from the electric socket or cigarette lighter socket. Failure to do so may cause fire or equipment failure.

Before cleaning, always unplug the device from the electric socket or cigarette lighter socket. Failure to do so may cause electric shock.

When unplugging a charger from an electric socket or cigarette lighter socket, do not pull the power cord. This may damage the power cord and cause fire or electric shock.

General Notes

When Using

- This handset is exclusively for use in Japan. It cannot be used outside Japan.
- As the handset uses radio waves, it cannot be used where signals are weak or when the handset is out of service area. Moving to such places during a call may cause the call to be disconnected.
- Do not disturb others when using the handset in public places.
- Move to a safe place before using the handset while walking.
- On rare occasions, using the handset on public transportation such as a train, may affect the vehicle's electronic equipment.
- Vodafone is not liable for any damages resulting from accidental loss or alteration of the handset data. Please keep separate records of Phone Book data, images or sounds.
- The handset is a radio station as stipulated by Japanese Radio Law. Your handset must be submitted for inspection upon request.
- The time appearing on the handset may not be completely accurate.
- Observe the following to avoid calls not being connected or excessive noise being heard.
  - Keep away from extremely cold places such as in frozen storage. The handset may not operate properly.
  - Keep away from metal furniture. Signals may be blocked.
  - Keep away from magnetic field or where magnetic waves are emitted (near electric appliances, AV or OA equipment such as computers, microwave ovens, speakers, TV's, radios, facsimiles, fluorescent lights, word processing devices, electric heaters, inverter air-conditioners, magnetic cookers, etc.).

- Under the influence of strong magnetic or electric fields, noise may become louder, or calls may become unavailable. In particular, using a microwave oven has the potential to adversely affect the handset.
- If you are near a broadcasting or radio station and receiving excessive noise, try moving around. If the signals from the station are too strong, the handset may not function.
- When a vehicle is passing by, you may hear noise.

● If you use the handset near a landline, TV or radio, the handset may affect the operation of these devices. Use the handset as far as possible from these devices.

● Be Aware of Eavesdropping
The handset employs digital signals and it is difficult to intercept these signals. However, if a method beyond ordinary means is taken, eavesdropping by a third party may occur.

Eavesdropping:
A third party receives the content of radio communication with another receiver intentionally or accidentally.

Using the Handset in a Vehicle

● Do not use the handset while driving. Doing so may interfere with safe driving and cause an accident. Breaking the law may result in punishment.

● Stop your vehicle in a safe place before using the handset.

● If you use the handset in a car, in rare cases it may affect electronic equipment in the car, depending on the type of car. Consult with your car dealer that there are sufficient magnetic protection measures. Otherwise, driving may become unsafe.

Using the Handset in an Aircraft

Never turn on and use the handset in an aircraft. Doing so may interfere with flight safety and cause an accident. Breaking the law may result in punishment.

General Use

- Do not allow the devices to become wet. The handset, battery, charging devices are not water-proof. Do not use them in very humid places or in the rain. When carrying the handset in your shirt pocket, moisture from sweat may corrode internal parts and cause equipment failure. Failure caused by the equipment becoming wet is not covered by the warranty and the equipment may not be repairable. Even if repair is possible, the repair will be for a fee.
- Clean with soft dry cloth. Wiping with a wet cloth may cause equipment failure. Also, wiping with alcohol, thinner, benzene or liquid soap may cause decals to fade or other discolouration.
- Clean connectors with a dry cloth or cotton swab occasionally. Dirty connectors may cause poor contact and the handset may get turned off. Also, dirty connectors may prevent proper charging.
- Do not place the handset near the airflow of an air-conditioner. Sudden temperature changes may cause condensation and this may corrode internal parts.
- Do not keep the handset in a place where extreme force may be applied. Placing the handset in a bag with many other items, or sitting down with the handset in your pocket may damage the display or internal circuit boards and may cause equipment failure.
- Power Key, Keypad, etc. or the battery may become warm during a call, video call, or while charging. This is normal if it is not extremely hot.
- The operating temperature range is from 5 to 40 degrees Celsius and the humidity range is from 35 to 85 percent.
- If the handset battery is removed or if the handset is left with a low battery charge for a long period, the data or settings you saved may be lost or altered. Vodafone is not liable for any damages incurred by loss or alteration of data in such cases.

- Keep the headset connector cover, External Connector covers and miniSD Memory Card slot cover closed when not in use. Failing to do so may cause dust or water to seep in and cause equipment failure.

Handling the Camera

If you break the law while using the handset, you may be liable to prosecution under various laws or regulations (such as the Public Nuisance Laws).

Copyrights

Music, images, computer programs, databases, other copyrighted materials and their respective copyright holders are protected by copyright laws. Duplicating these materials is permitted only for personal purposes or use at home. If duplication (including conversion of data types), modifications, transfer of duplicates or distribution on networks are made beyond the above limits without permission of the copyright holders, this constitutes “Literary Piracy” and an “Infringement of Copyright Holder Rights” and compensation for damages may be charged or a criminal action for reparations may be filed. Use the data, duplication features and camera functions observing the copyright laws.

Minding Mobile Manners

Be mindful of others when using the handset.

- Turn the handset off in a theatre or museum, etc.
- Do not disturb others in quiet places such as in a restaurant or hotel lobby.
- Follow announcements or posted instructions in trains and Shinkansen Bullet trains, etc.
- Use the handset so as not to disturb pedestrians on the streets.

▣ Functions for Promoting Mobile Manners

- **Manner Mode**

  Turn off ringtones and keypad sounds with the press of a single button.
- **Record Message**

  Allows callers to leave messages. Set Ringing Time of Record Message to 0 seconds to turn off Ringtone.
- **Vibrator**

  The handset vibrates to notify of an incoming voice call, video call and message.
- **Ring Volume**

  Set Ring Volume to Silent to turn off the ringtone of a voice/video call and/or message.

- **Messaging Ring**

  Turn OFF Messaging Ring to mute incoming message ringtone.
- **Information Notice Settings**

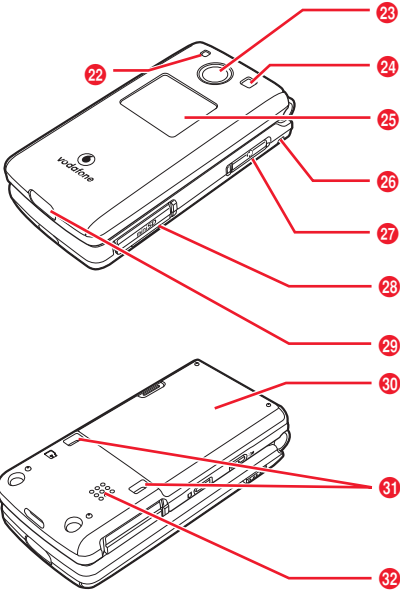
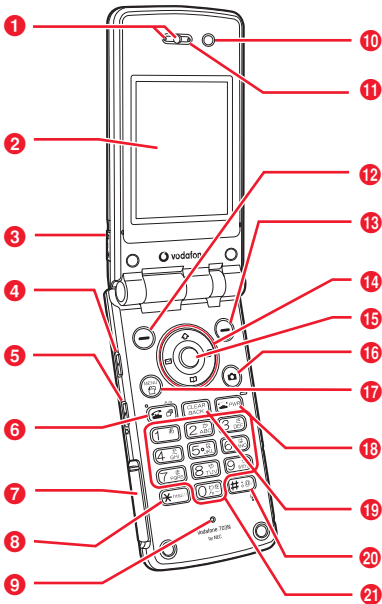
  Turn Information Notice Settings OFF to mute the side key tone that is set to ring while the handset is closed. Doing so enables the Sub Display to show these notifications without sounds.
- **Keypad Sound**

  Set the keypad sound off.
- **Schedule, Alarm Clock, and Tasks**

  Set the alarm off.

The volume levels of the camera shutter, Auto Timer tone and Video Call Auto Answer tone cannot be changed regardless of any other settings.

Handset Parts & Functions

Handset

❶ **Earpiece**

❷ **Main Display**

❸ **Macro Switch**

Switch to the Close-up mode for scanning text or barcodes.

❹ **▲/Light Key**

Turns the light on/off. Increases volume level during a call.

❺ **▼/Camera Key**

Use as shutter release. Decreases volume level during a call.

❻ **Start/Call Log Key**

Initiates/answers a voice call. Shows Redial or toggles between upper and lower case.

❼ **External Connector**

Connect external devices such as Rapid Charger or In-Car Charger.

❽ **✳Key**

Enters ✳, pre-defined phrases such as http:// or pause (p).

❾ **Microphone**

❿ **Front Camera**

Use to capture self-portraits in photo/video modes.

⓫ **Second microphone**

Picks up sounds during a handsfree call, video capturing, or Picture Voice recording.

⓬ **Softkey (Left)/Message Key**

Displays options menus or activates a function indicated at the lower left of Main Display or open the Messaging menu in standby mode.

⓭ **Softkey (Right)/Vodafone live! Key**

Displays options menus or activates a function indicated at the lower right of Main Display or access Vodafone live! in standby mode.

⓮ **Multi Selector**

Search or select a menu item or Phone Book entry, move the cursor, scroll the screen or adjust the volume.

a Left/Inbox Key

Moves the cursor to the left or displays Received Messages menu.

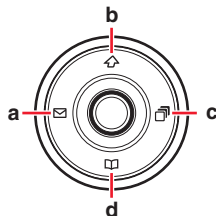
b Up/Shortcut Key

Moves the cursor up or displays Shortcuts menu.

c Right/Call Log Key

Moves the cursor to the right or displays Redial menu.

d Down/Phone Book Key

Moves the cursor down or displays Phone Book menu.

⓯ **Centre Key**

Perform an operation indicated at the lower-centre of Main Display.

⓰ **Camera Key**

Displays Camera menu.

⓱ **Menu/Task Menu Key**

Displays Main Menu or Task Menu.

⑱ Power/End/Hold Key

Turns the handset on/off, places an incoming call on hold or ends a call.

⑲ Clear/Back Key

Returns to the previous screen, deletes characters or places a call-in-progress on hold.

⑳ #/Manner Mode Key

Enters symbols, sets Manner Mode or activates Record Message (message recorder) while receiving a call.

㉑ Keypad

Enters phone numbers or characters.

㉒ Lamp

Illuminates while charging or flashes when receiving calls or messages.

㉓ Rear Camera

Captures images with the camera facing outward.

㉔ Light

Use when capturing images or scanning.

㉕ Sub Display

Use when the handset is closed. Messages or indicators show operation status.

㉖ Strap Hole

Attach a hand strap.

㉗ Earphone Jack

Connect the Handsfree Headset (available as an optional accessory).

㉘ miniSD Memory Card Slot

Insert a miniSD Memory Card (commercially available).

㉙ Infrared Port

Infrared interface for data transmission.

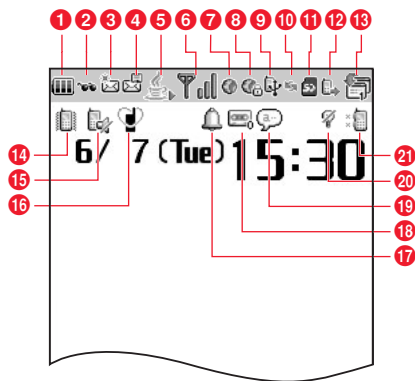
㉚ Battery Cover

㉛ Charging Terminals

For charging with Desktop Holder.

㉜ Speaker

Display Indicators

Main Display

1 Battery Strength

2 Secret Mode

Secret Only Mode (Flashing Indicator)

All Lock ON

PIM Lock ON

Keypad Dial Lock ON

Keypad Dial Lock and Secret Mode or Secret Only Mode concurrently ON

Keypad Dial Lock and PIM Lock concurrently ON

3 Unread Message

Received Messages full

SMS full on the USIM Card

Unread Message and SMS full on the USIM Card

Received Messages full and SMS full on the USIM Card

4 Messages stored on the MMS Mail Server

5 V-application Activated

V-application Paused

6 Signal Strength (more bars indicates a stronger signal)

/ 圏外* Out of Service Area (the handset is currently out of service area)

* Appears when Display Language is Japanese.

7 Accessing Vodafone live! services

(Grey) Packet transmission (no data to send/receive)

Packet transmission in progress (sending data)

Packet transmission in progress (receiving data)

(Blue) Packet transmission in progress (Connecting/ disconnecting)

Establishing PDP Context

Disconnecting Packet transmission

8 SSL connection (Secure Socket Layer)

9 USB Cable connected

10 Infrared Transmission in progress

⑪ miniSD Memory Card inserted

Wrong miniSD Memory Card inserted

⑫ Voice Call in progress

64K connection in progress

Video Call in progress

⑬ Single Task Activated

Multiple Tasks Activated

⑭ Incoming call/video call Vibrator alert ON

Incoming message Vibrator alert ON

Incoming call/video call/message Vibrator alert ON

⑮ Incoming call/video call Ringtone muted

Incoming message Ringtone muted

Incoming call/video call/message Ringtone muted

⑯ Manner Mode ON

⑰ Alarm ON (Alarm set for today. Disappears after the set time has passed.)

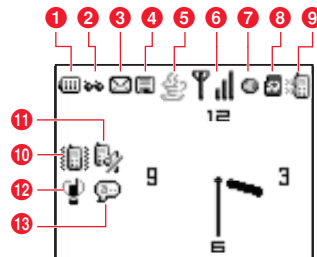
Alarm ON (Alarm set for after today. Disappears after the set time has passed.)

⑱ - Record Message (message recorder) ON (number of recorded messages indicated in the lower right-hand corner)

⑲ New messages stored at Voice Mail Centre

⑳ Lighting (backlight) OFF

㉑ Side Key Guard ON

Sub Display

❶ Battery Strength

❷ Secret Mode or Secret Only Mode ON

All Lock ON

PIM Lock ON

Keypad Dial Lock ON

Keypad Dial Lock and Secret Mode or Secret Only Mode concurrently ON

Keypad Dial Lock and PIM Lock concurrently ON

❸ Unread Message(s)

Received Messages full

SMS full on the USIM Card

Unread Message and SMS full on the USIM Card

Received Messages full and SMS full on the USIM Card

❹ Messages stored on the MMS Mail Server

❺ (Blue) V-application Activated

(Grey) V-application Paused

❻ Signal Strength (more bars indicates a stronger signal)

/ * Out of Service Area

* Appears when Display Language is Japanese.

❼ Connected Vodafone live!

(Grey) Packet transmission (no data to send/receive)

Packet transmission in progress (sending data)

Packet transmission in progress (receiving data)

(Blue) Packet transmission in progress (Connecting/disconnecting)

Disconnecting Packet transmission

❽ miniSD Memory Card inserted

Wrong miniSD Memory Card inserted

❾ Side Key Guard ON

❿ Incoming call/video call Vibrator alert ON

Incoming message Vibrator alert ON

Incoming call/video call/message Vibrator alert ON

⓫ Incoming call/video call Ringtone muted

Incoming message Ringtone muted

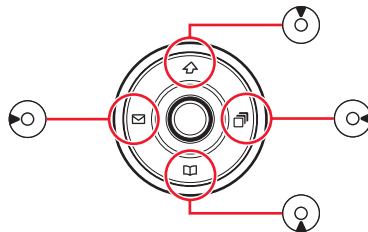
Incoming call/video call/message Ringtone muted

⓬ Manner Mode ON

⓭ New messages stored at Voice Mail Centre

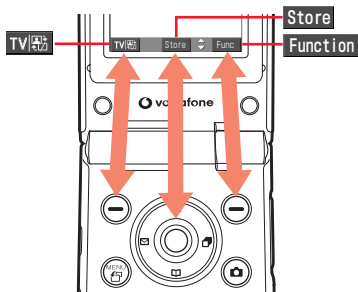
Symbols Used in This Manual

Multi Selector

Use Multi Selector to select an item, move the cursor or scroll the screen.

The following notation is used:

- Press (Up) or (Down)
- Press (Left) or (Right)
- Press (Up), (Down), (Left) or (Right)

Softkeys

Each Softkey corresponds to a function/action indicated at the bottom of Main Display (Softkey area). Press the corresponding Softkey to select/execute the item/task.

The following notation is used:

- To execute TV → Press ⊖ TV (Left)
- To execute Store → Press ⊙ Store
- To execute Function → Press ⊖ Function (Right)

Navigating the Menus

To open a menu item, do the following:

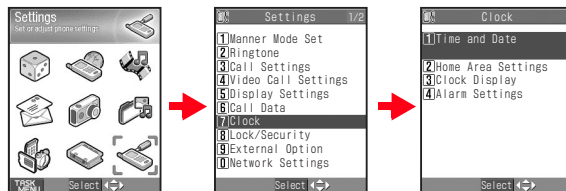
1 **Press MENU in standby mode to open Main Menu**

2 **Press to move the pointer to a menu icon**

3 **Press ⊙ Select to open the menu**

The following notation is used to explain the example above:

Example: Selecting *Settings* from Main Menu and select *Clock* then select *Time and Date*

Press MENU and select ***Settings*** **→** ***Clock*** **→** ***Time and Date***

Tip

The number keys give quick access to numbered items.

Handset Codes

Security Code, Centre Access Code and Network Password are required to use/access some functions/services.

Security Code

Security Code is initially set to "9999" or the 4- to 8-digit number selected at initial service subscription and is required for using some handset functions.

- Security Code can be changed from the handset.
- The entered Security Code is masked with blanks and underlines.
- An error message appears if Security Code is entered incorrectly.

Centre Access Code

Centre Access Code is the 4-digit number you selected at initial service subscription and is required to set optional services from a landline or to subscribe to Web fee-based information services.

Centre Access Code cannot be changed from the handset.

To change Centre Access Code, you must follow certain procedures. For details, contact Customer Service (☞P 30-59).

Network Password

Network Password is the 4-digit number you selected at initial service subscription and is required to set Call Barring service with the handset. If the code is incorrectly entered three times consecutively, Call Barring service settings will be locked. In this case, Network Password and Centre Access Code must be changed. For details, contact Customer Service (☞P 30-59).

Network Password can be changed from the handset.

- **Do not forget these Codes. If you forget any of the codes, you must follow certain procedures. For details, contact Customer Service (☞P 30-59).**
- **Do not reveal your codes to others. Vodafone shall not be liable for damages caused by misuse of the codes by others.**

Battery & Charger

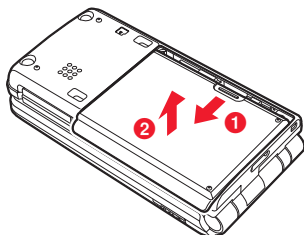
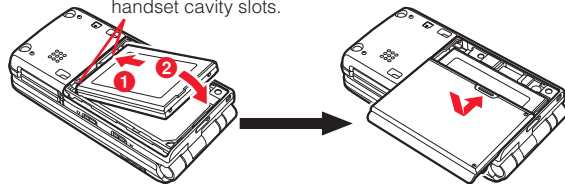
- The handset comes with a rechargeable lithium-ion battery. Lithium-ion batteries do not have memory effects and therefore can be recharged without fully draining the battery.
- Charge the battery before using the handset for the first time or if the handset has not been used for a long time.

- Even if the handset is not used for a long time, charge the battery at least every six months. If the battery has not been used for a long time, it may become unable to be fully charged even after charging is completed and operating time may be reduced.
- Avoid charging battery in the following conditions:
  - When the ambient temperature is below 5°C or over 40°C
  - A humid or dusty place or an unstable surface (may cause malfunction)
  - Near a radio (signals from the handset may cause noises)
- The battery or the charger may become warm during charging. This is normal if they are not extremely hot. However, if they become extremely hot, stop charging immediately and contact Customer Service (☞P 30-59).
- Do not plug too many devices into one socket. It may cause overheating and result in fire.
- Do not keep a battery uncharged for a long time. Charge the battery once every six months while not in use. Otherwise the battery may become unusable.
- The battery is a consumable item. If the battery runs out much sooner than usual, replace it with a new one.
- Do not dispose of batteries with ordinary refuse. Tape over charger terminals and bring it to a collection point for recycling batteries or to a Vodafone Shop. Follow local regulations regarding battery disposal.
- Lithium-ion batteries are valuable and recyclable resources.

- **Use the specified battery and charging devices (☞Accessories). Do not use these devices for other products.**
- **Insert the battery into the handset before charging. The handset cannot be charged and powered on without the battery.**
- **The flashing red Lamp indicates a battery failure. Contact Customer Service (☞P 30-59).**
- **If *Charger failure Stop charging*. appears on Main Display, turn the handset off, remove the battery from the handset. Then, recharge the battery. If charging fails again, contact Customer Service (☞P 30-59).**
- **Unplug the charger from the electric socket or cigarette lighter socket if you do not intend to use it for a long time.**
- **The handset may vibrate while being charged. Keep Vibrator OFF during charging to avoid dropping.**

Inserting/Removing the Battery

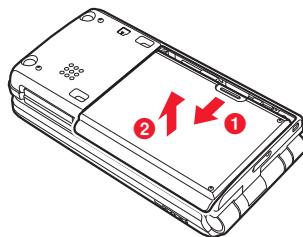
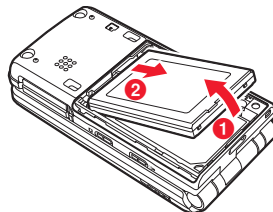
Inserting the Battery

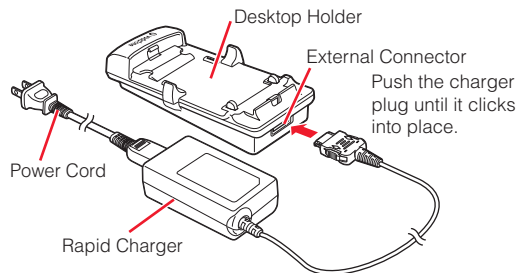
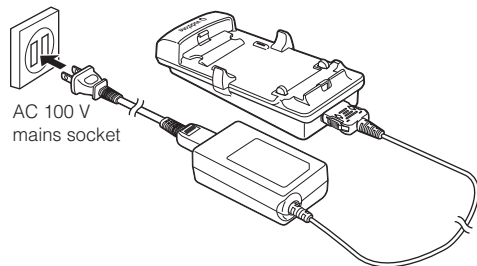
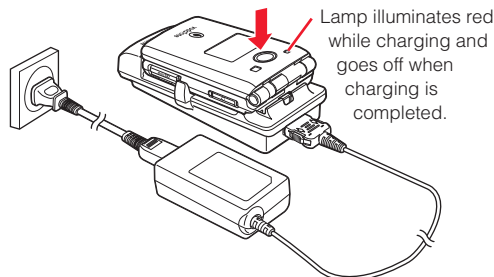
1 ❶ **Press and slide the Battery cover then ❷ lift out**

2 **Insert the battery and close the cover**

Note

- **Do not apply excessive force on the battery when installing it. Doing so may damage the charging terminals of the handset.**
- **Do not force the battery cover with its tabs inserted in the handset. The battery cover tabs may be damaged.**

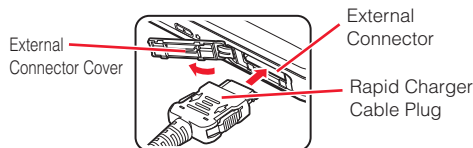
Removing the Battery

Disconnect the handset from the charging devices and turn off before removing the battery.

1 ❶ **Press and slide the Battery cover then ❷ lift out**

2 **Lift the battery to remove**

■ Charging the Battery

1 Plug Rapid Charger to Desktop Holder

2 Plug Power Cord into an AC 100 V mains socket

3 Put the handset on Desktop Holder and push the handset into place

4 Remove the handset from Desktop Holder and unplug Power Cord from the socket

Tip

- To connect Rapid Charger to the handset, open External Connector Cover and push the charger plug into External Connector until it clicks.

- The battery charging time is approximately 120 minutes when the handset is OFF, and varies depending on a temperature. Therefore, charging takes longer than 120 minutes while the handset is ON.

USIM Card

Before Using the USIM Card

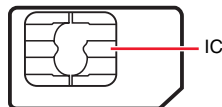
USIM Card is an IC card that contains user information and data such as your phone number. The USIM Card must be installed before using a USIM Card compatible handset. Without the USIM Card, network connections such as making/receiving calls, messaging and web access are not available.

- Phone Book entries and SMS can be saved in the USIM Card.
- The data saved to the USIM Card can be used with another USIM Card compatible handset.
- Use the USIM Card with equipment specified by Vodafone. Using non-specified equipment may cause data loss or equipment failure.
- Do not place the USIM Card in a cooking vessel such as a microwave oven or pressure cooker. Doing so may cause the USIM Card to melt, overheat, smoke, lose data, or malfunction.
- Keep the USIM Card away from infants. They may mistakenly swallow it or they may get hurt in other ways.
- Removing or inserting the USIM Card with excessive force may cause equipment failure. (Excessive force may cause equipment failure. Carefully handle the card to avoid injury.)
- Vodafone shall not be liable for any malfunction, after the USIM Card has been inserted into a third party IC card reader.
- The USIM Card may become warm during use. This is normal if it is not extremely hot.
- Keep the IC chip of the USIM Card clean.
  (Touching the IC chip of the USIM Card may cause data loss or equipment failure. Avoid touching the IC chip of the USIM Card.)
- Do not attach labels on the USIM Card. The USIM Card is made very thin and with precision. The thickness of new labels may cause loose contact or data corruption.

General Notes Regarding the USIM Card

- The USIM Card is the property of Vodafone.
- The USIM Card will be re-issued for a fee if the card is lost or damaged.
- Return the USIM Card to Vodafone when your subscription is cancelled or suspended.

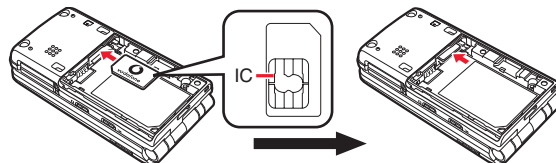
- Returned USIM Cards are recycled for environmental conservation.
- The specifications and performance of the USIM Card are subject to change without advance notice.
- The data you save in the USIM Card may be lost or altered due to accident or failure. Keep a backup of data stored in the USIM Card.
  Vodafone shall not be liable for any loss or alteration of data.
- In case you had the USIM Card or Vodafone handset with the USIM Card stolen or you lost them, both in Japan or in overseas country, make sure to take the procedures of emergency suspension. For the procedures of emergency suspension, contact Customer Centres(☞P 30-59).
- Be forewarned that after having 703N repaired or replacing the USIM Card with another one, Chaku-Uta®, V-applications or videos stored in the handset or miniSD Memory Card may not work properly.

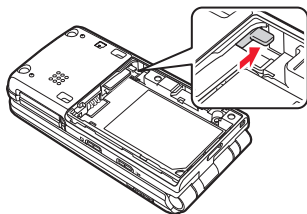
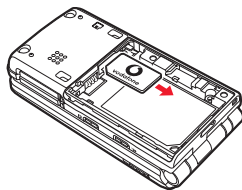
USIM Card

Inserting/Removing the USIM Card

Remove the battery before inserting or removing the USIM Card. See “Inserting/Removing the Battery” in “Battery & Charger”.

- **Forcing the USIM Card into the handset may result in breakage of the card.**
- **Do not misplace the removed USIM Card.**

Inserting the USIM Card

Insert the USIM Card into the slot with the gold plate (IC) facing down until it clicks into place

Removing the USIM Card

1 **Press the lock to eject the USIM Card**

2 **Pull out the USIM Card horizontally and gently**

PIN

PIN1

PIN1 is a 4- to 8-digit code to prevent unauthorised use of Vodafone handsets by others. If ***PIN1 Code Entry Set*** is ON, all the operations other than PIN1 entry are locked until you enter PIN1. And you are required to enter PIN1 whenever turning on the handset or re-inserting the USIM Card.

PIN2

PIN2 is a 4- to 8-digit code that authorises a user to access on-line services.

- PIN1 and PIN2 are set to ***9999*** by default.
- PIN1 and PIN2 can be changed.

Releasing PIN Lock

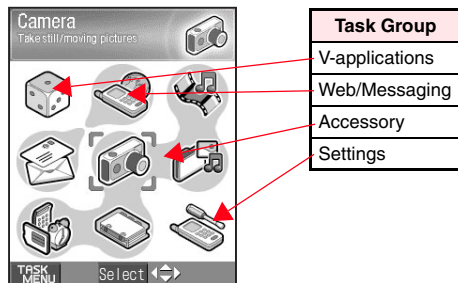
If PIN1 or PIN2 is incorrectly entered three times consecutively, the current PIN1 or PIN2 becomes invalid. This only allows access to limited functions. To release a PIN lock, enter a PUK Code.

For details on PUK Code, contact Customer Service (☞ P 30-59).

Note

- **If a PUK Code to unlock PIN1 is entered incorrectly ten times consecutively, USIM Card is locked. Once USIM Card is locked, all operations are blocked.**
- **To unlock the USIM Card, certain procedures must be followed. Contact Customer Service (☞P 30-59).**
- **If a PUK Code to unlock PIN2 is entered incorrectly ten times consecutively, no operations requiring PIN2 can be performed.**
- **Write down PUK Code for future reference.**

Multitasking

Activates one task per Task Group to launch up to three tasks simultaneously.

Launching New Tasks

1. **Press (MENU) to open Main Menu**
2. **Select a menu item from a group with no tasks running**

A confirmation appears when you attempt to launch a second task from the same group. Choose *YES* to end the running task and launch a new task.

Switching/Ending Tasks

Press (MENU) for 1+ seconds to open Task Menu.

Switching Tasks

To switch tasks, select another task

Ending Tasks

1. **Highlight a task**
2. **Press (PWR) and choose *YES***

To end all the active tasks
Press ⊖ END and choose *YES*

Basic Handset Operations

Turning the Handset On/Off

Turning the Handset On

Open the handset and press PWR for 2+ seconds

Turning the Handset Off

Press PWR for 2+ seconds

Tip

Retrieving Network Information is necessary after turning the handset ON for the first time. For details, see “Network Settings” in “Vodafone live!”.

Note

Use both hands to open the handset gently. Applying excessive force may cause damage.

Select the Display Language

1. **Press MENU and select 設定 (Settings) → ディスプレイ設定 (Display Settings) → *Language***
2. **Select *English***

Own Phone Number

Press MENU and 0

Setting Clock

1. **Press MENU and select *Settings* → *Clock* → *Time and Date***
2. **Enter year, month, day and time using the 24-hour system**
3. **Press ● Set**

Making a Call

Enter the entire phone number (including the area code for landlines) and press

Making an International Call

Separate subscription is required to use this service (no application fees or basic monthly charges are required).

1. **Enter 0046, 010, Country Code, Area Code and Phone number**
2. **Press**

Tip

- If the area code starts with zero, omit the zero (Except when calling a landline number in Italy).
- For more information, contact Customer Service (P 30-59).

Redialling

1. **Press or**
2. **Highlight the phone number or name on the list and press**

Making a Call from Call Logs

1. **Press or**
2. **Press Received**
3. **Highlight the phone number or name on the list and press**

Receiving a Call

To answer an incoming call, press or Answer

- Alternatively, answer the call by pressing any key from to , , , (Left), , or (▲/Light Key).
- Press (▲/Light Key) or (▼/Camera Key) to adjust earpiece volume.

Putting a Caller on Hold

1. **Press PWR while receiving a call**
2. **Press or Answer to return to the call**

30

Abridged English Manual

Recording Messages

Available while the handset is on and in a Service area.

Setting Record Message

1 **Press MENU and select Accessory → Record Message**

2 **Choose *ON***

3 **Select *English* for Answer Message in English**

4 **Enter Ringing Time**

Alternatively, press # or ▾ (▼/Camera Key) to activate Record Message while receiving a call.

Playing Recorded Messages

1 **Press MENU and select Accessory → *Play/Erase Message***

2 **Highlight a Record Message # and press ● Play**

Records up to 5 messages. To delete a message while playing, press ⊖ Erase and choose *YES*.

Rejecting an Incoming Call

Press ⊖ Function and select *Call Rejection* when receiving a call

Communicating Simultaneously

Allows simultaneous sessions as follows:

	Voice call	Video call	Web/Packet communication
Voice call	—	Not Available	Available
SMS	Available	Available[1]	Available[2]
MMS	Available	Not Available	Not Available[3]
Web/Packet communication	Available	Not Available	—

For details on SMS/MMS, see “Messaging”.

1 Unable to send messages

2 Unable to send messages while Vodafone live! menu is active

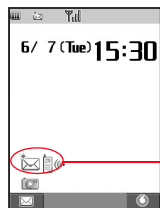
3 SMS informs arrival of MMS at the mail server

Example: Answering a voice call during Web browsing

1 **Press [☎ ⧉] or ● Answer when receiving a voice call**

2 **Press [☎ PWR] to end the call**

■ Missed Calls/New Messages

Desktop Icons indicate you have missed/unchecked alarm or information. Select a Desktop Icon to access the content.

1 **Press ● in standby mode**

2 **Select a Desktop Icon**

To read a new message

Select ✉ and press ● Select

To display a list of Missed Calls

Select 📱 and press ● Select

To play a recorded message

Select 📼 and press ● Select

To play a Voice Mail message

Select 💬 and press ● Select

To check a missed alarm

Select 🔔 and press ● Select

■ Call Duration

Press MENU and select ***Settings → Call Data → Call Duration***

■ Setting/Releasing Manner Mode

Press [# @/] for 1+ seconds in standby mode or during a call

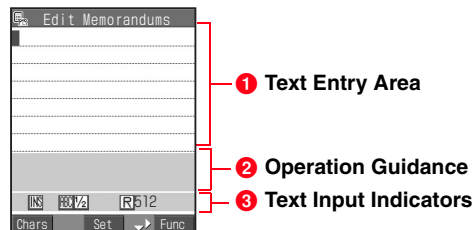
Default Settings

Record Message	OFF*	Voice Memo Tone	ON
Vibrator	ON	Keypad Sound	OFF
Phone Volume	Silent	Microphone Sensitivity	Up
Messaging Volume	Silent	Low Voltage Alarm Tone	OFF
Alarm Volume	Silent		

* Depending on the Record Message settings in Accessory.

Tip

- Alternatively, press [#] or [▼] (▼/Camera Key) while receiving a call to start Answering Message of Record Message and set Manner Mode.
- To cancel Manner Mode, press [#] for 1+ seconds.

Entering Characters

❶ Text Entry Area

▮ Cursor

❷ Operation Guidance

L／U Press [☎] to toggle between the upper and lower cases

LONG LF Press [☎] for 1+ seconds to enter a line feed (↲)

Light Back Press [▲] (▲/Light Key) to return to the prior reading assigned to the same key

❸ Text Input Indicators

Indicates the current mode:

½, ¼ Half Pitch/Full Pitch

INS, OVR Insert/Overwrite

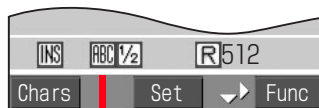
ABC, 123, 漢, カナ Indicates the current input mode

a Lower case

R Remaining number of bytes

In Number of bytes entered

■ Text Input Mode

Press ⊖ Characters to toggle input modes.

Key Assignments

Key \ Input Mode	Roman Letter	Number
1 あ	—	1
2 か ABC	ABCabc	2
3 さ DEF	DEFdef	3
4 た GHI	GHIghi	4
5 な JKL	JKLjkl	5
6 は MNO	MNOmno	6
7 ま PQRS	PQRSpqrs	7
8 や TUV	TUVtuv	8
9 ら WXYZ	WXYZwxyz	9
0 わをん	—	0
* http://	.ne.jp .co.jp .ac.jp www. .com .html http:// https:// vodafone.ne.jp	* .ne.jp .co.jp .ac.jp www. .com .html http:// https:// vodafone.ne.jp
# ｡@/	. @ / ! ? ( ) , - _ : ' ~ & ￥	# . @ / ! ? ( ) , - _ : ' ~ & ￥
CLEAR BACK	Press to delete the character highlighted by the cursor. Press for 1 + seconds to delete all characters after the cursor.	

Half Pitch only

Pictographs/Symbols

1 Press (−) Function in the text entry area and select *Symbols* or *Pictograph*

2 Select a Symbol or Pictograph

Phone Book

Stores up to 500 Phone Book entries in the handset.

Phone Book Entry Items

Item	Description	
	Handset	USIM Card
Name (Family/ First Names)	Enter up to 32 half-pitch (16 full-pitch) characters (for both the first and family names)	Enter up to 24 half-pitch (12 full-pitch) characters (for both the first and family names)
Reading (Family/First Names)	Enter up to 32 half-pitch characters (for both the first and family names)	Enter up to 24 half-pitch (12 full-pitch) characters (for both the first and family names)
Group	Classify entries into one of 20 Groups	Classify entries into one of 11 Groups

Item	Description	
	Handset	USIM Card
Phone Number	Store up to 4 phone numbers per entry (Enter up to 32 digits per phone number)	Store up to 2 phone numbers per entry (Enter up to 32 digits per phone number)
Phone Number Icon	Select an icon from 23 types per number	—
Mail Address	Enter up to 128 half-pitch alphanumeric characters (up to 3 addresses)	Enter up to 50 half-pitch alphanumeric characters (1 address only)
Mail Address Icon	Select an icon from 4 types per address	—
Zip Code and Address	Enter up to 7 digits for Zip code and up to 62 half-pitch (31 full-pitch) characters for address	—
Memorandums	Enter up to 100 half-pitch (50 full-pitch) characters	—
Still Image	Set an incoming image	—
Movie	Set an incoming video	—
Memory Number	001 to 499	—

・ By default, the phone number for Voice Mail Centre "09066517000" is saved to Memory Number *000*.

・ — indicates an item that cannot be saved.

Protecting Phone Book Data
If the battery is removed or left in the handset with a low or fully discharged state for an extended period of time, Phone Book entries may be altered or lost. Accidents or malfunctions can also result in lost information. Please keep a backup copy of Phone Book data. Vodafone shall not be liable for any damages resulting from accidental loss or alteration of Phone Book data.

■ Creating Contacts in Phone Book

1 **Press MENU and select** *Phone Book* → *Create Contact*

2 **Select** *Phone* **to save in the handset**

3 **Enter the contact details**

To add a phone number

①Select to enter a phone number (including the area code for landlines) and press ● Set

②Select an icon

③To add another number, repeat steps ① and ②

To add a mail address

①Select [mail icon] to enter a mail address and press (●) Set

②Select an icon

③To add another address, repeat steps ① and ②

4 Press (−) Finish

To save a contact to the USIM Card, select ***USIM*** in Step 2.

Saving a Number from Received Calls

1 Press [call key] or [key]

2 Press (−) Received to display Received Calls

3 Select a phone number

4 Press (●) Store and select *Phone* to save in the handset

5 Select *New*

6 Enter the contact details

A name entry is required to save a contact.

7 Press (−) Finish

- To save a contact to the USIM Card, select ***USIM*** in Step 4.
- Skip Step 2 when no outgoing call logs are stored in Redial.

Editing Contacts

1 Open the contact details

See "Searching Contacts".

Contact Details

2 Press (●) Edit

3 Edit necessary items

4 Press (−) Finish and choose *YES* to overwrite the Contact

To save as a new Contact (For Contacts stored on the handset)

①Press (−) Finish and choose ***NO***

②Select and enter a Memory Number
③Press Finish

▣ Setting Utilities

Customise Phone Book entries so that you can answer an incoming call/message depending on the caller.
Press Function on the contact details and select *Utilities*.
To set Utilities by Group, select Manage Group on Phone Book menu.

Item	Description	Indicator
Ringtone	Identify the caller by ringtone	
Illumination	Identify the caller by the flashing lamp colour	
Image	Set an incoming image by the caller	
Answer Message	Answer the caller with a preset message or an original Voice Announce	
Messaging Ringtone	Customise ringtone by the incoming messaging ringtone	
Messaging Illumination	Set lamp colour by the caller	

■ Searching Contacts

1 **Press and select** ***Phone Book*** → ***Search Contact***

2 **Select a search method and open a Phone Book entry**

To search by reading

Select ***-Reading Search*** and enter the reading (only the beginning needs to be entered)

To search by Memory Number (Not available for entries in the USIM Card)

Select ***Memory Number Search*** and enter a 3-digit Memory Number

- To select the phone number after searching for a Contact
  Press to make a voice call
  Press TV to make a video call
- on the right side of the Contact list indicates the Contact is stored on the USIM Card.

30

Abridged English Manual

▣ Copying Phone Book Entries

Copy the entries between the handset and the USIM Card.

① Press (MENU) and select *Accessory* → *USIM Operation*

② Enter Security Code

③ Select *Copy* and specify the source and destination

④ Select *Phone Book* and specify a search method

⑤ Press ⊖ Function to select *Select All*

⑥ Press ⊖ Finish and choose *YES*

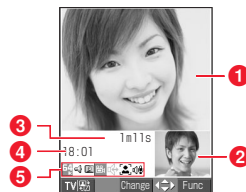
Video Call

Make Video Calls to view yourself and the other party during a call. Dial phone numbers from Phone Book, Redial or Received Calls. Select ***Handsfree ON*** from the options menu during a call to talk while viewing the other party's Image.

❶ Main Image

❷ Sub Image

❸ Call Time

❹ Current Time

Video Call

❺ Status

Communication speed

/ Voice communication in progress/failed

/ Video communication in progress/failed

/ Sending Camera Image/alternative image

/ Handsfree ON/OFF

/ / Photo Mode: Scenery/Portrait/Close-up

/ / Voice ON/Send Voice OFF/All Voice OFF

The other party's voice is heard from the speaker when using handsfree feature. Be mindful not to disturb others.

30

Abridged English Manual

Making a Video Call

Enter the entire phone number (including the area code for landlines) and press ⊖ TV

Answering a Video Call

When receiving a video call, press ⊖ TV to answer the call with a Camera Image

Press ● Answer or ☎ to answer with an alternative image.

Operations Available during a Video Call

- Press ◎ to adjust the earpiece volume.
- Press ⊖ TV to switch between Camera Image/alternative image.
- Press CLEAR BACK to toggle between call hold and resume.

Camera

Capturing Images

The following modes are available:

Mode	Description	Image Size (dots)
Photo Mode	Use captured images as MMS attachments or set as Stand-by Display	352 x 288 240 x 269 176 x 144 128 x 96
Burst Mode	Captures sequential images to be saved as an Original Animation or individual still images	
Digital Camera Mode	Captures images in sizes suitable for editing on a PC or printing	1,280 x 960 640 x 480

1. **Press 📷 to select *Photo Mode*, *Burst Mode* or *Digital Camera Mode***
2. **Frame the shot on Main Display**
3. **Press ● Record or ▾**
4. **Press ● Save and choose *YES***

For Burst Mode

①Press ⊖ Function and select a store option

②Follow the instructions on the screen

5 **Select a destination**

Capturing Videos

The following modes are available:

Mode	Description	Image Size (dots)
Video Mode	Use to capture videos suitable for message attachments.	176 x 144 128 x 96
Long Duration Mode[1]	Use to capture up to about 60 minutes of video.[2] A miniSD Memory Card is required for saving long video files.	

1 This mode is available only when a miniSD Memory Card is inserted.

2 Depending on miniSD Memory Card capacity.

1 **Press to select *Video Mode* or *Long Duration Mode***

2 **Frame the shot on Main Display**

3 **Press Record or**

4 **Press Stop or to end recording**

5 **Press Save and choose *YES***

Long Duration Mode records video automatically (Auto-save) when miniSD Memory Card installed.

6 **Enter the title and select a destination**

Tip

Alternatively, press MENU and select ***Camera*** to open Camera menu.

Media Player

Playing Music

1 **Press MENU and select *Media Player* → *Melody***

2 **Select a folder**

3 **Highlight a file on the list and press**

Displaying Images

1 **Press MENU and select *Media Player* → *Image***

2 **Select a folder**

3 **Highlight a file on the list and press ● Display**

■ Playing Videos

1 **Press MENU and select** *Media Player* → *Audio & Video*

2 **Select a folder**

3 **Highlight a file on the list and press ● Play**

Data Folder

Manages data created or downloaded. Pre-defined and user-defined folders are available for organising data.

Folder	Sub Folder	Description	File Format	Capacity
Pictures	Inbox, More Pictures, Digital Camera, Pre-installed, Original Animation, Memory Card	Manages still images captured by the handset camera	JPEG, JPEG(DCF), GIF, WBMP, PNG, SVG, pre-installed images	2 Mbytes 400 files*
Videos	Inbox, More Videos, Memory Card, Playlist	Manages videos captured by the handset camera or downloaded videos/Chaku-Uta®	MP4 (with video), MP4 (without video)	3 Mbytes 100 files*
Sounds & Ringtones	Inbox, More Sounds, Pre-installed, Voice Announce, Memory Card	Manages downloaded melodies or recorded sound by Voice Announce	SMAF, MIDI, pre-installed melodies	840 Kbytes 160 files*
V-appli	—	Manages V-applications	Java(Downloaded Java application) Java(Pre-installed Java application)	3 to 100 files
Bookmarks	Phone, Memory Card	Manages Bookmarks saved on the handset and a miniSD Memory Card	vBookmark	100 files
Templates	Phone, Memory Card	Manages Text Memos saved on the handset and a miniSD Memory Card	vNote, TEXT	10 files
Other Files	Phone, Memory Card	Manages vfiles or HTML files saved on the handset and a miniSD Memory Card	TEXT, vCard, vCalendar, vBookmark, vNote, HTML, XHTML, CSS, WML, WMLC, WMLS, WMLSC, WBXML, Unknown files	500 Kbytes 100 files*

* The number of files varies depending on each file size.

Opening Files

1 **Press [MENU] and select *Data Folder* and then the folder**

2 **Select the file location**

3 **Highlight the file on the list and press [●] Select/Display/Play**

For vfiles

Select the file and then the data

Tip

Attaching files to a message

For details, see "Creating Messages" in "Sending Messages".

Example: Attaching Picture data

① Press [MENU] and select *Data Folder* → *Pictures*

② Select *Inbox*

③ Highlight an image

④ Press [−] Function to select *Attach to Messaging* and enter Message, Recipient and Subject

Using Image Files

1 **Press [MENU] and select *Data Folder* and then the file location**

2 **Select the image and press [−] Function, then select *Set as Display Image***

3 **Select an item**

Using Sound Files

1 **Press [MENU] and select *Data Folder* and then the file location**

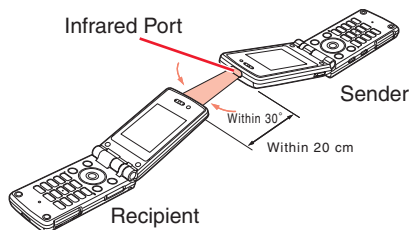
2 **Select the file and press [−] Function, then select *Set as Ringtone***

3 **Select an item**

Infrared Data Communication

Exchange the following types of data with IrDA compliant Vodafone handsets or PCs:

To be transferred piece by piece	Phone Book entry, My Contact Detail contents, Schedule event, Task, Text Memo, still image, video, vfile
To be transferred all at once	Phone Book entries, Schedule events, Tasks

- Phone Book entries transferred at once overwrite the recipient's Phone Book except own number registered as My Contact Details.
- Place the infrared ports facing each other within 20 cm.
- Place the devices on a stable surface. Do not move the devices until the exchange is completed.
- Avoid direct sunlight or florescent light and near other infrared devices. Failing to do so may result in a communication failure.

Transferring Data

Sending Piece by Piece

1 **Highlight the data**

2 **Press ⊖ Function and select *Ir Exchange***

3 **After the recipient is ready to receive data, choose *YES***

Receiving Piece by Piece

1 **Press MENU and select *Accessory* → *Ir/Send Via IrDA* → *Receive***

2 **The sender starts transmission**

3 **Choose *YES* after the transmission is completed**

Optional Services

Access optional services from the handset or from a landline. For details, contact Customer Service (☞P 30-59).

Call Forwarding/Voice Mail

Set Call Forwarding by transmission type (voice call, video call or data transmission). Setting either Voice Mail or Call Forwarding invalidates the other forward setting.

1 **Press MENU and select *Settings* → *Network Service* → *VoiceMail/Call Fwd***

2 Select a Forwarding type

Type	Description
CFU (Call Forwarding Unconditional)	Call Forwarding without Ringtone, Vibration and Missed Call Reports
CFB (Call Forwarding Busy)	Call Forwarding while receiving a call or talking
CFNRc (Call Forwarding on Not Reachable)	Call Forwarding when the handset is turned off or out of service area
CFNRy (Call Forwarding on No Reply)	Call Forwarding if the call is not answered within the set Ringing Time

3 Select *Activate*

4 Select communication type

To activate Call Forwarding for Voice Calls

Select *Voice*

To activate Call Forwarding for Video Calls and 64K Data Communications

Select *Digital*

5 Set forwarding details

To set a forwarding number

①Select *Forwarding Number*

②Enter the phone number using the keypad or search in Phone Book by pressing

To set the Voice Mail Centre as a forwarding destination

①Select *Forwarding Number*

②By default, Voice Mail Centre number is saved in Phone Book under Memory Number *000* (留守番電話センター). Enter from Phone Book or enter "09066517000" using keypad.

6 Select *Activate* and choose *YES*

To stop the service, select ***Deactivate*** in Step 3. For further Steps, follow the instructions on the screen.

Playing Voice Mail Messages

Desktop Icon indicates messages are stored in Voice Mailbox.

1 Press and select *Settings* → *Network Service* → *Operate Voice Mail*

2 Select *Play Messages* and choose *YES*

remains until the message is played even after changing USIM Card or Reset Settings.

Vodafone live!

Use Vodafone live! services to exchange multimedia messages with compatible handsets, download sounds and images, as well as V-applications, or browse the Mobile Internet.

In this manual, Vodafone live! Service Centre is referred to as “the Service Centre” and Vodafone live! compatible handsets as “Vodafone handsets”.

Network Settings

To access Vodafone live!, retrieve the network connection information from the Service Centre.

If ***Start to retrieve Network information?*** (ネットワーク自動調整しますか？) appears after pressing MENU, ⓞ, ⓞ, ⊖ ✉, ⦿, ⊖ , 📷 or ▼ (▼/Camera Key) for the first time:

1 Press ⊖ YES to connect network

2 Follow the instructions on the screen

Note

Main Menu is not available until Network Setup is completed.

Messaging

Vodafone messaging services are available throughout Japan.

MMS

Supports multimedia messaging with Vodafone handsets, PCs, e-mail compatible handsets and PHSs. Text messages as well as images, sounds and videos can be exchanged.

SMS

Supports short text messaging with Vodafone handsets. A phone number is used as an address.

The handset doesn’t support Greeting, Coordinator, Relay Mail or Hotline.

- Separate subscription is required to use MMS.
- If the recipient’s handset is turned off or out of service area, sent messages are stored at the Service Centre and automatically resent (Retry feature).

Customising Handset Address

Change your handset address before the @ to reduce the risk of receiving spam.

1. **Press on Stand-by Display**
2. **Select *My Vodafone***
3. **Select *オリジナルメール設定・各種メール設定* (Original Mail Settings / Other Mail Settings)**
4. **Follow the on-screen instructions**

Vodafone live! Menu contents are periodically updated without prior notice.

Messaging Menu

Press on Stand-by Display

Alternatively, press and select *Messaging*.

Item	Description
Create Message	Create a new message
Received Messages	Displays a received message
Sent Messages	Stores a sent message
Unsent Messages	Resends or organises unsent messages which have been bounced or cancelled
User Folder	Organises incoming messages
Drafts	Saves draft messages that have not been sent
Templates	Saves pre-written text to add to messages
Server Mail Box	Retrieve, delete or forward a message saved on the mail server
Settings	Customise Message Settings

Receiving Messages

A Desktop Icon appears when a new message arrives. For details on Desktop Icon, see “Missed Calls/New Messages” in “Basic Handset Operations”.

Opening Messages

1. **Press on Stand-by Display to select a New Message Desktop Icon**
2. **Highlight the message Alert and press Details**

3 **Press (−) View**

Retrieving MMS

When MMS is stored on the mail server, [icon] appears at the top of the display.

To download the complete message and/or attachments:

1 **Open Message**

Follow the Steps 1 to 2 in “Opening Messages”.

2 **Press (−) Receive**

3 **Press (−) Details**

4 **Press (−) View**

To open the attachment:

Press (−) View Item.

Replying & Forwarding

1 **Press (−) [mail] and select *Received Messages***

2 **Select a message and press (−) View**

3 **Press (−) Function and select a Reply method or *Forward***

4 **Press (−) Edit and fill the entry fields**

5 **Send the message**

Sending Messages

Entry Fields

Type	Field			
	Message	Recipient	Subject	Attachment
MMS	√[1]	√ †	√	√[3]
SMS	√[2] †	√ †	—	—

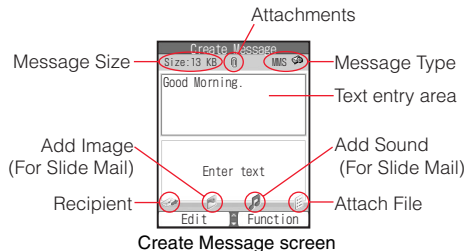
1 Enter up to approx. 30,000 half-pitch alphanumeric characters (approx. 10,000 full-pitch characters).

2 Enter up to 140 bytes or 70 characters (half-pitch and full-pitch in total). If the entire message is entered in half-pitch alphanumeric mode, enter up to 160 half-pitch characters.

3 Up to 30 files (Up to 300 Kbytes including Message, Subject and Attachments).

† (shaded) Required

Creating Messages

Create Message screen

1 **Press ⊖ ✉ and select *Create Message***

2 **Press ⊖ Edit and enter the message text**

3 **Press ⊖ Function and select *Recipient* on the Create Message screen**

4 **Press ⊖ Edit and enter the address**

For MMS, go to the Step 5

For SMS

①Select *Message Type*: *MMS*

②Select *SMS* and go to the Step 6

5 **Select the *Subject* field and enter the subject**

6 **Select *Send***

▣ Entering Addresses

- To retrieve recipients from the Phonebook or Messaging Log

① In Step 4, press ⊖ Function and select ***Select Address*** then select ***Phonebook*** or ***Messaging Log***

② Search the address

For details on Phonebook Search, see “Searching Contacts” in “Phone Book”.

- To add an address (For MMS only)

① In Step 4, press ⊖ Function and select ***Add Recipient*** then select ***To:***, ***Cc:*** or ***Bcc:***

② Press ⊖ Edit and enter the address (up to 20 recipients)

▣ Attaching Files to MMS

Image, sound or video files can be attached to MMS.

① From the Create Message screen, press ⊖ Function

② From ***Insert Item***, select ***Add Image***, ***Add Sound*** or ***Attach File***

③ Select a folder and select a file

Tip

Add Image and ***Add Sound*** allow to create a Slide show (Slide Mail) containing text, image and sound.

Note

Before sending an attachment, check which file formats the recipient can receive and which services the recipient uses.

Customising Settings

Press **and select** ***Settings***

Item	Description
Sending	Set Message Expiry, Delivery Time or Default Message Type
Receiving	Set Auto Receiving or Reject Anonymous
Receipts	Set Delivery Report or Acknowledge Delivery Report
Personalization	Edit Signature or Opening Phrase (salutation)
Message Settings	Set Sounds play preference, edit font size for display text, edit SMS Message Centre number or enable MMS Creation Mode, Reset settings, Memory Reset

Web

Access the Mobile Internet directly from the handset. Browse or download image or sound files, as well as information.

Vodafone live! Menu

Press **and select** ***Vodafone live!***

Item	Description
Vodafone live!	Offers a variety of web sites and services for Vodafone handsets (Mostly Japanese)
Bookmarks	Displays a list of Bookmarks giving you a quick access to the site
Enter URL	Enter URL to access sites
My Saved Page	Displays saved pages off-line
Settings	Customise Vodafone live! Settings

Access to Mobile Internet

1. **Press** **on Stand-by Display**
2. **Select a menu option**

   Select ***English*** to change the display language.

Tip

Alternatively, press and select ***Vodafone live!*** → ***Vodafone live!***.

V-applications

V-applications are proprietary Java™ applications running on Vodafone handsets. V-applications are available for download from web sites.

 Tip

- Separate application is required to download V-applications from web sites.
- To access V-applications, use the same set of the USIM card and the handset as that used when the application was downloaded.

V-appli Menu

Press **and select** ***V-applications***

Item	Description
V-appli Library	Access or delete V-applications. One V-application is installed by default
V-appli Settings	Customise V-applications settings
Java™ Information	View Java™ and JBlend™ licenses

Specifications

The specifications are subject to change without prior notice.

Vodafone 703N

Item	Specification
Weight	Approx. 130 g
Continuous Talk Time	Voice Call: Approx. 140 minutes Video Call: Approx. 90 minutes
Continuous Standby Time	Approx. 430 hours (with the handset closed and Sub Display OFF)
Dimensions (W x H x D)	Approx. 50 x 100 x 28 mm (with the handset closed)
Maximum output	0.25 W

- The above values were calculated with the battery installed.
- Battery operating time was calculated with stable signal conditions. Talking in a weak signal area or leaving the handset in standby mode while out of service area consumes much battery power and battery operating time may be reduced by more than half.

- Frequent use with the Display light on (for Vodafone live! operation, etc.) will result in shorter Continuous Talk Time and Continuous Standby Time.
- Setting moving images as Wallpaper may result in shorter Continuous Talk Time and Continuous Standby Time.
- Running V-applications may result in shorter Continuous Talk Time and Continuous Standby Time.
- Continuous Talk Time was measured under the following conditions: In standby mode and with normal signal reception.
  Continuous Standby Time was measured under the following conditions: In standby mode, with a fully-charged new battery installed, the handset closed, no calls/operations in progress and normal signal reception.
  Since the handset could be in both talk and standby modes, the actual talk time and standby time may become shorter than indicated above.

Battery

Item	Specification
Voltage	3.8 V
Type	Lithium-ion
Capacity	850 mAh
Dimensions (W x H x D)	Approx. 36 x 54 x 5 mm (without protruding parts)

Rapid Charger

Item	Specification
Input Voltage	AC 100 V, 50/60 Hz (Powered by the supplied cord)
Rated Input Capacity	9 VA (AC 100)
Output Voltage/ Current	DC 5.4 V / 600 mA
Operating Temperature	5°C to 40°C
Dimensions (W x H x D)	Approx. 38 x 63 x 20 mm (without Power Cord)

Desktop Holder

Item	Specification
Input Voltage/Current	DC 5.4 V / 600 mA (with Rapid Charger connected)
Output Voltage/ Current	DC 5.4 V / 600 mA (with Rapid Charger connected)
Dimensions (W x H x D)	Approx. 60 x 28 x 122 mm

Customer Service

If you have any questions about a Vodafone handset or services, please call General Information. For repairs, please call Customer Assistance.

Vodafone Customer Centres
From a Vodafone handset, dial toll-free at
157 for General Information or 113 for Customer Assistance

Vodafone International Call Centre
From Overseas
+81-3-5351-3491(charged)

Toll-Free Numbers from a Landline:

Subscription Area	Contacts	
Hokkaido, Aomori, Akita, Iwate, Yamagata, Miyagi, Fukushima, Niigata, Tokyo, Kanagawa, Chiba, Saitama, Ibaraki, Tochigi, Gunma, Yamanashi, Nagano, Toyama, Ishikawa, Fukui	General Information	Free Call 0088-240-157
	Customer Assistance	Free Call 0088-240-113
Aichi, Gifu, Mie, Shizuoka	General Information	Free Call 0088-241-157
	Customer Assistance	Free Call 0088-241-113
Osaka, Hyogo, Kyoto, Nara, Shiga, Wakayama	General Information	Free Call 0088-242-157
	Customer Assistance	Free Call 0088-242-113
Hiroshima, Okayama, Yamaguchi, Tottori, Shimane	General Information	Free Call 0088-259-157
	Customer Assistance	Free Call 0088-259-113
Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi	General Information	Free Call 0088-247-157
	Customer Assistance	Free Call 0088-247-113
Fukuoka, Saga, Nagasaki, Oita, Kumamoto, Miyazaki, Kagoshima, Okinawa	General Information	Free Call 0088-250-157
	Customer Assistance	Free Call 0088-250-113

付録

機能一覧

大項目	中項目	小項目	概　要	参照ページ
Vアプリ	Vアプリライブラリ		登録されているVアプリを利用する。	P27-3
	Vアプリ設定	Vアプリ待受設定	待受画面で自動的に起動するVアプリを設定する。	P28-2
		着信時優先動作設定	Vアプリ起動中の着信やアラームの動作を設定する。	P29-2
		再生音量／バイブ設定	Vアプリに組み込まれている効果音の音量やバイブレータのON／OFFを設定する。	P29-2
		パネル照明設定	Vアプリ起動中の照明点灯や点滅動作のON／OFFを設定する。	P29-3
		その他	Vアプリの設定をお買い上げ時の状態に戻したり、Vアプリをすべて消去する。	P29-4
	Java™情報		Java™およびJBlend™のライセンスに関する説明を確認する。	P27-2
Vodafone live!	Vodafone live!		ボーダフォンライブ！のメニューにアクセスする。	P24-2
	ブックマーク		ブックマークを利用してウェブにアクセスする。	P25-6
	URL入力		URLを入力してウェブにアクセスする。	P24-3
	お気に入り		お気に入りに保存した情報を表示する。	P25-4
	ウェブ設定	Cookie設定	Cookieを許可するかどうかを設定する。	P26-3
		Cookie全消去	Cookieの情報をすべて消去する。	P26-3
		スクロール設定	情報画面のスクロール単位を設定する。	P26-2
		フォントサイズ設定	情報画面の文字サイズを設定する。	P26-2

大項目	中項目	小項目	概　要	参照ページ
Vodafone live!	ウェブ設定	テキストブラウズ設定	情報画面の画像やサウンドをダウンロードするかどうか設定する。	P26-2
		製造番号通知設定	ウェブ利用時の製造番号通知要求に応えるかどうかを設定する。	P26-3
		履歴クリア	アクセス履歴を消去する。	P26-4
		ブラウザキャッシュクリア	情報画面のキャッシュを消去する。	P26-4
		ウェブ設定クリア	ウェブの設定をお買い上げ時の状態に戻す。	P26-4
		証明書	サーバ証明書、ルート証明書を確認する。	P26-3
メディアプレイヤー	メロディ		メロディの再生などをする。	P10-2
	イメージ		静止画やアニメーションの再生などをする。	P10-4
	オーディオ＆ムービー		動画の再生などをする。	P10-6
	設定		メディアプレイヤーの再生パターンとパネル照明の設定をする。	P10-8
メール	メール作成		メールを作成して送信する。	P20-2
	受信メール		受信メールを確認する。	P21-2
	送信済みメール		送信済みメールを確認する。	P21-2
	未送信メール		送信に失敗したメールの再送信や送信中にキャンセルしたメールを再送信または一括送信する。	P21-2
	ユーザフォルダ		受信メールから移動したメールを保存する。	P21-2
	下書き		編集途中のメールを保存する。	P21-2
	定型文		メールのひな型を登録する。	P21-2
	サーバーメール操作		メールサーバーに保存されているメールを取得、削除、転送する。	P22-2

大項目	中項目	小項目	概　要	参照ページ
メール	設定	送信設定	送信メールの有効期限、配信時間指定、優先メールタイプを設定する。	P23-3
		受信設定	自動受信、匿名のメールの拒否を設定する。	P23-4
		確認設定	メールの配信確認や配信確認応答を設定する。	P23-5
		個人設定	送信メールの署名、冒頭文を設定する。	P23-6
		メール設定	添付されたサウンドの自動再生、メッセージ画面の文字サイズ、SMSのセンター番号、MMSの作成モードを設定する。	P23-7
カメラ	ムービーモード		手軽に動画を撮影できるムービーモードを起動する。	P7-8
	フォトモード		手軽に静止画を撮影できるフォトモードを起動する。	P7-4
	連写モード		静止画を連続で撮影する連写モードを起動する。	P7-7
	チャンスキャプチャ		チャンスをのがさず動画を撮影できるモードを起動する。	P7-12
	ピクチャボイス		静止画に音声を付ける。	P7-11
	デジタルカメラモード		サイズの大きな静止画を撮影できるデジタルカメラモードを起動する。	P7-4
	長時間ムービー		長時間ムービーを撮影できるモードを起動する。	P7-8
	ムービーリスト		保存されている動画の一覧を表示して確認する。	P7-13
	フォトリスト		保存されている静止画の一覧を表示して確認する。	P7-13
データフォルダ			703N本体とminiSDメモリカードのデータを管理する。	P12-2

大項目	中項目	小項目	概　要	参照ページ
ツール	スケジュール		スケジュール、休日、記念日を登録する。	P15-2
	めざまし時計		703Nをめざまし時計として使う。	P15-7
	予定リスト		予定の進行を管理する。	P15-8
	テキストメモ		メールの本文などに使える文を登録する。	P15-11
	簡易電卓		703Nを電卓として使う。	P15-14
	メモの再生／消去		簡易留守録や音声メモを再生、消去する。	P15-13、P16-4
	簡易留守録		簡易留守録の設定をする。	P16-4
	音声メモ		待受中に音声を録音する。	P2-10、P15-13
	おしゃべり機能		アラーム音や応答メッセージなどに使用する音声を録音する。	P9-5
	赤外線通信		赤外線通信機能を搭載したボーダフォン携帯電話やパソコンなどとの間で、データを送受信する。	P13-3
	USIMカード操作		703N本体とUSIMカードとの間でデータをやりとりする。	P5-13
	電話帳画像転送		赤外線通信で電話帳データを送信するときに、静止画および動画を送信するかどうか設定する。	P13-4
	アクセスリーダー		カメラを使って文字情報を読み取る。	P15-15
	バーコードリーダー		カメラを使ってバーコード情報を読み取る。	P15-17
	メモリカード		miniSDメモリカードに保存されているデータを呼び出す。	P11-4
	ユーザ辞書		簡単な読みで目的の単語に変換できるように、読みと変換後の単語を合わせて登録する。	P4-17

31

付録

大項目	中項目	小項目	概　要	参照ページ
電話帳	電話帳検索		検索方法を選んで電話帳を検索する。	P5-10
	電話帳登録		703N本体またはUSIMカードに電話帳を登録する。	P5-3
	電話帳便利機能		電話番号やE-mailアドレスに設定されている電話帳便利機能を確認、解除する。	P5-9
	電話帳指定設定		電話番号に設定されている電話帳指定設定を確認、解除する。	P14-6
	グループ登録		グループ名の変更や便利機能の設定をする。	P5-6
	ご自分の電話番号		お客様の電話番号を確認したり、E-mailアドレスや住所などの個人データを登録する。	P2-14
	通話履歴		リダイヤルや着信履歴の一覧を表示する。	P2-3
	送信／受信アドレス履歴		送受信したメールのアドレス一覧を表示する。	P2-5
	メーリングリスト		複数のE-mailアドレスを登録して一度に宛先を指定できるリストを登録、確認、編集する。	P23-2
設定	マナーモード	マナー	マナーモードの動作を「マナー」に設定する。	P3-4
		スーパーサイレント	マナーモードの動作を「スーパーサイレント」に設定する。	P3-4
		オリジナル	マナーモードの動作を「オリジナル」に設定し、内容を設定する。	P3-4
	音関連設定	着信音量	着信音の音量を調節する。	P9-2
		着信音選択	着信音を選択する。	P9-2
		バイブレータ	振動パターンを設定する。	P9-4
		着信イルミネーション	着信時のランプの点滅を設定する。	P8-9
		電話帳画像着信設定	着信時の電話帳画像表示をON／OFFする。	P5-5

大項目	中項目	小項目	概　要	参照ページ
設定	音関連設定	着信アンサー設定	着信中に特定のボタンを押したときの動作を設定する。	P2-7
		クローズ動作設定	通話中に703Nを折り畳んだときの動作を設定する。	P16-7
		メール鳴動	メールを受信したときの着信音の鳴動時間を設定する。	P9-4
		呼出時間表示設定	呼び出しを開始するまでの秒数や、呼び出し前に切れてしまった着信の表示について設定する。	P9-5
		確認機能設定	703Nを折り畳んだまま不在着信や新着メールを確認したときの通知方法を設定する。	P2-12
	通話設定	ノイズキャンセラ	周囲の騒音を抑えて、相手の声を聞きやすくする機能をON／OFFする。	P16-3
		通話中イルミネーション	通話中のランプの点滅色を設定する。	P8-10
		保留音選択	応答保留中や通話保留中に流すガイダンスを設定する。	P9-7
	TVコール設定	画像品質設定	TVコールの画質を設定する。	P6-6
		発信時自画像送信	TVコールをかけるときに、カメラ画像または代替画像のどちらを送信するかを設定する。	P6-6
		画像選択	TVコールの応答保留中などに相手に送信する画像を選択する。	P6-6
		音声自動再発信	TVコールがつながらなかった場合に、音声電話で再発信するかどうかを設定する。	P6-7
		通話中画像表示	TVコール中に親画面に表示させる画像や、映像のサイズを設定する。	P6-7

大項目	中項目	小項目	概　要	参照ページ
設定	TVコール設定	TVコール自動応答設定	登録しておいた相手からTVコールがかかってきたときには、自動的に応答できるように設定する。	P6-7
	ディスプレイ設定	画面表示設定	待受画面などに表示する画像を設定する。	P8-2
		照明設定	メインディスプレイ、サブディスプレイ、ボタンのバックライトの点灯について設定する。	P8-3
		配色パターン	文字や背景などの配色を設定する。	P8-4
		サブディスプレイ	サブディスプレイの表示について設定する。	P8-7
		フォント設定	メインディスプレイやサブディスプレイに表示する文字のフォントを切り替える。	P8-8
		デスクトップ	デスクトップに貼り付けたアイコンを編集、削除する。	P8-5
		Language	メインディスプレイ、サブディスプレイの表示を日本語または英語に切り替える。	P8-9
		ショートカット登録	よく使う機能を、呼び出しが簡単なショートカットに登録する。	P16-6
		メニュー画面設定	メインメニュー画面のガイダンスやメニューの小項目の表示方法について設定する。	P1-27
		サムネイル表示設定	画像ファイルの一覧画面の表示方法を、タイトルまたは画像（サムネイル）を使った表示のどちらかに設定する。	P12-4
		オート表示	703Nを開くだけで、特定の電話番号が表示されるようにする。	P8-6
	時間	通話時間	直前の通話時間や積算通話時間を確認する。	P2-13
		積算リセット	積算通話時間をリセットする。	P2-13

大項目	中項目	小項目	概　要	参照ページ
設定	時間	通話中時間表示	通話中のメインディスプレイに通話時間を表示するかどうかを設定する。	P16-3
	時計	日時設定	日付・時刻を設定する。	P1-23
		ホームエリア設定	世界標準時との時差を設定する。	P1-23
		時計表示設定	時計の表示方法を設定する。	P8-2
		アラーム通知設定	アラーム通知を、「操作優先」または「通知優先」のどちらにするかを設定する。	P16-5
	ロック／セキュリティ	オールロック	電源を入れる、切る以外の操作をできないようにする。	P14-4
		PIMロック	電話帳やスケジュール、メールなどを操作できないようにする。	P14-4
		ダイヤル発信制限	ダイヤルボタンを押して電話をかけたりメールを送信したりできないようにする。	P14-5
		登録外着信拒否	電話帳に登録されていない電話番号からの着信を拒否するかどうか設定する。	P14-7
		非通知着信設定	番号通知のない着信を拒否する機能を設定したり、迷惑電話などの電話番号を拒否電話リストに登録する。	P14-8
		端末暗証番号変更	端末暗証番号を変更する。	P14-2
		PIN設定	PIN1コードの入力設定と、PIN1コードまたはPIN2コードの変更をする。	P14-2
		シークレットモード	シークレットデータを操作できるモードに設定する。	P14-9
		シークレット専用モード	シークレットデータのみを表示して操作できるモードに設定する。	P14-9

大項目	中項目	小項目	概　要	参照ページ
設定	外部オプション	オート着信	オプション品のスイッチ付きイヤホンマイクを接続しているときに、かかってきた電話に自動的に応答する機能を設定する。	P16-8
	ネットワーク設定	ネットワーク自動調整	ボーダフォンライブ！をご利用になるためのネットワーク情報を取得する。	P18-4
	その他	メモリ確認	メモリの使用状態を確認する。	P16-8
		ボタン確認音	ボタンを押したときに音を鳴らすかどうかを設定する。	P9-6
		充電確認音	充電開始時、終了時の確認音を鳴らすかどうかを設定する。	P9-6
		SRS_WOW設定	音声付き動画ファイルの音響効果を有効にするかどうかを設定する。	P10-9
		電池残量	電池残量の目安を、音と表示で確認する。	P1-15
		サイドボタン操作	703Nを折り畳んだときのサイドボタンの操作を有効または無効にする。	P14-11
		文字入力方式	文字入力方式やワード予測機能の利用、ガイダンス表示について設定したり、学習履歴を消去する。	P4-16
		ポーズダイヤル	703Nからプッシュ信号を送信する。	P16-2
		サブアドレス設定	サブアドレスに対応できる機能をON／OFFする。	P16-7
		プリセット登録	電話番号の先頭に付加する番号を登録する。	P16-3

大項目	中項目	小項目	概　要	参照ページ
設定	その他	設定リセット	各種の機能の設定を初期状態に戻す。	P14-11
		メモリリセット	電話帳やスケジュールなど、すべての個人情報をまとめて消去する。	P14-11
		オールリセット	設定リセットとメモリリセットを一括して実行する。	P14-12
	ネットワークサービス	発着信規制	電話をかけたり受けたりすることを制限する。	P17-8
		割込通話	割込通話サービスの利用を開始、停止する。	P17-7
		留守番／転送電話	留守番電話サービス／転送電話サービスの利用を開始、停止する。	P17-4
		留守録操作	留守番電話センターでお預かりした伝言メッセージを聞く。	P17-6
		サービス直接入力	よく利用するオプションサービスのサービスコードを登録したり、サービスの開始や停止などの操作をする。	P17-2

リセット項目一覧

メニュー項目	オールリセットで初期化される内容	
	設定リセットで初期化される内容	メモリリセットで初期化される内容
Vアプリ	・Vアプリのセキュリティレベル設定　・Vアプリ待受設定 ・着信時優先動作設定　・再生音量／バイブ設定　・パネル照明設定 ※1	・ダウンロードしたVアプリ
Vodafone live!	・Cookie設定　・スクロール設定　・フォントサイズ設定 ・テキストブラウズ設定　・製造番号通知設定 ※2	・ブックマーク　・お気に入り※5　・Cookie ・アクセス履歴　・キャッシュ　・ウェブメモ
メディアプレイヤー	・再生パターン　・パネル照明設定 ・オーディオ＆ムービーの一覧表示切替、画像表示設定 ・イメージの画像表示設定 ・イメージ／オーディオ＆ムービーのソート	・ユーザ作成フォルダ ・プリインストール以外のファイル ・オーディオ＆ムービーのプレイリスト ・イメージの自作アニメ
メール	・有効期限　・配信時間指定　・優先メールタイプ　・自動受信 ・匿名拒否　・配信確認　・配信確認応答　・署名編集 ・署名挿入　・冒頭文編集　・冒頭文挿入　・サウンド ・フォントサイズ　・MMS作成モード ※3	・受信メール　・送信メール　・未送信メール ・下書き　・定型文　・フォルダ名 ※4

※1　Vアプリの設定リセットで初期化されます。
※2　ウェブ設定クリアで初期化されます。
※3　メールの設定リセットで初期化されます。
※4　メールのメモリリセットで初期化されます。
※5　「お気に入り」はオールリセットで初期化されます。

メニュー項目	オールリセットで初期化される内容	
	設定リセットで初期化される内容	メモリリセットで初期化される内容
カメラ	・カメラ設定（外側カメラ）　・画像サイズ設定 ・ムービー容量設定　・ムービー保存設定　・自動保存設定 ・セルフタイマー設定の作動時間設定　・ホワイトバランス設定 ・シャッター音選択　・連写切替　・撮影間隔／枚数 ・表示サイズ設定　・画像チューニング	
データフォルダ	・ソート	・「その他ファイル」フォルダ内のファイル
ツール	・スケジュールのカレンダー表示、ユーザアイコン設定 ・めざまし時計　・簡易留守録（OFFになる） ・簡易留守録の呼出時間設定、応答メッセージ ・おしゃべり機能の開始音設定　・電話帳画像転送	・スケジュールの登録データ　・めざまし時計 ・予定リスト　・テキストメモ ・簡易留守録の録音データ　・音声メモの録音データ ・おしゃべり機能の録音データ ・ユーザ辞書の登録データ ・アクセスリーダーの登録データ ・バーコードリーダーの登録データ
電話帳	・電話帳便利機能　・電話帳指定設定	・電話帳の登録内容　・グループ登録 ・ご自分の電話番号（お客様電話番号を除く） ・リダイヤル　・着信履歴　・送信アドレス履歴 ・受信アドレス履歴　・メーリングリスト
設定	〈マナーモード〉・「オリジナル」の設定内容 〈音関連設定〉・着信音量　・着信音選択　・バイブレータ ・着信イルミネーション　・電話帳画像着信設定 ・着信アンサー設定　・クローズ動作設定 ・メール鳴動　・呼出時間表示設定　・確認機能設定 〈通話設定〉・ノイズキャンセラ　・通話中イルミネーション ・保留音選択	〈時間〉・通話時間 〈時計〉・日時設定 〈その他〉・文字入力の学習履歴　・ポーズダイヤル 〈ネットワークサービス〉 ・留守番電話のセンター電話番号 ・サービス直接入力のサービスコード 〈TVコール設定〉・画像選択の自作画像

メニュー項目	オールリセットで初期化される内容	
	設定リセットで初期化される内容	メモリリセットで初期化される内容
設定	〈TVコール設定〉・画像品質設定　・発信時自画像送信 ・画像選択　・音声自動再発信　・通話中画像表示 ・TVコール自動応答設定 〈ディスプレイ設定〉・画面表示設定　・照明設定 ・配色パターン　・サブディスプレイ　・フォント設定 ・Language　・ショートカット登録　・メニュー画面設定 ・サムネイル表示設定　・オート表示 〈時間〉・通話中時間表示 〈時計〉・ホームエリア設定　・時計表示設定 ・アラーム通知設定 〈ロック／セキュリティ〉・ダイヤル発信制限　・登録外着信拒否 ・非通知着信設定　・シークレットモード ・シークレット専用モード 〈外部オプション〉・オート着信 〈その他〉・ボタン確認音　・充電確認音　・SRS_WOW設定 ・サイドボタン操作　・文字入力方式　・サブアドレス設定 ・プリセット登録	
その他の機能	・受話音量　・マナーモードの設定状況（解除される） ・TVコール中に設定できる以下の項目 TVコール設定（明るさ調節）、照明設定	・デスクトップアイコン

31

付録

補足

● **オールリセットでのみ初期化される内容について**

オールリセットをすると、ネットワーク自動調整が初期化されます。

マルチタスクの組み合わせについて

マルチタスクで同時に利用できる主な機能の組み合わせパターンは次のとおりです。

○：起動できます。×：起動できません。△：同時には起動できません。

利用する機能／現在の状態	Vアプリ	Vodafone live!	メール	メディアプレイヤー	カメラ	データフォルダ	ツール	電話帳	設　定
Vアプリグループ起動中	△	○	○	○	○※5	○	○※6	○※3	○※7
Web／Messagingグループ起動中	○	△	△	○	○※5	○	○※6	○※3	○※7※9
ツールグループ起動中	○	○	○	△	△	△	△	△	○※7
設定グループ起動中	○	○	○	○	○※5	○	○※6	○※3	△
音声電話中	×	○	○	×	×※1	×	×※2	○※3	×※4
TVコール中	×	×	×	×	×	×	×	×	×
ボーダフォンライブ!通信中	○	△	△	○	○※5	○	○※6	○※3	○※7※9
パソコンをつないでパケット通信中	○	○	○	○	○※5	○	○※6	○※3	○※7
64Kデータ通信中	×	○	○	×	×※1	×	×※8	○※3	×※4

※1「フォトモード」「連写モード」のみできます。

※2「スケジュール」、「予定リスト」、「テキストメモ」、「簡易電卓」は可。「アクセスリーダー」、「バーコードリーダー」は一覧画面や詳細画面の確認はできます（読み取りはできません）。

※3「電話帳指定設定」の設定はできません。

※4「日時設定」、「ボタン確認音」、「ポーズダイヤル」、「発着信規制」、「割込通話」、「留守番／転送電話」、「留守録操作」（「留守録再生」はできません）、「サービス直接入力」はできます。

※5「デジタルカメラモード」、「長時間ムービー」はできません。

※6「おしゃべり機能」、「赤外線通信」、「USIMカード操作」、「メモリカード」はできません。

※7「メール鳴動」、「呼出時間表示設定」、「配色パターン」、「サブディスプレイ」、「フォント設定」、「Language」、「ショートカット登録」、「サムネイル表示設定」、「オールロック」、「PIMロック」、「ダイヤル発信制限」、「登録外着信拒否」、「シークレットモード」、「シークレット専用モード」、「ネットワーク自動調整」、「メモリ確認」、「SRS_WOW設定」、「文字入力方式」、「サブアドレス設定」、「プリセット登録」、「設定リセット」、「メモリリセット」、「オールリセット」はできません。

※8「スケジュール」、「予定リスト」、「テキストメモ」、「簡易電卓」、「ユーザ辞書」はできます。「アクセスリーダー」、「バーコードリーダー」は一覧画面や詳細画面の確認のみできます(読み取りはできません)。

※9「ネットワーク自動調整」は同時に起動できません。

- 次の機能を利用しているときは、ほかの機能を利用できません。

 ・TVコール
 ・カメラメニューのデジタルカメラモード、長時間ムービー
 ・設定メニューのメモリ確認、ネットワーク自動調整
 ・ツールメニューの赤外線通信、USIMカード操作、メモリカード
 ・オーディオ&ムービー編集

 次の動作中にはほかの機能を利用できません。

 ・ムービーダウンロード中　・メロディや画像ファイルの保存中
 ・ファイルの移動/コピー/削除中　・ファイルのソート中
 ・miniSDメモリカードとのデータエクスポート/インポート中
 ・設定リセット中　・メモリリセット中　・オールリセット中

- 機能によっては、ほかの機能が起動しているときには操作できないものがあります。

こんなときは

■ 基本操作編

■ 電源が入らない

☑ [☎PWR]を2秒以上押していますか?
➡ [☎PWR]を2秒以上押してください。

☑ 電池切れになっていませんか?
➡ 電池パックを交換するか充電してください。

■ 電源を入れたのに操作できない

☑「PIN1コード入力設定」が「ON」に設定されていませんか?
➡「PIN1コード入力設定」が「ON」に設定されているときは、画面の指示に従ってPIN1コードを入力してください。

■ 電源を入れたときや機能の操作時に「USIMカードを挿入してください」または「このカードは認識できません」と表示される

☑ USIMカードは正しく取り付けられていますか？

➡ USIM カードが正しく取り付けられていることを確認してください。正しく取り付けられているのに表示が出る場合は、破損している可能性があります。

☑ 違ったUSIMカードをお使いではありませんか？

➡ 正しいUSIMカードであることを確認してください。当社で指定されたUSIMカードを使用してください。

■ 「Reading USIM Cannot operate」または「USIMカード読み込み中です　起動できません」と表示される

➡ USIMカードのデータ読込中です。しばらくたってから操作し直してください。

■ ボタン操作ができない

☑「サイドボタン操作」が「閉じたとき無効」に設定、またはオールロックが設定されていませんか？（ が表示される）

➡「サイドボタン操作」を「閉じたとき有効」にするか、オールロックを解除してください。

■ ダイヤルしても話中音（プープー…）が出る

☑「圏外」が表示されていませんか？

➡ 電波の届く場所に移動してかけ直してください。

☑ 市外局番など0からはじまる電話番号をダイヤルしていますか？

➡ 市外局番など0からはじまる電話番号をダイヤルしてください。

■ 「圏外」が表示され、電話がかけられない

☑ サービスエリア外か電波の届きにくい場所にいませんか？

➡ 電波の届く場所に移動してかけ直してください。

■ 通話がとぎれたり、切れたりする

☑「圏外」が表示されているか、または電波状態が悪い場所にいませんか？

➡ 電波の届く場所に移動してかけ直してください。

☑ 電池切れになっていませんか？

➡ 電池パックを交換するか充電してください。

■ 電話がかけられない

☑ オールロックが設定されていませんか？（が表示される）

➡ オールロックを解除してください。

☑ ダイヤル発信制限が設定されていませんか？（が表示される）

➡ ダイヤル発信制限を解除してください。

☑ 発着信規制サービスの発信規制が設定されていませんか？

➡ 発信規制設定を停止してください。

☑ 電話帳指定設定の指定発信制限が設定されていませんか？

➡ 指定発信制限が設定されていると、設定した電話番号にしか電話をかけられません。指定発信制限を解除してください。

■ 電話帳が呼び出せない

☑ 呼び出したい電話帳がシークレットデータとして登録されていませんか？

➡ シークレットモードまたはシークレット専用モードを設定してください。

■ サイドボタンを押しても不在着信通知が確認できない

☑「サイドボタン操作」が「閉じたとき無効」に設定されていませんか？（が表示される）

➡「サイドボタン操作」を「閉じたとき有効」に設定してください。

31
付録

■ 電話がかかってきたりメールを受信しても、サブディスプレイに通知されない

☑「サブディスプレイ」の「待受表示固定」が「ON」に設定されていませんか?

➡「サブディスプレイ」の「待受表示固定」を「OFF」に設定してください。

■ 通話中に「プチッ」と音が入る

☑ 電波が弱くなって別のエリアに切り替わるときに発生することがあります。

■ 充電できない

☑ 急速充電器の接続コネクターが703Nまたは卓上ホルダーに確実に差し込まれていますか?

➡ 確実に差し込んでください。

☑ 急速充電器のプラグがしっかりとコンセントに差し込まれていますか?

➡ 確実に差し込んでください。

☑ 電池パックが 703N に取り付けられていますか?

➡ 正しく取り付けてください。

☑ 703N を卓上ホルダーに確実に置いていますか?

➡ 正しく置いてください。

☑ 703N、電池パック、卓上ホルダーの充電端子や急速充電器の接続コネクター、703Nの外部接続端子、卓上ホルダーの接続端子が汚れていませんか?

➡ 乾いた綿棒などで端子部の汚れを落としてください。

☑ 周囲の温度が5℃以下または40℃以上になる場所で充電していませんか?

➡ 周囲の温度が5℃~40℃の範囲内で充電してください。

☑ 電池パックに異常はありませんか?

➡ 新しい電池パックに交換してください。

☑ 充電を繰り返しても、十分に充電できませんか?

➡ 電池パックの交換時期です。新しい電池パックに交換してください。

☑ 充電中に703Nや電池パックの温度が上昇していませんか？
➡ 温度が上昇すると充電を中断することがあります。703Nや電池パックが冷めてから、充電し直してください。

■ **充電時間が短い**

☑ 電池パックが使い切られていないときには、充電時間は短くなります。

■ **熱くなる**

☑ 充電中に、急速充電器や卓上ホルダーが発熱することがあります。

☑ 充電したり、長時間通話したりすると703Nが発熱することがあります。
➡ 手で触れることのできる温度であれば、異常ではありません。手で触れられないほど熱くなった場合は直ちに充電、使用を中止してお問い合わせ先（☞P31-48）までご連絡ください。

■ **電池の消費が早い**

☑ 使用環境（気温／充電状況／電波状態）、操作や設定状況によっては電池の消費が早くなります。
➡ 適切な環境下（☞「お願いとご注意」）で、電池の消費の大きな機能（TV コール、V アプリ）の使用を控えてください。

■ **ディスプレイの表示がちらつく**

☑ 蛍光灯の近くで使用していませんか？
➡ 蛍光灯からなるべく離れてご使用ください。

■ **バックライト消灯時、ディスプレイの表示が暗い**

☑ ディスプレイの特性によるものです。故障ではありません。

■ Vodafone live!編

■ **「接続が中断されました」と表示されたとき**

☑ 電波の弱い場所などで送受信に失敗したときに表示されます。
➡ 電波の強さを確認して、再度送信してください。

☑ サービスセンターとやりとりしているとき、サービスセンターから応答がなかった場合に表示され、接続が切断されます。
➡ しばらくたってから再度送信または接続してください。

■「送信できませんでした」と表示されたとき

☑ サービスセンターがメンテナンス中です。

➡ しばらくたってから送信してください。

■「応答がないため接続が中断されました」と表示されたとき

☑ サービスセンターがメッセージを受け付けたかどうか、わからないときに表示されます。

➡ しばらくたってから送信してください。

■「ネットワークに接続できません」と表示されたとき

☑ サービスセンターがメッセージを受け付けませんでした。

➡ しばらくたってから送信してください。

■「再接続しますか？」または「接続が中断されました　再接続しますか？」と表示されたとき

☑ 送信中に電波が弱くなったなどの理由で接続が中断されました。

➡「YES」を選択すると、再開できます。

■ 送信しても相手に届かない

➡ 相手がアドレスフィルターでセキュリティを設定しているかどうかをご確認ください。

➡ 相手の宛先に「184」「186」を付けると送信できません。「184」や「186」を外して再度送信してください。

■ 写メールがうまく送信できないとき

☑ 送信する相手はMMSに対応していますか？

➡ 相手がロングメール対応機の場合は6Kバイト、スーパーメール対応機の場合は12Kバイト（ただし、JPEGファイルやMPEG-4ファイルを含むときは最大30Kバイト）を超えるメールを送信しても受信することはできません。（ともに宛先／件名／メッセージ本文を含んだデータ容量です。）

☑ 送信する相手は添付ファイルのファイル形式に対応していますか？

➡ 相手が添付ファイルのファイル形式に対応していない場合、画像を送信することはできません。

☑ 相手はMMSやスーパーメール、ロングメールの契約をしていますか？

➡ 画像（静止画）などのファイルが添付されたメールを受信するには、別途MMS、スーパーメールまたはロングメールのご契約が必要です。相手がいずれも契約されていないときは、384バイトを超えるメールを送信しても受信することはできません。（文字数が多いときも同様です。）

■ 受信メールを保存する容量がないとき

☑ 新しいメールを受信できません。（このとき、メモリ不足の確認メッセージが表示されます。）受信できなかったメールは、サービスセンターに蓄積されます。

➡ 不要な受信メールを消去してください。新しいメールを保存する容量ができると、自動的にサービスセンターに蓄積されたメールを受信します。

➡ 使用メモリの合計が100%未満の場合でも、新しいメールを受信できないことがあります。不要な受信メールを消去してください。

■「サイズオーバーのためダウンロードできません」と表示されたとき

☑ 703NのVアプリライブラリのメモリがいっぱいです。

➡ 不要なVアプリを消去してから、やり直してください。

■「登録件数オーバーのため保存できません。ダウンロードを終了します」と表示されたとき

☑ すでにVアプリが703NとminiSDメモリカードに100件登録されています。

➡ 不要なVアプリを削除してから、やり直してください。

■「不正なデータを受信しました。ダウンロードを終了します」や「サイズ超過のためダウンロードができません」と表示されたとき

➡ 703N ではダウンロードできないデータです。ダウンロードを中止してください。

区点コード一覧表

各段の左側の3桁の数字は区点コードの1～3桁を示しています。各段の一番上の数字は区点コードの4桁目を示しています。

〈例〉「仝」を入力する場合

区点1～3桁目の「012」を入力してから、区点4桁目の「4」を入力します。

画面の表示は区点コード一覧表の文字や記号と異なる場合があります。

区点	区点4桁目									
1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							0	1	2	3
032	4	5	6	7	8	9				
033				A	B	C	D	E	F	G
034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
036						a	b	c	d	e

区点	区点4桁目									
1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
039	z									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η

区点	区点4桁目									
1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿

区点	区点4桁目									
1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
139	∵	∩	∪							
	あ									
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
	い									
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
	う									
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
	え									
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			

区点1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	お									
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
	か									
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
	き									
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠

区点1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
	く									
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
	け									
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
	こ									
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功

区点1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
	さ									
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
	し									
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺

区点1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
	す									
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
	せ									
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製

区点 1~3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
	そ									
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
	た									
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
	ち									
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
	つ									
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
	て									
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
	と									
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
	な									
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
	に									
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
	ぬ～の									
390									濡	禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
	は									
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
	ひ									
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
	ふ									
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
	へ									
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
	ほ									
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
	ま									
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
	み									
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
	む									
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
	め									
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
	も									
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
	や									
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥

区点 1~3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
	ゆ									
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
	よ									
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
	ら									
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
	り									
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
	る~れ									
466	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
	ろ									
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
	わ									
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
476										
477										
478										
479										
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚅	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘

区点1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					

区点1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴

区点1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖

区点1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊

区点1~3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰

区点1~3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

記号／絵文字一覧

記号

全角記号

、。，．・：；？！゛゜´｀¨＾￣＿ヽヾゝゞ〃
仝々〆〇ー―‐／＼～‖｜…‥‘’“”（）〔〕
［］｛｝〈〉《》「」『』【】＋－±×÷＝≠＜
＞≦≧∞∴♂♀°′″℃￥＄￠￡％＃＆＊＠§☆
★○●◎◇◆□■△▲▽▼※〒→←↑↓〓∈∋⊆
⊇⊂⊃∪∩∧∨￢⇒⇔∀∃∠⊥⌒∂∇≡≒≪≫√
∽∝∵∫∬Å‰♯♭♪†‡¶◯ゎゐゑヮヰヱヴヵ
ヶΑΒΓΔΕΖΗΘΙΚΛΜΝΞΟΠΡΣΤΥΦ
ΧΨΩαβγδεζηθικλμνξοπρστ
υφχψωАБВГДЕЁЖЗИЙКЛМНОП
РСТУФХЦЧШЩЪЫЬЭЮЯабвгде
ёжзийклмнопрстуфхцчшщъ
ыьэюя─│┌┐┘└├┬┤┴┼━┃┏┓┛
┗┣┳┫┻╋┠┯┨┷┿┝┰┥┸╂

特殊記号

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰
⑱⑲⑳ⅠⅡⅢⅣⅤⅥⅦⅧⅨⅩ㍉㌔㌢㍍
㌘㌧㌃㌶㍑㍗㌍㌦㌣㌫㍊㌻㎜㎝㎞㎎㎏
㏄㎡㍻〝〟№㏍℡㊤㊥㊦㊧㊨㈱㈲㈹㍾
㍽㍼≒≡∫∮∑√⊥∠∟⊿∵∩∪

半角記号

! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [¥
] ^ _ ` { | } ~ ｡ ｢ ｣ ､ ･ ｰ ﾞ ﾟ

変換記号

記号名（入力文字）	記　号	記号名（入力文字）	記　号
あっと	＠	さんかく	△▲▽▼
あっとまーく		しゃせん	／＼
いこーる	＝	しかく	□■◇◆
えん	￥	たす	＋
おす	♂	どう	ヽヾゝゞ〃々
おなじ	々	ぱーせんと	％
おなじく	〃	ひく	－
おんぷ	♪	ひしがた	◇◆
かける	×	ほし	☆★
かっこ	（）〔〕［］｛｝〈〉《》「」『』【】‘’“”()〈〉[]{}｢｣	まる	○●◎
		むげん	∞
		めす	♀
から	～	やじるし	→←↑↓
こめ	※	ゆうびん	〒
ころん	：	るーと	√
こんま	，	わる	÷

■ 絵文字

- 部分の絵文字は動く文字です。
- 一部の絵文字および動く絵文字は、相手のボーダフォン携帯電話の機種により表示されない場合があります。
- は絵文字一覧ではのみ表示されます。を選択するとと入力できます。

31

付録

顔文字一覧

<table>
<tr><th>顔文字の意味
（入力文字）</th><th>顔文字</th><th>顔文字の意味
（入力文字）</th><th>顔文字</th><th>顔文字の意味
（入力文字）</th><th>顔文字</th></tr>
<tr><td>ありがと
ありがとう</td><td>m(__)m</td><td>ひやあせ</td><td>(^o^;</td><td>むか</td><td>(;-_-+</td></tr>
<tr><td>ばんざい</td><td>＼(^O^)／</td><td>あせあせ</td><td>(;^_^A</td><td>こそこそ</td><td>(･_･|</td></tr>
<tr><td>わーい</td><td>(^O^)</td><td>びくっ</td><td>(*_*)</td><td>じーっ</td><td>(-_-)</td></tr>
<tr><td>おーい</td><td>(^O^)／</td><td>どき</td><td>(◎-◎;)</td><td>きこえない</td><td>|(-_-)|</td></tr>
<tr><td>ぶい</td><td>(^^)v</td><td>え</td><td>(@_@;)</td><td>こまったもんだ</td><td>(￣～￣)ξ</td></tr>
<tr><td>ぎゃはは</td><td>(^Q^)/^</td><td>めがてん</td><td>(・・;)</td><td>ぶたー</td><td>)^o^(</td></tr>
<tr><td>あは</td><td>(o^o^o)</td><td>はてな</td><td>(・・?)</td><td>こあら</td><td>(—Q—)</td></tr>
<tr><td>にこ</td><td>(^-^)</td><td>きらーん</td><td>(☆。☆)</td><td>いっぷく</td><td>(^!^)y~</td></tr>
<tr><td>にこ</td><td>(*^_^*)</td><td>しくしく</td><td>(T_T)</td><td>いっぷく</td><td>(^.^)y-~~~</td></tr>
<tr><td>ちゅ</td><td>(^3^)/</td><td>さよなら</td><td>(T_T)/~</td><td>ほし</td><td>☆彡</td></tr>
<tr><td>ちゅ</td><td>(^ε^)-☆Chu!!</td><td>いたた</td><td>(>_<)</td><td>ねてる</td><td>(-_-)zz</td></tr>
<tr><td>わくわく</td><td>o(^-^)o</td><td>えーん</td><td>(;_;)</td><td>ねむい</td><td>＼(~o~)／</td></tr>
<tr><td>ういんく</td><td>(^_-)</td><td>なぜ</td><td>(?_?)</td><td>めも</td><td>φ(..)</td></tr>
<tr><td>さよなら</td><td>(^_^)/~</td><td>がーん</td><td>(￣□￣;)!!</td><td>うん</td><td>(°_°)(。_。)</td></tr>
<tr><td>がんば</td><td>p(^^)q</td><td>えへん</td><td>(￣^￣)</td><td>かんぱい</td><td>(^^)／▽☆▽＼(^^)</td></tr>
<tr><td>ね</td><td>(^.^)b</td><td>む</td><td>(—_—メ)</td><td>ども</td><td>＼(^_^)(^_^)／</td></tr>
<tr><td>ぽりぽり</td><td>(^^ゞ</td><td>いかり</td><td>(｀´)</td><td></td><td></td></tr>
</table>

31
付録

メモリ容量一覧

メール	
受信メール、ユーザフォルダ	最大1000件／約3Mバイト※
送信済みメール、未送信メール、下書き	最大1000件／約1.5Mバイト※
定型文	約500Kバイト

ウェブ	
お気に入り	最大100件
ブックマーク	100件

Vアプリ	
Vアプリ	3～100件

データフォルダ	
ピクチャー	最大400件／約2Mバイト※
ムービー	最大100件／約3Mバイト※
着信メロディ＆サウンド	最大160件／約840Kバイト※
Vアプリ	3～100件
ブックマーク	100件
定型文	10件
その他ファイル	最大100件／約500Kバイト※

※　保存可能件数はデータ量により変動します。

主な仕様

定格および仕様は予告なく変更することがあります。

■ Vodafone　703N

項　目	仕　様
質量	約130g
連続通話時間	音声通話：約140分 TVコール：約90分
連続待受時間	約430時間（折り畳み時、かつサブディスプレイの表示OFF時）
サイズ（W×H×D）	約50×100×28㎜（折り畳み時）
最大出力	0.25W

- 上記は、電池パック装着時の数値です。
- 電池の利用可能時間は、電波が安定した状態で算出した当社計算値です。電波の弱い場所での通話や「圏外」表示での待ち受けは電池の消耗が多いため、ご利用時間が半分以下になることがあります。
- ディスプレイの照明がついている状態でのご利用（ボーダフォンライブ！の操作など）が多い場合、連続通話時間および連続待受時間は短くなります。
- 待受画面などに動きのある画像を設定した場合、連続通話時間および連続待受時間が著しく短くなることがあります。

- Vアプリを起動させた状態では、通話時間および待受時間が短くなる場合があります。
- 連続通話時間とは、「静止状態で連続して通話状態を保った場合の計算値」、また連続待受時間とは、「充電を満たした新品の電池パックを装着し、703Nを折り畳んだ状態で通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態により算出した計算値」です。実際に使う場合は、通話と待ち受けの組み合わせとなるため、通話時間も待受時間も短くなります。

■ 電池パック

項　目	仕　様
電圧	3.8V
使用電池	リチウムイオン電池
容量	850mAh
サイズ（W×H×D）	約36×54×5㎜（突起部を含まず）

■ 急速充電器

項　目	仕　様
入力電圧	ＡＣ100V、５０／60Ｈｚ（電源コード使用時）
定格入力容量	9ＶＡ（AC100）
出力電圧／出力電流	ＤＣ5.4Ｖ／600ｍＡ
使用温度	5℃～40℃
サイズ（W×H×D）	約38×63×20㎜（コード部分含まず）

■ 卓上ホルダー

項　目	仕　様
入力電圧／入力電流	ＤＣ5.4Ｖ／600ｍＡ（急速充電器接続時）
出力電圧／出力電流	ＤＣ5.4Ｖ／600ｍＡ（急速充電器接続時）
サイズ（W×H×D）	約60×28×122㎜

索 引

英数字

あ

い

う

え

お

か

き

く

け

こ

さ

し

す

せ

そ

た

ち

つ

て

と

に

ね

の

は

ひ

ふ

へ

ほ

ま

み

む

め

31
付録

も

ゆ

よ

ら

り

る

れ

ろ

わ

31
付録

保証とアフターサービス

■ 保証について

703N本体をお買い上げいただいた場合は、保証書が付いております。

- お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。
- 内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、保証書をご覧ください。

本製品の故障、または不具合などにより、通話などの機会を逸したためにお客様または第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 修理を依頼される場合

「こんなときは」をお読みのうえ、もう一度お確かめください。

それでも異常がある場合は、ご契約いただいたボーダフォン各地域の故障受付（☞P31-48）または最寄りのボーダフォンショップへご相談ください。

その際できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ先までご連絡ください。

ボーダフォンお客さまセンター	
総合案内	ボーダフォン携帯電話から157（無料）
紛失・故障受付	ボーダフォン携帯電話から113（無料）

ボーダフォン国際コールセンター
海外からのお問い合わせおよび 盗難・紛失のご連絡 +81-3-5351-3491（有料）

■ 一般電話からおかけの場合

ご契約地域	お問い合わせ先	
北海道・青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県・新潟県・東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県・栃木県・群馬県・山梨県・長野県・富山県・石川県・福井県	総合案内	0088-240-157(無料)
	紛失・故障受付	0088-240-113(無料)
愛知県・岐阜県・三重県・静岡県	総合案内	0088-241-157(無料)
	紛失・故障受付	0088-241-113(無料)
大阪府・兵庫県・京都府・奈良県・滋賀県・和歌山県	総合案内	0088-242-157(無料)
	紛失・故障受付	0088-242-113(無料)
広島県・岡山県・山口県・鳥取県・島根県	総合案内	0088-259-157(無料)
	紛失・故障受付	0088-259-113(無料)
徳島県・香川県・愛媛県・高知県	総合案内	0088-247-157(無料)
	紛失・故障受付	0088-247-113(無料)
福岡県・佐賀県・長崎県・大分県・熊本県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県	総合案内	0088-250-157(無料)
	紛失・故障受付	0088-250-113(無料)

Vodafone 703N　取扱説明書

2005 年 10 月 第 1 版発行

ボーダフォン株式会社

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器をブランド・メーカーを問わず上記のマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

※回収した電話機・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。

※プライバシー保護の為、電話機に記憶されているお客様の情報（電話帳・通信履歴・メール等）は事前に消去願います。

＊ご不明な点はお求めになられたボーダフォン携帯電話取扱店にご相談ください。

機種名　Vodafone 703N
製造元　日本電気株式会社

MDS-000057-JAA0